「趣味の王様」鉄道模型ワールドへようこそ!

NEKO MOOK 1185

Nゲージ 改訂新版

今日からはじめる

¥1,000



初めてNゲージを手にする前に、
ぜひ読んでおきたい
記事が満載!!

ショップガイド付き

?とサヨウナラ!
Nゲージ 用語辞典

江頭 剛の
楽しいイラストで読み解く!
NゲージワールドABC

NEKO PUBLISHING CO.,LTD.

RM MODELS ARCHIVE

NEKO MOOK 1137

新装版 ジオラマコレクション完全マニュアル





これがジオコレだ!!

鉄道車輌、バス、トラック、トレーラー、乗用車、建物、樹木などを1/150（Nゲージ）スケールで忠実に再現したトミーテックの「ジオラマコレクション」。その各シリーズのアイテムを網羅した一冊が新装版となって帰って来ました。本書は2007年9月に発売された『ジオラマコレクション完全マニュアル』の一部を加筆修正したもので、「ザ・バスコレクション」第1弾から始まる「ジオラマコレクション」各シリーズの製品を2007年8月現在分まで網羅しています。これまで発売されて来た数多くのアイテムが一目で分かり、購入品の整理にも有効です。ぜひ一冊、お手元にどうぞ！

好評発売中！



A4変型国際判
全148頁（内132頁カラー）
定価980円（税込）

株式会社ネコ・パブリッシング 〒152-8545 東京都目黒区碑文谷4丁目21番13号
TEL：03-5723-6013（営業部代表） NEKO BOOKSでもお買い求めいただけます。

ホビダス：http://www.hobidas.com から「ネコ・パブリッシング」の本へジャンプ！



The world of "N"

…深くて広いNゲージワールド

構成・文＝児山　計
写真（特記以外）＝青柳　明（月刊 RM MODELS：以下 RMM）

Nゲージ鉄道模型は、車両に限らず鉄道というシステム全体をできる限り1/150に縮小しています。鉄道模型を楽しむ人はそこから、自分なりの楽しみ方、スタイルを表現します。情景にこだわる人、特定の車両、時代を追い求める人、オリジナルの世界を構築する人…ここでは、そんな鉄道模型のスタイルを、カラーグラフで紹介します。

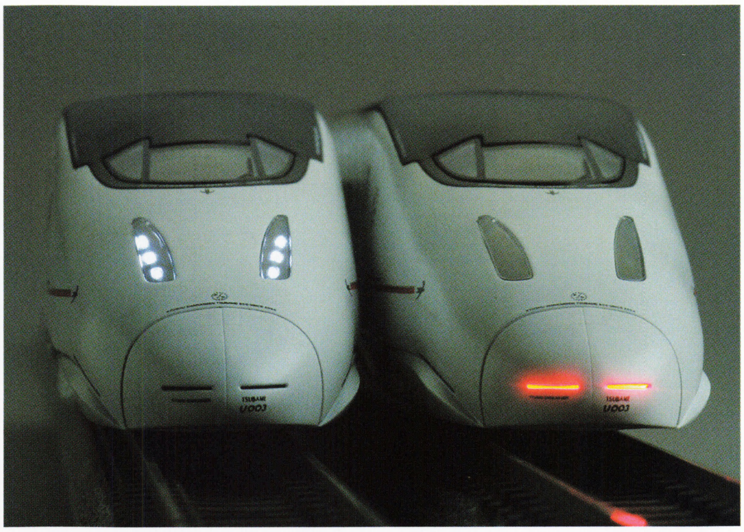
碓氷峠のジオラマ。模型製作：植原浩滋　p：市原　純（RMM）



Nゲージ鉄道模型は本物を可能な限り忠実に縮小しています。車両をこのように並べるだけでも、まるで本物の操車場のような迫力が出ます。色とりどりのコンテナ列車。模型製作：小川明人



華やかな特急電車（TOMIX製800系新幹線）のカラーやロゴマークを、精巧な印刷で再現（上）したり、ヘッドライトの光の色も本物に合わせるこだわり（右）を見せます。





基本的に、本物に付いている部品はNゲージにも付いています。したがってパンタグラフや台車など、たいへん細かいパーツが集まっています。(KATO製M250系))

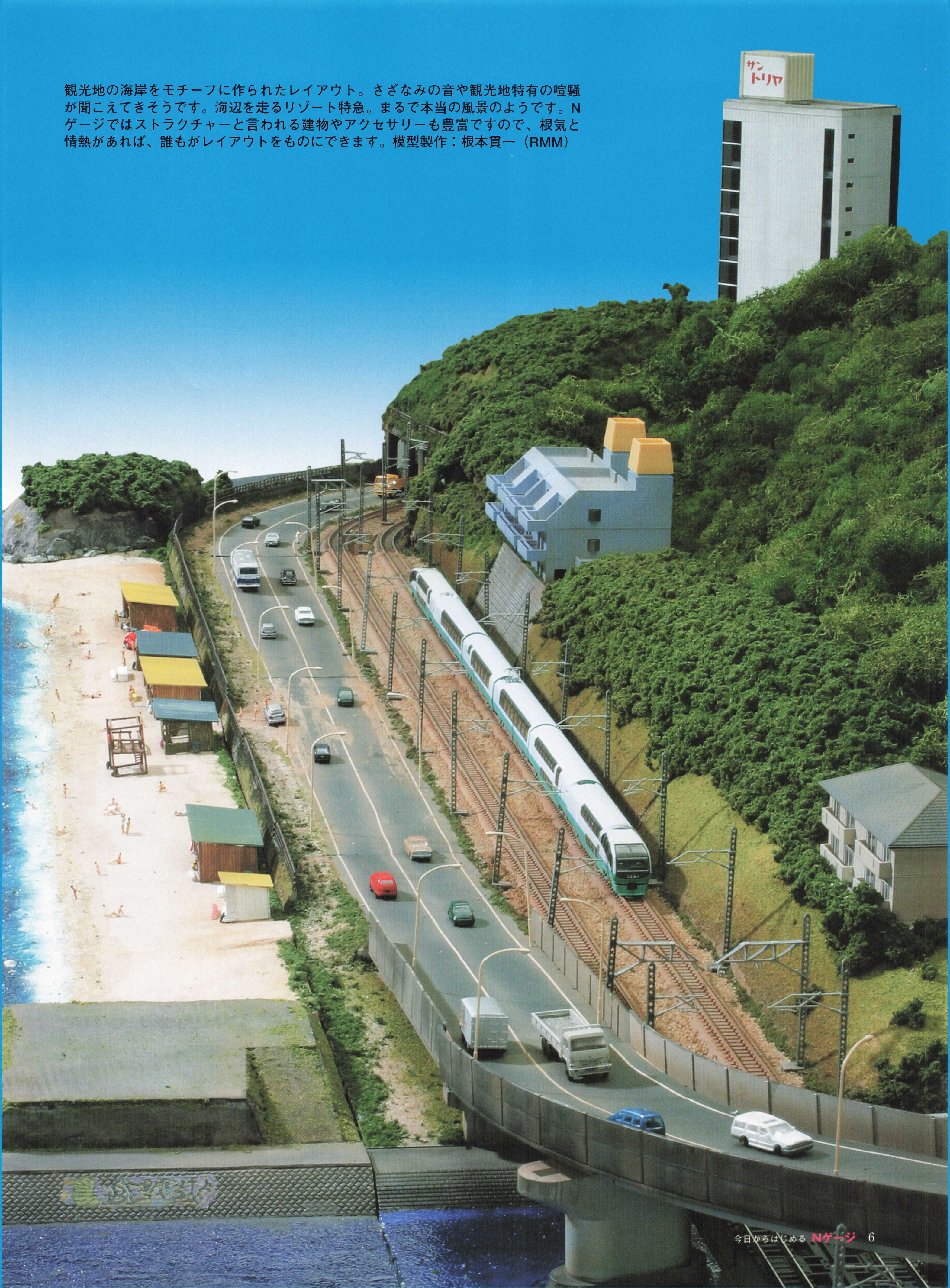
精密

Nゲージ鉄道模型は、その小ささゆえにたいへん精密です。蒸気機関車は本物同様ロッドが動き、振り子電車はカーブに差し掛かると車体を傾けます。そのあくなきまでの実物へのこだわりは、まさに工芸品。決しておもちゃではありません。



見た目だけでなく、サウンド機能も付加できます。リズミカルな走行音を聞きながら列車を眺めるのは、なんともいえない楽しさです。(TOMIX製N-S2-CL)

観光地の海岸をモチーフに作られたレイアウト。さざなみの音や観光地特有の喧騒が聞こえてきそうです。海辺を走るリゾート特急。まるで本当の風景のようです。Nゲージではストラクチャーと言われる建物やアクセサリーも豊富ですので、根気と情熱があれば、誰もがレイアウトをものにできます。模型製作：根本貫一（RMM）





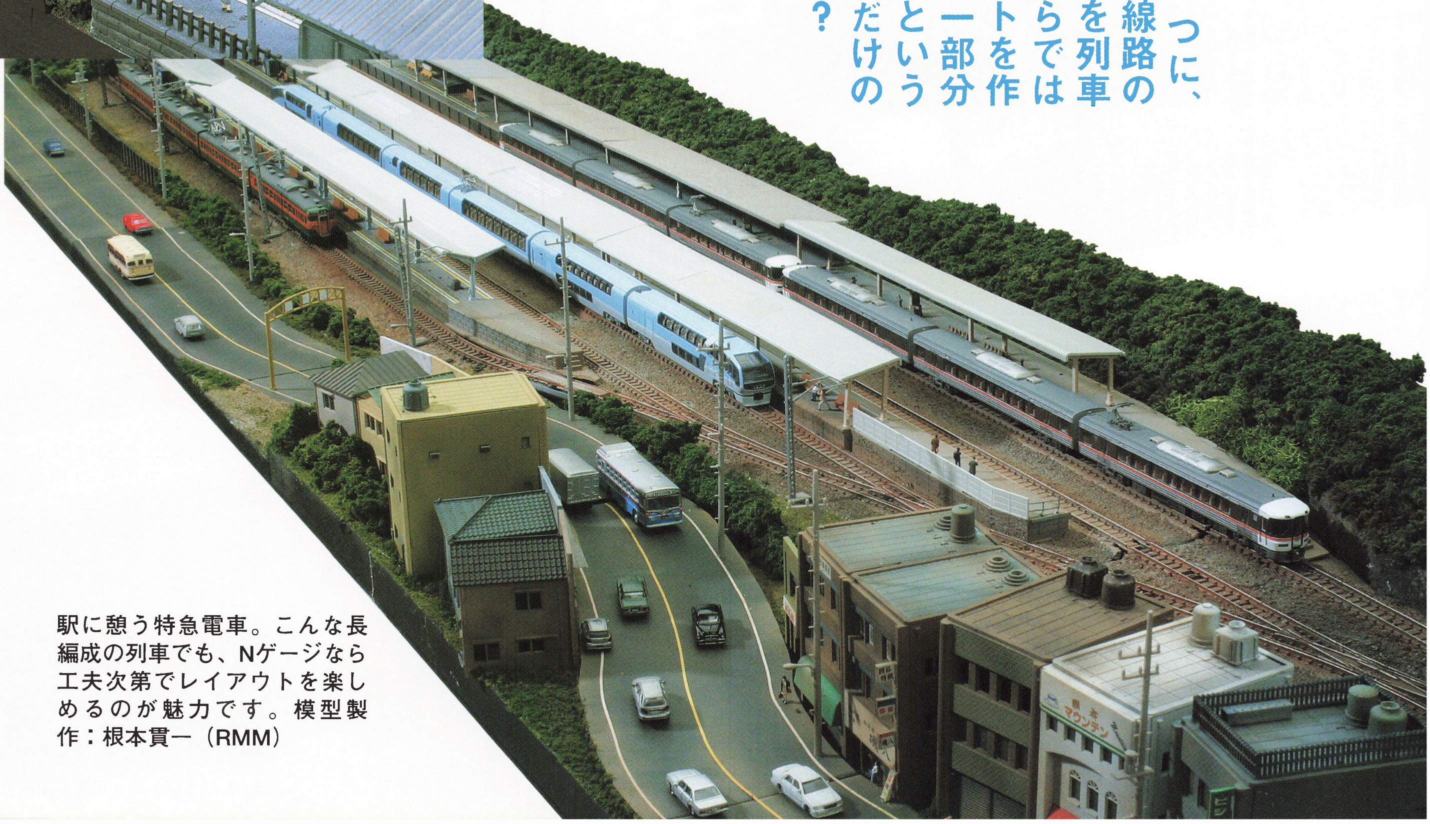
実在の鉄道をアレンジして再現するのも楽しみ方のひとつ。これは江ノ島電鉄をイメージしたレイアウトです。詳細は50ページから。模型製作：DDF

情景

鉄道模型の楽しみの一つに、レイアウトがあります。線路の脇に情景を作り、その中を列車が通過する。鉄道模型ならではの楽しみです。レイアウトを作るスペースがなければ、一部分だけを作る「ジオラマ」という手段もあります。あなただけの風景を創ってみませんか？



人形などのアクセサリーは、レイアウトにドラマを作ります。



駅に憩う特急電車。こんな長編成の列車でも、Nゲージなら工夫次第でレイアウトを楽しめるのが魅力です。模型製作：根本貫一（RMM）



目線をぐっと近付ければ、もうそこは別世界。自分だけの素敵な空間に入ることができます。



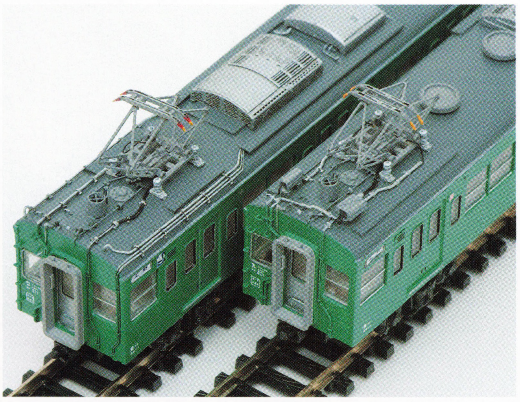
狭いスペースでも楽しめる、風景の一部を切り取ったジオラマ。線路をつないで列車を走らせてもいいし、展示用と割り切るのもいいでしょう。東海道本線根府川駅のジオラマ。模型製作：DDF



Nゲージで比較的メジャーなのが、このプラキット。プラモデルと要領は変わりませんが、鉄道模型では必ずしも設計図どおり作る必要はありません。自分の感性を生かして、自分だけの車両を作ります。写真は月刊『RM MODELS』100号付属キットの製作例。模型製作：葉賀敏明



キットを組み立てたDD14。資料を集め、できる限り本物に近づけた力作です。模型製作：工藤　力　写真：羽田　洋

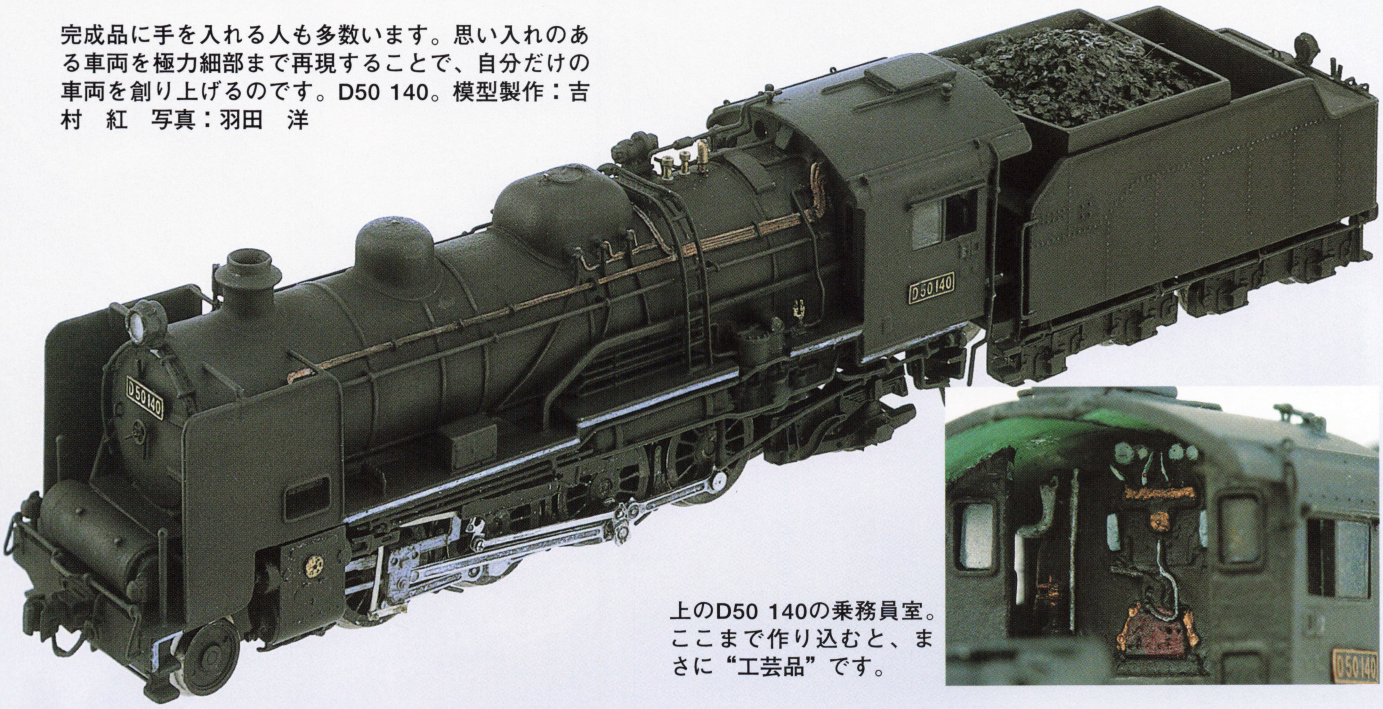


屋上の配管や窓廻りなど、納得いくまでとことん作り込んだ車両（常磐線103系）は、まさに工芸品の域に達しています。模型製作：牛久保孝一　写真：羽田　洋

創る

自分だけの車両を持つことは至上の喜びです。思い出の車両をよりリアルに、より実感的に、そしてある特定の時代の仕様に合わせたりなど、手を入れる余地はたくさんあります。また、現実には存在しない、自分でデザインした「フリーランス」と言われるジャンルもあります。工作内容も、塗装やパーツの追加から切り継ぎ加工と呼ばれる難度の高いものまで、さまざまです。まさに一生をかけるに値する趣味と言えます。

完成品に手を入れる人も多数います。思い入れのある車両を極力細部まで再現することで、自分だけの車両を創り上げるのです。D50 140。模型製作：吉村　紅　写真：羽田　洋



上のD50 140の乗務員室。ここまで作り込むと、まさに“工芸品”です。



キットメーカーのグリーンマックスが主催する「リアルモデルコンベンション」の力作の数々。本物そっくりに作る流れとは別に、自ら車両をデザインする「フリーランス」というジャンルもあります。

活動

趣味は、仲間がいると俄然楽しくなります。お互いの車両を持ち寄ってレイアウトを走らせる運転会、おのおのが小さなレイアウトを作り、それをつなぎ合わせるモジュールレイアウトなど、楽しみ方はいろいろです。鉄道模型に関連するイベントも、毎年何回か行なわれます。ここでは新製品の発表はもちろん、さまざまな人たちの楽しみ方を見ることができます。Nゲージ以外の鉄道模型にも触れられますので、趣味の幅もぐんと広がることは間違いなしです。

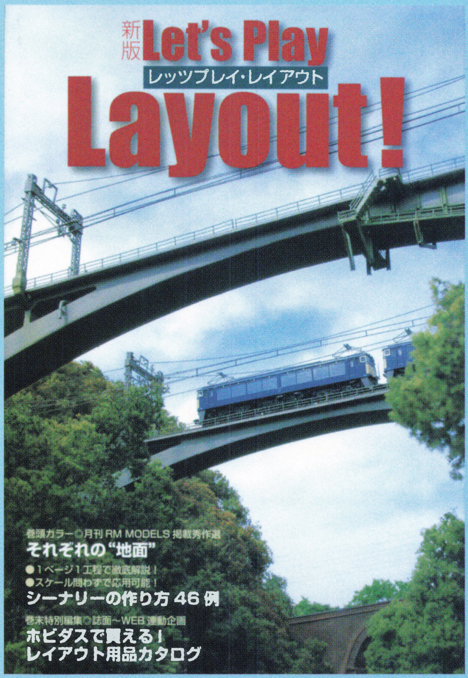


小さなモジュールと呼ばれるレイアウトを持ち寄り、それを組み合わせて運転する運転会は、同好の志が集まるイベントです。写真はJAMコンベンションでの「路面モジュール」運転会風景。





メーカーや団体が主催する模型ショーでは、新製品の展示・実演（上）や、さまざまなイベント（右）が行なわれます。ショウによってはショウ限定品の発売もあり、これらを集めている人は決して少なくありません。



鉄道模型を愉しむ
自分サイズのレイアウトを実現しよう！

数々のレイアウトやジオラマの作品紹介と共に、「地面」工作に不可欠な基本工作テクニック集を収録し、版を重ねて来た定番本『レッツプレイ・レイアウト！』の改訂版です。碓氷峠や中越地方鉄道軽便軌道線など、懐かしい情景を再現しました。巻末には趣味の総合サイト"ホビダス"ですぐに買えるレイアウト用品カタログを収録しています。

CONTENTS

●巻頭カラー

月刊 RM MODELS　掲載秀作選
それぞれの"地面"

1 ページ 1 工程で徹底解説！
スケール問わずで応用可能！
シーナリーの作り方 46 例

●巻末特別編集

誌面〜 WEB 連動企画
ホビダスで買える！
レイアウト用品カタログ

好評発売中

新版 Let's Play Layout! レッツプレイ・レイアウト

NEKO PUBLISHING CO.,LTD.　定価 1,500 円（税込）　ホビダス 51635189

スタートセットからレイアウトまで Nゲージの本当に知りたかったこと、Q & A でなんでも解決！！

●カラーグラフ ／ 広く限りなく深い N ゲージワールド
●超入門編 Q&A ／・N ゲージのできるまで　・N ゲージの辿った軌跡
●スタート編 Q&A ／・スタートセットから始めよう！　・レールクリーニングとメンテナンス
●車輌編 Q&A ／・徹底解剖！ N ゲージのメカニズム　・車輌のクリーニングとメンテナンス
・ユーザー取付パーツ、オプションパーツの取付方
●キット編 Q&A ／ 気軽にチャレンジ！　グリーンマックスの塗装済一体キット
●レイアウト編 Q&A ／・超保存版　徹底技法解説　実録！ 碑文谷電鉄のできるまで
・ガンケースに「地球の一部」が入ってた
●その他編 Q&A
●ショップ編 Q&A ／・N ゲージ、初めてのお買い物はココで！
鉄道模型店東のメッカ　東京・秋葉原 MAP
鉄道模型店西のメッカ　大阪・日本橋 MAP
・ショップガイド
・全国 N ゲージショップリスト　　and more...



RM MODELS ARCHIVE

Q&A 鉄道模型 N ゲージ超入門

好評発売中

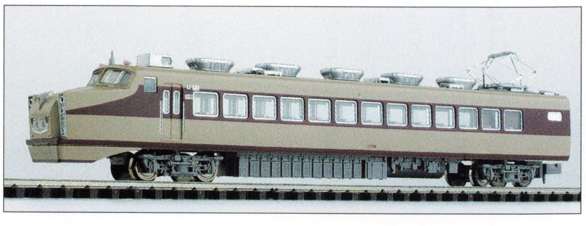
定価 980 円（税込）
ホビダス 51735914

株式会社ネコ・パブリッシング　〒152-8545　東京都目黒区碑文谷 4-21-13　TEL：03-5723-6013（営業部）　URL：http://www.neko.co.jp
ホビダス：http://www.hobidas.com/

Contents
Start!! N Gauge Modeling

改訂新版 今日からはじめるNゲージ





はじめに…Nゲージ鉄道模型って何？

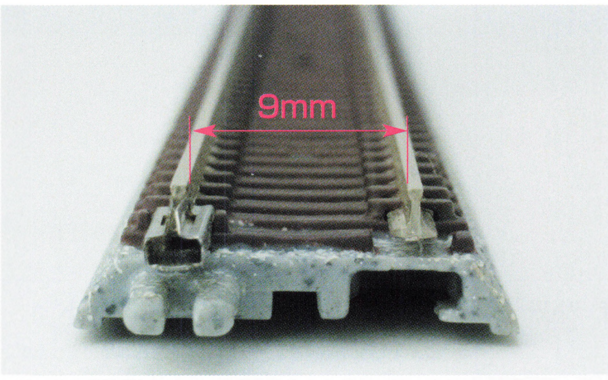
鉄道模型というのは字からなんとなく想像できるけど、Nゲージってなんなの？という人も多いと思います。奥の深い鉄道模型という趣味、最初の一歩でつまづかないように、まずはNゲージがどんなものか、さらっと見てみましょう。ちょっとデリケートなところもありますが、付き合ってみるとなかなか楽しいヤツなんです。

構成・文＝児山 計　写真＝青柳 明（RMM）

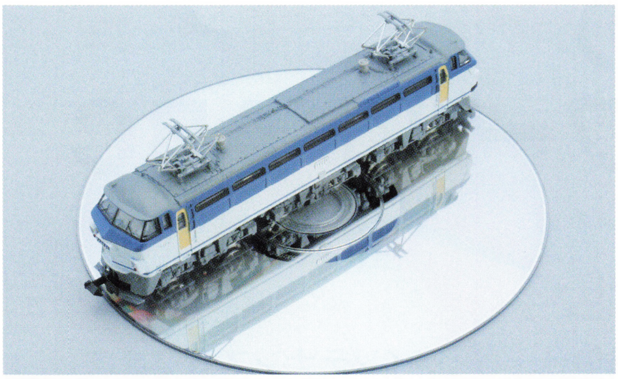
Nゲージとは、鉄道模型の規格を示す用語で、線路幅9ミリの鉄道模型を指します。車両の大きさはおおむね実物を1／150～1／160に縮小しており、JRの電気機関車がおよそ12センチ、つまりCDやDVDの直径とほぼ同じくらいになります。鉄道模型の規格には、この他にも左ページ写真のようなものがあり、日本型の車両において、Nゲージはその中でももっとも小さいカテゴリーに入ります。

小さいからといってバカにはできません。Nゲージにはその小ささを利して、本物と同じ長い列車を比較的容易に再現できるというメリットがあります。たたみ1枚分のスペースがあれば、6両編成くらいの列車でも無理なく走らせられます。また、「レイアウト」といいますが、風景を作り込むにももっとも適したサイズと言われています。そして目を凝らしてみてください。細部まで精密に作り込まれた車両はまるで工芸品のようです。しかもこれが自在に操作できるんですからすごいと思いませんか？

このNゲージはどうやって動くかというと、線路に電気を流し、車輪を介して車内に組み込まれたモーターを回して走ります。その小ささゆえに、機構も車体同様きわめて精密です。したがっておもちゃのような乱暴な扱いに、鉄道模型は耐えられません。そうでなくとも鉄道模型は、細かいところまで本物に似せるようにしているため、雑に扱うとあっという間にぼろぼろとパーツが取れます。特撮映画で怪獣が列車を破壊するシーンを想像していただければ、おおむね間違いではありません。もちろん怪獣はあなた（もしくはあなたのお子さん）です。くれぐれも、扱いは丁寧にしたいところです。



Nゲージは線路幅9ミリ。この基準をみんなが守っているから、世界中のNゲージ車両が、メーカーを問わず同じ線路を走れます。

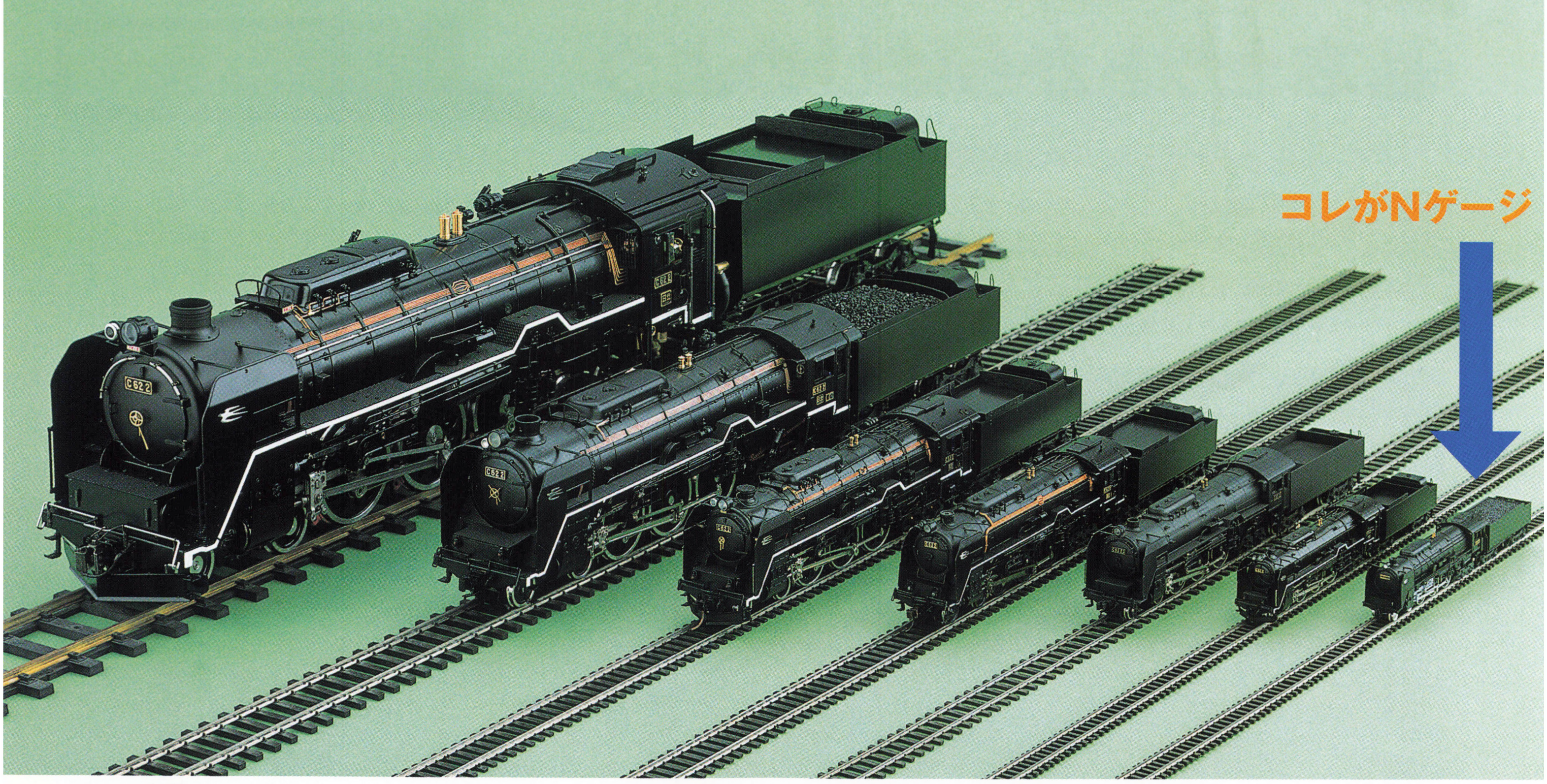


機関車の長さはCD／DVDの直径とほぼ同じ12センチ。なりは小さくても精密な作りこみが、えもいわれぬ迫力を現しています。



精密な車両に情景を組み合わせたレイアウト。Nゲージならその敷居も低い。

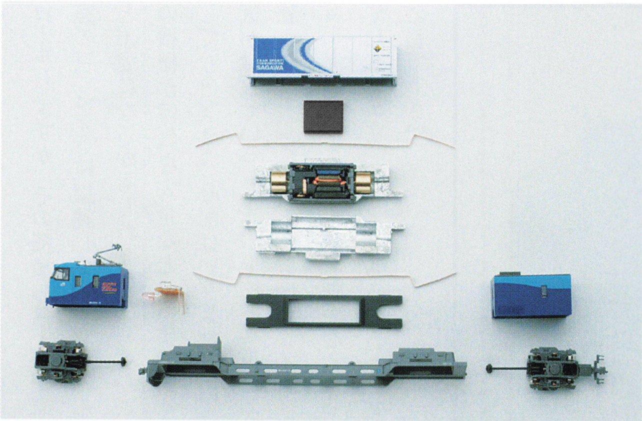
左から、1番ゲージ（1／30）、零番ゲージ（1／45）、Sゲージ（1／64）、16番ゲージ（1／80）、12mmゲージ（1／87）、TT9ゲージ（1／120）、Nゲージ（1／150）のC62形蒸気機関車模型。



さて、鉄道模型は電気で動くわけですが、この電気は家庭用の交流100ボルトをパワーパックという電源で直流電流に変換し、線路に送り込みます。つまり、鉄道模型を始めるには、パワーパック、線路、そして車両の3つが最低必要になるわけです。もちろん別々に買ってもかまいませんが、一切合財がセットになったスタートセットという、とても便利なものもあります。スタートセットは入門者が戸惑わないよう、詳細な説明書が付いていますので、こういったセットを利用しない手はありません。ただし、どうしてもほしい車両があるなら、迷わずほしい車両を買いましょう。食事とちがって、ホビーは「好きなものから集める」ほうが、幸せになれます。

まったくの初心者でも迷わないように、これからNゲージについていろいろと説明していきます。一度に覚えることはありません。遊びながらゆっくり身に付けていきましょう。

それでは、趣味の王様とも言われる鉄道模型を、じっくりとお楽しみ下さいませ。



Nゲージは細かいパーツの集合体。扱いは丁寧に（車両は分解しないでください）。



入門者はまず「スタートセット」から始めるとよいでしょう。

p：TOMIX

Nゲージワールド ABC

基本セットからはじめよう

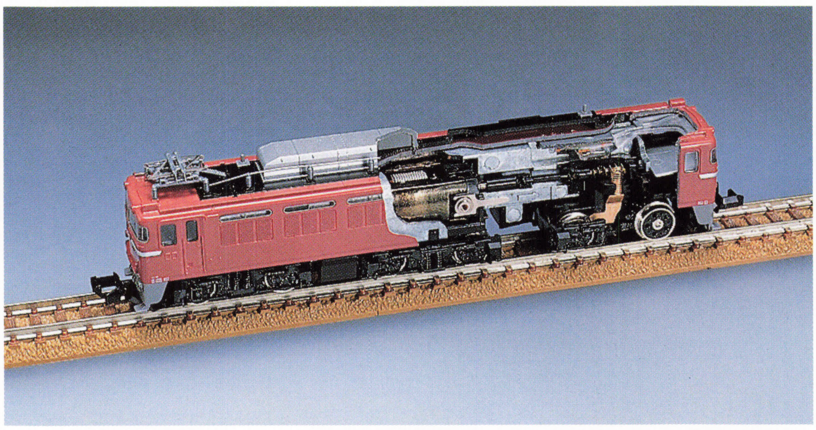
CHECK! でも その前に!!

Nゲージをはじめるなら、TOMIX（トミックス）またはKATO（カトー）の基本セットからスタートするのが、楽しくて簡単です。2つのメーカーのレールを、一緒に使うことはできません。ですから、まず最初にどちらの基本セットからはじめるのか、決めなくてはいけません。両メーカーの基本セットについては後でふれますが、その前にどちらの基本セットにも共通する注意点を述べておくことにします。

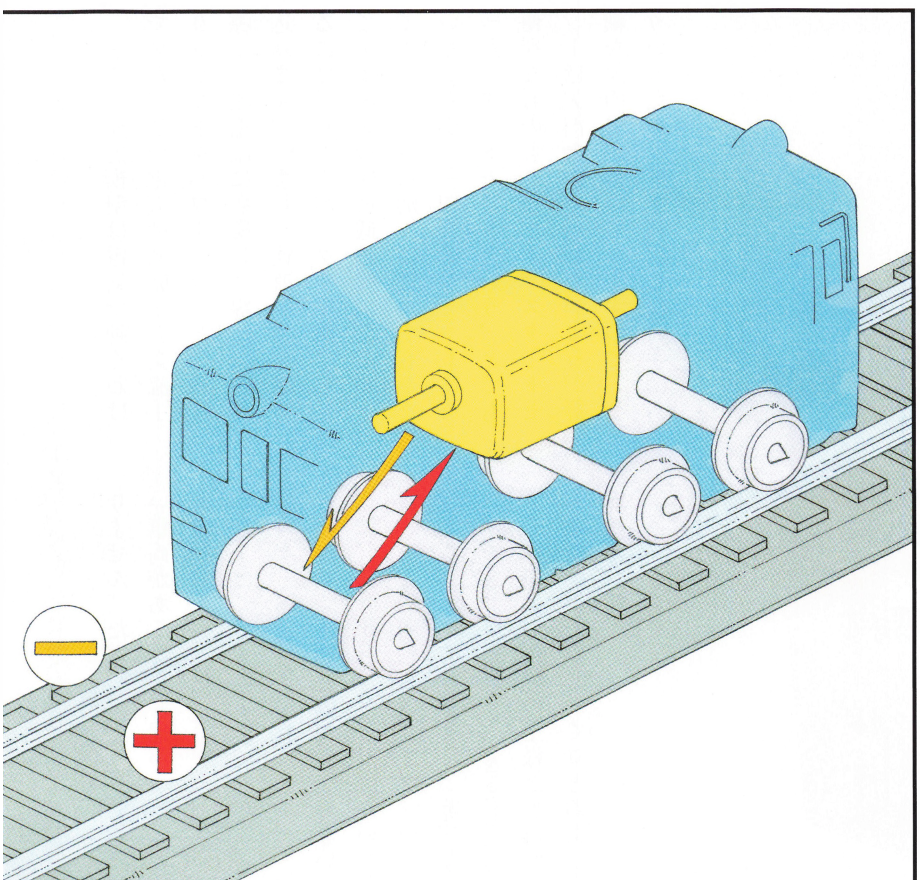
構成・文・イラスト＝江頭 剛　写真（特記以外）＝青柳 明（RMM）

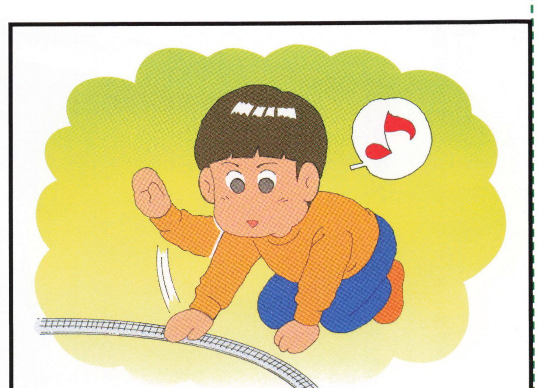
Nゲージの車両が走るしくみ

Nゲージの車両は、電気で動きます。Nゲージのレールの片方には＋（プラス）、もう片方には－（マイナス）の電流が流れていて、それが車両に内蔵されているモーターを動かして、車両がレールの上を走るのです。レールに流れている電気は微弱なもので、触っても感電したりはしません。「パワーパック」、「パワーユニット」などとメーカーによって、ちょっと名前のちがう制御機器で、車両の動きをコントロールしますが、その機械のコードが家庭のコンセントに接続しているのを見ると不安になるかもしれません。でも、この機械が電気を安全なところまで弱くしているのです。心配はいりません。電気が流れているレールの上に、通電する金属のスプーンなどを置くと、電気がショートしてしまい、車両が動かなくなってしまいます。むしろこちらの方を、気にして下さい。



▲小さな車体の限られた空間の中に、モーターやギアが巧妙に組み込まれています。写真はTOMIXのEF81形電気機関車のカットモデル。　P：TOMIX

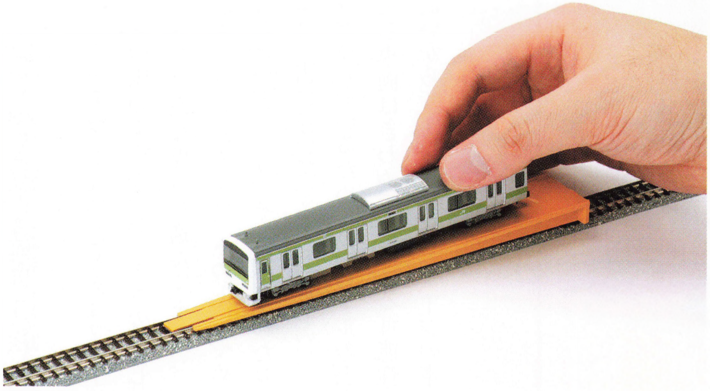


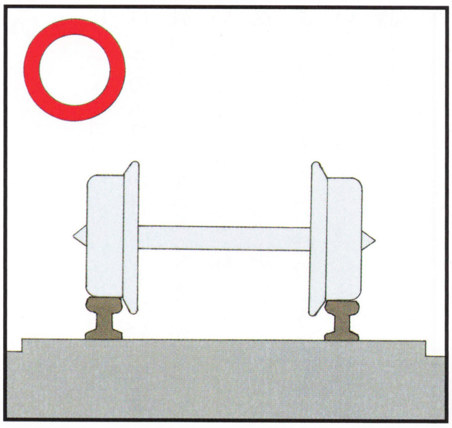


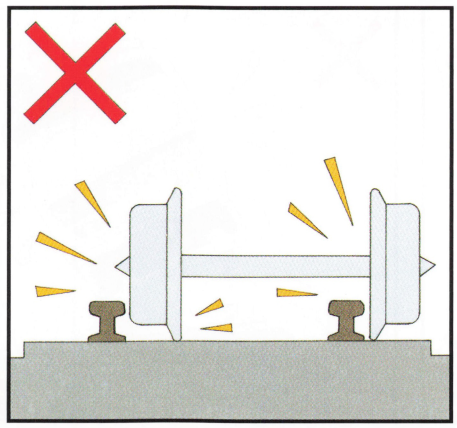
レールに触れても感電はしません。

車両はレールの上に確実に乗せて下さい

Nゲージの車両の車輪は、確実にレールの上に乗せて下さい。きちんと乗っていないと、それが原因で走っているうちに車両は間違いなく脱線してしまいます。EL（電気機関車）や、SL（蒸気機関車）は、車輪の数も多く、それをちゃんとレールの上に乗せるのは意外と大変です。電車や客車も、2両や3両なら車両を手でレールの上に置くのも苦にならないでしょうが、8両や10両となれば面倒な上に時間もかかります。そこで便利なのがリレーラーです。リレーラーをレールの上にセットして、車両をリレーラーの上へ置いて、静かにレールに移動させるだけでよいのです。このリレーラーは、車両付きの基本セットであれば必ず付属していますし、リレーラーだけでも別売されています。

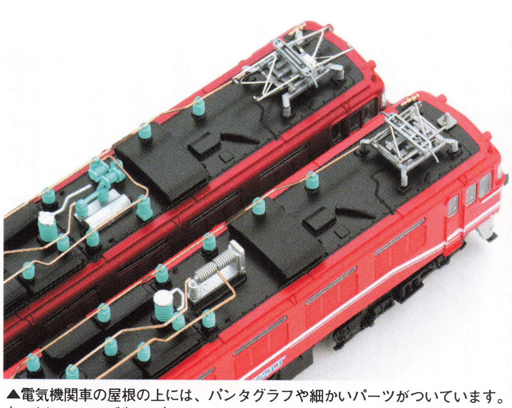

▲レールの上に車両を乗せるには、リレーラーを使うのが簡単です。

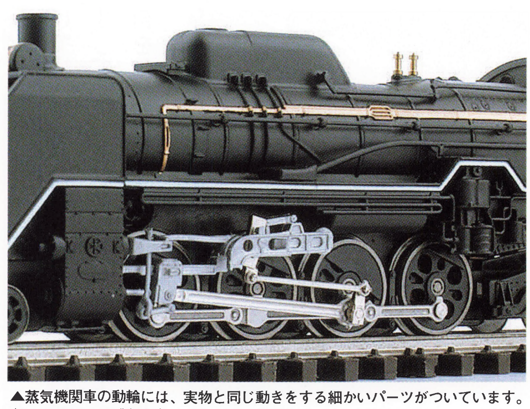




Nゲージの車両は大切に扱って下さい

本物の車両を可能な限り、正確に模型化しているNゲージの車両は、とても精密で実感的です。繊細なパーツを巧みに使って表現していますが、そういう車両を乱暴に扱えば、パーツが取れたり折れたりして、精密な模型が台無しになってしまいます。Nゲージの車両自体は相応の強度があり、普通に走らせている分には簡単には壊れません。ですが、ひどい脱線をさせたり、固い床の上に落とすなど、大きなダメージを与えれば、繊細なパーツだけでなく、車両のどこかがこわれるのは当たり前のことです。また、車両を長時間連続して走らせることは、車両のためによいことではありません。同じ車両を長時間走らせる時には、途中で十分に休息させなくてはいけません。高速で走らせるのも禁物です。車両に組み込まれたモーターに、負担をかけない運転を心がけて下さい。Nゲージの車両は、大切にすればするだけ長持ちします。


▲電気機関車の屋根の上には、パンタグラフや細かいパーツがついています。（マイクロエース製ED76）

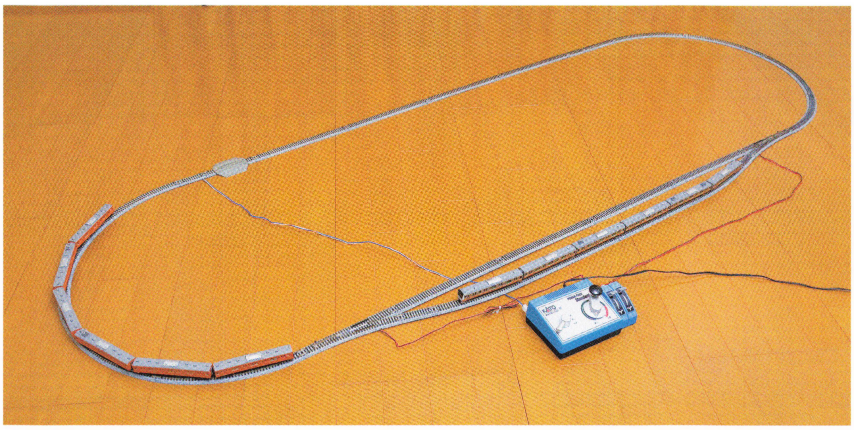

▲蒸気機関車の動輪には、実物と同じ動きをする細かいパーツがついています。（マイクロエース製D51）

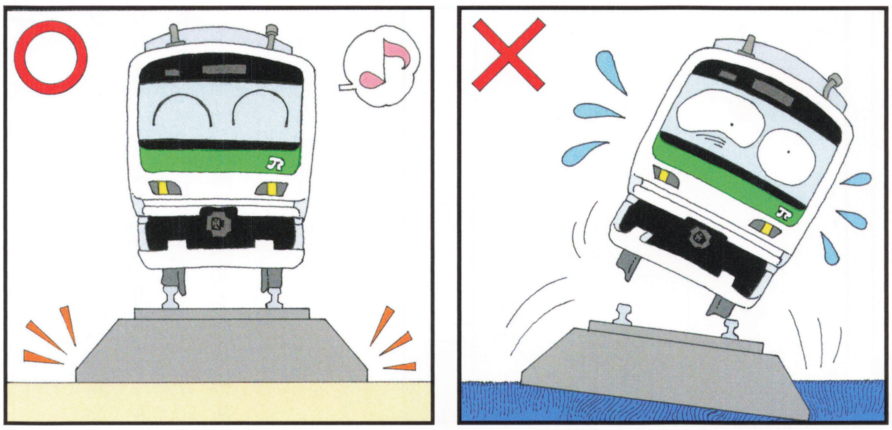


落とすとこわれることもあります。

レールを敷く場所は選んで下さい

レールを敷くのは、たとえばフローリングの床のような、レールを安定して置ける平坦な場所を選んで下さい。ふわふわとしたカーペットの上はやめた方がいいでしょう。そこへ敷かれたレールは、宙に浮いているようなもので、グラグラしているため、そのレールの上を走る車両はきわめて脱線する可能性が高いからです。それに、Nゲージの車両にとってホコリは大敵。カーペットの上は、そのホコリが付着しやすいのです。畳の上は、レールを敷く条件がまだよいのですが、畳の縁と縁のところは注意して下さい。そこへ置かれたレールは、よく見ると不安定な橋のようになっていることがあります。これも、脱線を誘発します。

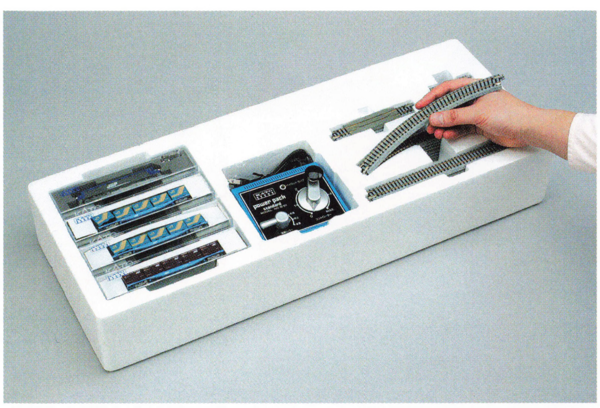




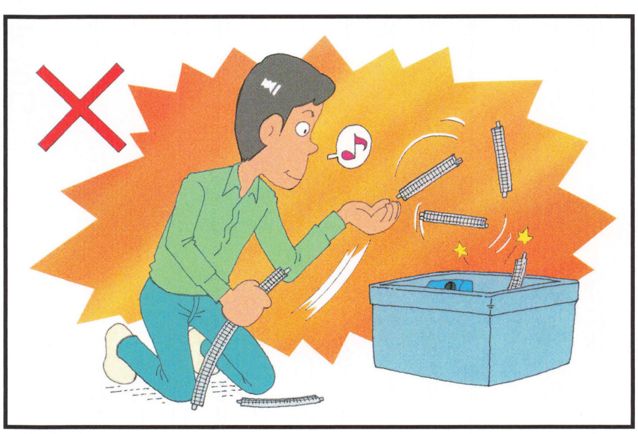
レールは平らなところに敷きましょう！

後片付けに注意して下さい

ほとんどの人は、Nゲージの運転を楽しんだ後は、敷いたレールを片付けしなければならないと思います。そのままにしておいても大丈夫という人は、そうはいないでしょう。レールを敷くのは、誰もが気分も軽くできるものですが、片付けるとなると一転して気が重いものです。早く終わらせたいから、どうしてもレールなどをぞんざいに扱ってしまいやすい。荒っぽい後片付けで、レールが痛んでしまうこともありますし、無造作にまとめて放置しておくだけでは、ホコリだらけになってしまいます。そこで、最初のうちは基本セットの箱を収納箱として活用するのです。基本セットの箱は大きく、中身を取り出してしまえば、邪魔で仕方がないものですが、納めるところに納めないと、うまく片付かない箱ですから、面倒でもやってしまえば、結果としてソツなく収納できるわけです。でもこれはあくまでも最初のうちだけの、一時的な方法です。基本セットに次々とレールを継ぎ足し始めたら、もう使えません。早々に、自分自身で出し入れが容易で、ホコリを防ぐことができる収納方法を工夫しなければなりません。百円ショップの収納ケース利用が、手早くていいかもしれません。



▲KATO製入門セットの例。最初のうちは、基本セットの箱を収納ケースとして利用しましょう。





▶各社の0系新幹線製品。メーカーは違っても同じレールを走れます。

レールのメーカーは違っても車両は運転できます

TOMIXのレールで、KATOの車両を走らせることはできます。逆にKATOのレールで、TOMIXの車両を走らせることもできます。どちらのメーカーのレールであっても、Nゲージの規格で作られた車両なら、メーカーを問わず、運転して楽しむことができるのです。Nゲージの車両を製作しているメーカーは、TOMIXとKATOの他では、グリーンマックス(GMと略称されることが多い)やマイクロエース、モデモというメーカーが有名です。自分の欲しい車両を買う前には、その情報を集めるので、買い物のミスはしないと思いますが、模型店のショーウインドウに並べられた車両の中には、キットといって自分で組み立てなければならない車両があります。模型店で目にして欲しくなった車両が、キットということがあるかもしれません。初心者には手に負えないキットがあるので、素性の分からない車両は店員に聞いてみることです。模型店によっては、製作費が加わり、割高になっているのが普通ですが、キットの完成品を販売しているところもあります。

基本セットを買う時にはカタログも一緒に

Nゲージの主なメーカーからは、カタログが発売されています。Nゲージの基本セットを買う時には、TOMIX、KATOに、グリーンマックスのカタログを加えて、できれば3冊まとめて購入してください。車両やレール以外に、Nゲージに関係する製品にはどういうものがあるのか、一目瞭然です。基本セットを選ぶのに迷っているなら、TOMIXとKATOのカタログを先に買って、判断の材料にするとよいでしょう。これは手堅い方法です。カタログの値段は、2千円近くと高価な気がすると思いますが、新しいカタログが発売されて古くなっても、資料になるように作られています。ここが、他の一般的な商品カタログとは違います。また、TOMIXとKATOからは、自社の広報誌が定期的に発売されていて、新製品の詳しい情報を知ることができます。そして、Nゲージのメーカーの多くには、ホームページがありますから、チェックしてみるといいでしょう。



▲KATO製品のカタログ。

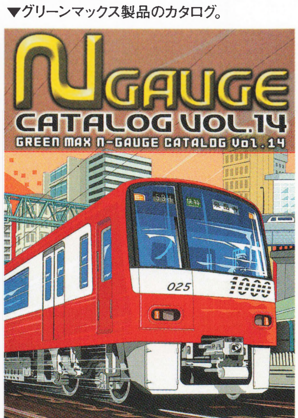


▲TOMIX製品のカタログ。

▼マイクロエース製品のカタログ。



▼グリーンマックス製品のカタログ。



基本セットからはじめよう《TOMIX編》

TOMIXは、車両をはじめ、制御機器、建物やアクセサリーなど鉄道模型を総合的に楽しめるよう、多くの製品が出されています。もちろんレール関連の製品も非常に豊富です。TOMIXのレールは「ファイントラック」と呼ばれ、見た目が緻密で、扱いやすさを追求していることが特徴です。もちろん初心者にも使いやすく、ベーシックセットから大きく展開させていくことができます。



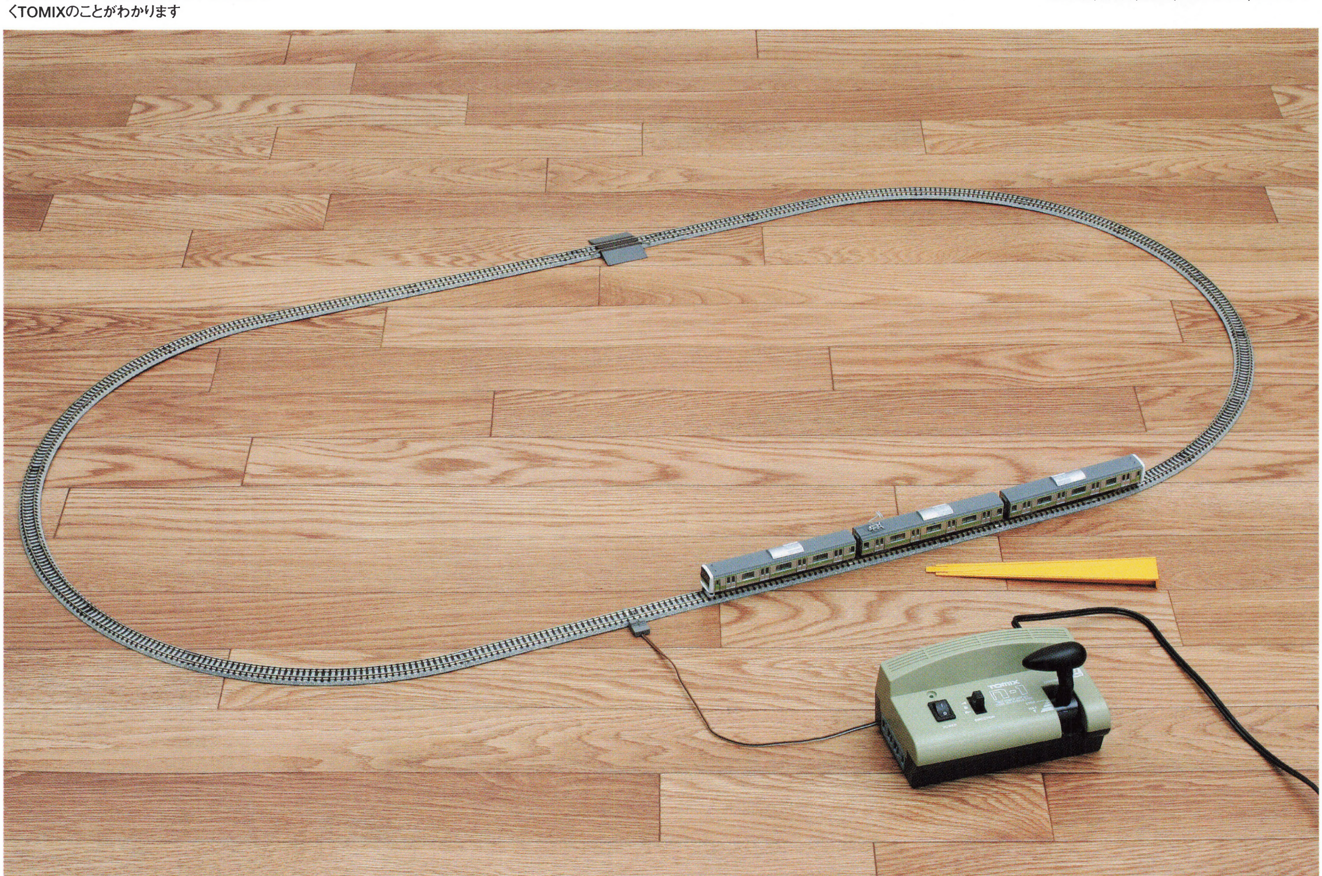
▲基本セットの取扱説明書は、もっと詳しくTOMIXのことがわかります

TOMIXの基本セットで、Nゲージを始めるのに最適なのが、ベーシックセットです。SDとEXの2タイプがあり、SDは付属している3両の車種が違う何種類かのセットから、好きな車種を選びます。車両以外のセット内容として、リレーラーレールが付くか付かないかの差はありますが、レールやパワーユニットなどは同じです。SDの値段は、その付属している車両によって変わります。EXはまだ種類は少ないですが、基本セットの豪華版で、内容も充実しており、敷いたレールはSDのそれよりも大きくなります。予算に余裕があって、車両にこだわらないならこのEXがお勧めです。



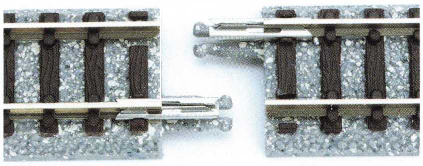
P:TOMIX

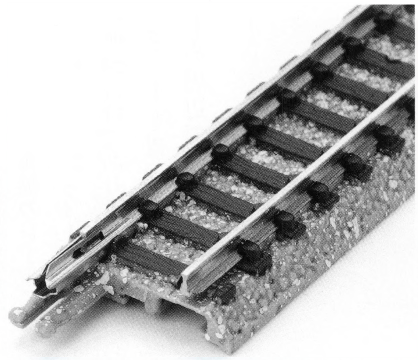
▲TOMIXのベーシックセットの一例。
SDブルートレインII（15,750円）と
SD九州新幹線800系つばめ（16,800円）。

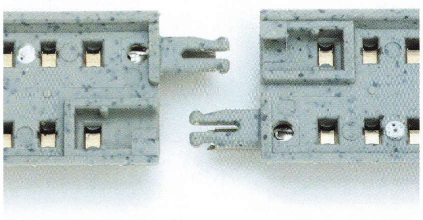

▲ベーシックセットSD山手線の、レールを敷いた状態です。レールの線型が楕円型ですが小判型と呼ばれます。レールを敷いた形の基本型でもあります。

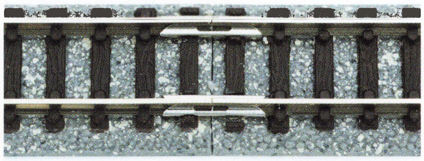
レールのつなぎ方

2本のレールの片方の先端に、突き出ているのがジョイナーというものです。レールを固定している台が道床と呼ばれるもので、その道床の端にもちょうどジョイナーの下に、同様に突き出している部分がありますが、これがガイドです。レールをつなぐ時には、このジョイナーとガイドが、相手のレールにきれいに組み合うようにします。レールを水平に動かしてつなぎますが、慣れないうちは、ちょっと手こずるかもしれません。レール同士がぴったりとつながっていないと、そこで車輪がレールから外れて脱線することもありますから、ていねいに作業して下さい。何度かやっていれば手際よくなるものです。最初から素早くできるものではありません。


▲レール同士を水平にして、つなぎます。


▲左側のレールの端についているのがジョイナーで、その下に見えるのがガイドです。

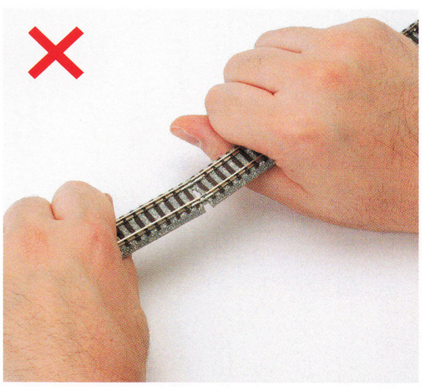

▲道床の裏側の、ガイドがはめこまれる部分です。

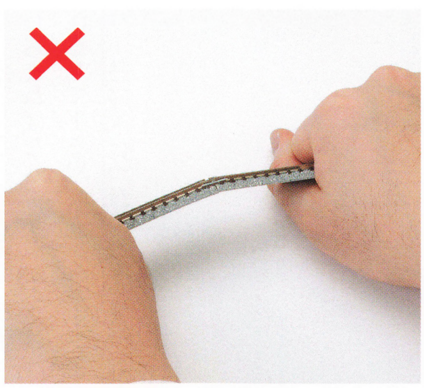

▲レールとレールが、ピッタリとつながっていればOKです。

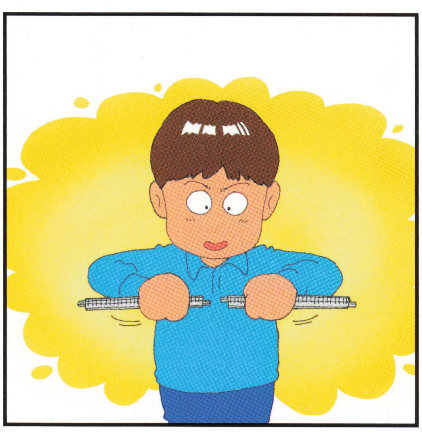
レールのはずし方

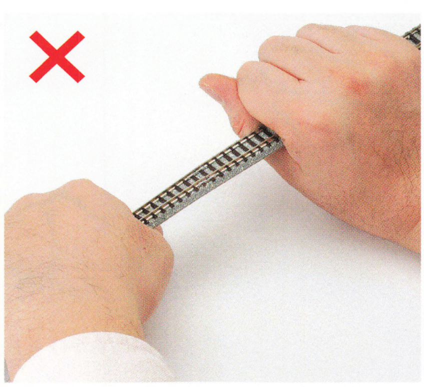
注意してほしいのは、レールをつなぐ時よりも外す時です。楽に外れる時はまず問題は起こりませんが、ちょっと力がいるようなときが危ない。レールを外す時も、レールを水平に動かすのがセオリーですが、レールがずれにくくて、つい力が入るとレールを折るような格好になっていたり、ねじるように外そうとしていることがあるのです。

そういう取り外し方をすると、レールのジョイナーが変形したりして、次にジョイナーをつなぐ時に支障が出ることがあります。ジョイナーは交換することもできますが、ガイドを折ってしまったら万事休すです。レールを外すのに手こずっている時は、自分の作業の様子を点検してみて下さい。


▲レールを、下へ引くように抜いてはいけません。ジョイナーやガイドが痛みます。

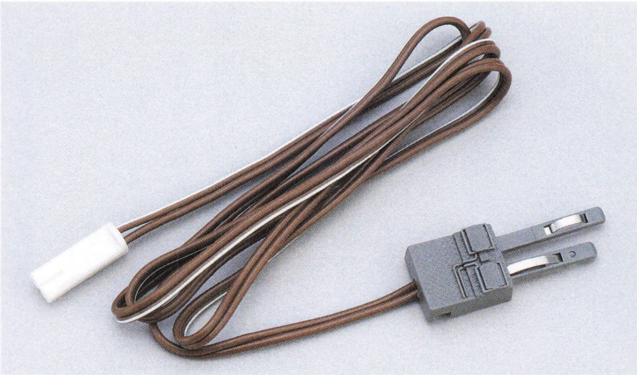

▲レールを、上に引くように抜いてはいけません。無意識にこうやってレールを外そうとしていませんか？

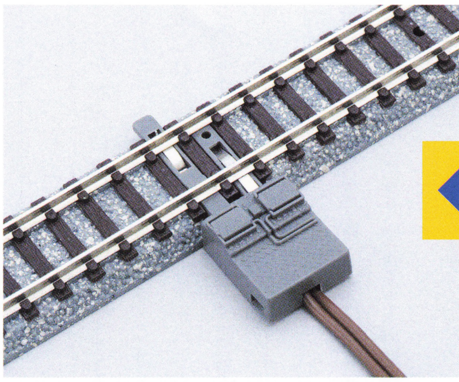


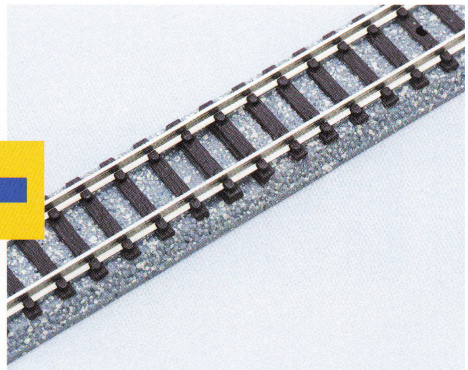

▲レールを力まかせに外そうとすると、ねじるような動きになることがあります。

D.C.フィーダーをレールにつなぐ

レールを敷いたらD.C.フィーダーを取り付けます。D.C.フィーダーはパワーユニットからレールへ電気を送ります。D.C.フィーダーの片方の端には白い端子が付いていて、これをパワーユニットに接続します。もう片方の端子の、先端に金属板が見える側を、レールの下に差し込みます。差し込むところは、レールの下が溝のようになっていて、TOMIXの直線や曲線のレールには、どのレールにもD.C.フィーダーを差し込む場所が設けてあります。ですから、パワーユニットを置いて運転する位置が、レールの周辺であれば比較的自由に決められるのです。ただし、D.C.フィーダーを差し込むのは、小判型に敷いたレールなら、外周側からにします。小判型の内側では、D.C.フィーダーの上をレールがまたぐことになり、レールの安定性が悪くなるからです。そうならないようにつないで下さい。


▲D.C.フィーダーコード。D.C.とは模型を動かす直流電気のこと。左側のコードの端をパワーユニットに、右側をレールの下に差し込みます。

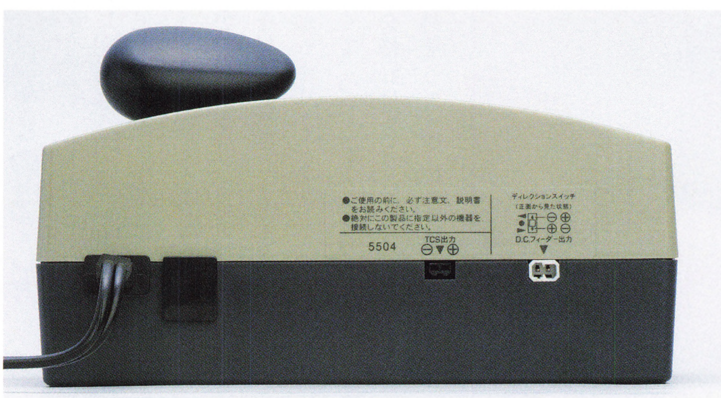

▲D.C.フィーダーを取り付けた状態です。金属の板がレールの裏側に接していないと電気が流れません。


▲レールの下の枕木と枕木の間が、溝になっている部分があります。ここへ差し込むのです。

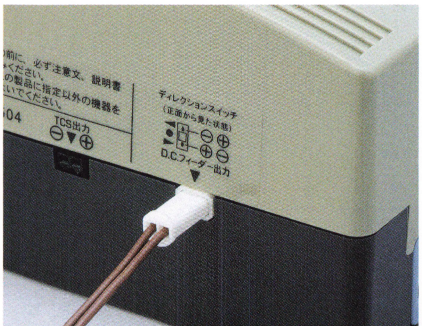
D.C.フィーダーをパワーユニットにつなぐ

D.C.フィーダーの端子を、パワーユニットに接続する場所は、パワーユニットによって違いがあります。その場所は取扱説明書に分かりやすく指示されていますし、パワーユニットの端面を見ても分かるようになっています。D.C.フィーダーの端子の色と同じ色の差し込み口に接続すればよいのです。端子は、パワーユニットに決まった向きで差し込まねばなりませんから、これには注意して下さい。D.C.フィーダーをパワーユニットにつなぐのも、外すのもこの端子を持ってやって下さい。コードを引っぱって、パワーユニットから抜いてはいけません。

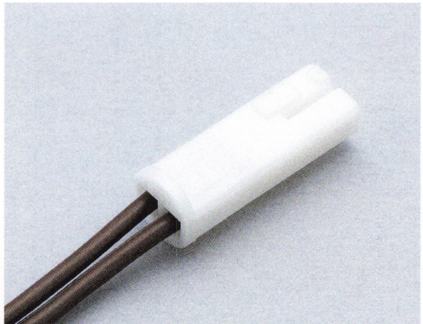
　D.C.フィーダーを、レールとパワーユニットに接続したら、パワーユニットをコンセントにつなぎます。あとは、レールの上に車両を乗せて、パワーユニットの電源を入れるだけです。これで、車両を運転する準備ができました。



▲このパワーユニットN-1は、背面の右端にD.C.フィーダーを接続するコネクターがあります。



▲コネクターに差し込んだ状態です。


▲コネクターに差し込む部分に、Fの文字が見えます。これが、上になっていないといけません。

車両の動かし方

左写真のパワーユニットN―1では、左端に見えるスイッチが電源のスイッチです。その右隣にあるのは、ディレクションスイッチと言って、これで車両の進行方向を決めます。このスイッチは前後に動き、中間にあるときは車両は動きません。レールの上の車両を横から見るとしたら、ディレクションスイッチの操作で車両が右か左に動くわけです。電源とディレクションのスイッチは、どのパワーユニットにも付いています。車両の運転を始める時は、最初に電源のスイッチを入れ、次にディレクションスイッチをとりあえず前か後にセットしてから、タマゴみたいなスピードコントロールハンドルを握り、ゆっくりと動かします。スピードコントロールハンドルの動きに合わせて、車両もゆっくりと動き始めます。車両の進行方向を変えたい時は、車両を停止させてからディレクションスイッチを切り換えます。走行中、急に切り換えてはいけません。パワーユニットN―1は、ハンドル操作で車両のスピードをコントロールしますが、それをダイヤルで行なうパワーユニットもあります。高級なパワーユニットになると、本物の車両と同じ運転操作で車両を走らせるものもあります。

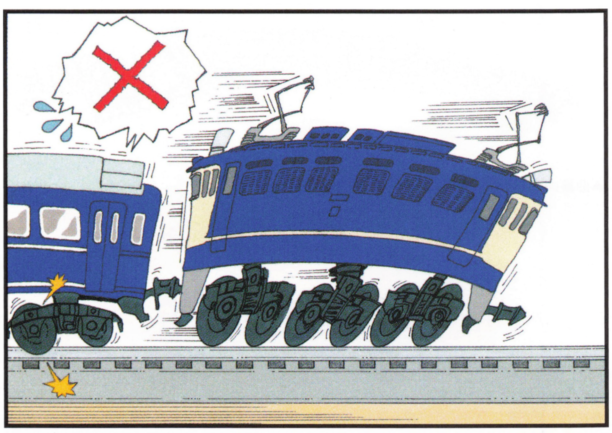


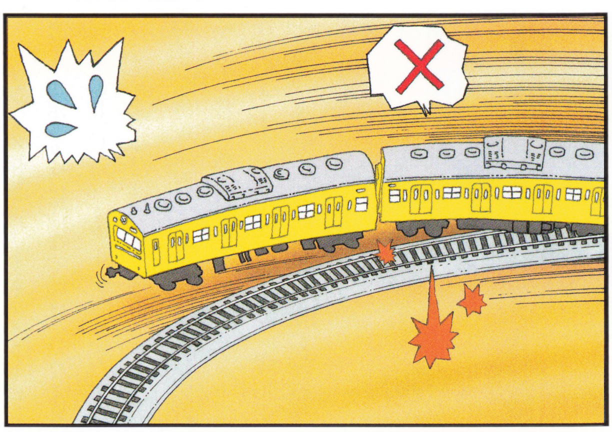
▲パワーユニットN-1の操作面。左から電源スイッチ、ディレクション（前後進）切替スイッチ、スピードコントロールハンドル。


▲ハンドルを手前に引くと車両が動き出し、加速します。

やってはいけない車両の運転操作

Nゲージのレールは、サーキットではありません。車両を猛スピードで走らせるのには不向きですし、やめて下さい。実物の車両の運転には制約があります。Nゲージの運転は実物の車両がお手本ですから、それにならいます。車両を発車させる時に急発進させたり、停める時に急停車させるのは厳禁です。Nゲージの車両は急激な動きが大の苦手で、車両が脱線してしまいます。2両や3両の車両がつながった編成ならある程度は、そんな動きにもついていけるのですが、それ以上の数の車両をつないだ編成は、長くなるほど対応できずに脱線する危険が高くなります。また、車両がカーブを通過するスピードは、直線区間よりも遅くします。車の運転でも、カーブは減速します。それと同じで、Nゲージの運転はそうしないと脱線を招きます。カーブを通り抜けるスピードの限界に挑みたい気持ちがあるかもしれません。それが分からないこともないのですが、派手な脱線をするのは確実で、それだけ車両が受けるダメージも大きいことを忘れないで下さい。Nゲージの車両の大きさは、実物の車両を遠くから眺めた大きさです。そうやって見た時の、実物車両のスピード感を、自分が敷いたレールの走行条件を考えて再現するのがNゲージの運転なのです。

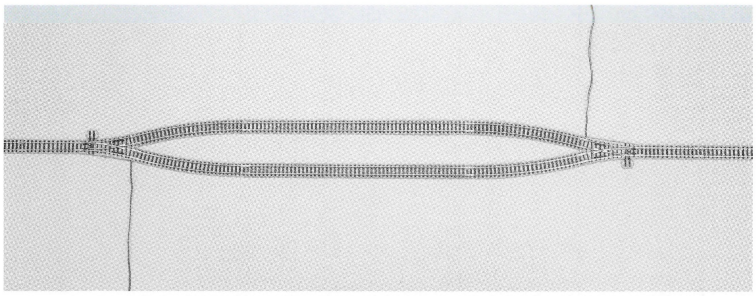

急ブレーキや
スピードの出しすぎは脱線のもと！



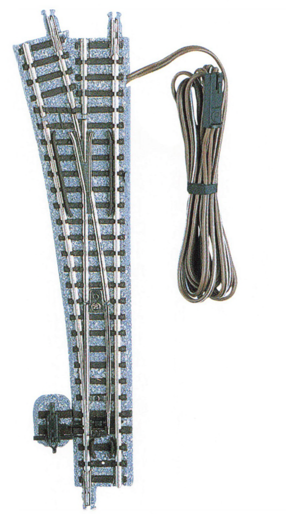
ポイントをセットしてみよう

ポイントというのは、レールの分かれ道です。ベーシックセットでポイントが付いているのはEXだけですが、SDにこのポイントを使うことで、小判型に敷かれたレールの上を、単純にぐるぐると回っているだけだった車両の運転が、一味違ってきます。ポイントで、レールの敷かれた形を変化させることができるからです。ポイントには、レールが右に分かれるものと、左に分かれるものがあり、この2つのタイプが一番よく使われます。同じポイントでも直線レールから分かれるものと、曲線レールから分かれるものがあります。また他にも、アルファベットのXやYの形をしたポイントもあって、それらを利用すると、運転を複雑にして楽しむことができるようになります。ベーシックセットには、次のページで述べるレールセットを利用するのが分かりやすくて確実です。レールセットを有効に活用するために、ポイントについてさらに説明します。

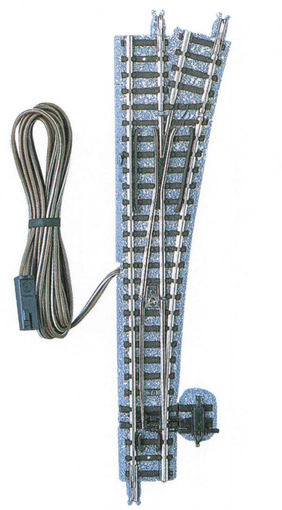
TOMIXのポイントには、手でポイントを切り換える手動式もありますが、ほとんどが電動式です。それを作動させるには、ポイントコントロールボックスが必要です。普通は、ポイント1台にポイントコントロールボックスが1台の組み合わせですが、TOMIXには2台のポイントを1台で同時に切り換えてしまうポイントコントロールボックスもあります。レールセットには、この2つのタイプが、数種類あるセットの内容に合わせて用意されていますが、他にも面倒なポイントの操作を簡単にする製品が別売されています。



▲ポイントが2つあれば、駅でよく見る待避線ができます。写真はレールセット　Y字待避線セット。



▲左側へ分岐するポイント。　P:TOMIX

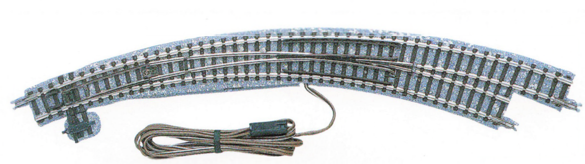


▲右側へ分岐するポイント。　P:TOMIX

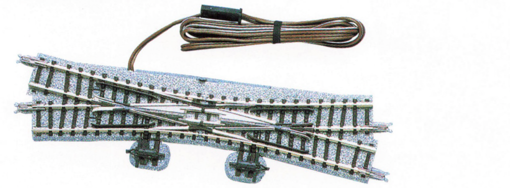


P:TOMIX

▲ポイントコントロールボックスN-S。

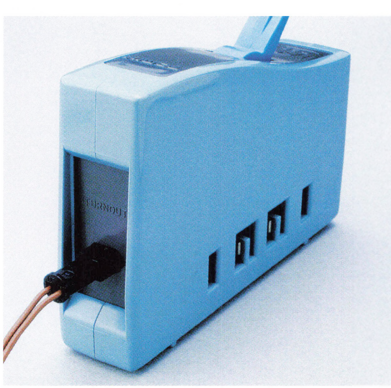


▲曲線レールから分岐するカーブポイント。　P:TOMIX



▲レールが斜めに交差するダブルスリップポイント。　P:TOMIX

ポイントの接続コードをポイントコントロールボックスにつなぐのは、パワーユニットにD.C.フィーダーをつないだように、差し込むだけで完了です。そして、ポイントコントロールボックスをパワーユニットの横に組み付ければ、ポイントは作動します。パワーユニットと一体化するので、運転しながら楽にポイントの切り換えができます。



▲ポイントからのコードを、ポイントコントロールボックスにつないだところです。



▲パワーユニットと一体化したポイントコントロールボックス。

線路をもっと大きく拡張してみよう

手始めに購入した基本セットに、追加することで敷かれたレールの形を変えるだけでなく、運転の面白さを増してくれるセットが各種、TOMIXには用意されています。また、基本セットからNゲージを始めるのにも、他に2つの選択コースがTOMIXにはあります。

※TOMIXでは2008年夏以降、ポイントの改良などを含めたレールセットのモデルチェンジを予定しています。今後モデルチェンジされる商品につきましては、セット名称やパッケージ外観などが変更になる可能性がありますのであらかじめご了承ください。

レールセット

レールを中心にしたセットで、車両もパワーユニットも付いていません。このセットだけを買っても、運転はできません。レールが敷かれた形のことを、TOMIXではレールプランと呼んでいますが、そのレールプランを発展させるためのセットが、このレールセットなのです。ベーシックセットやもうひとつの基本セットであるマイプランに手軽に組み合わせることができ、レールプランは一気に充実します。取扱説明書やカタログで紹介しているレールプランの参考例も、このレールセットを利用することを前提にしています。ベーシックセットやレールセットのレールプランには、アルファベットが振られていて、取扱説明書やカタログの示すアルファベットどおりに組み合わせるだけで、レールプランの参考例と同じものができあがります。そのアルファベットは、パッケージの商品名の下に、「レールパターンA」や、「パターンB」というふうに表示されています。

セット内容

レールセットには、以下のような製品があります。どれも基本セットを延長、発展させるためのレールやポイントだけで構成されています。中には、それだけを基本セットに加えるだけでは不十分なセットもあります。カッコ内は、レールパターンを示すアルファベットです。

引込み線セット(B)
ポイントが手動式です。

待避線セット(B)
ポイントは電動式です。引込み線セットとはポイントが電動式になっているだけの違いで、レールは同じです。

立体交差セット(C)

複線化セット(D)

カーブポイントセット(E)

平面右交差セット(XR)

平面左交差セット(XL)

平面十字交差セット(X)

Y字待避線セット(Y)

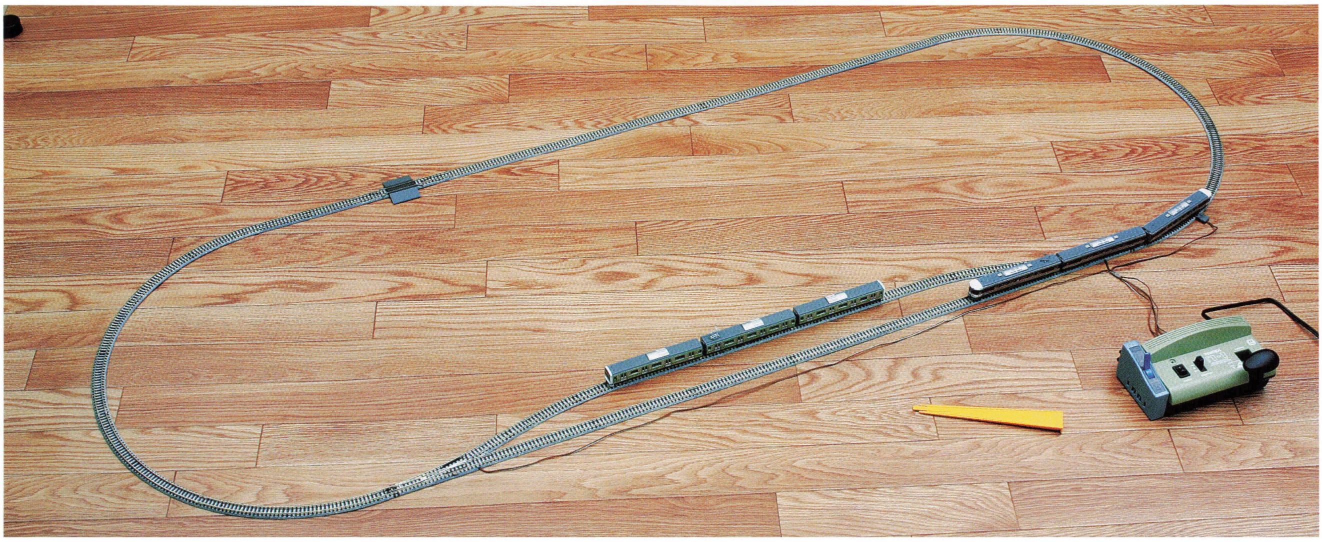


▲Y字ポイントによる待避線が作れるTOMIX製　レールセットY字待避線セット。　P：TOMIX



▲鉄橋を使った立体交差が作れるTOMIX製　レールセット立体交差セット。　P：TOMIX

▼ベーシックセットSD（レールパターンA）に待避線セット（レールパターンB）を組み合わせてみました。



マイプラン

車両が付属していない基本セットです。ベーシックセットに付属している車両がどうしても気に入らないなら、このセットとは別に自分の好きな車両を買えばよいのです。レールセットに似ていますが、パワーユニットが付いているので、車両さえあればすぐに運転が楽しめます。レールプランが違う3つのタイプが発売されています。

製品リスト

わずか3タイプですが、予算と目的にあわせて選べるようになっています。

●マイプランLT(F)
レールパターンA
ベーシックセットSDと同じレールパターンです。

●マイプランNR(F)
レールパターンA+B
ベーシックセットEXと同じレールパターンですが、パワーユニットが違います。

●マイプランDX(F)
レールパターンA+B+C
レールパターンも大きいので、広い場所がいります。レールを組むだけでなく、橋脚の組立作業があります。



▲小判型レイアウトが組める、TOMIX製マイプランLT（F）。　P：TOMIX

高架複線セット

新幹線や、都市とその近郊の通勤線でおなじみなのが高架区間ですが、そのレールセットです。特に新幹線には、ふさわしいレールセットといってよいでしょう。セットには、電化区間の証明である架線柱が付属しています。取り扱いや車両の脱線の修復の時には少し厄介な架線柱ですが、その下を走る電車は、本物みたいで格好良いものです。

製品リスト

●高架複線基本セット
レールパターンHA
レールプランAを、複線化したものと思ってください。

●高架複線駅セット
レールパターンHB
レールとレールの間に、ホームがある高架駅です。

●高架複線立体交差セット
レールパターンHC
レールセットの立体交差セットの複線版と言ってよく、地上から高架区間への上り下りができます。



▲都会の風景や新幹線用に使うTOMIX製高架複線基本セット。　P：TOMIX

高架複線スラブセット

新幹線や大都市の高架駅のホームで、レールの下に砂利がなく、一段高くなったコンクリートの上にレールが敷かれているのを見たことがあると思います。その一段高いコンクリートの台をスラブ道床と言います。このセットはそのスラブ道床の高架区間のレールセットです。新幹線や通勤線を走る車両には、最も似合うレールセットと言ってよいでしょう。

製品リスト

●高架複線スラブ駅セット
レールパターンHB-SL
高架駅のセットで、島式ホームとレールが入っています。

●高架複線スラブ大円セット
レールパターンHD-SL
全線が高架のレールセットです。レールをつないだ形は小判形になります。



▲パッケージの淡いグリーンがセットを選ぶ際の目印です。

（ミニ）鉄道模型運転セット

マイプランLT（F）と同様にレールとパワーユニットだけのセットです。レールをつないだ形も同じ小判形ですが大きさが違い、マイプランLT（F）の半分ほどしかありません。ですから、ローカル線用の小型のディーゼルカーや路面電車のように、車体の長さが短い車両を走らせるのに適しています。新幹線のような車体の長い車両の走行はできません。車両の制約があるレールセットですが、小さなレイアウトを作る楽しみがあります。

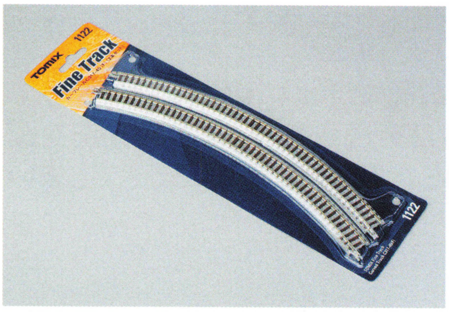


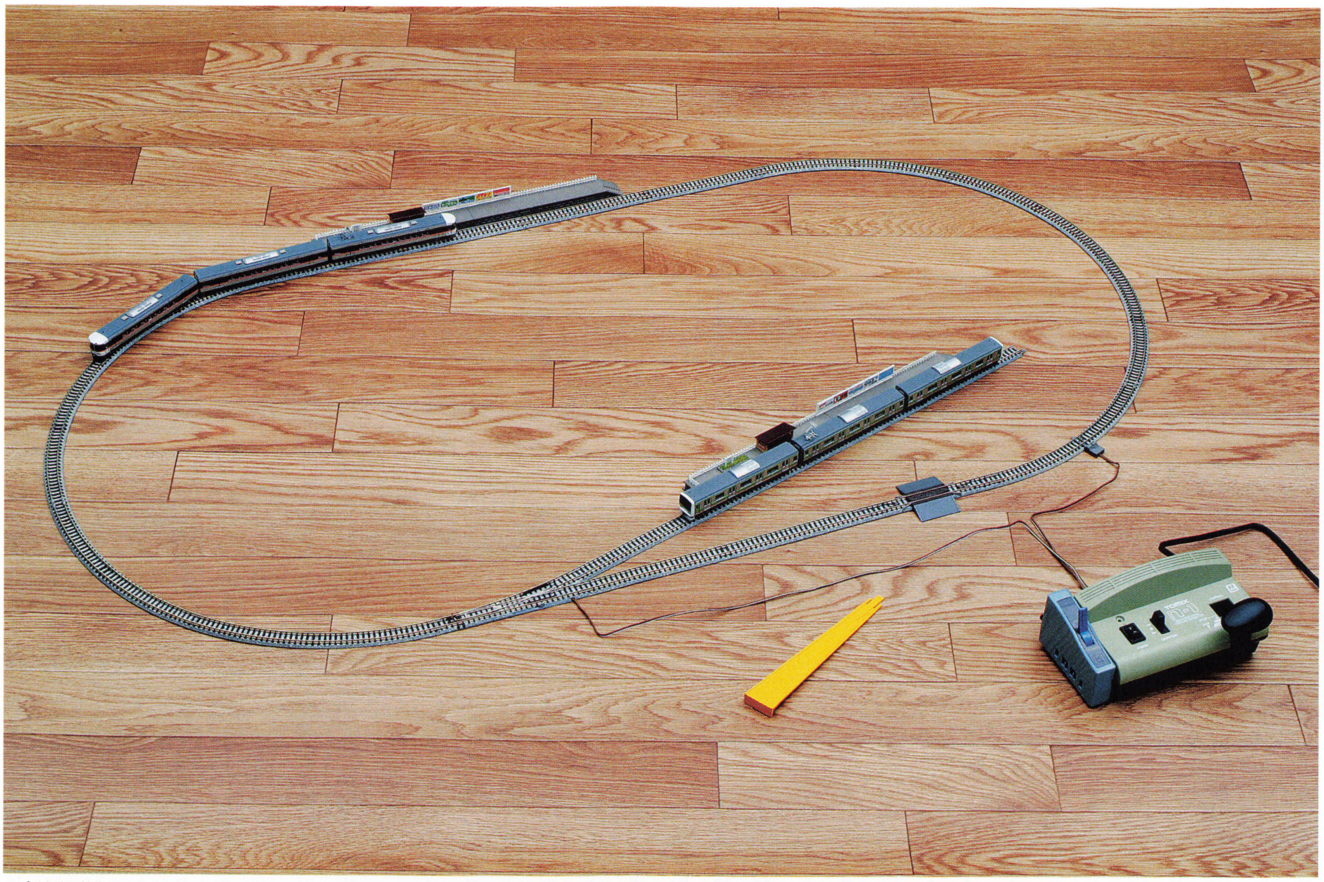
▲パワーユニットの大きさと較べてみれば、小判形のレールの大きさも想像できると思います。

レールだけを買うこともできます

TOMIXのレールやポイントは、それだけでも買うことができます。別売されているレールは、同じ長さの直線レールが2本というように、ほとんどが2本セットになっています。レールを敷く場所があまり広くはないけれど、レールプランの直線区間がもう少しだけ延長できそうだとか、ポイントを一ヶ所設置して、引き込み線を作ってみたいというときには、必要なものだけを入手できて便利です。レールセットをいろいろ使って、自分の考えたレールプランを形にしたものの、あと数本だけレールが足りないという場合には、レールだけを買えれば無駄がありません。また、そうやって売られているレールの中には、基本セットなどには含まれないエンドレールや、開放ランプ付レールがあります。それらを使えば、TOMIXのレールプランにはない、留置線が何本も並ぶ車両基地を作ることが可能になるのです。

▼ファイントラックは、このようにブリスターパックに入っています。
P：TOMIX

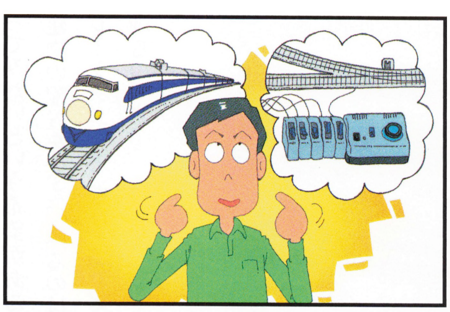




▲小判型の基本セットに引き込み線を加えました。これだけでも運転の楽しさは格段に向上します。 P：TOMIX

もう一度パワーユニットが必要になる時

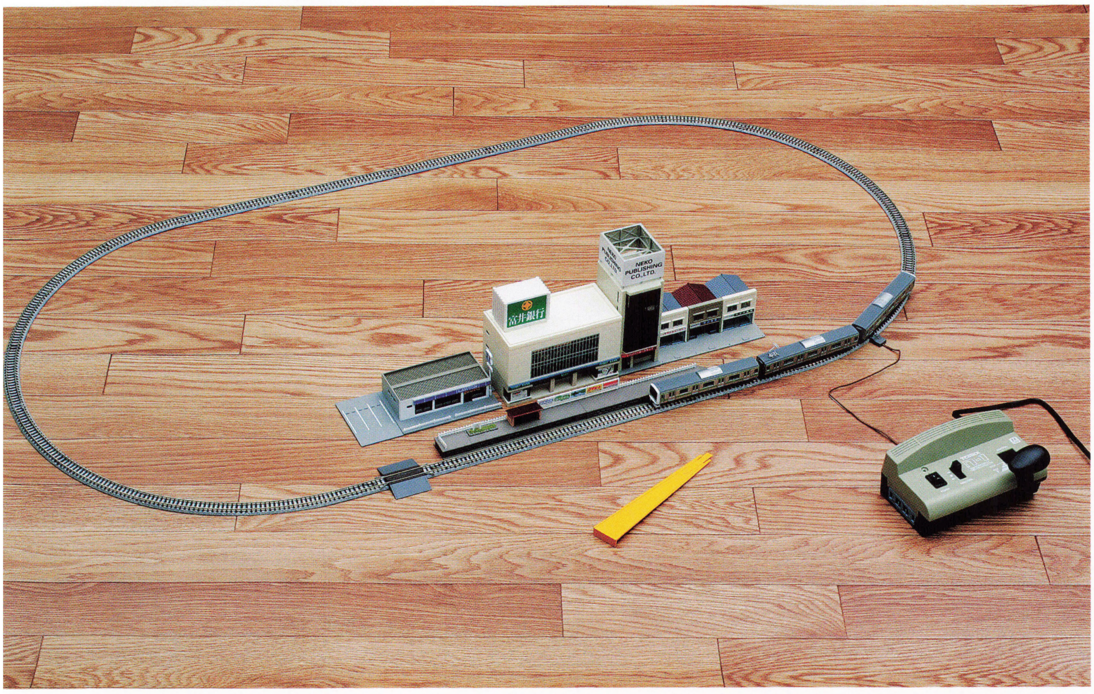
Nゲージは、車両の運転をもっと本物のように演出することができます。TOMIXからは、そのために信号機や車両の室内照明などが発売されています。それらについては後で触れますが、取り付ければ運転の楽しさは倍増します。しかし、その使用する量が多くなると、電気の消費量も増えるので、車両の動きがあまり快調ではなくなります。車両の運転状態は、車両の性能や汚れも影響するので、すぐに取り付けた信号機などの責任とは断言できません。けれども、1台のパワーユニットが受け持つ電気の量には限界があるのです。TOMIXのカタログには、消費電力の計算方法があるので、目を通してみてください。役に立ちます。将来は、信号機や車両の室内に照明をつけたいと考えているなら、パワーユニットをもう1台購入して、運転用とレール関係の設備用に使い分けることも考慮してください。



線路のまわりに建物を置いてみよう

レールを敷いて、列車を走らせるのが物足りないと思ったら、線路のそばに建物を置いてみてください。TOMIXからは、マンションやビルなど、いろいろな建物が発売されています。これらを配置してみるのです。たったそれだけのことで、線路の周りには町のミニチュアの世界ができてしまいます。そこを走る列車はより実感的に見えるはずです。

▼駅と駅の周辺に置けそうな建物から揃えるとよいでしょう。駅の周りは、配置も案外気楽にできるものです。

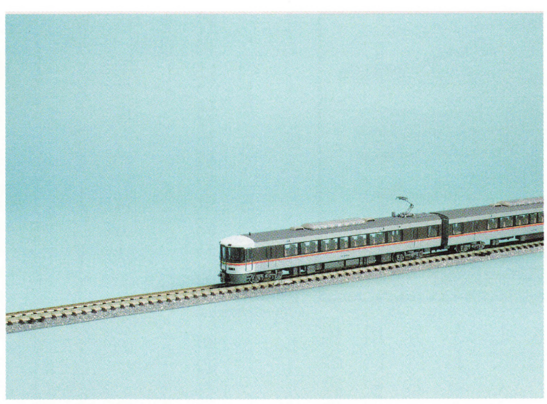


レールプランに凝って、車両の運転をするだけが、Nゲージを楽しむ方法ではありません。Nゲージには、風景を作るという楽しみもあります。レールのそばに試しに建物を置いてみてください。レールの上を走っている車両は同じでも、建物によって風景ができたので、車両がより実感的に見えるはずです。それに、同じ速度でも、建物があるので速く感じると思います。建物を置く効果はあなどれません。レールを敷く場所が広くなく、シンプルなレールプランで我慢するしかないのなら、建物を使って変化をつけるのです。単調な運転が、変化に富むものになります。

駅と、その周りの建物から始めて、沿線に置く建物を買い足していくとよいでしょう。TOMIXの建物の種類は豊富なので、まとめて買うのは大変です。駅のそばにおいて似合うと思う建物を、まず数軒買って置いてみてください。それから建物の配置をいろいろと変えてみて、追加したい建物を考えるのです。TOMIXのカタログには、風景を造った参考例が掲載されていますが、同じようなものを作ってみたいという希望があるなら、この建物の配置を変えてみるのはそのシミュレーションです。遊びながらアイディアを練るのです。



▲建物を置くと、雰囲気が変わります。



▲建物を置く前の状態です。

TOMIXは、レールや車両だけでなく、Nゲージの建物も数多く製品化しています。建物には、駅などの鉄道関係の施設と、商業ビルやマンションのような一般の建物があります。製品は完成品ですが、少しだけ工作をしなくてはいけません。それは、パーツをはめ込むとか、ステッカーを貼るというような、誰でもできることです。Nゲージの工作技術が上達すれば、建物の中に照明を取り付けて、夜景も楽しめるようになっているのが、TOMIXの建物です。



▲TOMIX製わらぶき農家。　P：TOMIX



▲TOMIX製マンション。　P：TOMIX

COLUMN

トミーテックのジオラマコレクション

並べるだけで150分の1スケールで統一されたジオラマの世界が展開するという、一昔前から考えれば夢のような製品シリーズが、トミーテックから発売されている「ジオコレ」ことジオラマコレクションです。

2003年発売のNゲージサイズのバスモデル「ザ・バスコレクション」(55頁参照)が好評を呼び、続けてやや小ぶりの建物を扱った「街並みコレクション」、乗用車を中心とした「ザ・カーコレクション」など、またたく間にシリーズを増やしていきました。Nゲージレイアウトの彩り役であるばかりでなく、それ自体をコレクションする楽しみも加わって、幅広い人気を集めています。当初は箱を開けないと中身が分からない「ブラインドパッケージ販売」が中心でしたが、民家や町工場などやや大きめの建物を中心とした「建物コレクション」や、レイアウトのワンポイントアクセサリーとして有効な「情景コレクション」(踏切、フィギュア、露店など)のように、最初から中身が分かる「オープンパッケージ販売」のものもシリーズに加わりました。

当初はどちらかというと「脇役」中心でしたが、2005年にはNゲージ鉄道模型にスケールを合わせた車両モデル「鉄道コレクション」も登場、ディスプレイモデルとの位置付けではありますが、動力や車輪などを別売の専用部品と交換することによりNゲージとして走らせることが可能となること、これまで市販されることの少なかった地方の旧型車両なども積極的に製品化したことなどから、Nゲージファンの間でも大いに話題となりました。

ただそんな「ジオコレ」に一つ難点を挙げるとしたら、一定期間が経過してしまうと、再び全く同じものを手にすることが困難であることでしょうか。そのためにも、雑誌の新製品情報やメーカーのホームページを常にチェックしておきましょう。



▲道路渋滞で路面電車も立ち往生を余儀なくされていた、昭和30年代の情景を「ジオコレ」で再現しています(路面電車は別メーカーの製品です)。



▲建物コレクション「神社」を中心に、情景コレクションの情景小物「露店」やザ・人間、ザ・樹木などを使って表現した、神社のお祭り風景。こういった情景も簡単に再現できるようになりました。



▲懐かしい昭和の私鉄車両を中心にNゲージスケールで展開する「鉄道コレクション」。別売の専用部品を組み込むだけでNゲージとして走行可能になることで反響を呼びました。



▲過去の製品を知るにはコレがオススメ。2007年8月までの発売商品を完全網羅した「新装版・ジオラマコレクション完全マニュアル」(弊社刊、980円)。

TOMIXなら こういう楽しみがあります!

手始めに購入した基本セットに追加することで、敷かれたレールの形を変えるだけでなく、運転の面白さを増してくれるセットが各種、TOMIXには用意されています。また、基本セットからNゲージをはじめるのにも、他に2つの選択コースがTOMIXにはあります。

TOMIXのパワーユニット

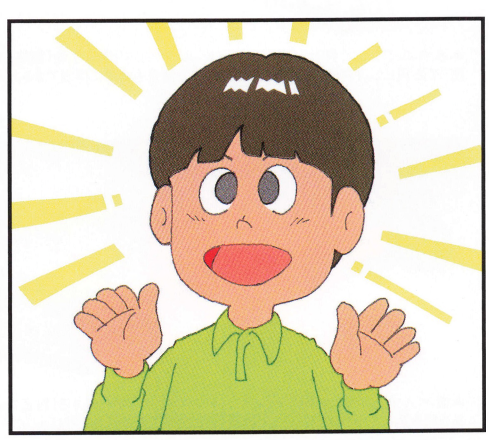
車両の運転操作を、実物の車両のようにできる2タイプのパワーユニットがあります。本物の運転台によく似たスタイルをしていて、操作も同じ手順を踏まねばなりません。メーターやランプは運転操作に連動するので、まさに実物の車両を運転している気分にひたれるわけです。他のパワーユニットに比べて、ボディも値段も格段に大きいですが、使える電気量も多く、1台で複線を受け持つことができます。特に左下写真の最高級のパワーユニットであるTCSパワー&サウンドユニットN－S2－CLは、Nゲージの運転に、音による臨場感を持ちこんだ傑作です。9種類の電車や機関車の走る音が選択できるだけではありません。駅のアナウンスや発車ベルも一通りではなく、車両が鉄橋やトンネルを通過する時の音まで再現してくれるのです。Nゲージの運転に、効果音で耳まで参加させてしまったパワーユニットです。



▲TCSパワーユニットN-DU202-CL　古いタイプの電車や電気機関車の運転台に似ています。　P：TOMIX

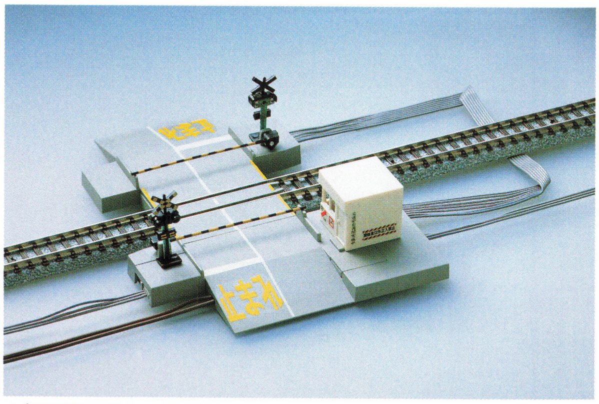


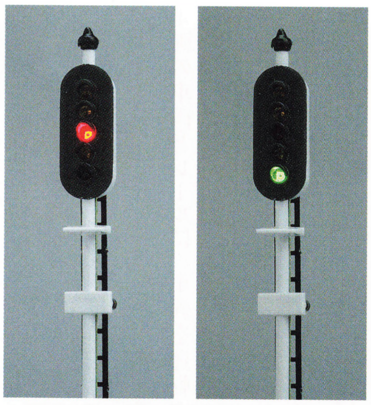
▲TCSパワー＆サウンドユニットN-S2-CL　やや新しい電車の運転台に似ています。たくさんのダイヤルスイッチは、列車の音の調整用です。　P：TOMIX



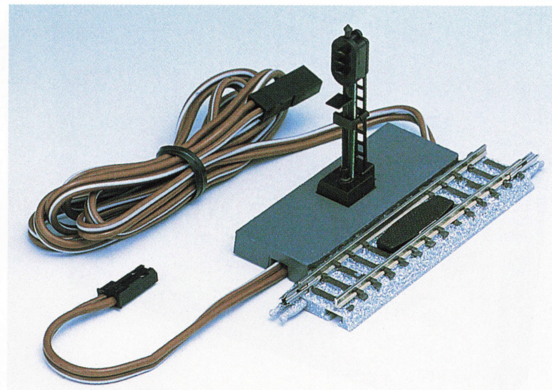
自動踏切システムと信号機システム

自動踏切は、車両が接近するとセンサーが検知して、遮断機が降りて警報機が赤く点滅を始め、警報音が鳴ります。車両が通過してしまうと、遮断機は上がり、警報機は沈黙します。おそらく、初めてこの自動踏切を取り付けた時は、その動きにしばらくの間、見とれるのではないかと思います。自動信号機も本物同様に、車両の通過前後に信号の色が変わります。これも、しばらくは見飽きないのではないでしょうか。自動信号機には3灯、4灯、5灯の3タイプがあります。自動踏切システムも、自動信号機も、その取り付けは決して難しくはありません。


▲自動踏切システム。　P：TOMIX

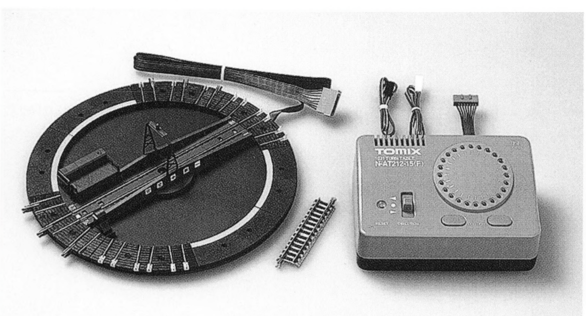

▲信号機の青は、車両が信号機の横を通過するときに赤に変わります。


▲TCS5灯式自動信号機（F）。


▲TCS3灯式自動信号機（F）。　P：TOMIX

ターンテーブル

蒸気機関車が日本の各地で走っていた頃、その蒸気機関車が集まる機関区と呼ばれる車両基地ならどこにでもあったのが、このターンテーブル（転車台）です。この上に、蒸気機関車を乗せて向きを変えるのです。蒸気機関車が気に入っていて、運転の主役にしている人には、ほしい製品に違いありませんが、基本セットのように、レールを床に置いている状況では使うことができません。レイアウトといって、台の上にレールを固定できるようになって設置できる製品です。



▲TCS電動ターンテーブルN-AT212-15（F）。　P：TOMIX

Nゲージカメラ搭載システム

Nゲージの展望車に乗ったつもりになれるシステムで、車両の先端部に取り付けたカメラから送られた映像を、TVモニターで見ることができます。それが進行方向なら、自分の運転する車両の運転台に座っているようなものですから、本当の運転士になったも同然です。画面を見ていると、パワーユニットの運転操作の上手下手がよく分かってしまうかもしれません。車両と、映像を送る機械はセットになっていますが、TVモニターは自分で用意しなくてはなりません。



▲▶Nゲージカメラ搭載システム。受信機と車載カメラ装備車輌（キハ187形2輌）。右はその画面。

基本セットからはじめよう《KATO編》

日本のNゲージの、中心的な存在がKATOです。そういうメーカーなのですから、基本セットを含めて、レール関連の製品の内容は決してTOMIXに劣るものではありません。KATOにはKATOの、思い描くNゲージの姿があります。一見、TOMIXの製品とは同じような構成でありながら、よく吟味すれば、それが製品の違いとなり、魅力となっているのがわかるはずです。

スターターセット

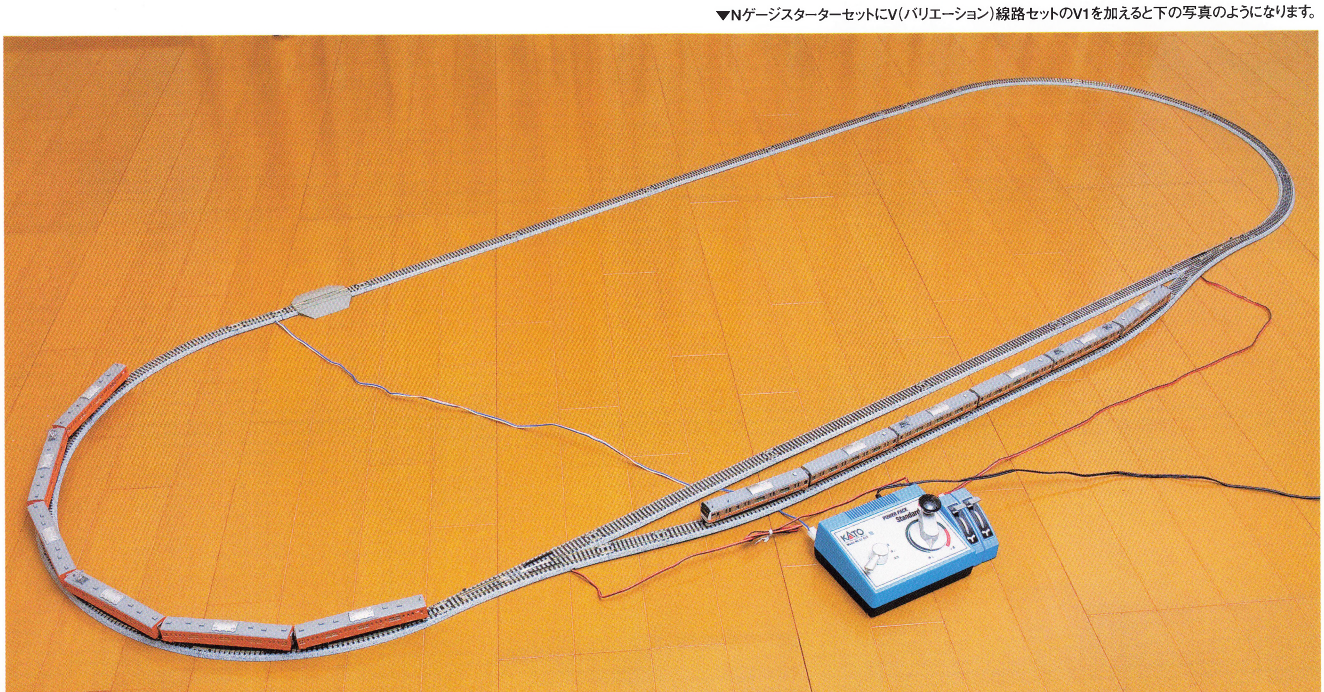
KATOのNゲージ入門用の基本セットが、Nゲージスターターセットです。4両の車両とレールに、車両を運転するパワーパックがセットになっているので、買ったその日に運転ができます。

Nゲージスターターセットは、車両だけが違う6種類があり、その中から好きな車両のセットを選ぶことができます。車両は新幹線とブルートレインと蒸気機関車で、新幹線は4種類の車両がラインナップされています。Nゲージスターターセットの値段は2種類あって、車両によって違います。レールをつないだ形は小判形になります。これにレールをつないで大きくしたい人には、レールセットのV（バリエーション）線路が便利です。



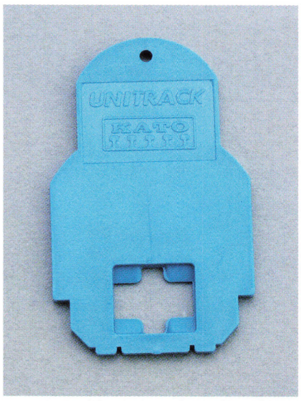
▲Nゲージスターターセットは車両が1両ずつケースに入っていて、車両の保管に役立ちます。

▼NゲージスターターセットにV(バリエーション)線路セットのV1を加えると下の写真のようになります。

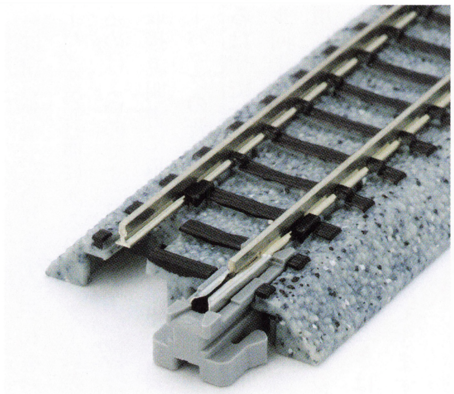


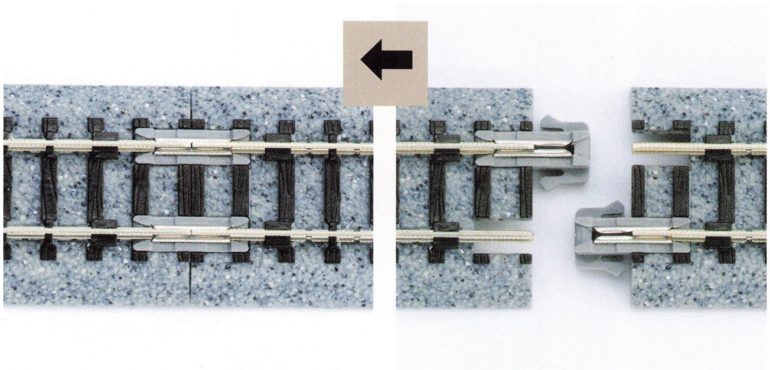
レールをつなぐ

レールの端を見ると、2本のレールの片方に接続用のジョイナーが付いています。そのジョイナーはブロック状になっていて、レールだけではなくレールを固定している道床もつなぐ役目をします。ユニジョイナーと言うのですが、レールをつなぐ時は、お互いに相手のレールと道床に、これを組み入れるのです。レール同士は、しっかりと組み合わせて下さい。レールとレールの間にスキ間ができると、車両の車輪がそこでつまづいたようになるので、脱線のきっかけになります。何度もレールをつないだり、外したりしていると、ユニジョイナーがゆるくなってきますし、痛めてしまうこともあります。交換することができますが、それに使うのがユニジョイナー外しです。パスポート・スペシャルにもデラックスにも付いています。でも、その時にならないと出番のない工具ですので、紛失に気を付けて下さい。



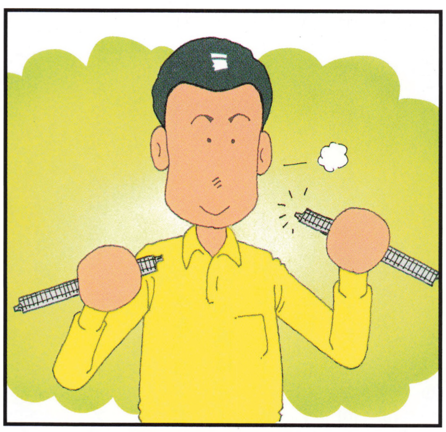
▲ユニジョイナー外し。

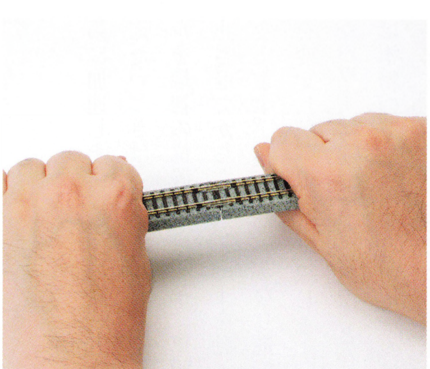

▲右側のレールに付いているのが、ユニジョイナーです。

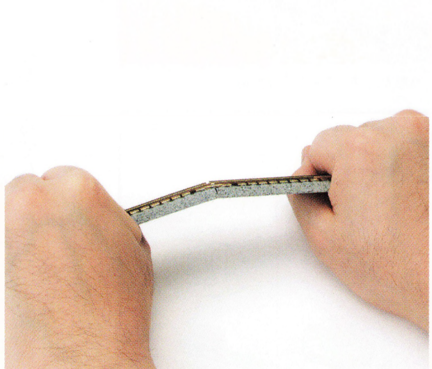

▲レール同士は、水平に動かしてつなぎます。

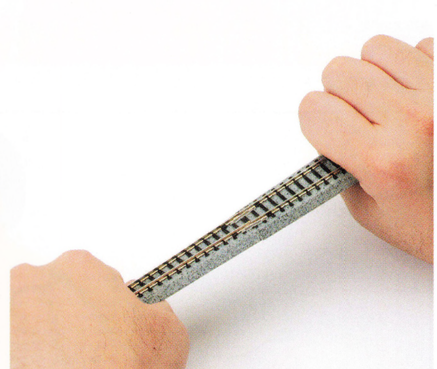
レールを取り外す

ユニジョイナーは、ちょっと窮屈なので、レールを組んだり外したりする時に不平を言いたくなることがあるかもしれません。けれども、レール同士をしっかりとつなぐためのものですから、仕方がありません。もし、ユニジョイナーがゆるいものなら、レールの作業はきっと楽にできるでしょう。そのかわり、車両が走行している間に、つないだレールの間が開いてきて、それが原因で車両が脱線する恐れは高くなります。ユニジョイナーが、しっかりとレール同士をつないでいるから、車両を安心して走らせることができるのです。レールの取り扱いで気を付けてほしいのは、分解する時で、途中までテンポよく取り外してきたのに、ちょっと力がいるようなレールになった時が要注意です。取り外し方が、つい乱暴になりがちです。



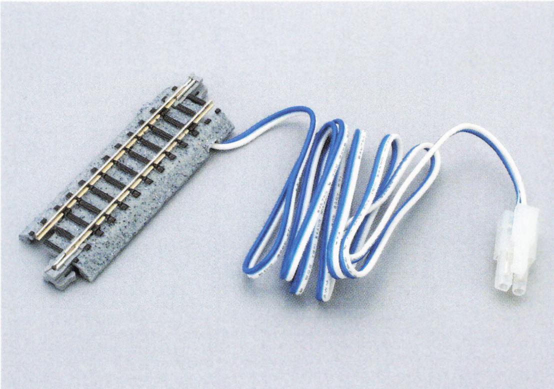

▲利き腕だけでレールを外そうとすると、上へ引っ張るような動きになるものです。


▲レールを下へ引っ張るような動きは、ユニジョイナーを傷めます。

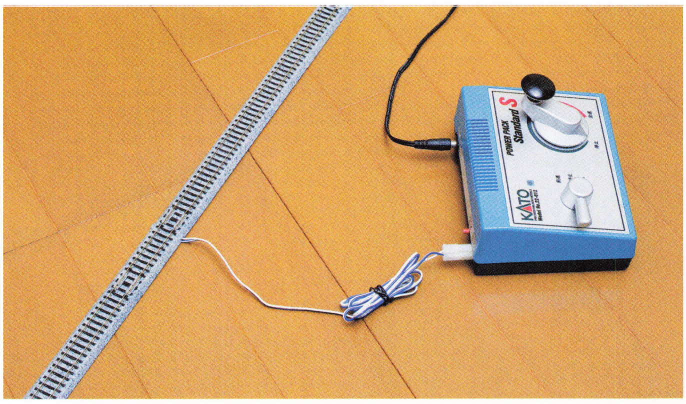

▲力まかせに外そうとすると、レールをねじるような動きになることがあります。

パワーパックにつなぐ

基本セットのレールの中に、フィーダー線路と言って、コードが付いているレールがあります。これを、運転操作をする制御機器に接続します。KATOでは、その制御機器をパワーパックと呼んでいます。フィーダー線路コードの端には白い端子があります。それをパワーパックの背面にあるコネクターに差し込めばよいのです。コネクターの位置は、取扱説明書に示してありますし、パワーパックの背面を見れば、すぐに分かるはずです。KATOのレールは、レール同士をつなぐユニジョイナーを、電源用に使っています。その専用のユニジョイナーですが、これが痛んだときは別売もされているので、交換ができます。



▲フィーダー線路。



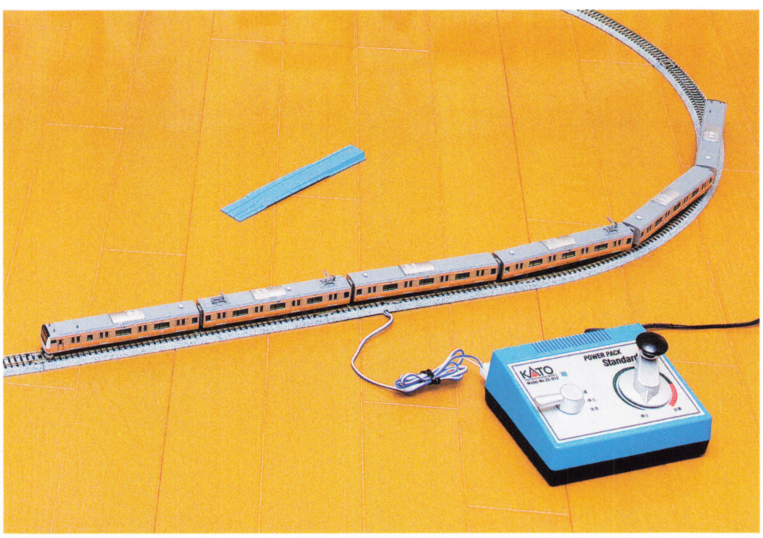
▲フィーダー線路のコードをパワーパックにつないだところです。



◀青い箱がパワーパックの本体で、上の黒い箱はコンセントに差し込むアダプターです。

これで、車両が運転できます

レールを敷くのが済んだら、フィーダー線路をパワーパックに接続します。それからパワーパックのプラグを、コンセントにつなぎます。これで準備は完了しました。車両の運転ができます。KATOのパワーパックは、左側のレバーを操作することで、電源が入るのと同時に車両の進行方向が決まります。はじめにこのレバーを操作してから、ゆっくりと右へ回します。その動きにあわせて、車両もゆっくりと走り始め、次第に加速します。車両の進行方向を変えたいときは、コントローラーのハンドルを最初の位置まで戻して、車両を停止させてから左側のレバーを動かして変えます。走行中にいきなり進行方向を変えれば、車両は脱線します。小さなパワーパックですが、レバーとハンドルは本物の運転台のそれをモデルにしています。言われてみるとうなずけるところがあるでしょう。



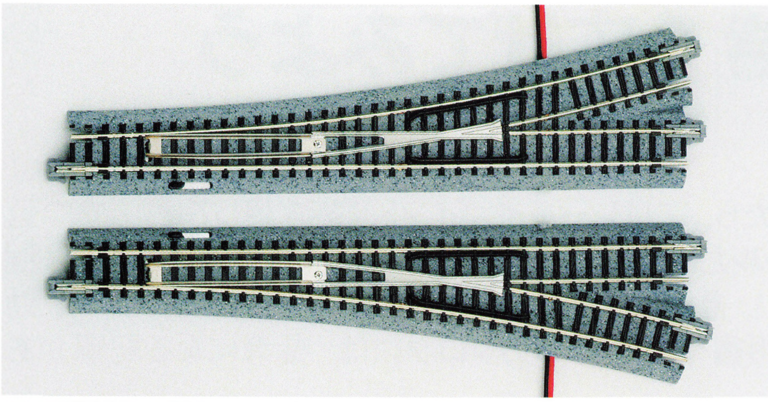
▲左側のスイッチを「前進」にして、右側のコントローラーをゆっくり動かせば、車両が走り始めます。



▲遊ぶ前に配線は確認しましょう。

ポイントをセットしてみよう

レールの道筋を変えるのが、ポイントです。パスポートデラックスには、右へレールが分岐するポイントと、左へ分岐するポイントが各1台付いています。この2台を使って、駅の待避線を作っているのです。ポイントは電動式で、6番というタイプです。KATOには、この6番の他にも形が違うポイントが数種類あって、それぞれが別売されていますが、使い勝手がいいポイントが6番です。

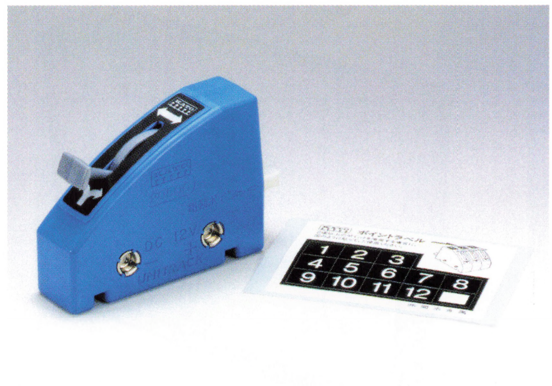


▲KATOの電動ポイント6番左右。

電動ポイントを作動させるには、道床の端から出ているコードを、ポイントスイッチにつながねばなりません。

電動ポイントの切り換え操作をするのが、ポイントスイッチです。その背面にコネクターがあり、電動ポイントのコードを簡単につなぐことができます。フィーダー線路のコードもそうなのですが、ポイントの道床には左右両側にコードの引き出し口を設けてあります。できるだけ、コードの上へ別のレールが乗らないで済むほうへ、レールを出して下さい。安定した場所に敷かれたレールであっても、コードを下にしたレールのところだけは、わずかですが不安定なものです。

ポイントスイッチは、パワーパックの右側に組みつけて固定するようになっています。それだけで、パワーパックから電気が流れて、ポイントスイッチを操作すれば電動ポイントが作動するのです。面倒な配線をすることもない上に、運転中ポイントの切り替えが、パワーパックの横でできるのです。ポイントスイッチは、電動ポイントとペアを組みます。基本セットに電動ポイントだけを買い足す時は、ポイントスイッチを忘れないで下さい。

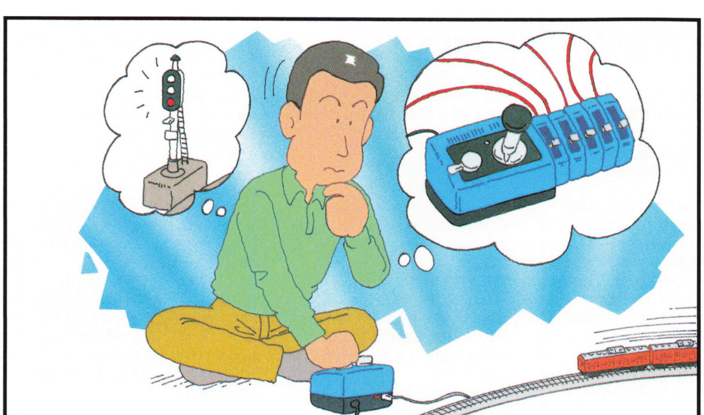


▲ポイントスイッチ。　P：KATO



パワーパックが、もう1台必要になる時

KATOのパワーパックは、車両などを動かす電気の使用量を想定して作られています。基本セットで普通に運転しているなら問題はありませんが、次第にレールを延長するのは当然の成り行きですし、車両の走る距離が長くなれば、実物と同じように車両を長く連ねて運転したくなるものです。その長大になった車両の車内に照明を付けたりすれば、消費する電気量は増大します。車両だけでなく、レールの横に信号機を設置すれば、もっと増えます。そういう具合に、電気を消費するものが次々に加わると、基本セットのパワーユニットでは、力不足になってきます。運転の規模が拡大してきたら、パワーパックの使い方や買い換えを考え始めなくてはいけません。



線路をもっと大きく広げてみよう

購入した基本セットの運転に慣れたら、次はレールやポイントを継ぎ足して、少しずつ延長してみましょう。KATOの場合、レールだけのセットもあるのですが、レールやポイントは個別に買い求めるものだと思って下さい。きちんと計画を立てて購入すれば、そのほうが効率もいい。基本セットの取り扱い説明書やKATOのカタログには、参考になる記事があります。しっかり研究して下さいね。

マスターセット

マスターセットには、M1とM2の2種類があります。M1はレールとパワーパックだけのセットで、車両は入っていません。レールをつないだ形とその大きさは、Nゲージスターターセットと変わりません。Nゲージスターターセットの車両よりも好きな車両があり、最初からそれを走らせたいなら、このM1と好きな車両を買うとよいでしょう。M2はV線路セットのV1とM1を組み合わせたセットで、こちらもパワーパックは付属していますが、車両は入っていません。M2のレールをつなぐと、34ページの写真と同じ形になります。



▲レールとパワーパックだけのセットというのがわかると思います。

V線路セットシリーズ

V（バリエーション）線路セットは、スターターセットとマスターセットM1のレールをつないだ形を、複雑な形にしたいときに利用するセットです。ポイントや鉄橋などのレールと組み合わせる製品がレールとセットになっていて、車両とパワーパックは付いていません。V1からV13までの線路セットがあり、複雑な形につないだレールで車両の運転を楽しみたい人には、チェックしてほしいセットです。スターターセットとマスターセットの説明書には、V線路セットの使い方が案内されています。それをよく研究してから、これだと思うセットを買うとよいでしょう。



▲このセットを買うなら、島式ホームも同時に買うとよいでしょう。



▲列車が勾配を上下するシーンを再現するなら、これが必要です。

製品リスト

●V1：島式ホーム用ポイントセット
駅を設置して列車交換を楽しむためのプランです。

●V2：立体交差セット
鉄橋を架けて立体交差を楽しむプランです。

●V3：車庫用引き込み線電動ポイントセット
複数の列車の入れ替えが楽しめる、車庫や留置線を追加するプランです。

●V4：対向式ホーム用小形電動ポイントセット
列車の交換（行き違い・追い越し）をするための駅や信号場をつくるプランです。

●V5：内側複線用エンドレスセット
スターターセット・マスターセットシリーズの基本線路（R315）の内側に線路（R282）を増やして複線化するプランです。

●V6：外側複線用エンドレスセット
スターターセット・マスターセットシリーズの基本線路（R315）の外側に線路（R348）を増やして複線化するプランです。

●V7：複線両渡り電動ポイントセット
複線に両渡りポイント(ダブルクロス)を入れて、内側線路と外側線路で列車を自由に入れ替えるための追加プランです。

●V8：平面交差 90°クロスセット
M1セット・スターターセットと組み合わせて、8の字運転を行うプランです。

●V9：平面交差 15°左クロスセット
M1セット・スターターセットとと組み合わせて、折りたたみエンドレスを作るプランです。小さなスペースでも長い距離を走行させることができます。

●V10：平面交差 15°右クロスセット
M1セット・スターターセットとと組み合わせて、折りたたみエンドレスを作るプランです。小さなスペースでも長い距離を走行させることができます。（V9セットと左右対称の交差線路を用いた構成）

複線線路セット

V線路セットの中でもレールが複線になっています。V11とV12の2つのセットがあり、V11は複線線路の基本セットで、V12はV11を立体交差をさせたい際に使うセットです。V11のレールをつないだ形は小判形になりますが、スターターセットの小判形とは違い、小判形の真ん中を軽く凹ませたような変形の小判形をしています。複線線路セットの特徴は、カーブのレールがカントといって、わずかに傾いていることです。実物では列車が速いスピードでカーブを走行できるようにカントを付けているのですが、それを模型でも再現しているのです。V11とV12は、単線のレールをつなぐことも可能です。



▲複線なのでパワーパックも2台必要になります。

複線高架線路セット

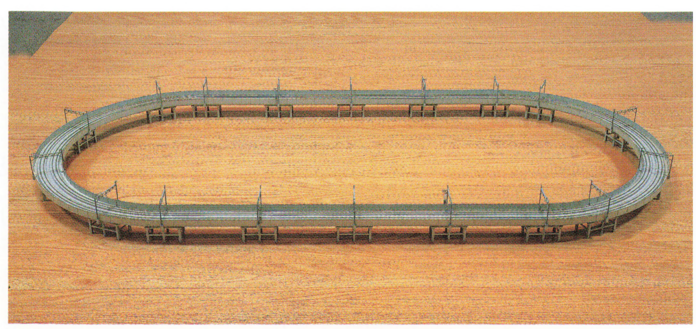
V11やV12と同じ複線のセットですが、こちらはレールの下がコンクリートになっているスラブ軌道です。レールをつないだ形は、スターターセットのような小判形になります。全線がスラブ軌道の複線なので、新幹線や大都市近郊の列車には最適のセットです。特に新幹線がお気に入りで走らせたい人には、これは必需品といってもよいでしょう。カーブのレールには、V11やV12と同様にカントが付いています。このV11とV12を使えば、レールをつないだ形を変えられます。また、他の単線のレールをつなぐこともできます。



▲高架の橋脚も実物をモデルにしているので本物そっくりです。



▲カントの付いたカーブでは、カーブの内側にわずかですが傾きます。そうなっているのが注意して見るとわかると思います。



▲電車の走る区間なら、やはり別売の複線ワイド架線柱を取り付けるべきでしょう。

COLUMN

KATOのもう一つのレール フレキシブルレール

このレールには、枕木が付いているだけで道床がありません。レールは約80センチの長さの直線が1種類あるだけです。思い通りに曲げることができるレールですので、曲線のレールもこれから作るのです。使うレールの長さも、自分で調整しなくてはなりません。フレキシブルレールだけではレールの上に車両を走らせることはできないので、しっかりとした木製の台の上に固定するのが前提になっています。レールを敷く位置は、台の上に定規などできちんと決めてから、専用の釘で固定します。本物のような風景を作って、運転をしてみたい時に今でも使われるのが、このフレキシブルレールなのです。Nゲージ初めの頃は、運転するにはフレキシブルレールを使うのが常識でした。そういうレールが、KATOから今もなお発売されているのです。それは、日本のNゲージの世界を創り、育ててきたKATOの証明と言えます。フレキシブルレールでは、初心者がNゲージの運転を楽しむことが容易ではないことから、現在の道床付きレールが登場することになるのです。

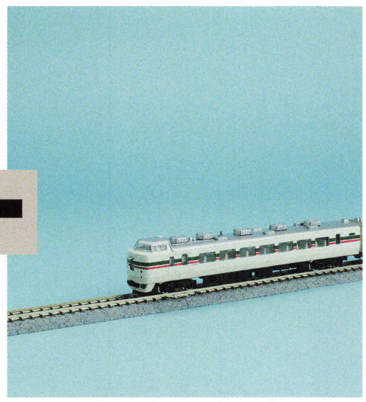
線路のまわりに建物を置いてみよう

列車を運転するだけでは物足りないと思ったら、線路の周辺に建物を配置してみましょう。KATOの建物は、とてもリアリティがあります。その建物が走る車両の引き立て役になるのですから、実感的な雰囲気が増すのは当然の成り行きです。あなたが次にやることはといえば、車両や建物を上から見下ろすのではなく、視点をうんと下げて、建物を背景にして、あるいはその間を走り抜ける車両を眺めることです。どうです、本物のように見えませんか？

建物は駅とホームから！

Nゲージを始めて、最初に購入するNゲージの建物は駅です。駅とホームを揃えたら、次は駅の周辺にふさわしいと思う建物を探して置いてみて下さい。2～3軒でいいのです。たいていはレールを敷ける広さに限度があって、レールを敷いた形も制約を受けます。走るコースに変化が乏しいと、運転は単調になるものです。レールのそばに建物を置いてみて下さい。建物を数件置くだけで雰囲気が変わりますし、走っている車両が実感的に見えるようになるはずです。


▲建物を置いてみると、ちょっと違うでしょう。


▲レールと車両だけです。やっぱり殺風景ですね。

とてもリアルなKATOのストラクチャー

KATOからは、Nゲージの建物も発売されています。駅やホームなどの鉄道関係の施設と、ビルや住宅などの一般の建物があり、どれもきわめてリアリティの高い製品です。鉄道関係の建物にはイージーキットと完成品の2タイプがあります。イージーキットは、組み立て工作をしなくてはなりませんが、接着剤はいりませんし、でき上がれば他の完成品と比べてもまったく見劣りしません。シールだけは、イージーキットも完成品も鉄道関係と一般の区別はなく、自分の手で貼らねばなりません。鉄道関係の施設には、現代的なものと蒸気機関車が走っていた頃の建物がありますが、一般の建物も現代的な建物のほかに、蒸気機関車の時代のものの製品化が予定されています。風景を作る時に、時代設定もできるわけです。また、現代的な住宅の製品は、KATOの他にはありません。一般の建物は、ジオタウンという企画の製品です。


▲ファミリーレストラン（B）。　P：KATO

▼ショッピングビル1　色が違うタイプがあります。　P：KATO




▲庭のある家2　色が違うタイプがあります。　P：KATO



▲人形や車を配置したジオタウンの駅前です。その気になれば、誰でもこういう世界を自分の手で創れるのです（写真は試作品です）。　P：KATO

現代的な駅前ならこれだ！　KATOのジオタウン

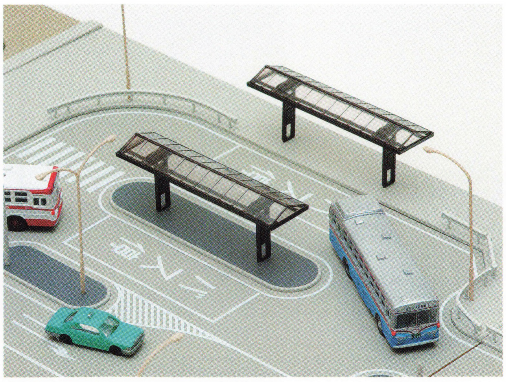
　道路とその周りだけを、四角に切り出したような道路プレートという板の上に、街灯などの小道具や建物を設置します。そうやって飾り立てた道路プレートを、複線プレート線路や高架駅の横に並べていくだけで、リアルな駅前や街ができてしまうのが、KATOのフロアレイアウトの構想を具体化したジオタウンという企画製品です。駅前道路セットが、その基本セットになります。バス停やガードレールなどが付いている駅前アクセサリーセットと、駅前施設セットを別に購入して、それを取り付けます。ところで、この取付には模型用の工具がいるのですが、その工具については車両のページで説明します。

　次に道路の横の空き地にKATOの建物を置けば、現代的な駅前の風景が完成してしまうのです。道路プレートは数種類あり、駅前道路セットに組み合わせて道路を延長することができます。運転を楽しんだ後に、道路プレートを個別に収納するのには、ホコリ除けにガラス戸がついた食器棚が理想かもしれません。街灯やガードレールをまた取り外すのは大変です。しかし、取り付けていては重ねることができませんから、そのまま置いて収納できる方法を考えるべきでしょう。

　ジオタウンの製品は着実に増加しています。現代的な駅前風景からちょっと懐かしい風景の再現まで、これは最高の製品です。右に出るものはありません。



▲最近の建物ばかりでなく、ちょっと古めの懐かしい建物も製品化されています。写真は看板建築商店。



▲駅前のバスターミナル。最近、こういう風なバスターミナルをよく見かけますね。

COLUMN

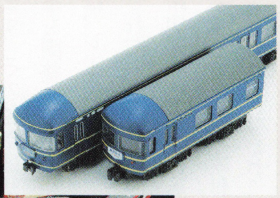
バンダイのBトレインショーティー

　Nゲージの車両を切り詰めたようなスタイルをしています。上手にデフォルメされているので、実車のイメージを損なってはいません。接着剤を使わずに組み立てるスナップキットです。

　そのままでは自分で走ることはできませんが、KATOからはこの製品用の動力が発売されていて、それにボディを載せかえれば、Nゲージのレールの上を走ることができるようになります。

　なお製品はブラインド販売が中心ながらも、2両・4両セットといった中身が分かるオープンパッケージ販売の製品もあります。また、バンダイから発売されるレギュラー版だけでなく、各鉄道会社による特注品やショップによる限定品など、非常に多彩なラインナップとなっていますので、雑誌やインターネットによる情報チェックも欠かせません。

▶NゲージとBトレインショーティーを比較してみました。Nゲージ並みの表現なのがわかると思います。

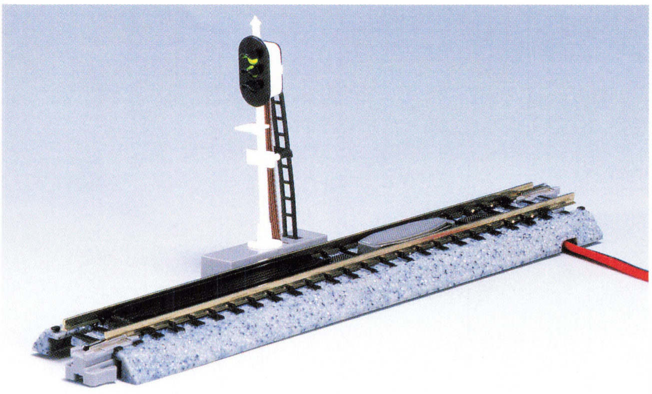




◀車両の多彩さに注目。これでもBトレ全体から見ればほんの一部に過ぎません。

KATOなら、こういう楽しさがある！

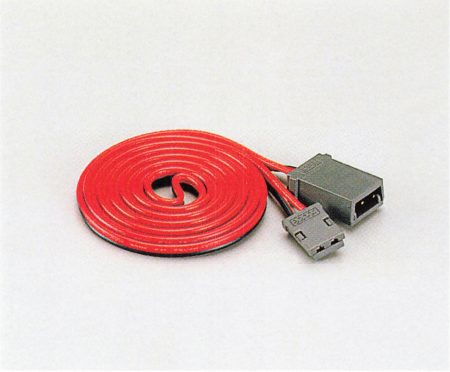
基本セットから始めたNゲージが、次第に発展するのを支援する機材が、KATOには用意されています。それは、車両の持ち主であるあなた自身が直接、車両の運転操作をする段階から、セットした後はコーヒーを片手に悠々と列車の走る様子を眺めていられるところまで、Nゲージの世界を飛躍させてしまうものなのです。



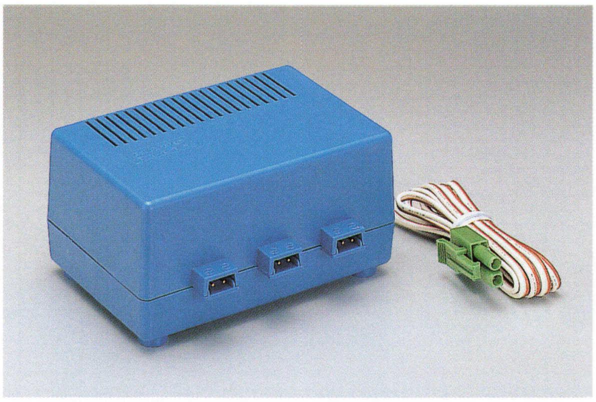
▲3灯式自動信号機。　P：KATO

3灯式自動信号機

KATOの3灯式信号機はレールと一体化しています。これを、他のレールとレールの間に組み入れて、自動信号機電源に接続すれば作動します。専用の電源を別に購入するわけですが、この1台で3基の自動信号機が使えます。信号機の色は普段は緑ですが、レールの上のセンサーに車両が触れると、信号が緑から赤に変わります。車両が通り過ぎると、信号の色は赤から橙へ、橙から緑に変化します。反対の方向から車両が来る場合には、信号は赤になります。単線の高架橋の途中に、この自動信号機を設置する時には、信号機用高架橋に組み入れて使用します。信号機の点滅は、部屋を暗くして運転する時には効果的でいいものです。



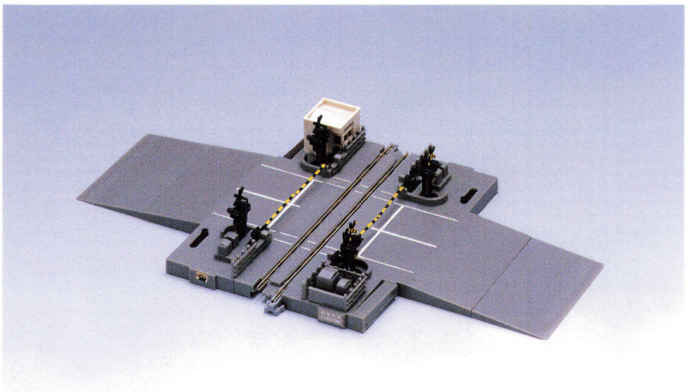
▲3灯式自動信号機と、自動信号機電源の間が離れていて接続できないときに使うコードです。



▲自動信号機の専用の電源です。この1台で3基の自動信号機を作動させることができます。

自動踏切基本セット

センサー線路が、車両の接近を踏切に知らせると、踏切の両開き遮断機が降りて警報音が鳴り始め、警報機が赤く点滅します。車両が通過すると警報機の点滅も音も止まり、遮断機が上がります。その動きはリアルで、警報音の音量も調整できます。自動踏切基本セットは、レールが1本の単線用ですが、別売されている自動踏切複線用アダプターを踏切の間に組み込めば複線になります。基本セットの道床付きレールには、素直に組んで使えます。



▲自動踏切基本セット。　P：KATO

コントローラーにプログラムすれば、パワーパックでは無理だった運転ができるのがDCCの魅力です。DCCを自在に操作するには、DCCの理解も重要ですが、完成品車両の分解と分解した車両を再び組み立てる工作ができなくてはいけません。そういう工作はとても苦手という人は、DCCのことがよくわかっている模型店に相談してみて下さい。車両の工作は他の人にやってもらう方法もあります。それがたとえ有料でも。車両を壊すよりはマシなはずです。

COLUMN

新しい運転システム　DCC

文:児山　計

Nゲージ鉄道模型は線路から電気を取って、車内のモーターを回して走りますが、この方法だと、同一線路上に複数の動力車がいる場合、みんながいっせいに動き出してしまいます。例えば新幹線「はやて」「こまち」のように、途中までは一緒に走って、ある地点からは別々に走るとか、ある駅から機関車を増結するといった運転は不可能ではありませんが、かなり鉄道模型に通じていないと難しい作業です。

DCCは、こういったことを容易に実現し、運転の自由度を飛躍的に高めたシステムです。DCCとは「デジタル・コマンド・コントロール」の略で、その名のとおり機関車とスロットルと呼ばれるコントローラでデジタル信号をやり取りして走るシステムです。見た目は通常のシステムと変わりませんが、車両にはデコーダというデジタル信号を受信する装置を組み込み、コントローラはスロットルとコマンドステーションという、DCC用のものを使う点が異なります。

通常は、線路を流れる電気の量に応じて車両の速度が変わりますが、DCCでは線路に電気が流れっぱなしになります。電気が流れていてもデコーダに指令を与えない限り、列車は動きません。

列車を動かす時は、スロットルに動かしたい機関車の番号（事前に登録しておきます）を入力し、つまみを回すとデコーダが信号を解釈してその列車だけ動くという仕組みです。複数の動力車を動かしたい時は、複数の車両に指令を送ればいいわけです。これによって、直流システムでは不可能に近い、複雑な運転が可能となります。前述した分割・併合はもちろん、路面電車の続行運転のようなこともできます。

DCCは指令をデコーダに与え、デコーダが指令を解釈し、しかるべき動作をするというのが基本システムです。ということは、デコーダが動かす装置は何も列車に限らないわけです。サウンド、室内灯、ヘッドライトなどのギミックにももちろん使えますし、ポイント切り替えもDCCで行えます。デコーダと回路の組み方次第では、関西私鉄で行われている種別ごとの急行灯点灯や、停車中の常点灯も難なく可能です。

日本ではKATOが早くからDCCを取り扱っており、東京の「ホビーセンターカトー」では、ユニトラックをDCC対応に改造したポイントや、デコーダーの取り付けサービスなども行なっています。DCCに興味がある方はぜひ一度、足を運んでみて下さい。

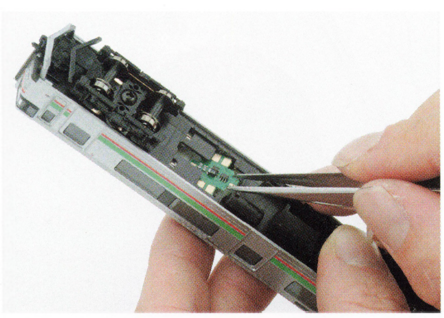
DCCはこれまで、敷居が高いと言われてきました。それは、すべての車両にデコーダを搭載しなくてはならないためです。最近の車両はデコーダを搭載するのもさほど難しくありませんが、昔の車両は車内いっぱいにダイキャストのオモリが載っており、取り付けスペースを作るのは至難の業です。

しかし、デコーダを取り付けないとDCCシステム上では最大1両しか列車を走らせられません。こういった点が当初、ベテランモデラーに二の足を踏ませていました。

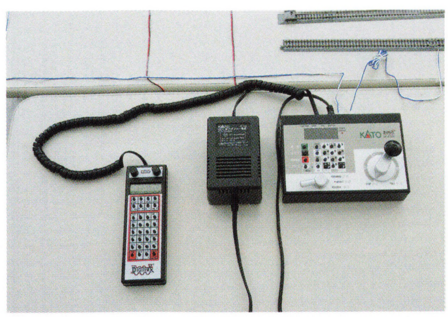
しかし、これから鉄道模型を始めよう、という方には、こういったハンデはありません。鉄道模型で運転を重視するなら、DCCから始めるのは十分ありです。

初期投資価格は、入門用コントローラ（D101）が20,475円、動力車が1両15,000円程度、線路はポイント以外従来製品を使います。おおむね5～6万円程度です。価格だけ見るとスターターセットより高価ですが、DCCならではの運転の楽しさを考えれば、決して高い価格ではありません。

【参考】ホビーセンターカトー「はじめませんか？　DCC」
http://www.katomodels.com/hobby/customshop/



▲車両の部品を外してデコーダーというDCCの部品を取り付けているところです。最近の製品では簡単に取付できるように工夫されているとはいえ、工作にあたっては十分に注意をしなくてはいけません。



▲右側が運転操作をするコントローラーで、その横の黒いのはコントローラーの専用電源です。左側にあるのは右側のコントローラーを親機とすれば子機にあたるもので、これで車両の運転操作が手元でできます。



▲DCCによる運転の例をひとつ説明します。ホームに停車している特急電車に電気機関車が接近してきて、その手前で一旦停止をした後で再び動き出して特急電車と連結するという工程をパワーパックですると、特急電車にモーターの付いている車両があれば、電気機関車が動くと特急電車も一緒に動いてしまいます。

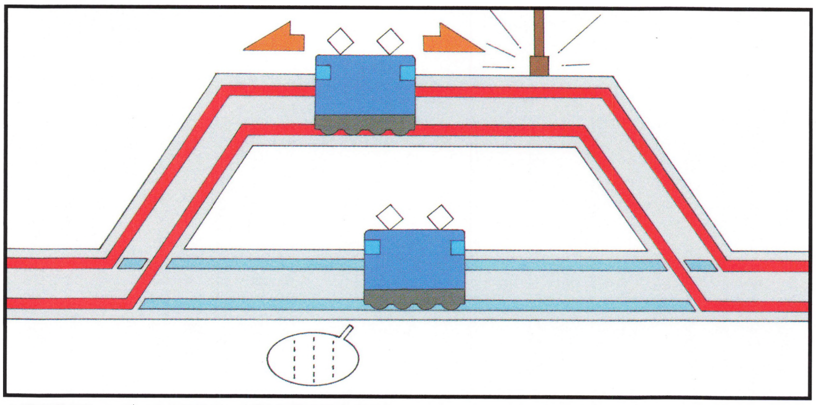


▲DCCでなくても、特急電車からモーターの付いている車両を抜いておけば、電気機関車と特急電車の連結作業はできますし、連結した後は電気機関車で特急電車を走らせることはできます。DCCは、特急電車にモーターの付いている車両があっても、電気機関車の連結作業中は特急電車を停車させておき、連結したら電気機関車と同調して動かせるのです。

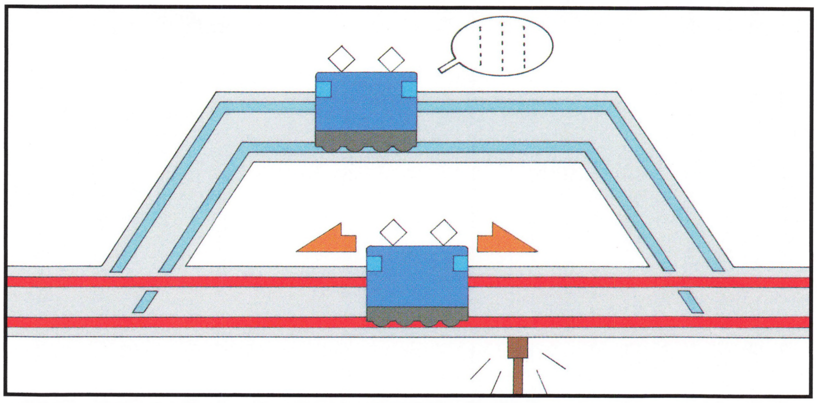
レールを発展したいなら、コレだ

レールに電気を供給する場所を、なんとなく決めたばかりに、あれっと思うようなミスをすることがあります。左図のように待避線があるレールのポイントとポイントの間にTOMIXならD.C.フィーダー、KATOならフィーダー線路を設置すると、それを取り付けた側のレールの上の車両は動きますが、そうでない側の車両は、ポイントを切り換えても電気が流れないので動きません。2つのポイントの間のレールではなく、その外側のレールから電気を供給しなくてはいけません。そうすれば、ポイントを切り換えた側の車両が動きます。冷静に考えれば、すぐに分かるミスなのですが、当初は困惑すると思います。駅を設けると、レールがこういう形になりますし、車両の発着が見たくて駅を目の前に置く場合が多い。そうなると制御機器もそばにするでしょうから、それとレールとの接続も手近な駅のレールで、となってこんなミスをしてしまう恐れがあります。

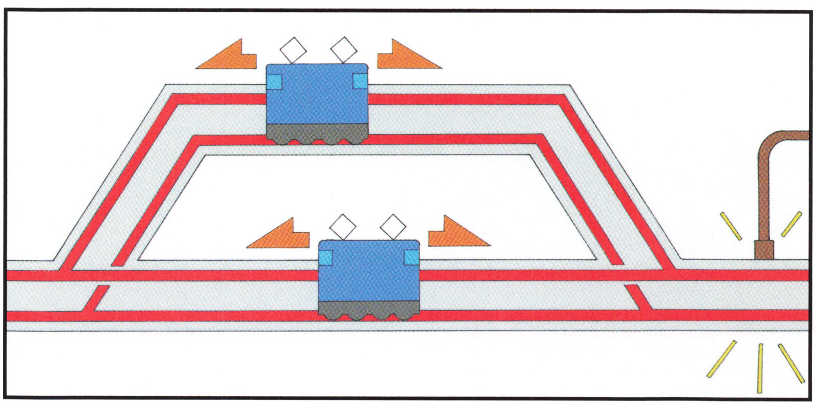
さて、レールをつないだ形（プラン）をいろいろと変えて列車の運転を楽しみたいと思ったら、KATOやTOMIXのカタログやそれぞれの取り扱い説明書を見て下さい。様々なプランが掲載されています。カタログは、もっとも手近なガイドブックなのです。言うまでもなく、KATOもTOMIXも自社のレールのつなぎ方しか紹介していませんから、他社のレールを使っている人には一見実用的ではありませんが、見るとヒントになることが少なくありませんので、研究してみるのもオススメします。また、TOMIXにはパソコンを使ってレールをつないだ形を工夫できる「鉄道模型レイアウターF」というソフトもあります。これで自分のアイデアをシミュレーションしてみるのもいいでしょう。



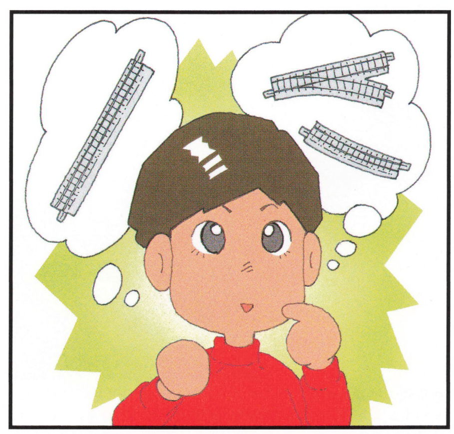
▲待避線にフィーダーを付けると、本線に電気が流れません。



▲本線でも、ポイントの内側にフィーダーを付けると、待避線に電気が流れません。



▲フィーダーは2つのポイントの外側に付けましょう。





いつかは作ろうレイアウト！

実物の車両を模型にすることだけでは満足できず、実物の車両が走る風景まで、模型化したのがレイアウトだと言えます。製作者自身が山や川といった地形を作り、レールや建物のような市販品をうまく使って、風景を完成させます。レイアウトは基本セットから始めたNゲージの目標といえ、その大きさは問わず、製作者の夢と技量の結晶なのです。いつかは必ず挑戦してみてください。

Nゲージになぜ樹木や人形があるのか

レールを敷いて、そのまわりにちょっと建物を置いてみるだけで、運転の雰囲気が変わります。わずかですが、走る車両が実感的に見えるようになります。その効果をもっと追求すれば、レールのまわりに、本物のような風景を作ることになります。実はNゲージの運転の目標が、そのような風景の中で、車両を走らせることなのです。Nゲージのスケールは小さく、それに合わせた材料がなくては、Nゲージ用の風景が作れるわけがありません。TOMIXやKATOのカタログの後半に、建物だけでなく人形や樹木、地面や川を作る材料がラインナップされているのは、Nゲージメーカーでなくては提供できない素材があるからです。そして、風景の中で車両を運転するだけではなく、運転はさておいて、リアルな風景を作ることに重点を置いたスタイルも、Nゲージにはあるのです。

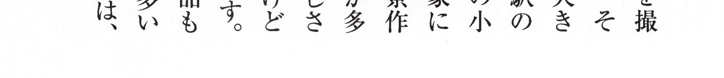

▲並木や林を作るのに、樹木は必要です。　P：TOMIX


▲人形をレイアウトに置くと、リアリティが増します。　P：TOMIX

ジオラマ

鉄道模型がある風景から、写真を撮るように一部分だけを取りだして、それを模型化したのがジオラマです。大きさはまちまちで、たとえば大きな駅の全景から、ローカル線のホームだけの小さな駅まで、製作者が作りたい対象によって変わります。運転よりも、風景作りを重視します。モデルがある場合が多いですが、上手な人になると本物らしさをうまく取り入れて、実在はしないけどいかにもありそうな風景を作ります。リアルなだけでなく、コミカルな作品もあり、作風に限らず、凝った作品が多いのがジオラマです。また、鉄道模型では、風景を情景ということもあります。


▲作り込み次第では、本物そっくりなレイアウトもできます。
模型製作：植原 浩滋　P：市原 純（RMM）


▲線路の周りに風景を作ると、レイアウトになります。
模型製作：根本貫一（RMM）

情景メイキング1

根府川駅ジオラマを作る

構成・文=児山 計　模型製作=DDF（RM MODELS掲載記事を再編集）
写真（特記以外）=青柳 明（RMM）



Nゲージ鉄道模型は、情景を作るとその楽しさは倍増します。ここでは省スペースでも作れるジオラマの作成方法を解説します。大きさは1200×300ミリ。本棚にものる大きさです。車両の展示台として作ってみるのもいいでしょう。

ここでは作例として、東海道線の根府川駅をモデルにしたジオラマを作ってみます。本作品を作る前段階として、実際の根府川駅を取材し、イメージをまとめています。

まず、土台となるベースボードを製作します。この作例ではKATOから発売されている「モジュールボード」という土台を使用しています。モジュールボードの大きさは120０ミリ×300ミリですから、うまくすれば大きめの本棚の上に置けるサイズです。他にも、こういった既製品の土台は、さまざまなサイズが模型店や画材店で売っています。

もちろん、家庭の事情に合わせてホームセンターなどで板を買ってきて土台を自作するのもよいでしょう。ただし、土台がヤワだと、完成後にレイアウトが歪んだりしますので、





駅のそばにある立体交差風景。実景（下）をうまくアレンジして模型化（上）します。そっくりに作るよりも、それっぽく見せるようにします。

しっかりと強度を持たせてください。

まずは大雑把な地形を作ります

さて、土台が決まったら地形を作ります。地形は軽くて形が安定する発泡スチロールやスチレンボード（ホームセンターなどで購入できます）を加工して使います。レイアウトはよほど大きなものでもない限り、持ち運びの必要性が出てくるものです。レイアウトの軽量化はとても重要です。

スチロールを自分のイメージ、もしくは写真をみながらそれっぽく大雑把に、カッターナイフで削ったり、木工ボンドで重ねながら接着していきます。

地形ができたら一旦チェック

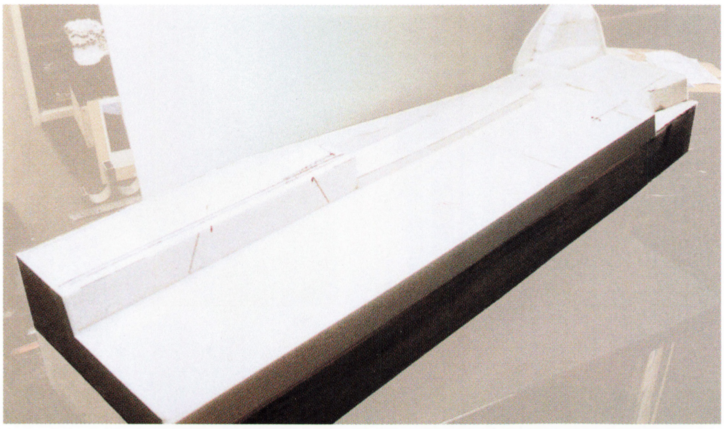
大体の地形ができたら線路を仮置きし、検討します。この作例では直線ばかりですから特に問題はありませんが、列車が曲がりきれないような急カーブになったり、建物やホームに列車が当たるような事がままあります。線路や建物を固定してからこれらのことに気づいても、なすすべがありません。

いよいよ世界を作ります

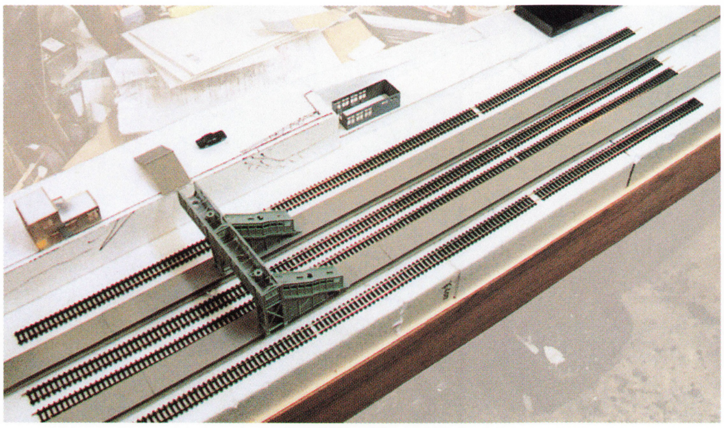
これらの確認作業が終わったら、いよいよ本格作業です。地面を塗装し、樹木、建物などを配置し、線路を固定します。模型店にはさまざまな情景を表現するカラーパウダー、フォーリッジ、ターフ、バラストといった情景部品のほか、家屋や駅舎といった建物も多数売っています。建物は製品から自分のイメージに合ったものを探し出すのもいいですし、イメージにそぐわなければ、思い切ってボール紙やプラ板で自作することも考えてみましょう。

作例では市販品をベースに、切り継ぎや塗装変更、ウエザリング（わ

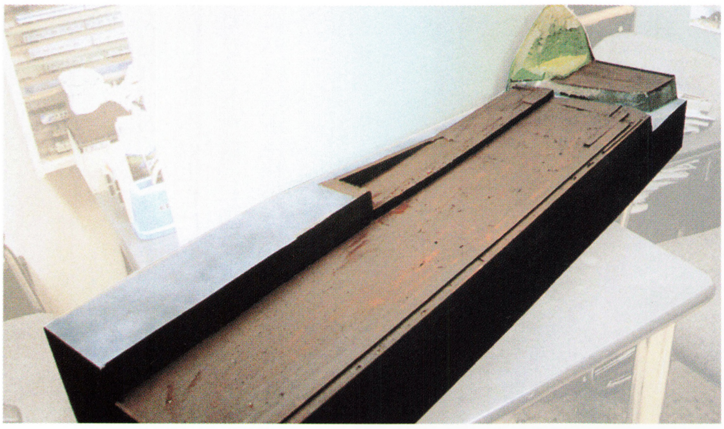
●製作工程写真：DDF



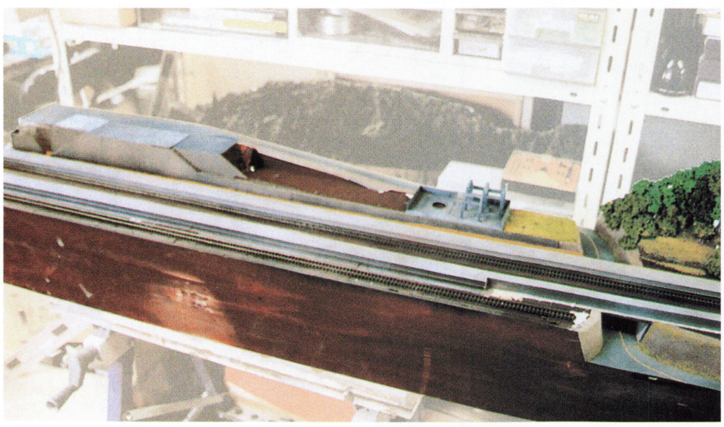
市販のベースボードに、スチロール板で地形の大元を作ります。大雑把でかまいませんが、起伏はこの時点でちゃんとしておきます。



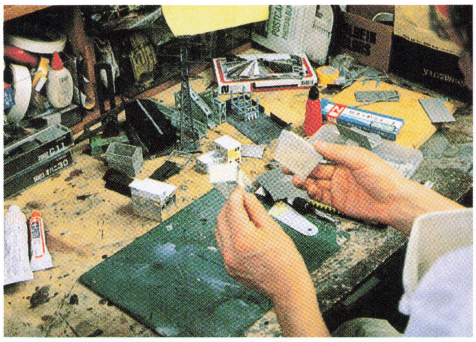
線路を仮設して、車両が引っかからないかを確認します。せっかく作ったのに車両が乗っからない、なんてことのないように。



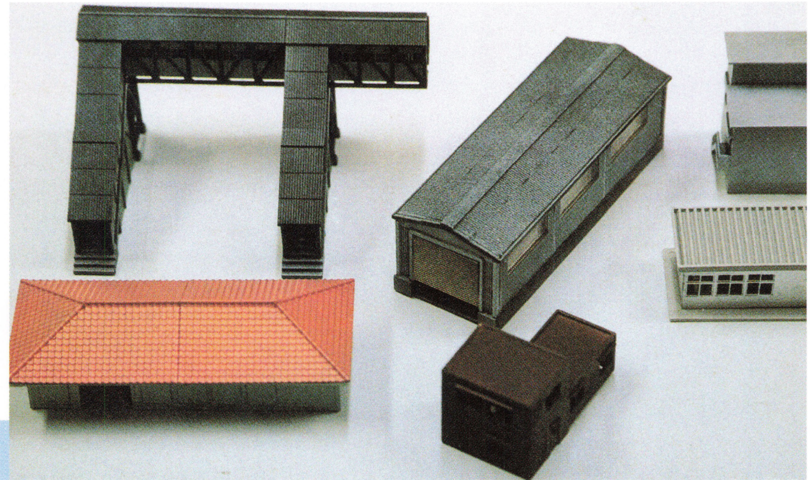
地面を塗装します。地面の色は単なる茶色ばかりではありません。よく観察して、それらしい色を選びましょう。



レールを敷いてバラストを撒きます。バラストは水に溶かしたボンドで固定しますが、このとき、バラストが線路にくっついたら念入りに取り去ります。



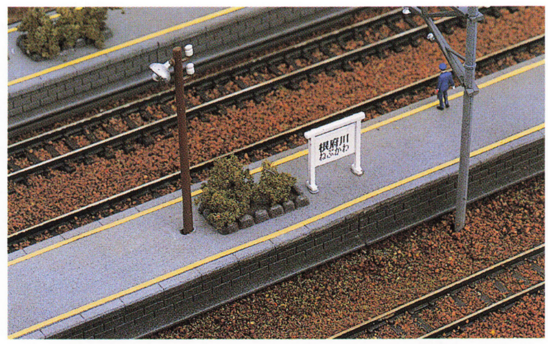
建物は市販品をベースに、それっぽくなるように色を変えたり加工して使います。工作には多少の経験と勘が必要です。



完成したストラクチャー（建物）。“吊るし”で使うのではなくわざと汚すことで、リアリティがでます。



完成した駅前風景。さまざまなパーツを駆使して、セミスクラッチしています。



ホームには黄色い線をテープで敷きます。



駅の植え込みも、実物をよく観察してそれっぽく演出しましょう。

ざと汚すことで、リアリティを高める技法）で、モデルとなった場所の雰囲気を出しています。

線路には砂利、模型で言うところのバラストをまきます。実物の線路を見ればわかりますが、バラストは決して枕木の上にはのっていません。バラストを撒いたら筆を使って丁寧にバラストを枕木からのけて、水で溶いたボンドを使って固定するのです。

最後に、自動車や人形を置いて完成となります。

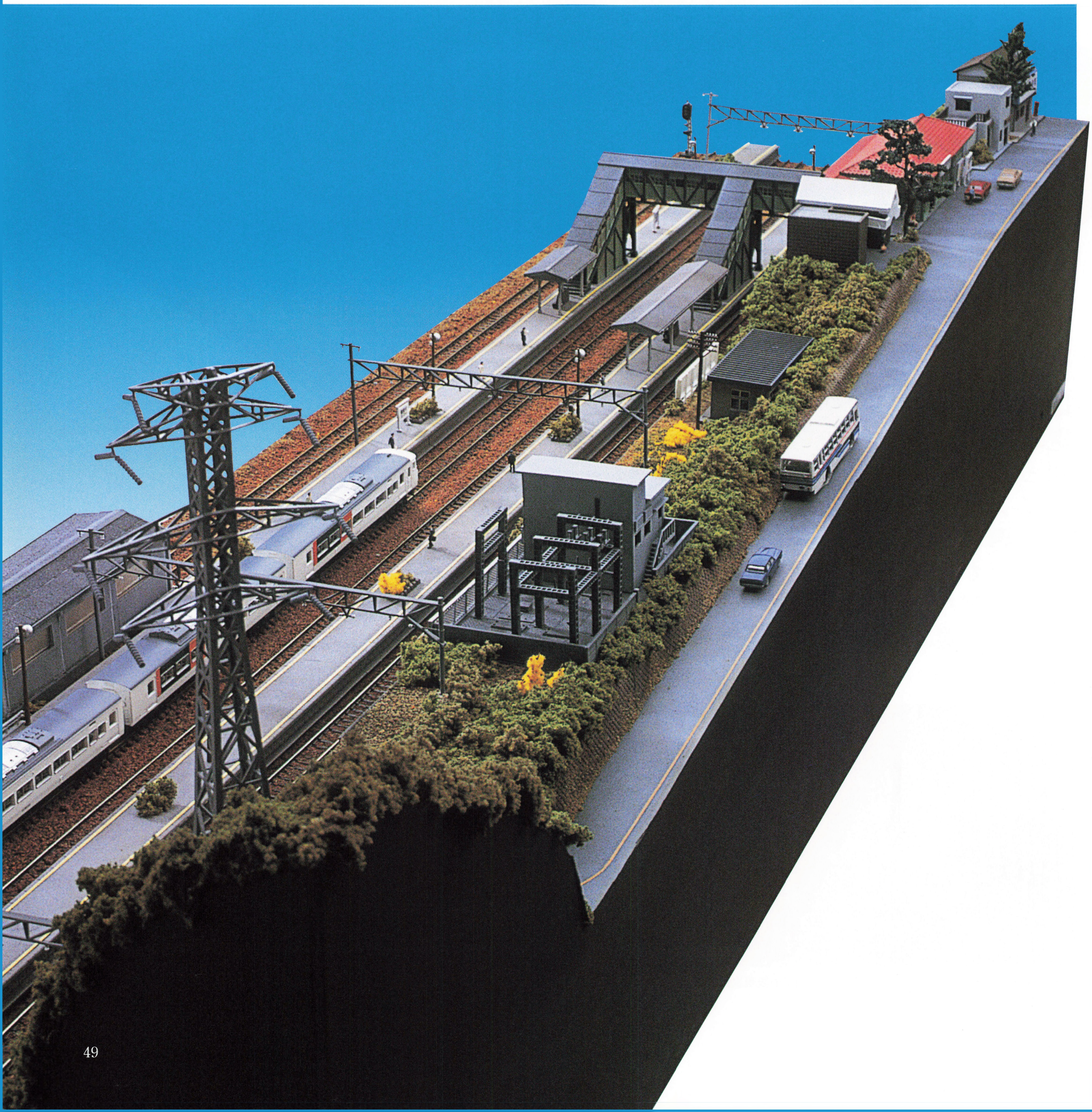
このジオラマは20メートル電車6両程度を、余裕をもって配置できます。お気に入り車両の展示台として使うもよし、セクションレイアウトとして使うもよしです。



実際のホームに立つと、ちょうどこんな感じ。



目線を下げると、気分はもう根府川。雰囲気の移植にうまくいけば、多少アレンジしてもそれらしく見えるというわけ。



情景メイキング2

テーブルトップ型のレイアウトを作る

構成・文＝児山　計　模型製作＝DDF（RM MODELS 掲載記事を再編集）
写真（特記以外）＝青柳　明（RMM）



600ミリ×600ミリのスペースに“江ノ電”を凝縮したレイアウト。テーマを決めて作れば、小スペースでも密度の濃いものが作れます。

ここでは、実際に電車がぐるぐる回って運転できるレイアウトを作ります。舞台は江ノ島電鉄。小型車が急カーブを走る、小レイアウトにはおあつらえ向きの路線です。



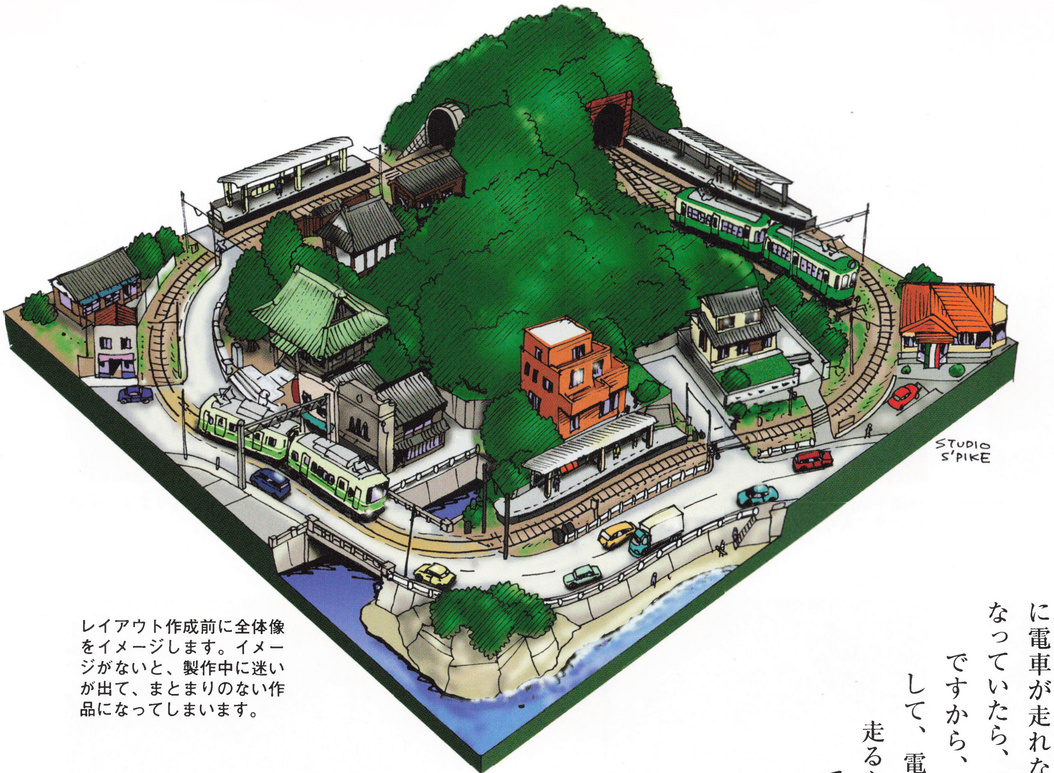
極楽寺車庫付近をイメージしたカット。小さな山でも表現次第でこのような深さが演出できます。

まずはイメージ作りから

まずは、どんなイメージにするかを決めます。今回は江ノ島電鉄の風景を、600ミリ×600ミリ（実物換算で90メートル四方）に凝縮するわけですから、実景を元に何を残し、何を削るかを慎重に決めます。ここをいい加減にしてしまうと、微妙にはずした情景になってしまうこともあります。

イメージが決まったら、ボードを用意し、スチロールで地面を作るところまでは、ジオラマもレイアウトも大きく変わりません。今回は小型電車専用レイアウトということで、半径150ミリという急カーブを、フレキシブルレールという自在に曲

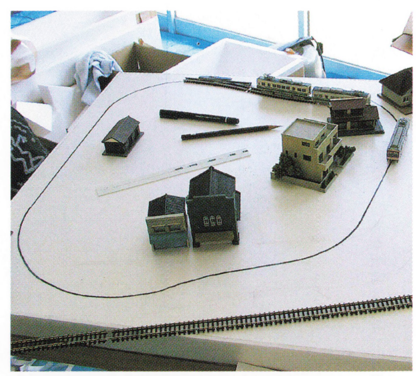
げられる線路を使って作ります。フレキシブルレールは、大きな模型店で取り扱っています。
大きさは600ミリ×600ミリ。コタツの上にちょうど載るくらいの大きさです。これなら一般家庭でも何とか作れるサイズではないでしょうか。
さて、今回は自分でカーブを作るため、線路を仮設したら必ず通電して、走行テストを行います。フレキシブルレールは自在に曲線が作れるわけですが、それはつまり、電車が曲がれないカーブでもできてしまうということです。せっかく作ったのに電車が走れないような急カーブになっていたら、泣くに泣けません。
ですから、できれば線路を仮設して、電気を通してちゃんと走るかどうかのテストをしてください。情景ができてからではやり直しができません。

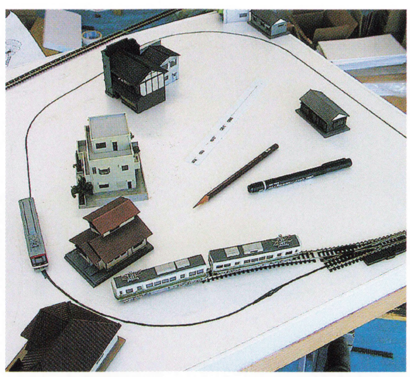


レイアウト作成前に全体像をイメージします。イメージがないと、製作中に迷いが出て、まとまりのない作品になってしまいます。

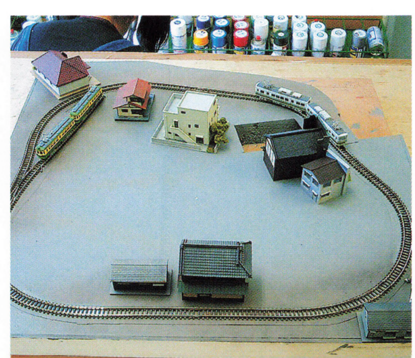
個々の情景を作成する

走行に問題がなければ、いよいよ線路を固定して、地面を作ります。スチロールの地形を基準面に、海はスチロールをカットして低くし、山はスチロールを盛り上げて高くするわけです。
まず、江ノ電の象徴的な情景に、腰越


ベースに線路の位置を書き、大まかな地形を作ります。

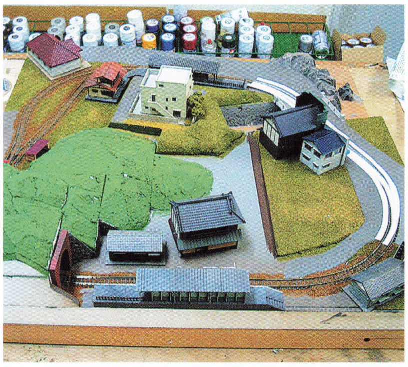

大き目のストラクチャーを置いて、線路配置に無理がないかを検討します。


配置が決まったら、発泡スチロールをカットして、海の部分を作ります。


ストラクチャーを置きながら、全体のバランスを見ていきます。


海岸付近のアップ。手前の部分が海になります。

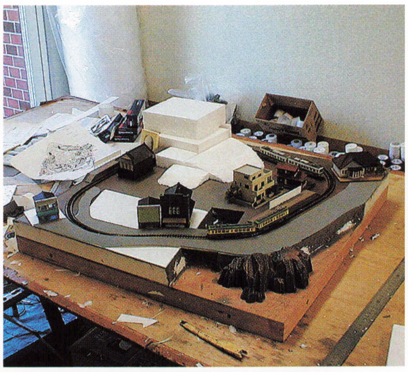

併用軌道を薄いプラ板で作ります。車輪が引っかからないように注意してください。



ストラクチャーを仮置きして全体のバランスを検討します。



地面や地形の着色が終わったところ。これから細かい作業に入ります。



発泡スチロールを重ねて、丘や山を作ります。手前の海岸には岩を配置しました。



川は途中でせき止めて、貯水池風にアレンジ。こういったセンスはレイアウト製作中たびたび要求されます。



発泡スチロールでも、加工次第では岩らしい質感を表現できます。



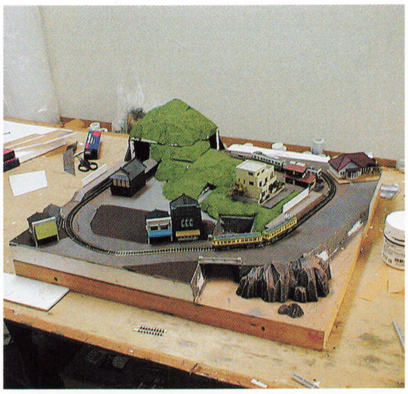
鎌倉高校前駅を設置。雰囲気が出てきました。



和田塚ホームを設置。特徴ある駅舎はスペースの都合上カットしています。



ぎりぎりのスペースに引き上げ線を設置。小レイアウトでは潔く割り切らなくてはならないことがままあります。



急カーブを曲げる電車試運転はマメに行ないましょう。



併用軌道付近をテスト走行する電車。脱線がおきないよう念入りな調整を。



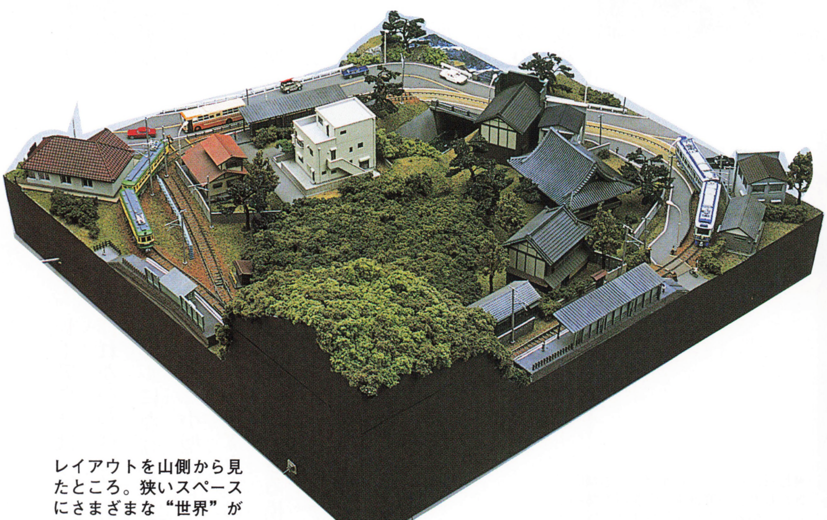
完成まであと一息。細かいアクセサリの配置で、レイアウトにドラマを持たせます。



グレーの部分に極楽寺ホームを設置します。特徴ある駅舎はスペースの都合上カットしています。



鎌倉高校前付近を走る10形。実際の江ノ電も、まさにこんな風景です。



レイアウトを山側から見たところ。狭いスペースにさまざまな"世界"が詰まっています。



完成。しかし遊んでいるうちにいろいろと手を加えたくなるかもしれません。レイアウトに完成はないのです。

の併用軌道があります。これを表現するには線路を埋めなくてはなりません。ここでは、プラ板の薄板を使用しています。併用軌道ではえてして車両が道路に引っかかって事故を起こしやすく、入念なチェックが必要です。線路内側のアスファルトは、実感という点では劣りますが、ぎりぎりまで低くして走行性能を重視したほうがよいでしょう。

建物は市販品のストラクチャーを小加工して使います。古都の雰囲気に合ったクラシカルな建物もグリーンマックスからキット形式で発売していますので活用しましょう。キットもウエザリングという「汚し」のテクニックを使って、実感を出すと雰囲気がよりいっそうよくなります。

もうひとつの見せ場である海は、岩を発泡スチロールで作り、巧みな加工で表面をそれっぽく見せます。海は、グラスメディウムと呼ばれる専用の樹脂を使ったり、透明なプラ板を使ったりして表現します。

鎌倉の山深い風景は、ライケンというコケなどを使って、モコモコっとした感じを出します。実物と見比べながら、それっぽく見えるよう密度や色を調整します。

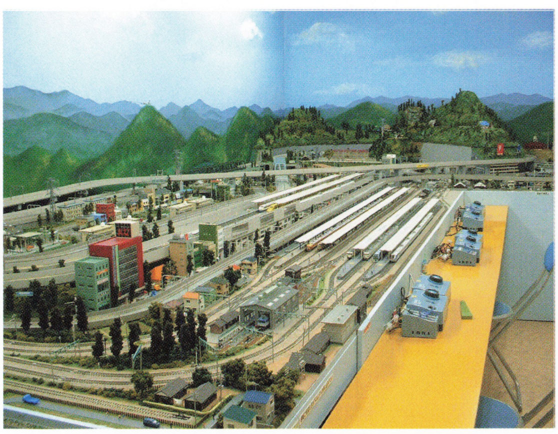
最後に、自動車や人形といったアクセサリを配置して、完成です。

レイアウト

台の上だけで運転が楽しめるようにレールを敷いて、その台全体に風景を作ったものをレイアウトと言います。道床付きレールでも、台に固定して風景の一部になるようにするのが普通です。固定式レイアウトという呼び方もされます。このレイアウトの大きなものは、交通博物館に行ったことがある人は見たことがあるはずです。コンパクトなサイズなら、ショーウインドウに展示している模型店が何軒もあります。模型店でコンパクトに見えたレイアウトも、実際は意外と大きく、同じサイズのものを自宅に作るのは困難です。レイアウトを作ろうとすると、この大きさに知恵を絞ることになります。レイアウトを自宅に実現するには、限られた場所をどれだけ有効に使うかが課題になるからです。また、風景がほしいだけでなく、車両の運転を楽しみたいという願いを、どううまくまとめるかというのも、製作者の腕の見せ所です。運良く大きめのレイアウトが作れるとなると、たいていは運転する楽しみの比重が増して、レールの敷かれ方が複雑になりがちです。レイアウトは、絶対に広い場所がないと作れないわけではありません。運転はシンプルになりますが、ジオラマのような、うんと小型のレイアウトもあります。大きなレイアウトは実現が困難ですが、その運転ができる模型店や時間制で運転させてくれるレイアウトだけの店もあります。有料ですが、広々としたレイアウトで車両を走らせるのは気持ちがいいものです。



▲A4サイズのコンパクトなスペースでも、このように作り込むことで、素晴らしいものができます。



◀最近はレンタルレイアウトも増えてきました。一度風景付の世界を体験したら、病みつきになりますよ。写真はベアーハンズの店内貸レイアウト。

モジュール

レールを敷いて、風景を作りあげた四角型の台をモジュールといい、台同士を道床付きレールのようにつなげば、運転することができます。モジュールは、ジオラマとレイアウトの折衷案とも言え、規格さえ合わせておけば、見ず知らずの他人でもこれを持ち寄れば運転を楽しめるという長所があります。大きなレイアウトの風景を作るのは、たっぷり手間と時間がかかりますが、このモジュールなら、精密に作るにしても苦にはならないサイズですし、モジュールの数が多ければ大型レイアウト同然になります。路面電車を走らせるのを目的に製作されたモジュールの規格が、世界標準になりつつあります。



▲レイアウトの一部分を切り取ったみたいなモジュールレイアウト。

COLUMN

トミーテックのバスコレ



▲▶トミーテックのザ・カーコレクション(上)とザ・バスコレクション(右)

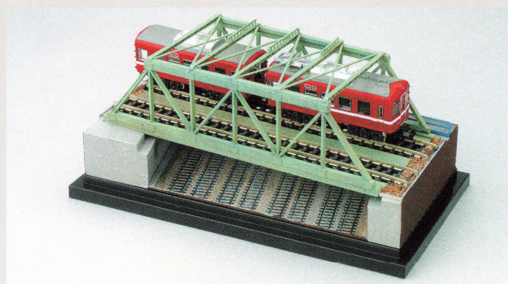


Nゲージサイズのバス模型で、トミーテックの街並みコレクションの姉妹品に当たります。これも人気が高く、買い逃すと入手が難しい製品です。バスの車種も、バス会社ごとのバスの塗りわけもバラエティ豊かなので、絶好のコレクターズアイテムになっている製品です。それに、バスには熱心なファンがいますし、Nゲージとバスの両方を楽しんでいる人も少なからずいることが、製品の人気を後押ししています。さらに、Nゲージサイズの乗用車やトラックのシリーズが、同メーカーから登場したので、街の風景を作っている人には、バスも車も利用価値が高く、目が離せない製品といえるでしょう。

COLUMN

DDFのぷちらま

▶八ツ山橋風情景。



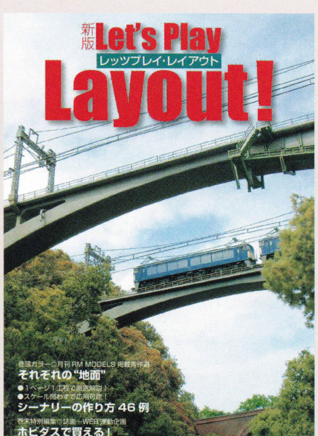


▲Bトレインショーティーはぷちらまにぴったり。

大人の手のひらくらいの、小さなジオラマです。完成した状態で販売されていて、車両は付いていません。自分の持っている車両を置いてジオラマを仕上げるのです。値段が少し高いと思うかもしれませんが、それだけていねいに作られています。Nゲージのジオラマの手本とも言っていい製品です。Nゲージの車両用もありますが、バンダイのBトレインショーティーやトミーテックのバスコレ向きの製品が主力です。鉄道用の「ぷちらま」は、特定の場所をモデルにしています。たとえば都電風と断っているように、厳密ではなくさらりとした設定ですが、その場所のイメージはよく捉えています。バス用のぷちらまは、高速料金所や古いバス営業所など、バスだから絵になる場所が選ばれていて、バスの魅力を引き立てるには、これは文句なしの舞台です。

COLUMN

レイアウトを極めるならコレだ！



◀レールの敷き方から地面作りまで詳細に解説する『Let's Play Layout』。(弊社刊。定価1,500円)

レイアウトを作るには、Nゲージの車両や建物を製作する技術だけでは足りません。レイアウトには、他の技術がたくさん要求されるのです。もちろん車両や建物と同じ工作技術を必要とする場合もあるのですが、レイアウトの製作では大工仕事のようなものもあって、工作の技術の幅がもっと広いのです。山や川を作るのが、車両を作るようにはいかないのは分かるはずです。山を作るにしてもその方法はひとつではありませんし、レイアウトの大きさなどで適切な作り方を工夫しなければならないこともあります。川や海を作るときは水の表現が大事ですが、この水の材料もひとつではありません。自分の狙い通りに作り上げるためにも、風景を本物らしく作るにも、多種多様な技術と材料を知っておくことが大切です。そのために役立つのがこの本です。

車両を楽しむ（1）

Nゲージには、手軽に車両を走らせて楽しむだけでなく、気に入った車両を集めるという楽しみもあります。正直なところ、この車両をコレクションすることだけに熱意を傾けてしまう人も多いわけですが、そうなってしまうのも仕方がないくらい、魅力に溢れた車両が多いということですし、好きな車両が手元に揃うというのはやはり、嬉しいものです。ここでは車両を購入する時の、心得みたいなものを取り上げてみました。

セット売りが基本です

Nゲージの車両は、大半が2両以上のセットで販売されています。このスタイルが基本です。機関車や、それが牽く客車や貨車は1両で売られているものがありますが、これも車種によってはセットになっています。電車などの特急列車は6～7両のまとまった車両数が基本セットになっている場合が多く、これに増結セットを買い足すことになります。実物の車両は、車両を連結するのに規則があり、それに従って組まれた複数の車両を編成といい、新幹線や特急列車には、長い編成があるのは知ってのとおりです。

増結セットというのは、その編成を実物と同じにするためのものです。ですから、増結用の車両セットには先頭車がないなど、このセットだけでは不十分なのが普通です。ただ、価格が安く感じるので、それで間違って買わないように気を付けて下さい。TOMIXの製品の中には、車両が3両の基本セットがあります。これは、ベーシックセットSDの車両数に対応したものですが、車両の種類を増やしたい人には好都合なセットでしょう。3両セットの割には値段が高いと思うかもしれませんが、モーターを組み入れた動力車があるからです。



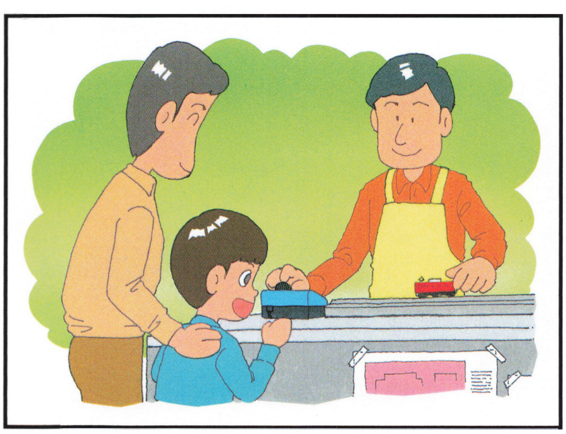
▲ブックケースの利点は、本棚に収まることです。



▲客車や貨車は単品売りもありますが、基本はセット売りです。

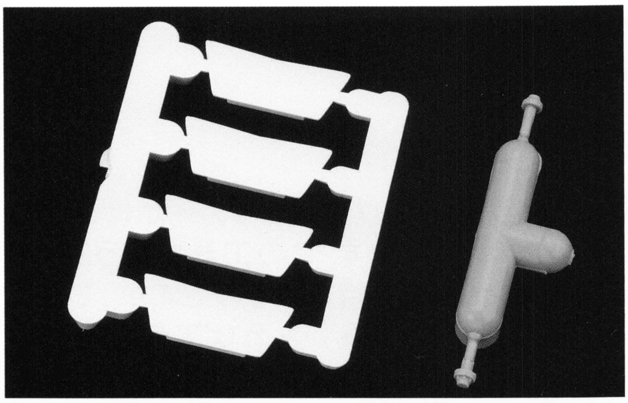
買ったらお店で試運転を！

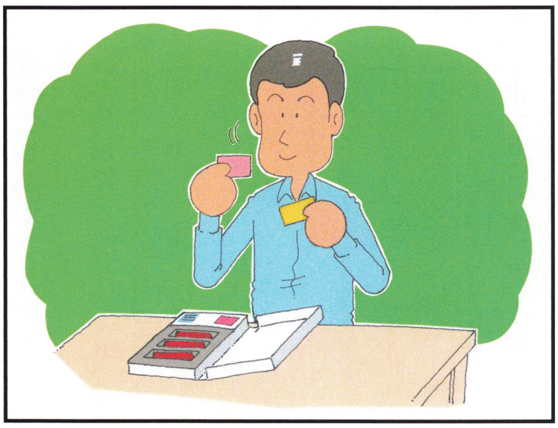
購入したNゲージの車両に動力車があったら、その店で試運転をしてもらって下さい。Nゲージを販売している店には試運転用のレールが用意されているものです。そこで走らせて、異常がないかどうかを店員に確認してもらうのです。現在のNゲージメーカーの製作技術と、製品管理能力なら、不良品が出る恐れはめったにありませんが、用心しておいて損はありません。動きがぎこちなかったり、変な音がするようならその場で車両を交換してもらうことです。初めは調子が今ひとつでも、少し走らせてみるとスムースに走るようになることもありますから、あまり早急に、これは不良品だと思わないで下さい。それに、試運転用のレールが汚れているのが、走行不良の原因ということもあります。



自宅でもう一度付属パーツの点検を

車両には、それに付ける細かいパーツやステッカー（メーカーによってはシールと言います）が付属しているものです。それは、車両を買った時に、店員がパーツやステッカーがきちんと揃っているかどうかをチェックすると思いますが、買った後で自宅に戻ったら、もう一度再チェックをしてみて下さい。店員のチェックミスが絶対にないとは言えないからです。もし足りないものがあったら、取扱説明書などでその名称を確かめてから、すぐに店に連絡して下さい。買った製品名と足りないものの名称を正確に伝えることが、話を早くするコツです。その連絡までの時間が経過すればするほど、足りないものを補ってもらうことが難しくなります。何日も過ぎてから連絡を受けた店が、細かいパーツを紛失したり、ステッカーを貼るのを失敗したので新品を手に入れようとしているのではないかと疑っても文句は言えません。もし、本当にパーツを紛失し、ステッカー貼りに失敗したのなら、別売されていて入手が可能なものがありますし、メーカーに問い合わせてみる方法もあります。


▲細かいだけに、紛失に要注意なのがNゲージのパーツです。



品切れで買えない車両もあります

Nゲージの車両は、限定品だらけだと思っていいかもしれません。実物の車両がなくなる時に、その記念に発売される車両セットがあります。鉄道模型のイベント会場だけでしか買えない車両があります。これなら限定品として納得してもらえるでしょう。ところが、塗装のバリエーションが多い車両の、そのうちのひとつを限定品として発売したり、よほど人気がある車両はともかく、原則として製品の再生産はしないというメーカーもありますから、Nゲージの車両には限定品があふれています。また、製品の改良品が登場したので、同じ車両の旧製品が同じような状態になってしまうことがあります。もっとも、Nゲージ車両の多くは、いつでも模型店で購入できますし、それが普通ですから安心して下さい。でも、困ったことに店頭から売り切れてしまうと、再入荷までに時間がかかることがあるのです。それがすぐであれば、お目当ての車両がほしい人はイライラしなくて済むのですが、製品の再生産には時間がかかることがあります。Nゲージを続けていれば、一度は経験することだと思って下さい。メーカーの広告などで再生産の情報は得られますから、チェックしてみるとよいでしょう。



▲新幹線100系の、引退記念に発売されたセットです。



▲JAMという鉄道模型のイベント会場で発売された、限定品の車両（TOMIX製コンテナ車）です。

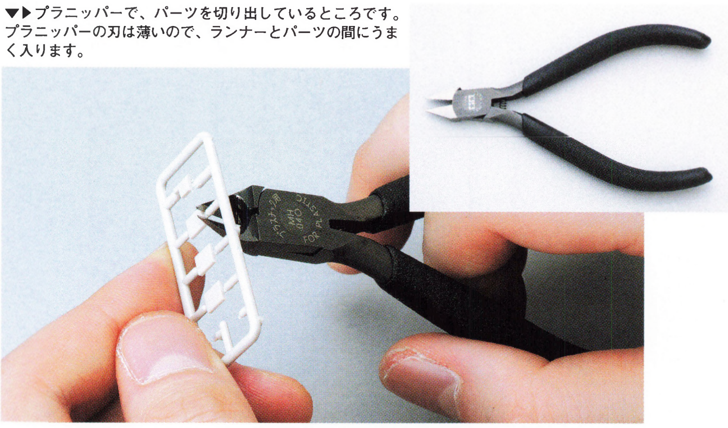
とても大事な初歩の工具

Nゲージの車両には、より本物らしく見せるために、細かいパーツやステッカーが付属しています。それらを上手に扱うためには素手ではダメで、工具がいります。この工具を買う時に、どちらかというと費用を惜しみやすい。安価な工具でも用が足りる時もあるのですが、できれば少し高いと思うような値段の工具を買って下さい。使いやすい工具があれば工作も楽ですし、たいていは値段の分だけ使いやすいものです。

プラニッパー

プラスチックを切る専用の工具です。Nゲージの、プラスチック製の細かいパーツには、ランナーという棒の先にくっついているものがあります。それを切り出す時に使うのが、プラニッパーです。パーツをランナーから手でもぎ取れば、パーツに刺のようなものが残りますし、細かいパーツなら、まちがいなく折れてしまいます。だから、プラニッパーを使うのです。プラニッパーの役目はパーツを切り出すところまでで、次はカッターナイフの仕事です。

▼▶プラニッパーで、パーツを切り出しているところです。プラニッパーの刃は薄いので、ランナーとパーツの間にうまく入ります。



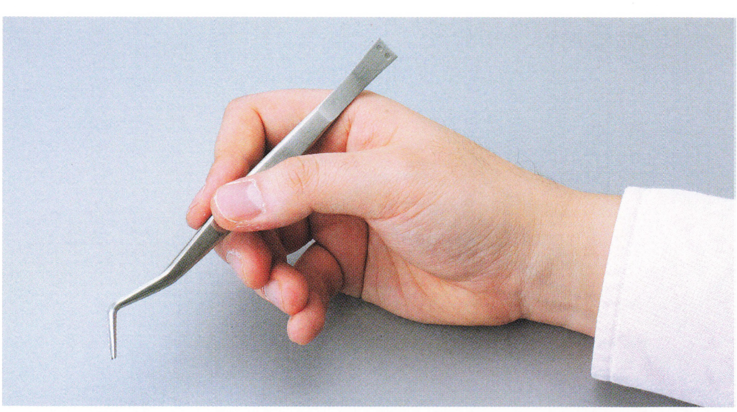
ピンセット

Nゲージの車両に使うパーツは、非常に細かい場合が多く、それを指先だけで扱うのは困難です。そこで頼りになるのがピンセットです。自分の指先に代わって神経を集中する仕事に取り組むのですから。このピンセットこそ、値段が少し高いと思うものを買って下さい。安いピンセットより、高いピンセットの方が細かいパーツをつかみやすく、しっかりとパーツをつかむことができます。そうでなければ工作がはかどりません。奮発して高いピンセットを買う価値はあります。また、ピンセットをつかむときに、安いピンセットの方が力がいります。ちょっと較べてみただけでは、はっきりと分かるほどの差はないのですが、ピンセットを使う時間が長いと分かります。だんだん、使いづらくなるはずです。ピンセットの先端は、値段を問わず、力仕事には向いていません。先端が変型してしまいます。

ピンセットの先端をよく見ると、ピンセットの値段の差が、ここに現れています。安いピンセットは仕上げが今ひとつ

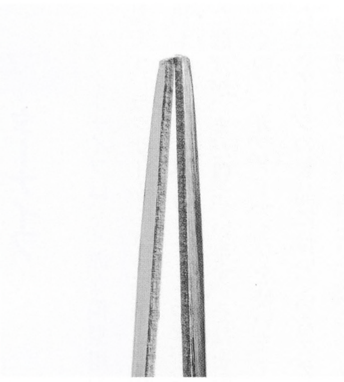


▲ピンセットの代表的な形をした2タイプです。どちらが使いやすいとは、決まってはいません。

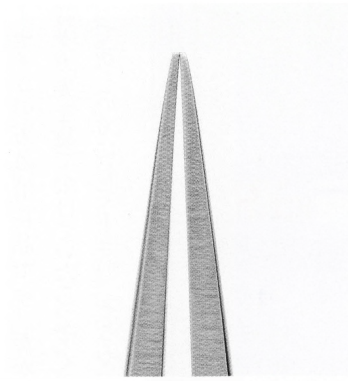


▲ピンセットは持ちやすいことも大切です。そして、軽い力でパーツがはさめると、工作も楽です。

で、先端は太めです。値段の高いピンセットは、それとは逆です。先端は鋭く、閉じると両側がピタリと合うので、細かいパーツがつかみやすいのです。買う時に迷うかもしれませんが、値段の高いピンセットは、使うほどに手になじんできます。大切に使えば、たやすくダメになったりはしません。



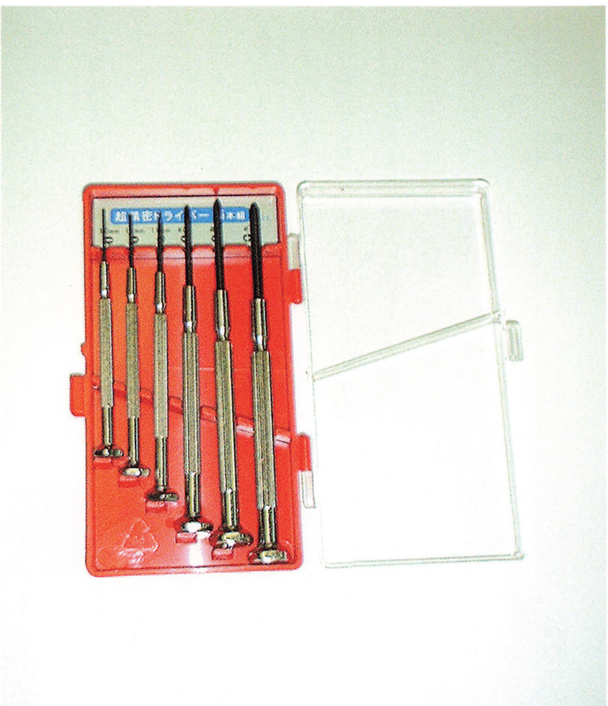
▲安いピンセットの先端です。太くて、見るからにパーツをつかみにくそうです。



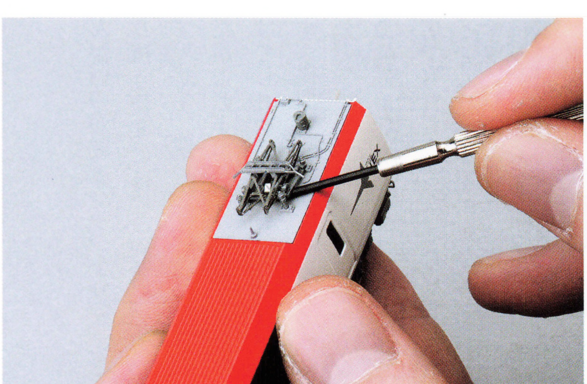
▲高いピンセットの先端です。シャープで、使いやすそうでしょう。

精密ドライバー

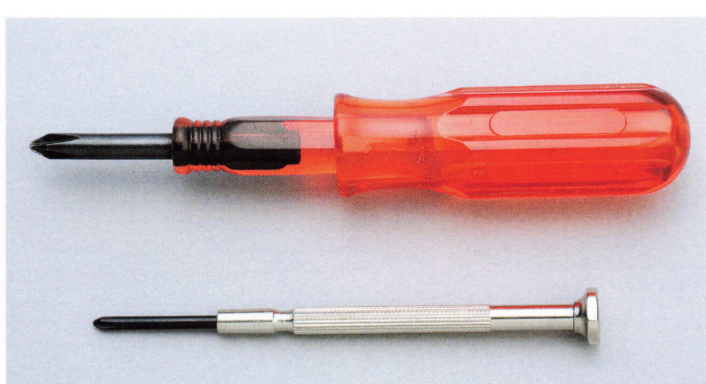
Nゲージの工作に、少しずつ手を染めはじめたら、購入してほしいのが、この精密ドライバーです。＋(プラス)と－(マイナス)の細いドライバーで、数本がセットになっています。サイズが異なる小さいネジごとに使い分けるドライバーなので、先端はネジに合わせた大きさをしています。ドライバー全体もそれに同調して、小さいネジに使うドライバーほど、細くて短かくなっています。ドライバーの反対側は、皿状になっていて回転します。そこを手のひらにあてて、ドライバーを回せるようになっているのです。Nゲージの車両に使われているネジも小さいので、この精密ドライバーが必要になります。一般のドライバーでは、手も足も出ません。でも、精密ドライバーには気の毒なのですが、ドライバー以外の使い方もするのが、Nゲージの工作です。車両を分解する時などに、パーツをこのドライバーの先で押したり、持ち上げたりします。パーツどうしの間に、無理矢理に差しこんで、引きはがすのに使われることもあります。どちらかというと、こういう作業に使用される機会が多いのは、その大きさも強度も適しているせいでしょう。また、うまい代用品が見あたらないのが、精密ドライバーを使うしかない理由です。Nゲージの工作が本格化してくるほど、本来の目的以外の出番が増える工具が精密ドライバーなのです。



▲ドライバーセット。Nゲージでは何かと重宝します。



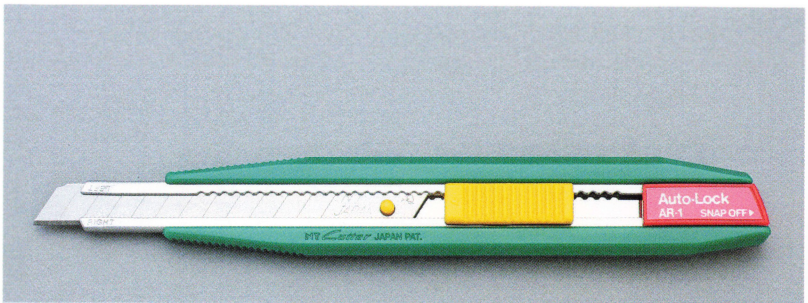
▲パンタグラフを、精密ドライバーで持ち上げてはずそうとしています。



▲一般のドライバーと、精密ドライバーを比較してみました。

カッターナイフ

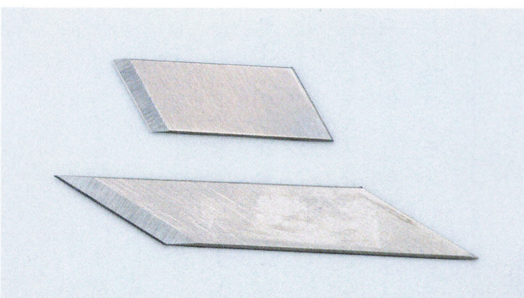
カッターナイフは、立派な模型用の工具です。ランナーからプラニッパーで切り出したパーツには、ランナーとつながっていた部分が、まだ残っています。それを取り除くのに、カッターナイフを使います。また、Nゲージの製品に付いているステッカーを切るのにも手頃な工具です。カッターナイフの刃は消耗品です。だから、時々刃先を見て欠けていたら、すぐに折って新しい刃にして下さい。そうやって、常に切れ味の良い状態で工作をすることです。欠けた刃でステッカーがきれいに切れるはずがありません。カッターナイフは、どこのメーカーの製品が模型用に適しているということはありません。自分が使いやすそうだと思うものを買って下さい。それで充分です。カッターナイフを買う時に、ついでに刃を折るのに便利な溝がついている箱入りの替刃を買っておくと、刃の更新が楽にできます。



▲このカッターナイフの刃の角度は45度で、スタンダードなタイプです。



◀刃を折る機能のついた替刃の箱です。この替刃の刃の角度は30度ですが、それがどのくらいの角度なのかは、下の写真を見ると分かると思います。


◀上が45度、下が30度の角度の、デザインナイフ用の刃です。

デザインナイフ

デザインナイフは、ボールペンを持つようにして使います。Nゲージの車両のステッカーには、とても小さいものがありますが、そんなステッカーの切り抜き作業には、うってつけの工具です。デザインナイフの刃は、簡単に取り替えることができます。刃は、カッターナイフの刃を利用したものですが、それを折った状態の刃が数十枚でセットになっていて、デザインナイフ用として売られています。刃の角度には、45度、35度、30度の3つのタイプがあり、いちばん鋭いのが30度です。デリケートな切り抜き作業には、この30度の刃が向いています。鋭いので微妙な動きが可能だからですが、その代わり、刃先が欠けてしまいやすいという欠点があります。模型店で入手しやすいのは写真のタミヤ製ですが、名前から分かるように本来は画材なので、画材店や文房具店でも買うことができます。持ちやすいことが、使い勝手の良さになります。



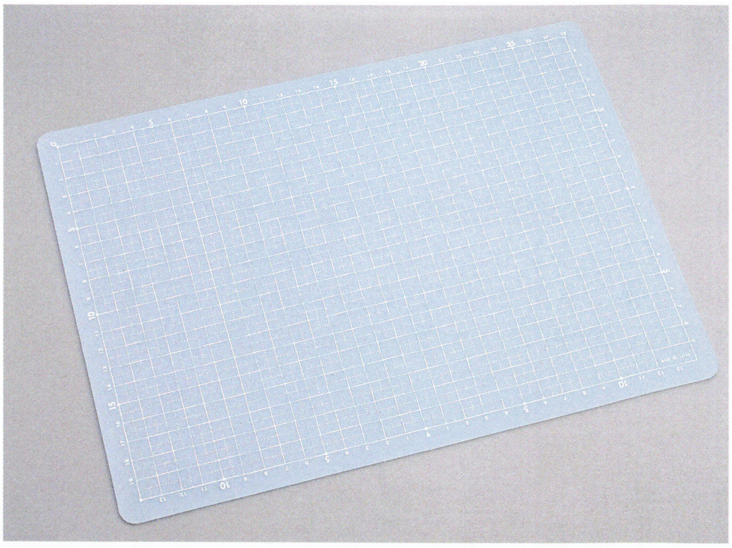
▶デザインナイフ用の替刃は、数十枚をセットにして売られています。



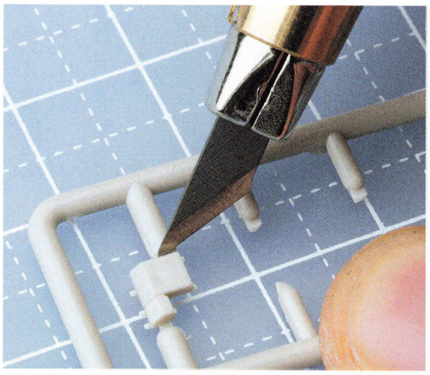
▲デザインナイフです。付いている刃の角度は30度です。

カッティングマット

カッターナイフを使って、パーツを切ったりする時に、机の上に敷く工作用のマットです。机を傷つけないようにするのが目的ですが、カッターナイフの刃先を守る効果も、少しですがあります。机の上で直接作業をすると、カッターナイフの刃が机にあたり、机の固さで刃が欠けてしまいやすいのです。カッティングマットなら、机よりはやわらかいので、刃先はマットに切りこみ、そのおかげで刃先はあまり傷まずに済み、ちょっとだけ長持ちします。カッティングマットは、模型店だけではなく、文房具店でも買えます。その時に注意してほしいのは、カッティングマットの色です。ほとんどは地味で、長い時間目にしていても気にならない色ばかりですが、中にはパステルカラーみたいな淡い色合いながら、長く見ていると目が疲れる色のカッティングマットがあります。そういうのは、避けた方がよいと思います。カッティングマットの大きさは、工作に使う場所に合わせて、自分で決めて下さい。そしてカッティングマットは使っているうちに、表面が荒れてきます。その一部が小片となってはがれてくるので、そうなったら買い換えの時期だと思って下さい。



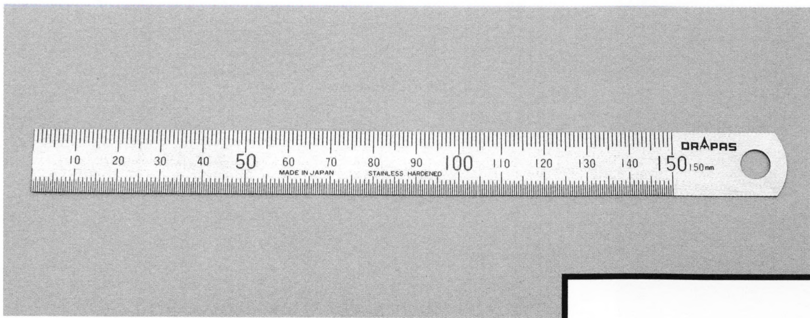
▲机と刃をいたわるカッティングマットです。



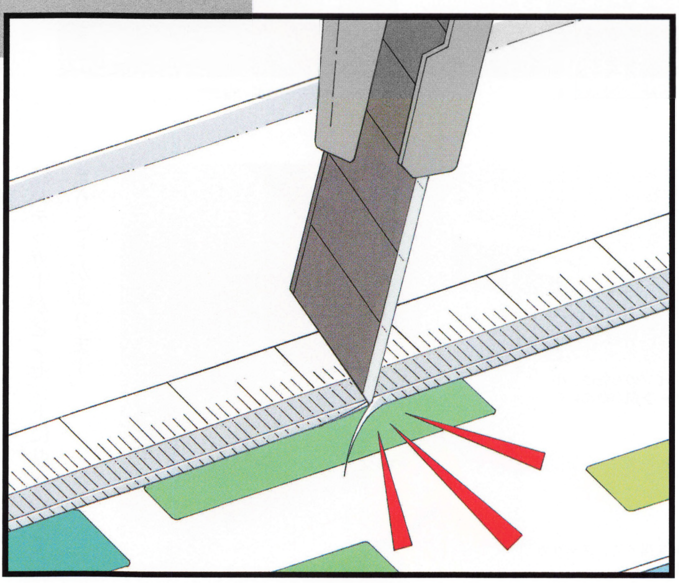
◀このように、カッティングマットの上にパーツをのせて、押し切ります。

金属の定規

カッターナイフやデザインナイフでステッカーを直線に切る時は、金属製の定規を使うとうまく切れます。プラスチック製の定規でも構わないのですが、刃先が定規に食いこんでしまいやすく、そうなるとステッカーもキレイに切れませんが、定規の方も傷が入ってしまいます。金属製の定規を使えば、そういうことは起こりません。Nゲージ用は15センチの定規がひとつあれば、工作で不自由することはないはずです。金属製の定規は、どこで買うのか考えるかも知れませんが、模型店ではなく、画材店や文房具店でも購入はできます。その存在に、あまり気がついている人がいないのがこの製品です。定規を置いてある売り場をよくご覧下さい。目立たない15センチの定規が、ひっそりとそこにあるはずです。



▲Nゲージの工作を続けていれば、ずっと付き合うことになるのが、この定規です。わずか15センチでも、大活躍します。



車両にインレタ、ステッカーを貼る

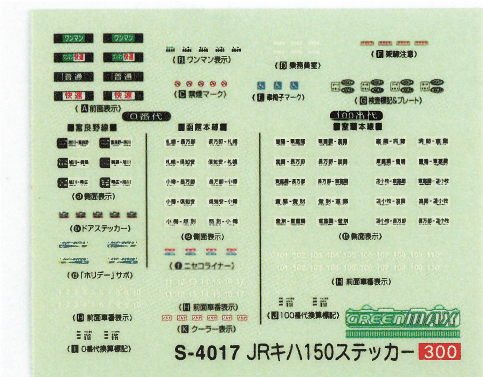
鉄道車両の車体には、列車の行先や車両の形式が表示されています。それをNゲージの車両で再現するのが、ステッカーやインレタ（インスタントレタリングの略称）です。ステッカーは小さいのが難点ですが、インレタには困り果てる方が少なくはないはずです。慰めになるかどうかわかりませんが、Nゲージとの付き合いが長いベテランでも手を焼くのが、このインレタなのです。

ステッカーを貼る

特急や急行であることを示す表示や、列車の行先を案内した方向幕など、乗客が見るようなものが大体、ステッカーになっています。Nゲージの車両用となるとどれもが小さくて、切り抜くだけでも大変です。ステッカーを貼る、貼らないは各自で選択することなのですが、面倒なので敬遠する人も少なくはありません。ですが、小さなステッカーを貼った効果は大きいのです。実物の車両を正確に模型にしたNゲージの車両を、より実物らしく見せる小道具なのですから、取り組んでみて下さい。最初から、効率よく工作ができるわけはありません。ステッカーのいいところは、ゆっくりやっても構わないことです。大急ぎで作業を進める必要はないのですから、あせることはありません。でも、貼る場所だけは間違わないで下さいね。

　ステッカーを貼るのは、ゆとりをもってできる作業ですが、注意しなくてはいけないことも、やっぱりあります。車両用のステッカーは、薄いフィルムになっているのがほとんどで、粘着力が弱いのですが、そのせいで、貼り付けてしまったものを、もう一度はがしてやり直すのが難しい。引きはがす時に、ステッカーが変型することが多いからです。ステッカーは、慎重に位置を決めて貼って下さい。貼る位置に、ステッカーの端をほんのちょっとだけ貼ってみて、様子を見るのがコツです。建物用のステッカーは厚めで、再挑戦できる確率は高いですが、それに期待してはいけません。

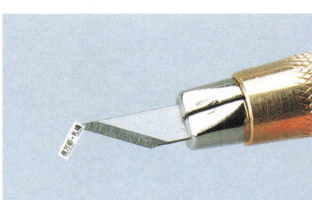
　方向幕のように、きちんとした四角型のステッカーを切る時は、直線の部分には定規を使って下さい。ステッカーの角が丸くなっている場合は、そこだけをフリーハンドで切ります。ステッカーを台紙から取り出して、貼り付ける位置まで運ぶのには、ピンセットの他にデザインナイフの刃先を使う方法があります。馴れてくると、こちらの方が作業をやりやすいものです。ピンセットは、ステッカーをうまくつかまないと、車両に貼る前にステッカーがピンセットに貼りついてしまうことがあります。

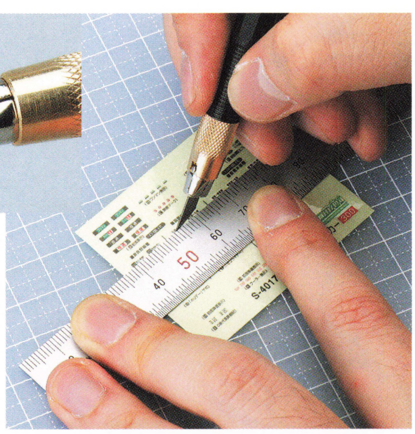


▲車両に付属するステッカーです。


▲ステッカーを貼った車両です。


▲ステッカーを貼る前の車両です。

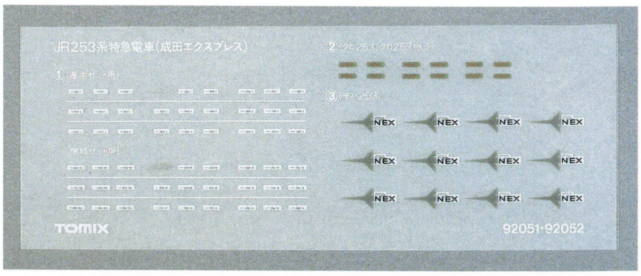

▲デザインナイフの刃先は、小さなステッカーを運ぶ道具にもなります。


▶金属の定規を当てて、ステッカーを切ります。

インレタを転写する

車両の形式を表す文字や数字を表現するのに使われているのが、インレタです。文字や数字が付いているフィルムを車体の上に置いて、フィルムの表側をバーニッシャーという専用の道具でこすります。それだけで車体に、フィルムから文字や数字などの標記が転写するのです。言うのは簡単ですが、これがなかなかうまくはいきません。転写があっさりとできることもあるのですが、バーニッシャーで何度こすっても、車両の上に移動しないで、しぶとくフィルムに残ることもあれば、こすっている間にフィルムがズレてしまい、インレタの文字や数字にヒビが入ったり、壊れたりすることがあります。転写が完了するまでは、気を抜くことができません。電車のモハとかサハとかいう標記は、車体側面のよく目立つところにあります。ここのインレタの転写を失敗すると、すごく見苦しい有様になるのは、想像がつくと思います。目立つ場所のインレタには、とくに注意がいります。簡単にはいかないインレタだけに、成功した時の嬉しさは格別です。インレタ転写を成功に導くのは情熱ではなく、執念かもしれません。インレタを転写した車両の扱いには用心して下さい。転写用のバーニッシャーは模型店で購入しますが、画材店でもよく似たトランサーという道具を入手することができます。

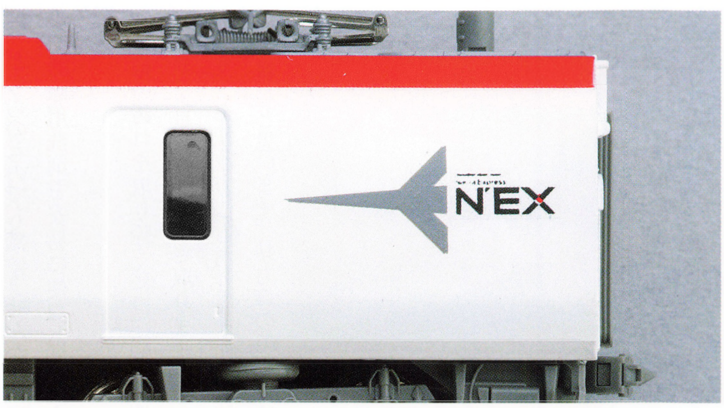
インレタの転写をするために、バーニッシャーでこすっている間は、フィルムをしっかり押さえておくことが基本です。転写はできたけれども、位置が変だったり、文字や数字が欠けたりして、やり直しがしたい時には、いったんそのインレタの上にセロテープを貼ります。そしてセロテープをはがせば、インレタはセロテープにくっついて、一緒にはがれます。一度でうまくはがれないときは、数回貼ったり、はがしたりを繰り返して下さい。キレイに取り除くことができるはずです。やり直しができるのですから、失敗したからといって、あきらめてはいけません。



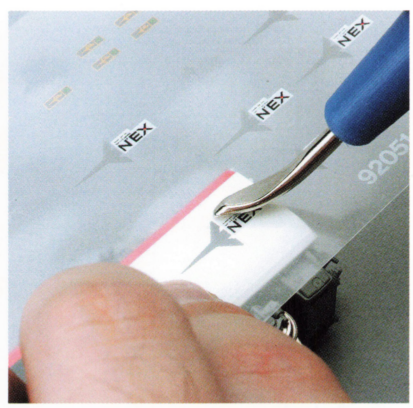
▲インレタです。ステッカーと違い、はくり紙がありません。

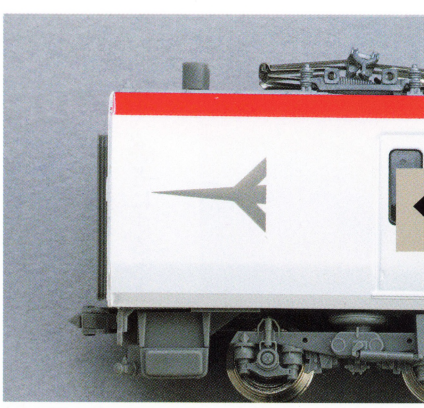


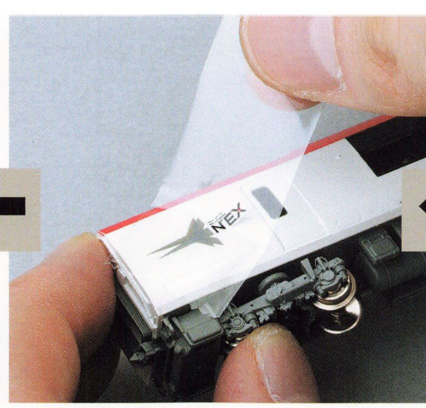
▲画材店で買えるトランサーです。バーシッシャーと同様のものです。

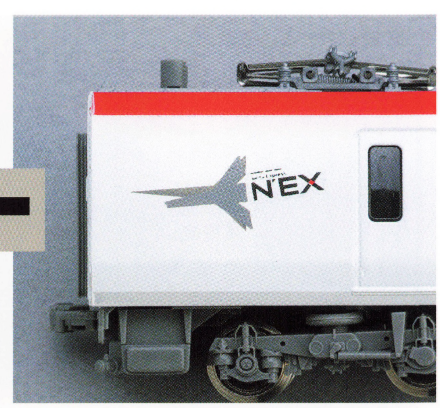


▲うまく転写ができました。


▲インレタを転写している途中です。


▲セロテープをはがすと、インレタもはがれます。


▲セロテープを貼ります。



▲インレタの転写に、失敗してしまいました。

車両とレールのメンテンナンス

車両やレールをいくら大切に扱ってはいても、走らせていれば車両の車輪やレールの表面が汚れてきます。そうなると、車両はスムースに動かなくなってしまいます。車輪やレールの汚れを取り除く製品がいろいろと発売されていて、手作業で行なうものもあれば、車両を走らせるだけでOKというものもあります。ともかく汚れを放置しないことです。快適な運転を保つには、それが欠かせません。

鉄道模型用のクリーナーを使おう

車両を走らせているうちに、車輪とレールは汚れてきます。走っている車両を見ていて、以前のように快調な感じがせず、なんだか変だなと思ったら、車輪とレールをチェックしてみて下さい。お互いに接する部分が薄黒くなっていたら、汚れている証拠です。放っておけば、車両の走行不良はいつまでたっても治りません。レールに流れている電気が、汚れのせいで車両にうまく伝わらないからです。TOMIXとKATOからは、この汚れを取り除く洗浄液が発売されています。これは発売メーカーの車両やレール専用ではないので、布や綿棒で車両やレールを手入れするのは、どちらのものでも構いませんが、家庭用の掃除用洗剤を安易に使ってはいけません。

車輪の汚れを取り除くには、綿棒に洗浄液を少量つけて、拭き取ります。布や歯ブラシを使う方法もありますが、綿棒が無難だと思います。動力車の車輪を綿棒で拭く時は、慎重に作業をして下さい。動力車の手入れ方法は、TOMIXとKATOのカタログの後ろのページに紹介されています。参考にするとよいでしょう。

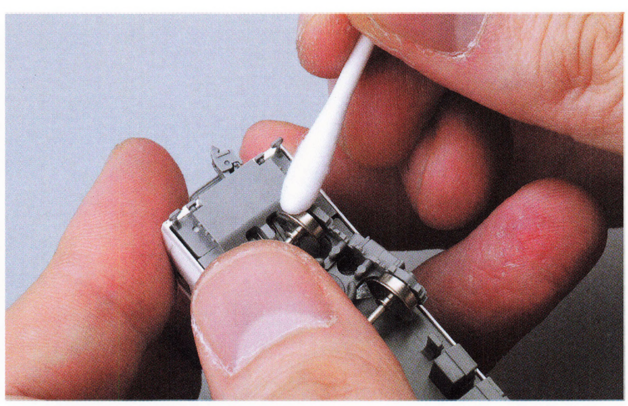


▲TOMIXレールクリーナー。P:TOMIX



▲KATOユニクリーナー。P:KATO


▲洗浄液を、乾いた布につけて拭きます。


▲車輪の掃除中は、車体の扱いに気を付けて下さい。

COLUMN

集電性向上剤LOCO

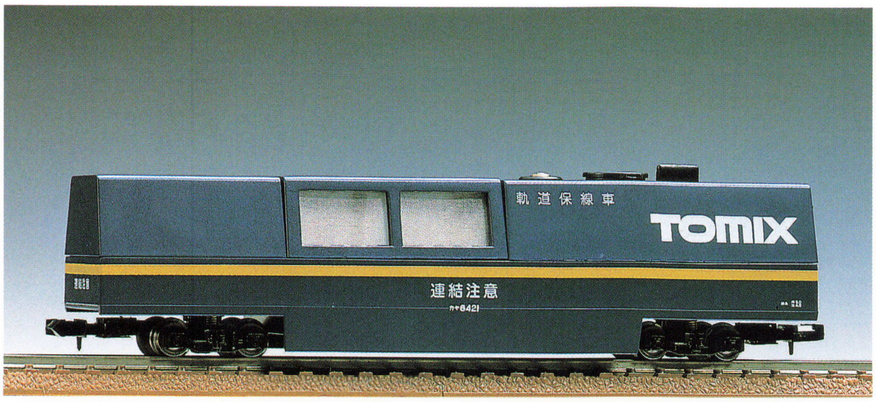
レールと車輪の汚れを取り除くのは、分かってはいても正直なところ、面倒なものです。はっきり言って陽気な気分でできる仕事ではありません。楽して汚れを除く方法がないものかと考えるのは当然です。レールと車輪には、ウソみたいな話ですが、それがあります。この集電性向上剤「LOCO」(アルケ発売)を車輪に一滴つけて、普段通りに運転するだけでよく、快調な運転を保つことができるのです。



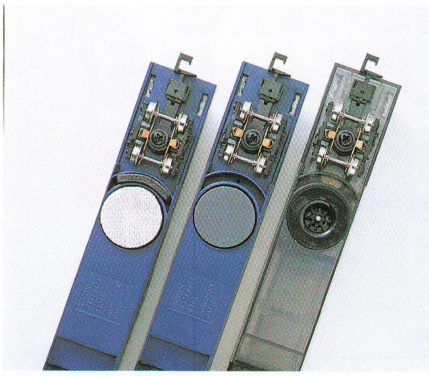
▲集電性向上剤LOCO。

TOMIXマルチレールクリーニングカー

機関車に連結して走らせるだけで、レールをきれいにしてくれる掃除専用の車両です。車体の裏側の丸いクリーニングディスクを取り替えて、湿式、乾式、吸引ファンの3つの機能を選択します。湿式はクリーニングディスクに、同社のレールクリーナーをふくませて、レールを拭き取る機能です。乾式は、クリーニングディスクがヤスリになっていて、これでレールの表面のしつこい汚れを、磨いて落とすわけです。吸引ファンは掃除機そのものの機能で、レールの上のホコリを吸い集めます。マルチレールクリーニングカーは、鉄道車両みたいに作られているので、走り回っている姿を見ても、あまり掃除している感じはしないだろうと思います。鉄橋のレールは、手を使って拭くには難しいので、この製品に活躍してもらうべきです、レイアウトを持っている人にこの製品が好評なのは、トンネルの中のレールを掃除するのには、重宝だからです。クリーニングディスクだけでなく、それに貼りつけて汚れを取る湿式と乾式のヘッド部分も別売されていますから、いつでも新品に交換ができます。運転を楽しむなら、もはや常備品にしてほしい製品といってよいでしょう。

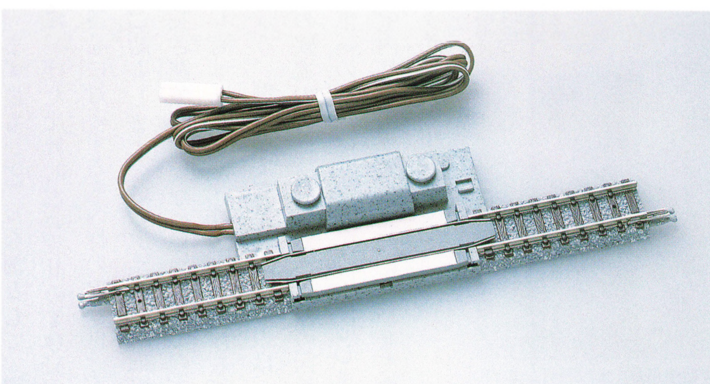


▲マルチレールクリーニングカー。P:TOMIX


▲台車の下の丸い部分が、クリーニングディスクです。左から、湿式、乾式、吸引ファンです。P:TOMIX

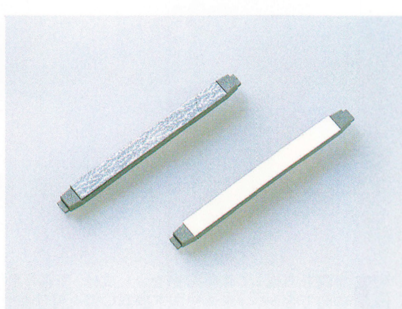
TOMIXマルチ車輪クリーニングレール

このレールの上で、車両を往復運転させるだけで、車輪の汚れを取り除くことができます。TOMIXのレール専用の製品です。両端につないだレールに、D.C.フィーダーがついていれば、電源と接続する必要はありません。コードがついているのは、このマルチ車輪クリーニングレールが直接、TOMIXのパワーユニットから給電する時に使うものです。車輪が通過する部分に置かれた細長い板を、クリーニングヘッドといい、レールの横に組みこまれているモーターカーが、これを振動させて走行中の車輪の汚れを取るのです。汚れの取り方には、湿式と乾式の二通りがあり、湿式はTOMIXのレールクリーナーを紙に少量しみこませて汚れを拭き取り、乾式はヤスリで汚れを磨き取ります。取れにくい汚れには、乾式を使います。動力車の車輪の汚れを取るのに、便利なのは間違いありません。


▲マルチ車輪クリーニングレール（F）。白い板は、乾式のクリーニングヘッドです。P:TOMIX



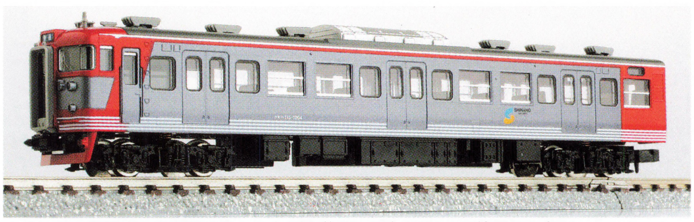
P:TOMIX


▶交換用のクリーニングヘッドが、別売されています。P:TOMIX

付けて楽しい室内灯

各メーカーから発売されている室内灯ユニットは夜行列車の雰囲気を演出して楽しめる定番のアイテムであり、昼行列車でも精密に作り込まれた室内を一層際立たせる効果があります。近年では白色LEDを光源とした実車の蛍光灯に近い色調で光る製品が登場し、ますます魅力的なものとなっています。ここでは完成品車両への組み込み方法をメーカー別にご紹介します。

構成・文=佐々木大悟



▲ここでは元国鉄の車両である、しなの鉄道の115系を例として使用します。

室内灯を付けてみよう!

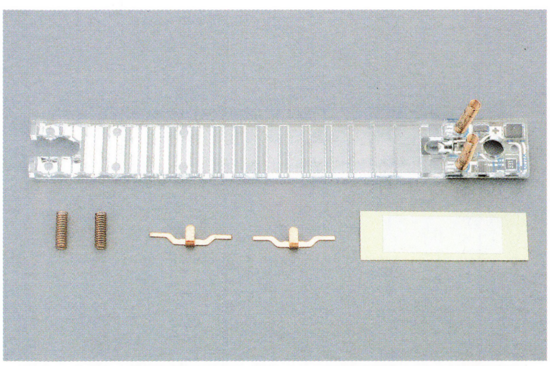
①TOMIX その1

この記事に該当する室内灯一覧

品番	商品名	概要
0751	室内照明ユニットA(ノーマル)	電球が光源の広幅タイプ。常点灯には非対応。
0752	室内照明ユニットB(ノーマル)	上記0751の動力車用。集電スプリングが短い。
0781	室内照明ユニットA(常点灯CL)	電球が光源の広幅タイプ。常点灯に対応可能。
0782	室内照明ユニットB(常点灯CL)	上記0781のスプリングを短くした動力車用。
0785	室内照明ユニットC(白色)	白色LEDを光源とする広幅タイプ。常点灯対応。
0797	室内照明ユニットCセット(白色)	上記0785の6本セットで、価格もお買い得。

対応する車両の例

国鉄型在来線車両各種(HG製品や12系客車など一部形式を除く)、300系以前の新幹線各系列、近鉄30000系ビスタカー、三陸鉄道36形など



▲1両分のパーツはご覧の通り。電球タイプの製品も基本的に同様です。TOMIXの室内照明ユニットは光源と導光板が一体になっているのが特徴。一部の中間車に対応する集電板とスプリングも付属しています(写真下)。

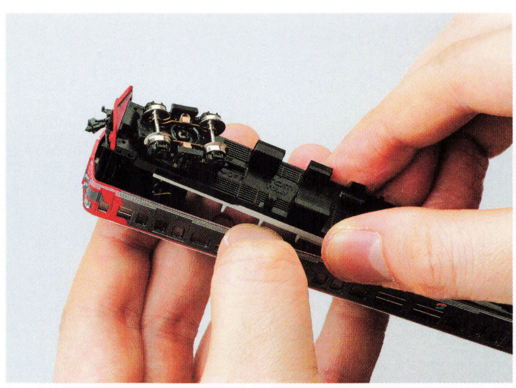


▲今回使用した室内照明ユニットCセット(6本入:品番0797)。単品(0785)でも販売されています。

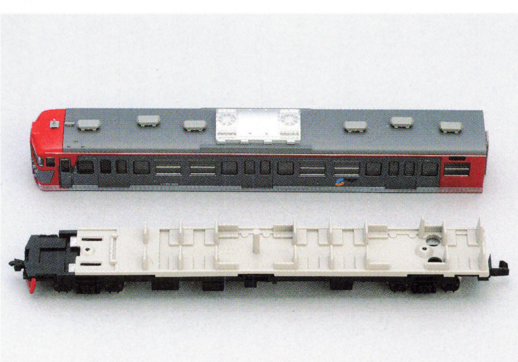
まず最もシンプルな例として、別表に挙げた比較的古い設計のTOMIX製品に対応する室内灯の取り付け方をご紹介します。このタイプの室内灯は長さ調整が不要なので、初めての方でも簡単に取り付けることができるでしょう。例としてお目にかけるのはしなの鉄道の115系。HG仕様以外の国鉄型車輌の多くはこのタイプに対応します。室内灯は実車の蛍光灯に合わせて白色タイプを使用しました。

車両の分解

何はともかく、組み込みには分解が必要。分解といっても車体と下廻りを外すだけの簡単な作業。怖がる必要は何もありません。



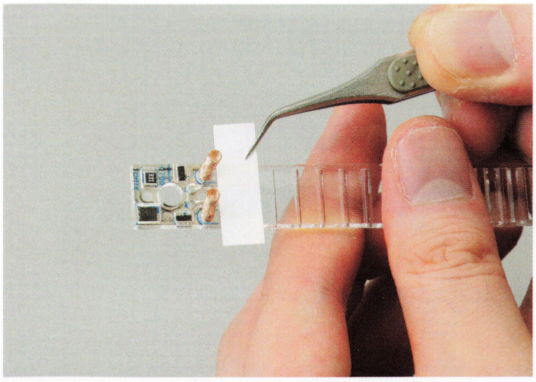
1 車両を裏返して車体の裾を少し広げ、下廻りを抜き出します。この時できるだけ車体や床下機器に傷を付けないよう注意します。



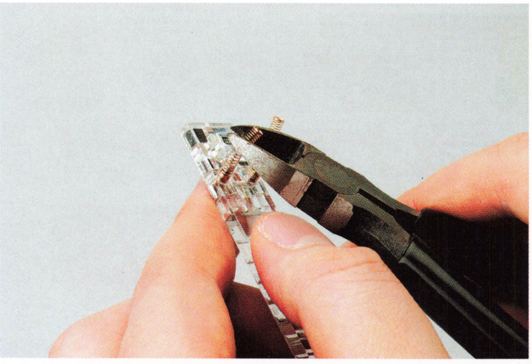
2 室内灯組み込みに必要な分解はこれで完了。慣れるまでは部品の破損を防ぐため、分解は必要最低限に止めるようにしましょう。

室内灯の準備

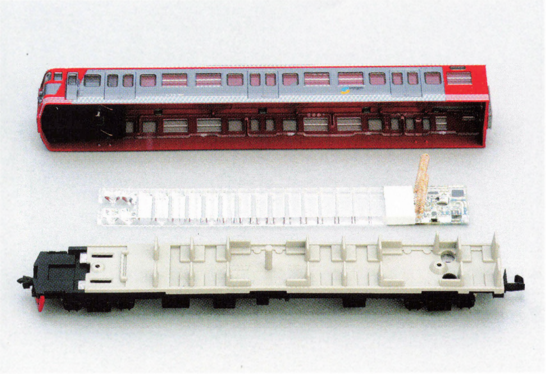
TOMIXの室内灯は基本的にワンタッチで取り付け可能。ここでは最低限の準備を行ないます。



3 説明書に従って光源部分に遮光シールを貼って覆います。これは室内の光量を均等にするための作業です。



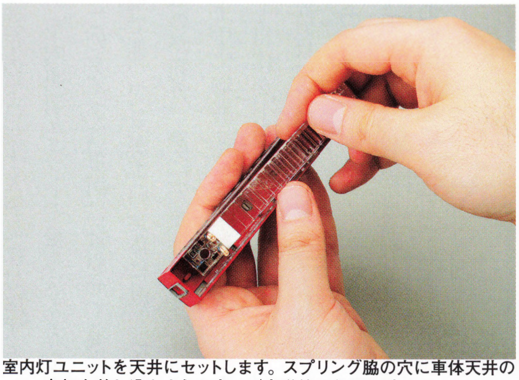
4 白色タイプを動力車に組み込む場合は集電スプリングの先端をニッパーなどで切断します(電球タイプではスプリングの短いM車用が用意されているのでこの作業は不要です)。



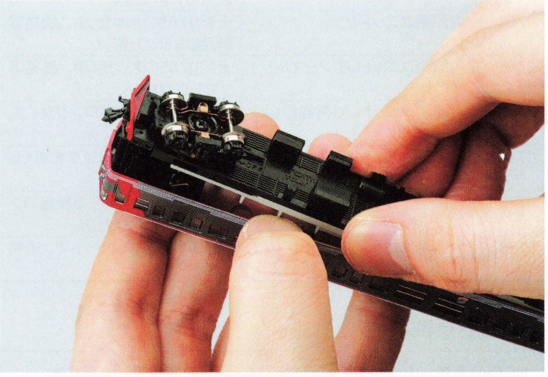
5 これで取り付け準備は完了です。このあと写真中央の室内照明ユニットを車両の天井に固定して、再組立の作業に入ります。

組み込み・再組み立て

いよいよ室内灯を組み込みます。室内灯ユニットを両面テープで天井に固定するようにすれば組立は容易になるでしょう。



6 室内灯ユニットを天井にセットします。スプリング脇の穴に車体天井の突起を差し込むようにすれば自動的に位置が決まるようになっています。



7 車体と下廻りを元通りに組み立てます。この時スプリングが床板にある集電用の穴からズレないように注意しましょう。

これで室内灯組み込み作業は完了。組み込んだ車両を線路に乗せて電気を通せば左写真のように実感的な点灯状態を楽しむことができます。車両によっては集電スプリングの弾力で下廻りが外れやすくなったり、車体が浮き上がったりする場合があるので、その場合はスプリングの先端を少しだけ切断して弾力を調整すると良いでしょう。

なお、同一形式であっても一部車両のみ次頁でご紹介するタイプの室内灯を使用するケースもあるので、車両・室内灯に付属の説明書には必ず目を通すことをオススメします。

COLUMN

車両に合わせて室内灯を使い分ける

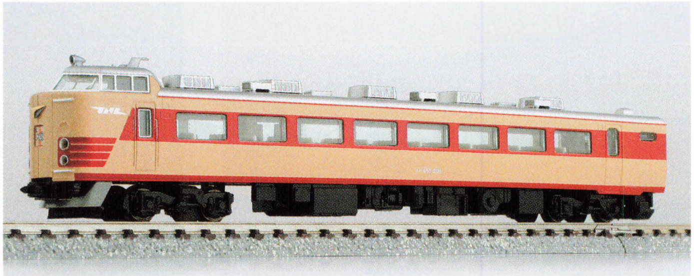
現在発売されている室内灯は光源が電球のタイプと白色LEDのタイプの2種類。これをそれぞれのメリットに合わせて上手に使い分ければ実感的かつ快適に室内灯運転を楽しむことが出来ます。

電球タイプのメリットは何と言っても価格。とりあえず始めてみようという方や一気にたくさんの車両へ組み込む場合はこちらがオススメです。また、旧型客車など照明に電球を使用している車両の場合はこちらの方が実感的と言えるでしょう。

一方白色タイプは、実車の多数を占める蛍光灯の色調を再現できる点が魅力。消費電力が小さいため長編成にも安心して組み込めることも特徴となっています。



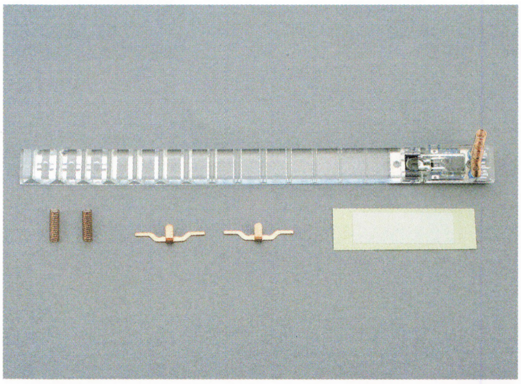
室内灯を付けてみよう!
②TOMIX その2



▲この記事ではHG仕様の485系200番代を作例として使用します。

ここでは近年のTOMIX製品に対応する「ロングタイプ」の室内照明ユニットの組み込み方をご紹介します。このタイプは車両に合わせて導光板の長さを調整でき、光量が車両全体に渡って比較的均等となるのが利点。逆に先頭車などに合わせてユニットを上手に切断することがポイントとなります。ユニット自体が下廻りの爪で固定されるので、組込作業は前頁でご紹介したタイプより容易と言えるでしょう。

例としてHG仕様の485系200番代を使ってこのロングタイプの室内灯を組み込んでみました。



▲1両分のパーツ状態。ユニット本体の形状が異なる以外は前頁のタイプと同様の構成で、電球タイプの製品も基本的に同じ。こちらも一部の中間車に対応する集電板とスプリングが付属しています(写真下)。



▲ここでは室内照明ユニットLCセット(6本入:品番0798)を使用。こちらも単品(0786)で販売されています。

この記事に該当する室内灯一覧

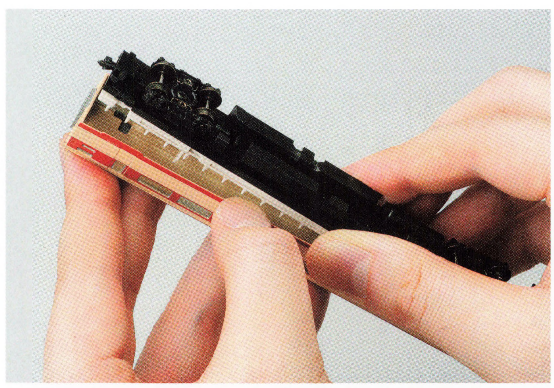
品番	商品名	概要
0755	室内照明ユニットLA(ノーマル)	電球が光源の狭幅ロングタイプ。常点灯に非対応。
0796	室内照明ユニットセット	上記0755の6本セット。価格は単品6本分より安い。
0756	室内照明ユニットLB(ノーマル)	上記0755の動力車用。集電スプリングが短い。
0783	室内照明ユニットLA(常点灯CL)	電球が光源の狭幅ロングタイプ。常点灯に対応。
0784	室内照明ユニットLB(常点灯CL)	上記0783のスプリングを短くした動力車用。
0786	室内照明ユニットLC(白色)	白色LEDを光源とする狭幅ロングタイプ。常点灯対応。
0798	室内照明ユニットLCセット(白色)	上記0786の6本セットで、価格もお買い得。

対応する車両の例

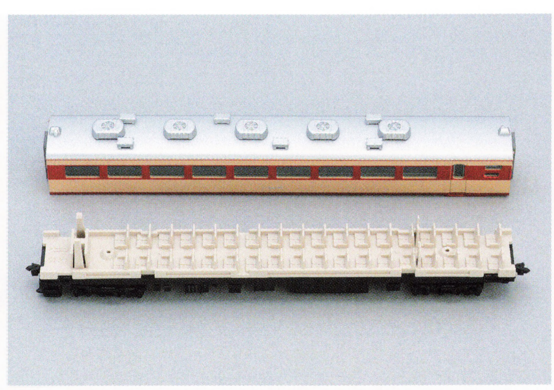
HG製品各種、JR化以降の電車・気動車・客車の各系列、12系客車、近鉄アーバンライナー、東武スペーシアなど

車両の分解

車体の分解は前頁のタイプと特に変わりはありません。車体を外すのは簡単です。



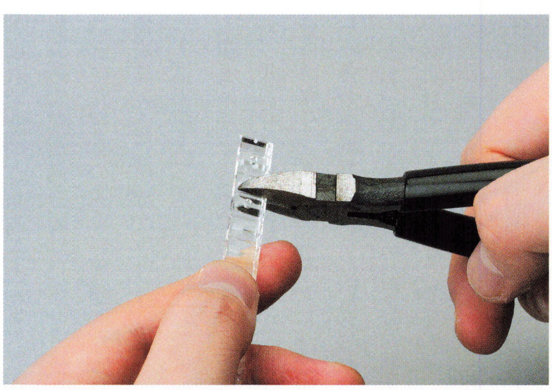
1 車両を裏返して車体の裾を少し広げ、下廻りを抜き出します。車体や床下機器に傷を付けないよう注意しましょう。



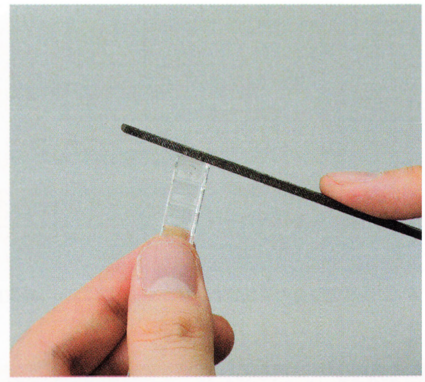
2 分解作業を終えた状態。ここまでは前頁と全く同じです。

室内灯の準備

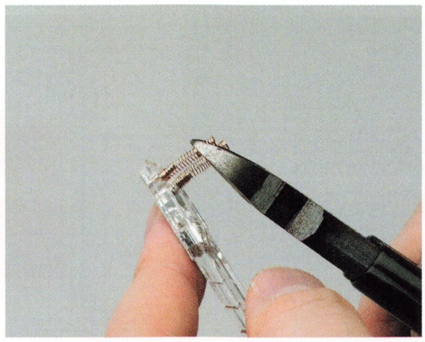
ここでは先頭車のライトユニットを避けるため先端を切断して長さを調節します。



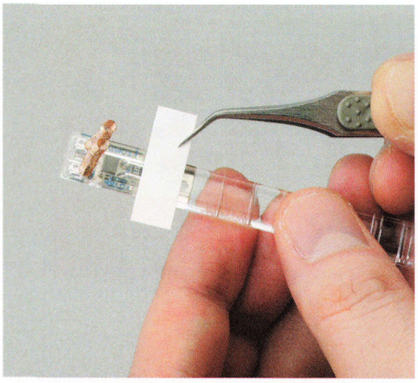
3 まず説明書の指示に従って先端をニッパーで切断します。この作業では尖った破片が生じる場合もあるのでケガに注意しましょう。



4 切断した後は切り口をヤスリで滑らかに成型しておくと、完成後のメンテナンスの際に安全です。



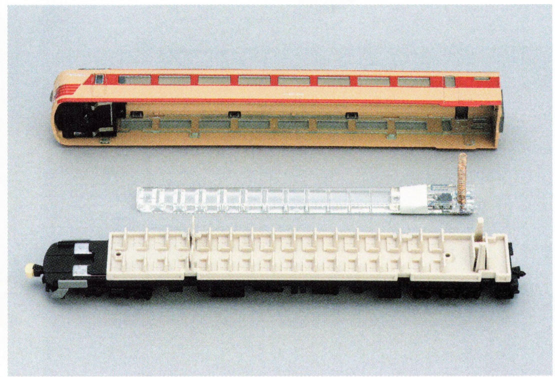
5 このタイプでも白色の場合、動力車への組み込みには集電スプリング先端の切断が必要となります（電球タイプではスプリングの短いM車用0756・0784を使用すればこの作業は不要）。



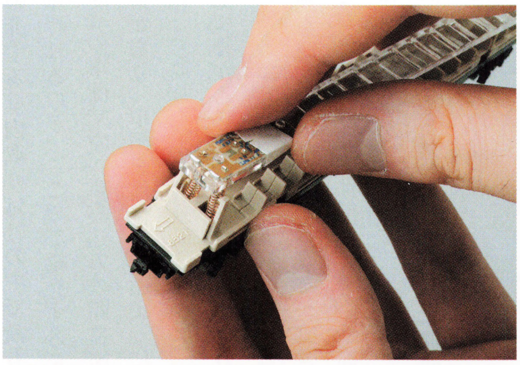
6 こちらも説明書に従って光源部分に遮光シールを貼って覆います。

組み込み・再組み立て

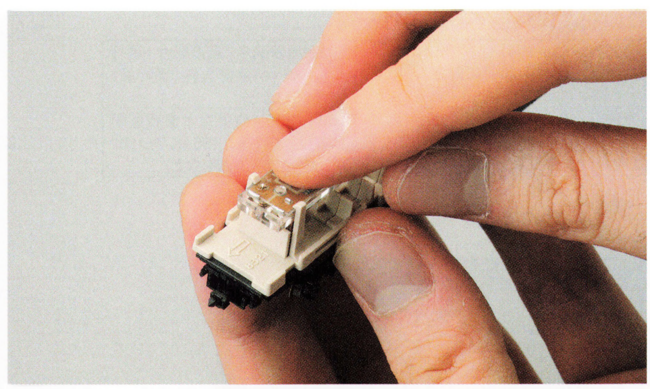
このタイプは床板に室内灯が固定されるため組み込みが容易で、集電もより確実にできます。



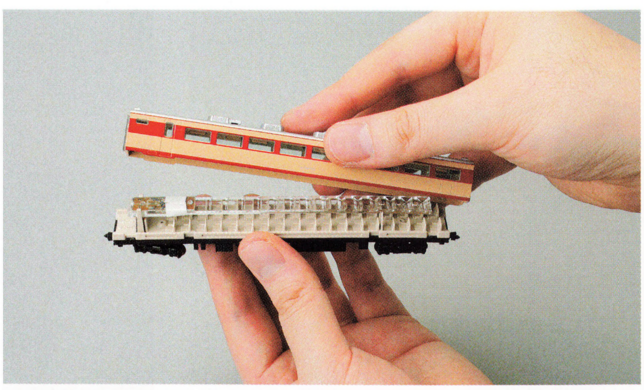
7 取り付け準備は完了。車体内側のヘッド・テールライトのユニットを避ける形で室内灯を切断しています。



8 まず室内灯ユニットのスプリングを床板取り付け台座の穴に差し込みます。スプリングを曲げてしまうと作業しにくくなるので気を付けます。

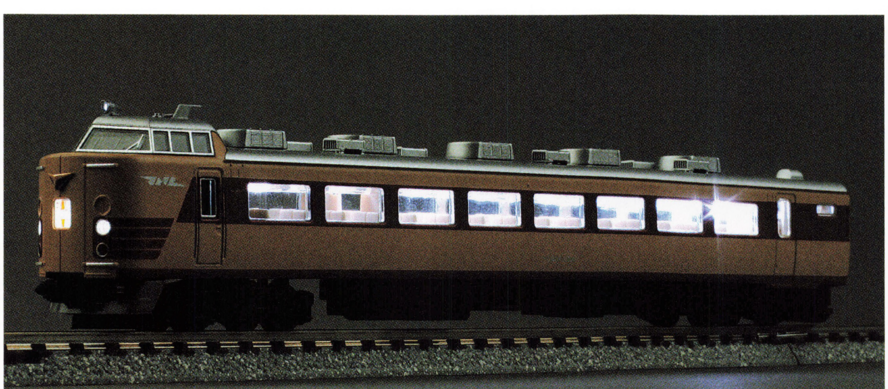


9 スプリングが穴に入ったらパチンとはめ込みます。このとき床板の爪がユニット上面をきちんとロックしていないと車体が元通り入らないので要確認です。



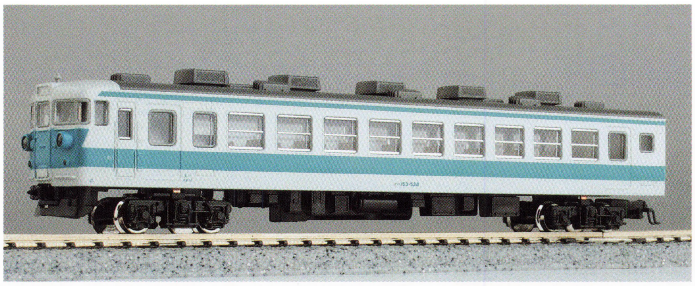
10 車体と下廻りを元通りに組み立てます。室内ユニットのスプリング反対側が左右にズレないよう裏返さずに作業します。

これで室内灯組み込み作業は完了。組み込み後の室内灯点灯状態は左写真の通りです。室内灯ユニットの長さ調整はちょっと面倒に思われるかもしれませんが、もし失敗しても光らなくなる訳ではありませんので、気軽にチャレンジしてみて下さい。以上2つのタイプを攻略すれば、TOMIXの室内灯取り付けはもう完璧。運転の楽しみの幅はこれで一気に広がること請け合いです。



室内灯を付けてみよう!

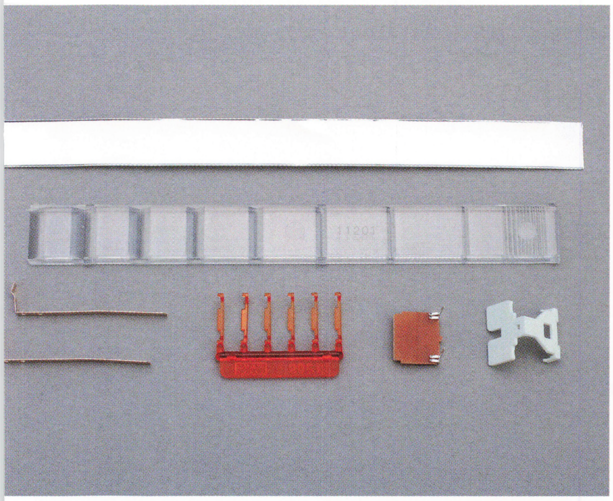
③KATO その1



▲153系高運転台の新快速色。リニューアルによって新室内灯対応に切り替わった製品。

今回ご紹介する室内取り付けの中で最も難しく面倒と思われるのが、ここでご紹介するKATOの古い設計の車両です。組み込みの際に屋根板を外す必要があり、車両を傷付けないように分解するにはちょっとした工夫も必要です。と言っても必要以上に怖がる必要はありません。これからご覧いただく攻略法をマスターすれば、あなたも大事な車両を壊さずに分解することができるようになるはずです。ここでは例として153系高運転台の新快速色を採り上げています。

なお、旧室内灯対応の製品も分解方法は同じです。ぜひ参考にしてください。



▲1両分のパーツ状態。オレンジ色の部品は白熱灯の照明色を再現するためのフィルタで今回は使用しません。



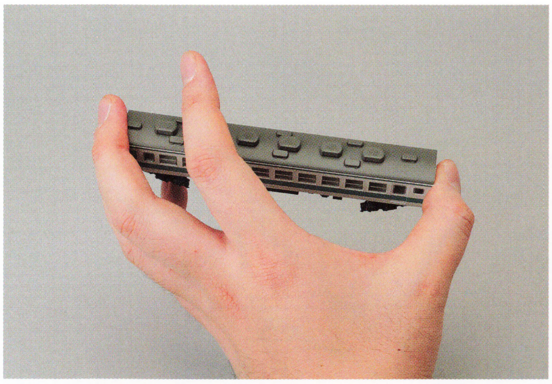
▲ここでは153系に合わせて白色室内灯セット(6両分入:品番11-210)を使用。単品(11-209)でも販売されています。

この記事に該当する室内灯一覧

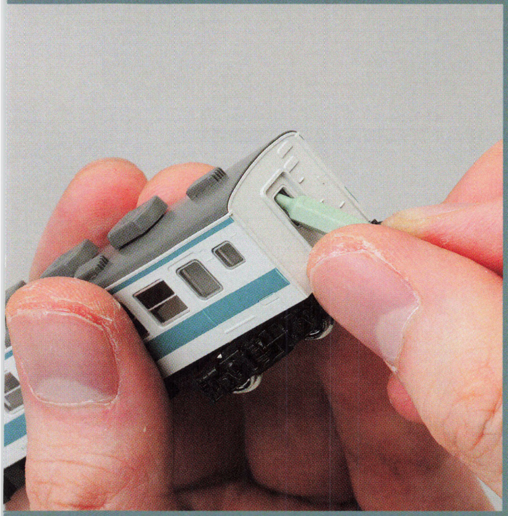
新室内灯(10-204)・白色室内灯(10-209)に対応	153系新快速色(高運転台・現行品)、スハ44系青大将(現行品)、24系25形など
室内灯(10-201:生産休止品)に対応→記事は分解方法のみ該当。室内灯付属の説明書もご覧ください。	153・165・457系など急行型電車各種、181系、485系、キハ82系、24系25形(銀帯)など

車両の分解

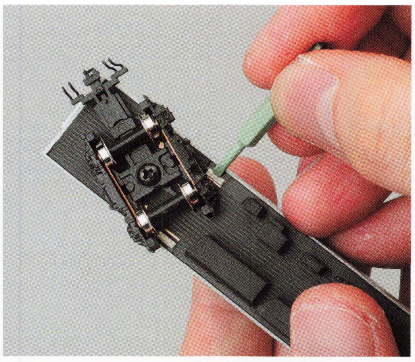
最初にして最大の難関。屋根板→床板の順番で分解していきます。



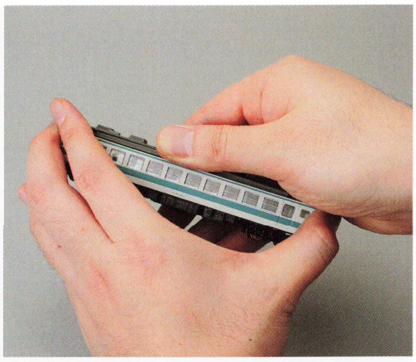
1 まず車両の前後を指の腹で押すようにして壊さない程度に力をかけます。これで屋根板を固定している爪の掛かりを甘くするわけです。



●メーカーでは写真のように貫通扉の窓からドライバーを差し込んで屋根板を押し上げる方法を紹介しています。本文の方法がどうしてもマスターできない場合はこういう手段もありますが、窓周りのHゴムなどに傷が付き易いため積極的にオススメはできません。



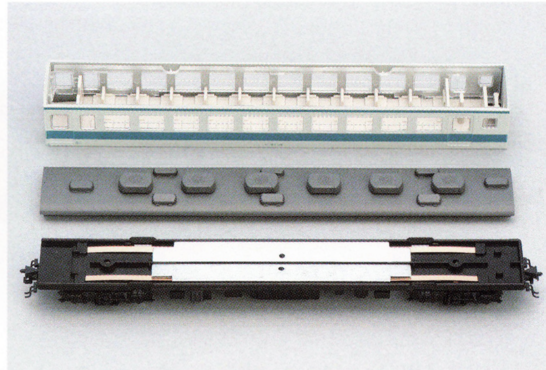
3 車両を裏返して床板を固定している爪を変換ドライバーなどを使って外し、床板を抜き取ります。



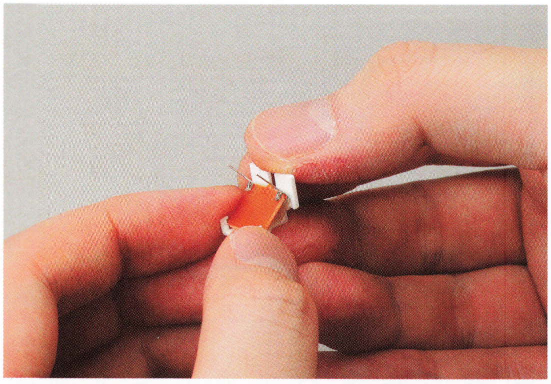
2 車体に力を掛けたままの状態で、指の腹を使って片側を持ち上げるようにすると屋根を外すことができます。

室内灯の準備

KATOの白色室内灯ユニットはちょっとした組み立てが必要となります。



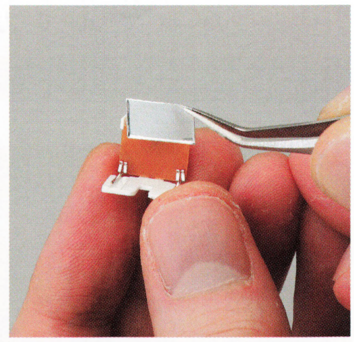
4 室内灯組み込みに必要な分解は完了。屋根・車体・下廻りの3つに分かれる形になります。



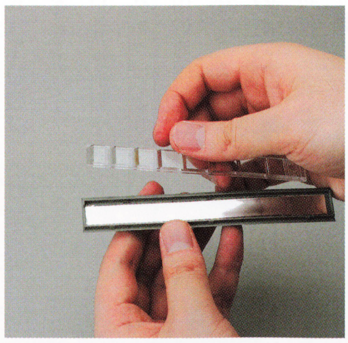
5 まずライト基板とカバーを組み合わせます。集電端子がカバーの溝にきちんとハマるようにします。

組み込み・再組み立て

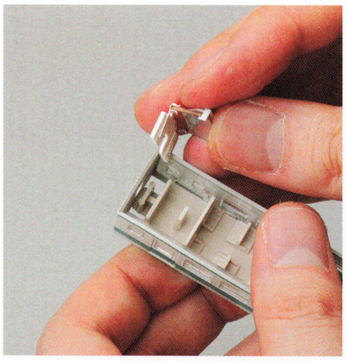
そして室内灯の組み込みです。屋根板に導光板、車体に光源を組み込んでから組み立てるという流れとなります。



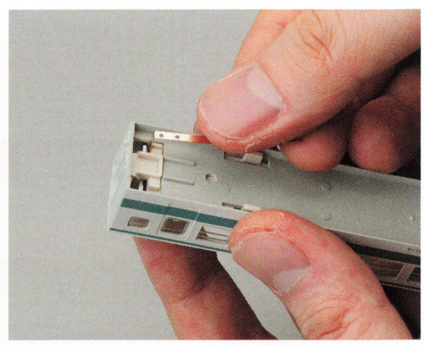
6 組み立てが終わったら付属のアルミ箔を約6mmに切断して基板の裏側に貼ります。この際、アルミ箔が端子に触れるとショートの原因になるので接触しないよう気をつけてください。



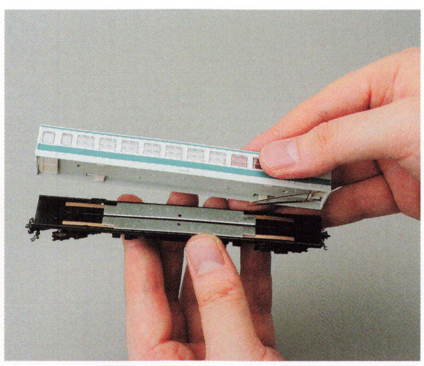
7 まず屋根板の裏側に付属のアルミ箔を貼り付け、次に導光板を爪を掛けるようにして組み込みます。この際向きを間違えると組み立てができないので、慎重に確認しながら作業しましょう。



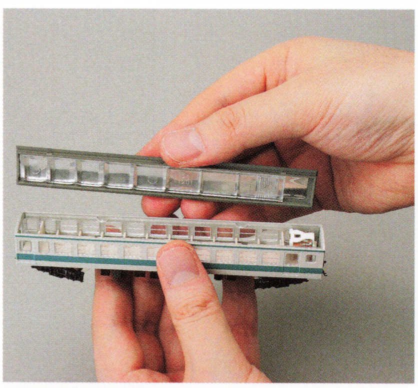
8 室内灯ユニットを室内のシート部品の取り付け台座に差し込みます。集電端子が台座の外にはみ出さないように気を付けます。



9 室内灯ユニットが外れないよう指で押えながら車体を裏返し、付属の集電シューを端子に正しく接触するように差し込みます。動力車についてはP73をご覧ください。



10 組み立ては分解と逆の順番で。まず集電シューが斜めにならないように見ながら慎重に、下廻りを車体に取り付けます。



11 そして車体と屋根板を元通りに組み立てれば組み込み作業完了です。

お疲れ様でした。KATOの室内灯ユニットは組み込みの手間は若干かかりますが、1種類でほぼ全ての車両に対応できるため購入の際に迷わずに済む点は初心者の方にも安心でしょう。取り付けの効果は左写真の通りです。

本誌発売時点ではまだ少ないですが、旧室内灯のみ対応の形式の中には最新カタログで新室内灯対応へのリニューアルが予告されているものもあり、この記事が該当する車両はこれから増えると思われます。室内灯を楽しむにはぜひご紹介した分解方法をマスターしたいところです。



室内灯を付けてみよう!

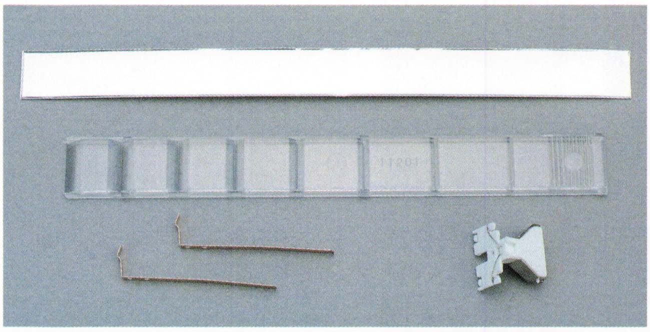
④KATO その2



▲作例に用いたのはオハフ33。白熱灯の似合う旧型客車です。

　ここではKATO製品の中で床下のみを外せば室内灯組込が可能なグループについて解説します。車両は前頁の表に挙げた以外の電車・気動車・客車で室内灯を標準装備していない車両のほとんどが該当し、KATO製品の中でも多数派です。取り付け自体は前頁で紹介したグループよりも簡単。用いる室内灯ユニット自体は前ページと同じものが使用できます。題材は旧型客車のオハフ33で、レトロな雰囲気の白熱灯ユニットを使用します。

　また、動力車はほぼ全てこちらの方式に統一されているので合わせて解説いたします。



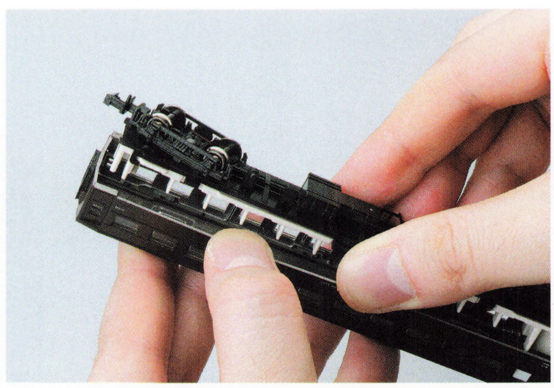
▲1両分のパーツ状態。白色室内灯と異なりライトユニット本体は組み立て済みで、そのまま車両に取り付けることが可能です。



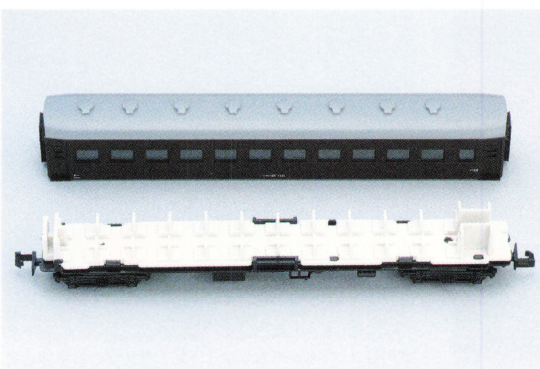
◀オハフ33に組み込むのは電球を光源とする新室内灯ユニット（6両分入：品番11-206）を使用。単品（11-204）でも販売されています。

車両の分解

このグループの分解は先に紹介したTOMIX各製品とほぼ同様です。



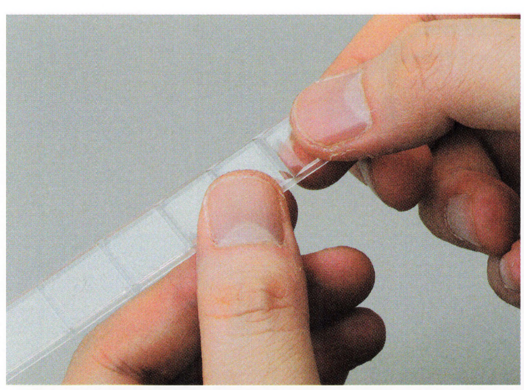
1 車体を裏返して車体裾を広げながら、下廻りを抜き取って分解します。



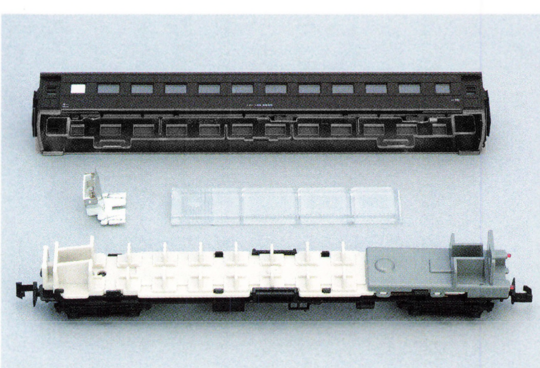
2 分解が終わった状態。このグループでは屋根は車体に付けたままで取り付け作業が可能です。

室内灯の準備

オハフ33ではテールライトのユニットに照明板が干渉するので長さを調整する必要があります。



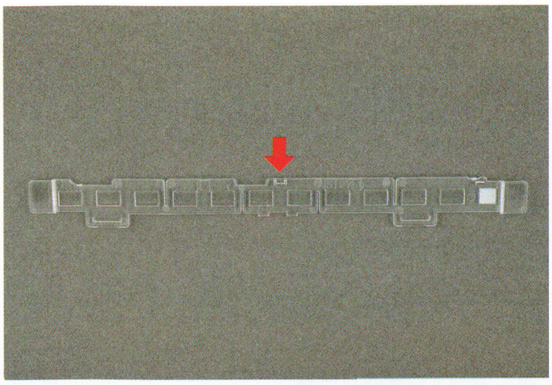
3 KATO室内灯の照明板は手で折るだけで切断できます。長さの目安は車内の座席パーツよりライトユニット本体分短いぐらいです。



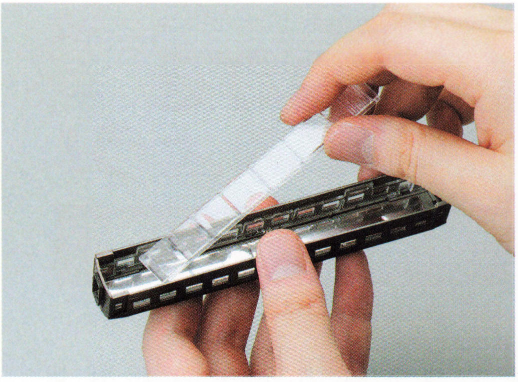
4 照明板の短縮が終わった状態。取り付けに入る前に、このように並べてみて長さか適切かを確認するといいでしょう。

組み込み・再組み立て

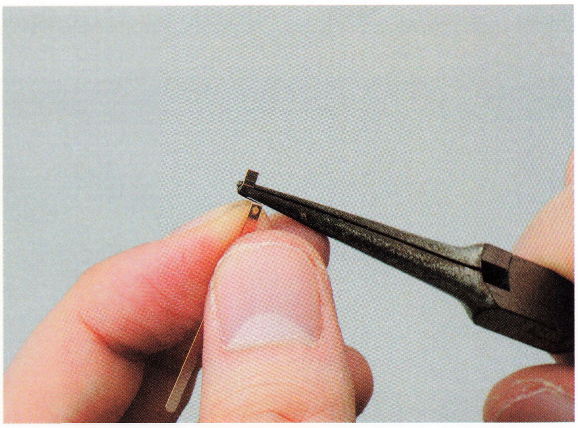
ここでは集電シューの付け方がトレーラー車と動力車で異なるので、両方ご紹介いたします。



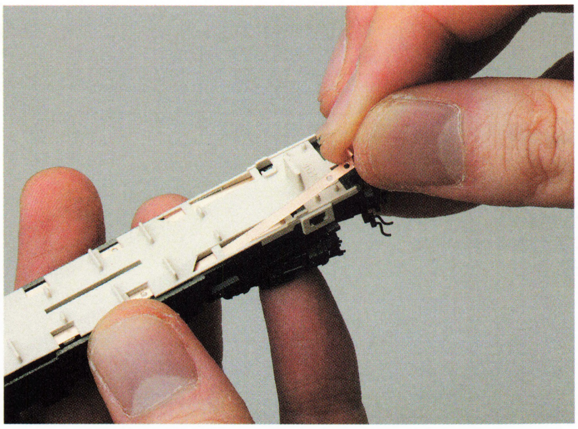
5 これはガラスを外して見たところです。写真の矢印の突起に照明板の爪を掛けて固定するわけです。



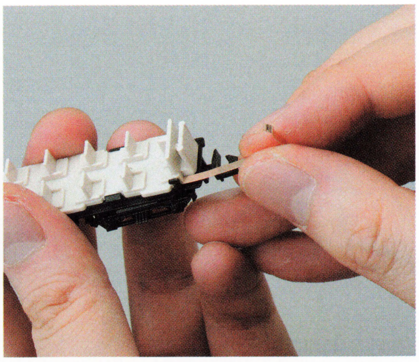
6 付属のアルミ箔を車体裏側の天井に貼った後、照明板を右で示した爪に掛けて固定します。



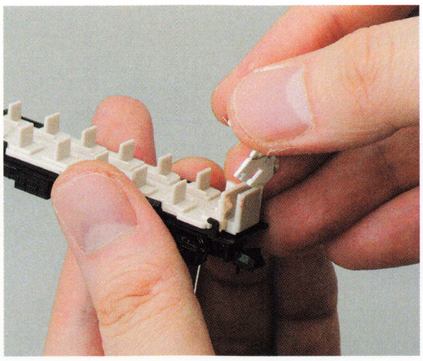
7 ここで動力車の集電シューの付け方について触れましょう。まずL次型のシューの短い部分をラジオペンチなどで半分に折り曲げます。



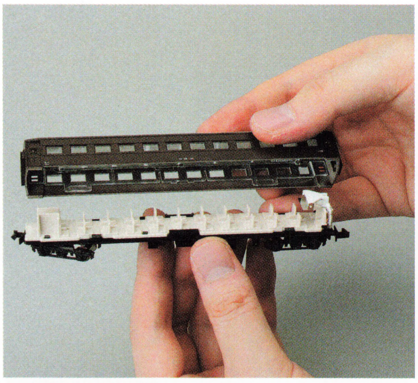
8 端を折り曲げたシューを動力ユニットの溝から集電板に接触させる形で差し込み、シューの穴に動力側のピンがはまる位置までスライドさせます。



9 オハフ33のようなトレーラー車両については、車端部の取り付け台座の両脇の隙間からシューを差し込んで、置くまで押し込みます。



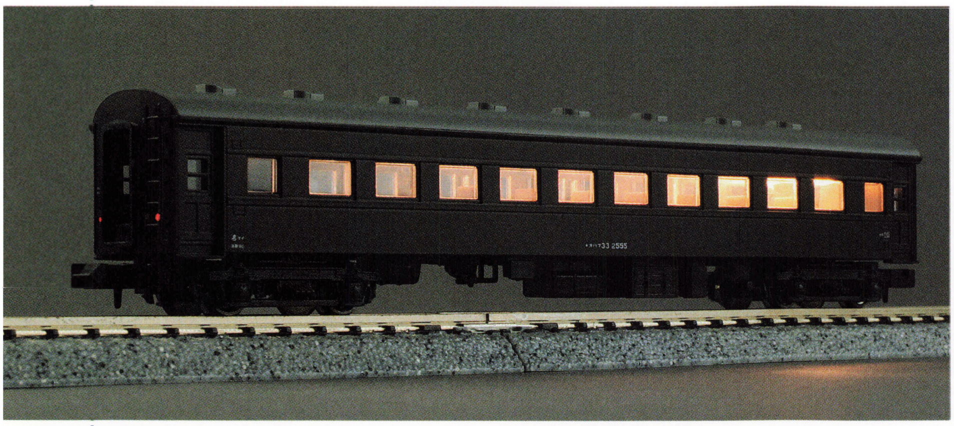
10 続いて台座に照明ユニット本体を差し込みます。この際、ユニットと台座の間に集電シューの端を挟み込むようにします。



11 そして車体と床板を元通りに組み立てれば組み込み作業完了です。

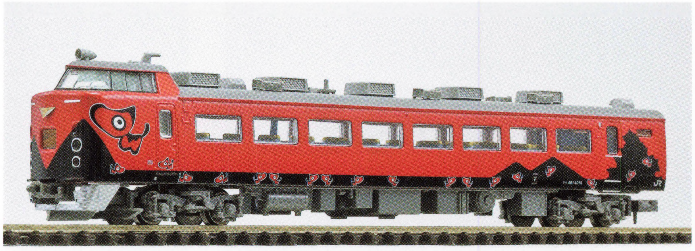
オハフ33の室内灯点灯状態は左写真の通りです。ここでは電球タイプの新室内灯ユニットを使用しましたが、白色室内灯の場合はユニット本体の組み立てがあるので、P70～71も参考にして下さい。

なお117系や185系など、ライトユニットの取り付け方法が若干異なる形式もあります。特に難しいわけではないので、こちらについては解説を省略させていただきます。製品に付属の説明書を参考に作業を行なって下さい。



室内灯を付けてみよう！

⑤マイクロエース

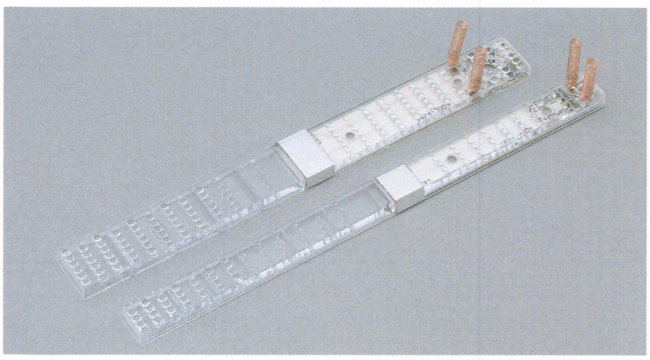


▲このページでは題材として主に485系「あかべぇ」塗装を使用します（一部解説で別車両を使用）。

マイクロエース製品の見所の一つは、実車に合わせた成型色と細かな塗装で再現された室内表現です。マイクロエースでは2007年、それをさらに引き立てるオリジナルの室内灯ユニットを発売しました。既発売品も含めたほとんどの製品に対応し、室内灯自体がほぼ完成した状態で販売されているので取付も簡単です。

この記事に該当する室内灯一覧

品番	商品名	品番	商品名
G0001	広幅・電球色LED・2個入り	G0005	狭幅・電球色LED・2個入り
G0002	広幅・電球色LED・6個入り	G0006	狭幅・電球色LED・6個入り
G0003	広幅・白色LED・2個入り	G0007	狭幅・白色LED・2個入り
G0004	広幅・白色LED・6個入り	G0008	狭幅・白色LED・6個入り



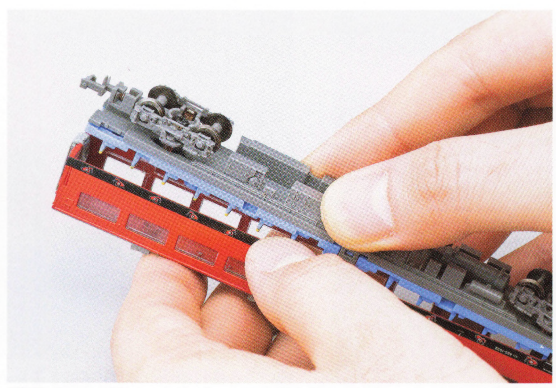
◀マイクロエース製室内灯は写真のように、完成状態で販売されています（狭幅にはプラ製板バネが付属）。



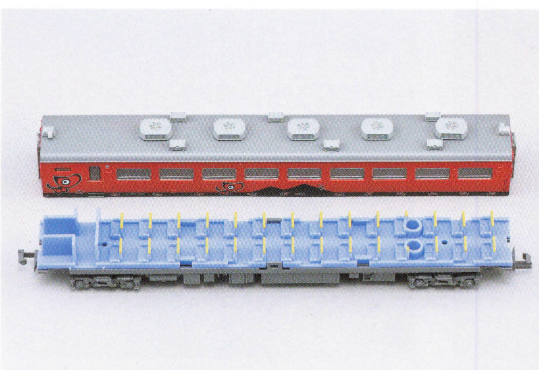
▶485系に使用するのは広幅・白色LEDのタイプ。写真の2個入りの他、6個入りも各タイプで用意されています。

車両の分解

マイクロエース製品も基本はTOMIXと同様、簡単に分解が可能です。



1 車輌を裏返して車体の裾を少し広げ、下廻りを抜き出します。ヘッドライトのユニットの端子が細く繊細なので、誤って曲げないよう気を付けます。



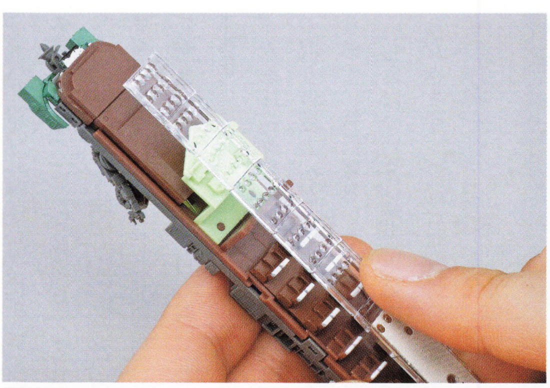
2 分解した状態です。座席パーツにはTOMIX製品と同様のスプリングを受ける穴・台座が設けられています。

CAUTION! 無理は禁物!!

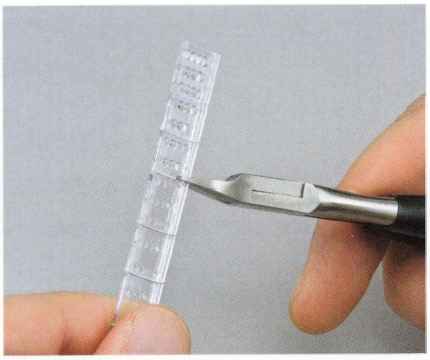
マイクロエース製品ではメーカーでの組立で接着剤を使用している場合があり、古い製品を中心に初心者にとって分解が難しいケースもあります。無理に分解をするとパーツを破損したり、接着部分が外れて再組立が困難になる恐れがありますので、自分には無理だと思ったら室内灯組み込みを諦める決断も必要です。せっかくの車両を壊してしまっては元も子もありません。Nゲージを長く楽しむには、慣れるまで我慢することも必要です。

室内灯の準備

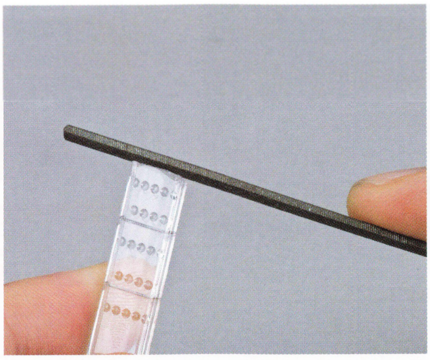
ここでは車輌に合わせて室内灯の長さを調整する加工を行ないます。



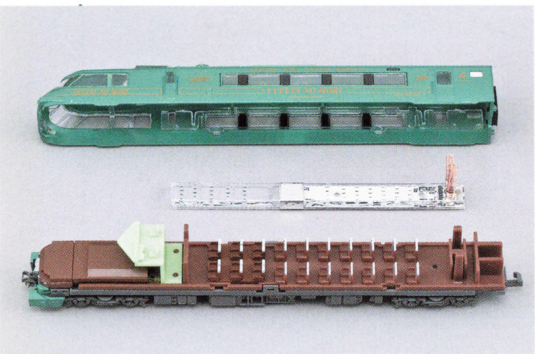
3 車輌によっては室内灯をそのまま付けられない場合があります。写真はキハ183系「ゆふいんの森Ⅱ」の先頭車で、運転台に室内灯が当たってしまいます。



4 現物合わせで干渉する部分をニッパーで切断します。この作業では尖った破片が生じる場合があるのでケガに注意しましょう。



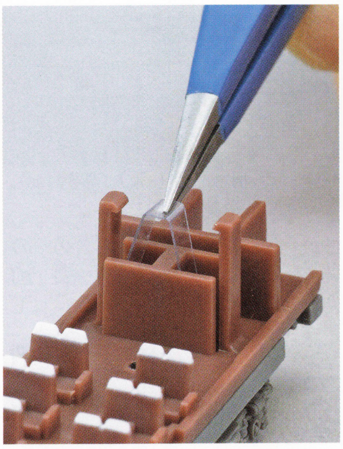
5 切断した後は切り口をヤスリで滑らかに整えておくと、組込後のメンテナンスの際に安全です。



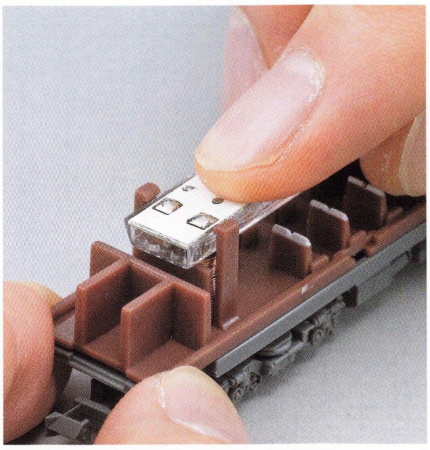
6 これだけで取り付け準備は完了です。切断個所の位置合わせは写真のように、集電スプリングの位置を基準にして行ないます。

組み込み・再組立

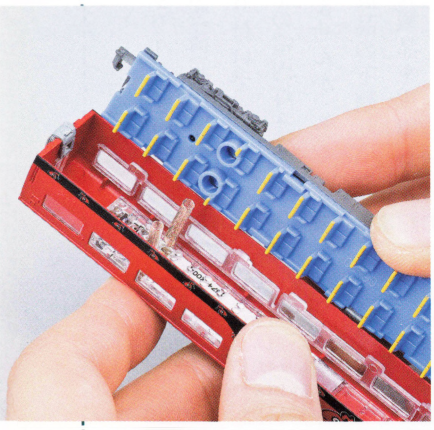
組み込み方は先にご紹介したTOMIX製室内灯とほぼ同様に行なうことができます。



7 狭幅タイプの室内灯では、まず集電スプリングを確実にウェイトへ接触させるための透明プラ製板バネをあらかじめセットします。



8 続いてスプリングを台座の穴に差し込んで、パチンとはめ込みます。爪が室内灯ユニットをきちんとロックしているか確認しましょう。



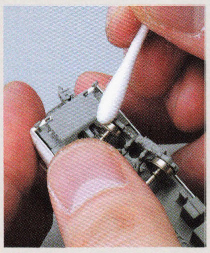
9 広幅タイプ室内灯はスプリング脇の穴に車体天井の突起を差し込むようにして車体にセット。天井に両面テープで固定してもよいでしょう。

あとは車体と下廻りを元通りに組み立てれば、室内灯の取り付け作業は終了です。集電スプリングに関してはTOMIXよりも柔らかいので、基本的に動力車用を短くするといった調整は必要ありません。広幅・狭幅の選択はメーカーHPに掲載されている一覧表が最も参考になるでしょう。最近の製品ではパッケージ・説明書にも使用する室内灯の種類が記載されています。



COLUMN1 ライトのつきが悪いときは……

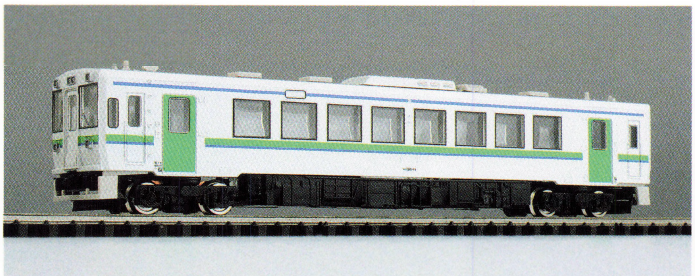
ここで紹介している室内灯やヘッド・テールライトなどのライト類のつきが悪かったり走行中にちらつく場合は、故障を疑う前にまずレールと車輪を磨いてみましょう。車輪とレールの間に流れる電流で汚れが生じ、電気の流れを妨げるとライトの点灯状態は悪くなります。また、一昔前の製品を中心に黒色車輪の中には出荷段階で汚れが付着している場合もあります。とりあえず車輪をキレイにして、それでも調子が悪ければ模型店などに相談してみましょう。



▲車輪の汚れはライト類の大敵。こまめに拭き取って良好な点灯状態をキープしましょう。

COLUMN2 常時灯ユニットと一部のKATOパワーパックの相性について

実物のようにスピードの変化に関係なくほぼ一定の明るさでライト類が点灯する常点灯。TOMIXではライト基板とコントローラーの両方で、KATOはKC-1・KM-1の新コントローラシステムで常点灯を実現しました。ただし、両社とも「他社製システムとの併用は異常発熱などの原因になる場合がある」と自社製品の説明書などで注意を呼びかけています。この両方については相性が悪いと考えて、併用は避けた方が無難な選択であると言えそうです。



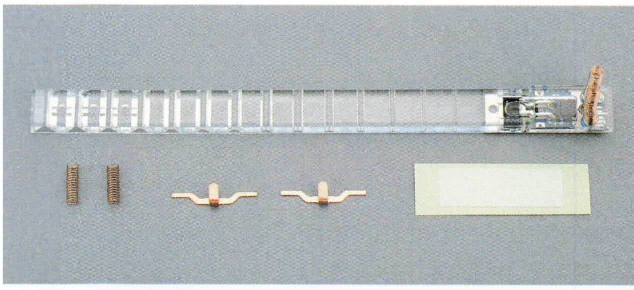
▲ここではキハ150系0番代函館本線色に室内灯を組み込んでみます。

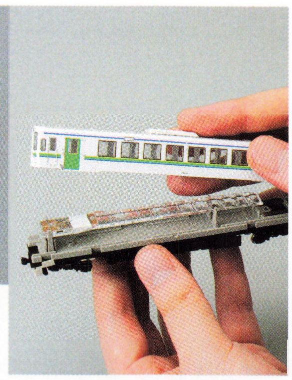
室内灯を付けてみよう!

⑥グリーンマックス(完成品)

最後はグリーンマックス（GM）の塗装済完成品への室内灯取り付けです。メーカー純正の室内灯ユニットはありませんが、多くのGM完成品の下廻りはTOMIX製品を流用しており、同社のロングタイプ（キハ200系のみ旧タイプ）室内灯をほぼストレートに取り付けることが出来ます。

グリーンマックス製品の場合、室内灯の使用については現在発売されている全製品についてTOMIX製品の使用が指定されています。ただ、純正部品ではないので、取り付けの際に若干の加工・調整が必要になる場合もあります。その点を肝に銘じて、失敗しそうだと感じたら慣れるまで諦めるか、ベテランの方に取り付けを依頼した方が良いでしょう。





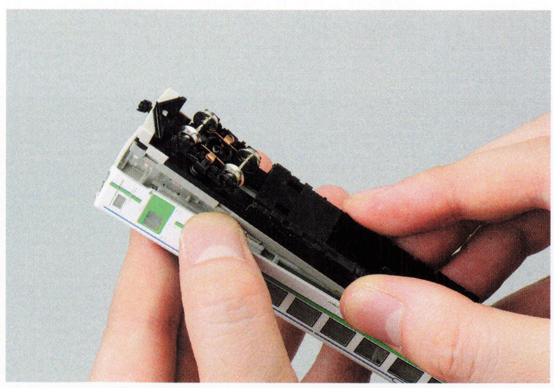
▲▶今回使用したのは室内照明ユニットLCセット（6本入：品番0798）。詳しくは68ページをご参照ください。

この記事に該当する室内灯一覧

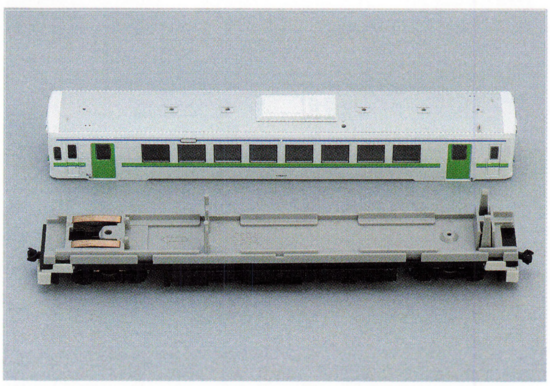
品番	商品名
0755	室内照明ユニットLA（ノーマル）
0796	室内照明ユニットセット
0756	室内照明ユニットLB（ノーマル）
0783	室内照明ユニットLA（常点灯CL）
0784	室内照明ユニットLB（常点灯CL）
0786	室内照明ユニットLC（白色）
0798	室内照明ユニットLCセット（白色）

車両の分解

車体の分解はTOMIX製品と同様。難しいことはないでしょう。



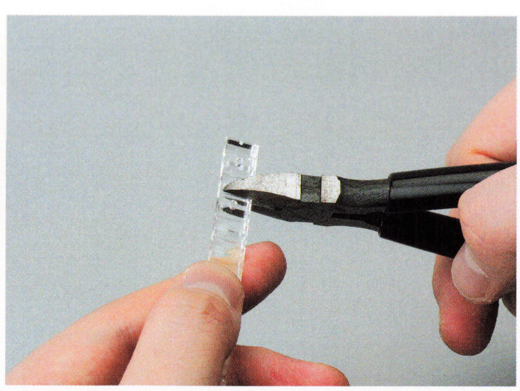
1 車両を裏返して車体の裾を少し広げ、下廻りを抜き出します。接着している床下機器が外れないように注意して下さい。



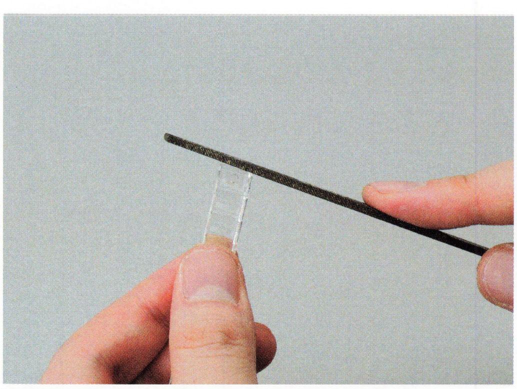
2 分解作業を終えた状態。構成は他社製品と基本的には同じです。

室内灯の準備

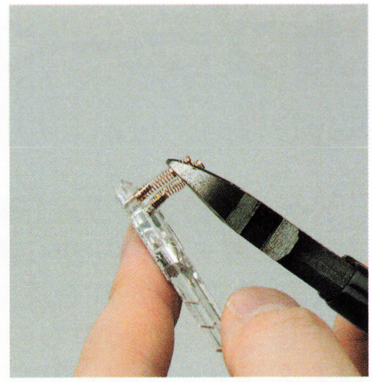
室内照明ユニットの長さ調整が必要となりますが、説明書には切断位置の指示などはありません。現物合わせで調整する必要があります。



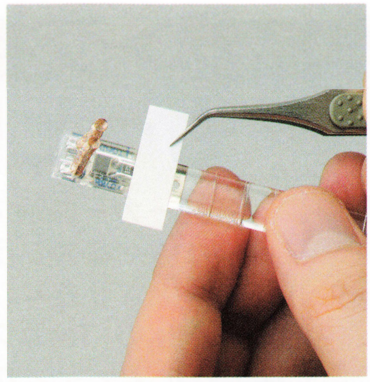
3 室内照明ユニットの先端を切断します。最初長めに切断して、実際に車両と比較しながら徐々に短くすると良いでしょう。



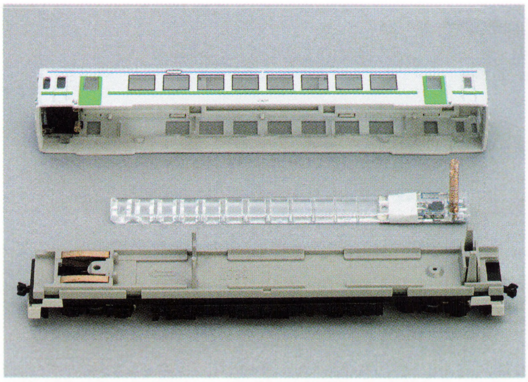
4 長さが決まったら、安全のために切り口をヤスリで滑らかに成型しておきます。



5 白色タイプを使用する場合は、動力車用にスプリングを切断しておきます。



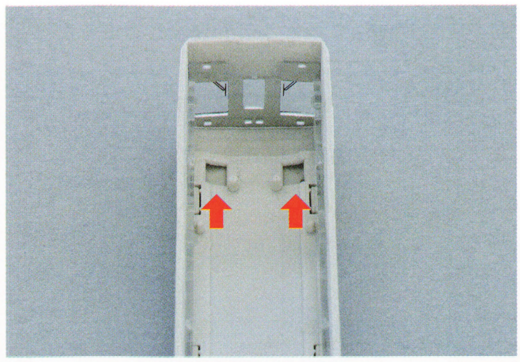
6 続いて説明書に従って光源部分に遮光シール（アルミ箔）を貼って覆います。



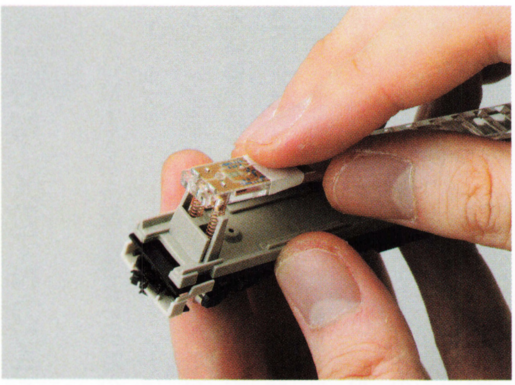
7 取り付け準備完了の状態。車体内側の黒いライトユニットを避けるように室内灯を短くしているのが分かるでしょうか。

組み込み・再組み立て

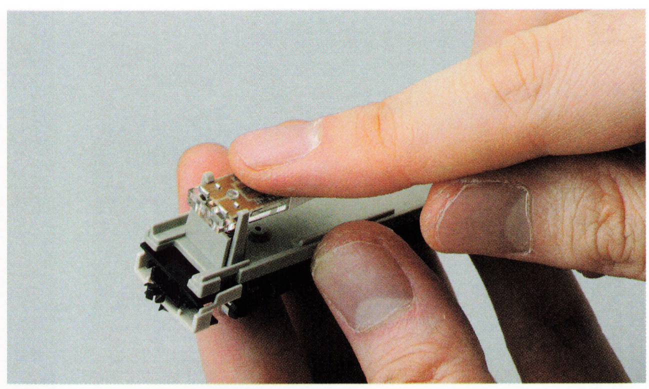
他社製ユニットを使う以上、若干の微調整はつきもの。このキハ150では最終組み立ての前に干渉部分の加工が必要となります。



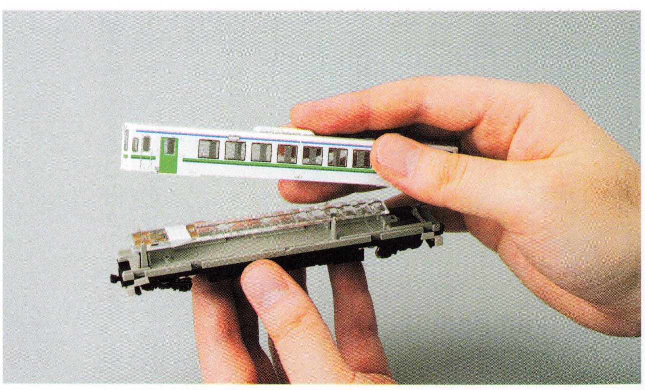
8 キハ150では室内灯取り付けの際に、非ライト側天井の突起が干渉するのでニッパーなどで切除します。他形式でもこの種の微調整が必要な場合もあるので、説明書で事前にチェックしましょう。



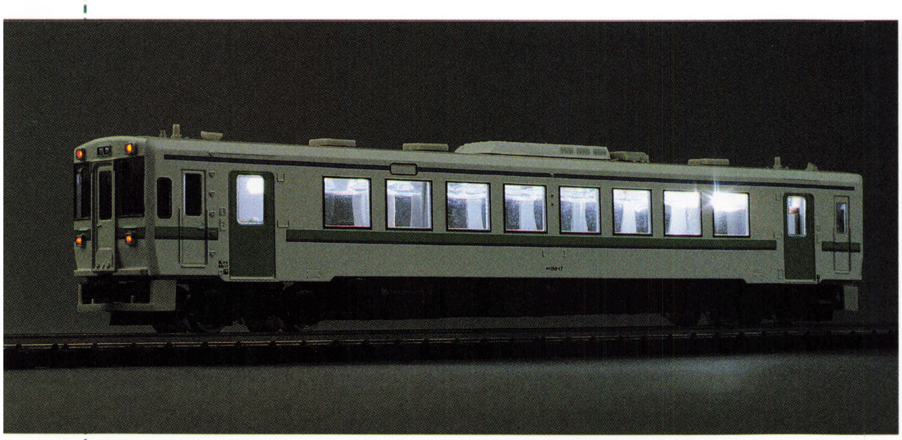
9 室内灯ユニットの固定方法はTOMIXと全く同様。最初に台座の穴にスプリングを差し込みます。



10 集電用のスプリングが穴に入ったらパチンとはめ込みます。



11 車体と下廻りを元通りに組み立てます。室内ユニットのスプリング反対側が左右にズレないよう裏返さずに作業します。



以上で組み込み作業は終了です。キハ150の室内灯の効果は左写真の通り。これで一通りの製品について室内灯ユニットの組み込み方を紹介したことになります。最初は難しいかもしれませんが、少しずつ試して慣れてしまえばお手元の車両にさらなる魅力を与えられること請け合いです。

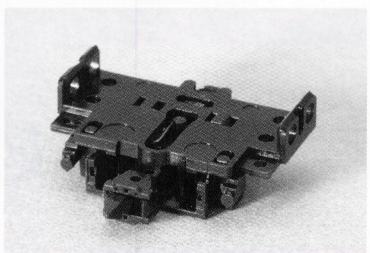
ご紹介した以外のメーカー完成品については室内灯取り付けの可否、可能な場合はユニットの選択や取り付け方法などを車両に付属する説明書で必ず最初に確認しましょう。

カプラー<連結器>交換で もっとリアルに！

Nゲージのカプラー（連結器）には各メーカー共通で使用されているアーノルトカプラーの他に、各メーカーから趣向を凝らした様々なカプラーがオプションパーツとして発売されています。いずれも連結面の外観を向上させたり、車両同士の間隔を小さくしてより実感的に見せるためのもので、中でもTOMIXの「TNカプラー」とKATOの「KATOカプラー」は最もメジャーな製品です。ここではそのオプションカプラーへの交換方法をご紹介。記事を参考にお手持ちの編成をドレスアップしてみてはいかがでしょうか？

構成・文＝佐々木大悟





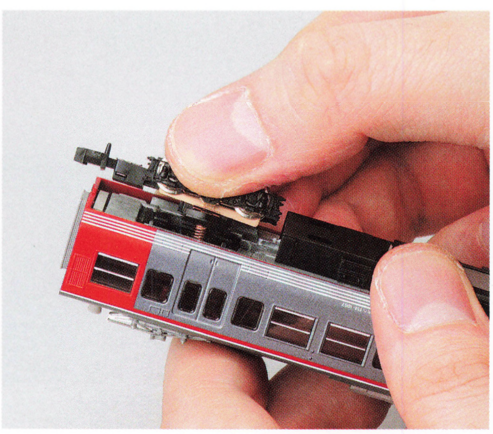
◀▼今回使用するのは密連型TNカプラー（ボディマウント伸縮式・黒：品番0334）。通常6個入り1,575円（税込）で販売されています。

TOMIXのTNカプラー

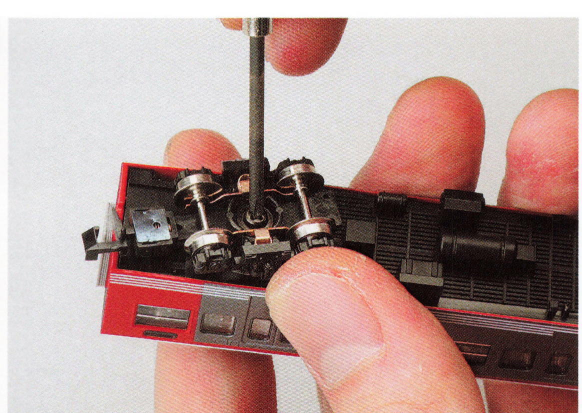
TOMIXから発売されているのが「TNカプラー」。セールスポイントは何と言っても形状のリアルさで、密着自動連結器、密着連結器（電気連結器付き・無し）など様々な形態で作り分けられており、それぞれに黒・グレーの2種類があるので実車に合わせて選択することが可能です。中でも人気なのが「ボディマウント伸縮式」と呼ばれるタイプで、その名の通り実車と同じ車体（床板）側に固定され、カーブ通過時にのみ伸縮するため実車に近い連結面間隔を再現することができます。ボディマウント式に対応していない車輌向けにはアーノルトカプラーと交換して用いる台車取り付けタイプも発売されています。

もちろん形態がリアルだからといって機能的に劣ることはありません。直線レールの上で真っ直ぐに押したり引いたりするだけの極めて簡単な動作で連結・開放が可能です。ここではボディマウント伸縮式を例にTNカプラーへの交換方法をご紹介します。

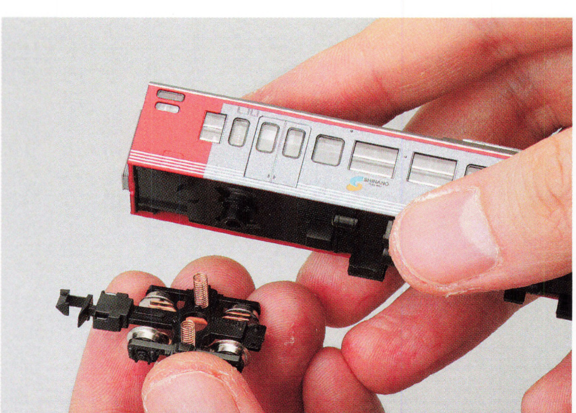
まずはTNカプラーを車両に取り付けてみよう



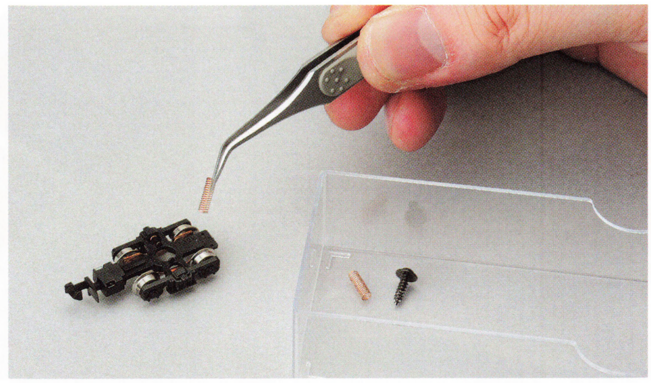
1 カプラーの交換にはまず台車を外す必要があります。動力車の場合は台車の両側面を掴んで片側を持ち上げるようにすると取り外すことができます。



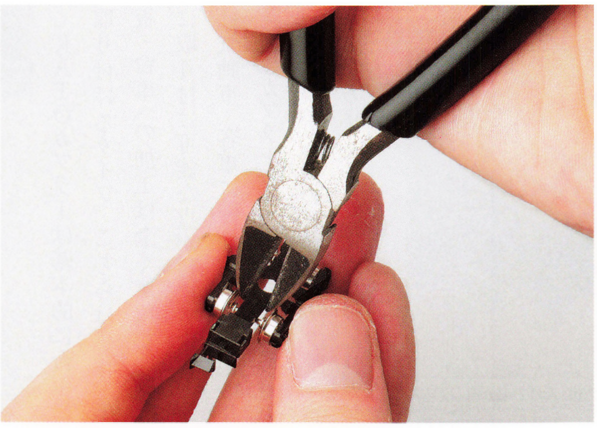
2 トレーラー車の台車はネジ止め式となっています。最初に車体を裏返してプラスドライバーで台車中心のネジを外します。



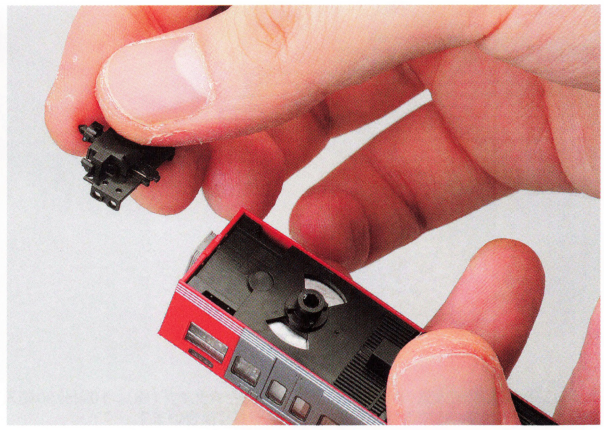
3 次に車体の向きを元に戻して、車体を真っ直ぐ持ち上げれば集電用のスプリングを落とさずに台車を外すことができます。



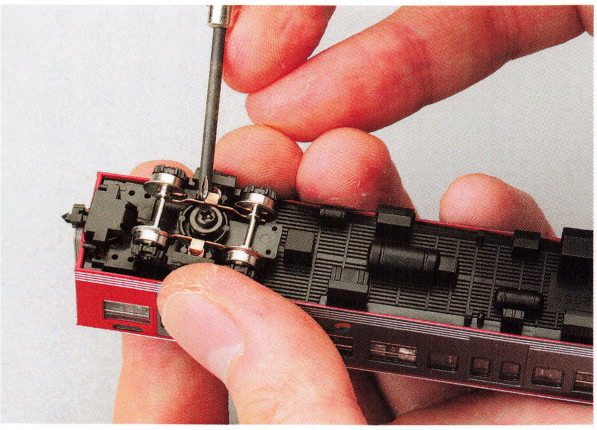
4 台車を止めていたネジや集電スプリングなどの小さな部品は紛失しないようにケースの蓋などに入れて保管したほうが良いでしょう。



5 スプリングを外した台車のカプラーポケットをステーの根元からニッパーで切断します。



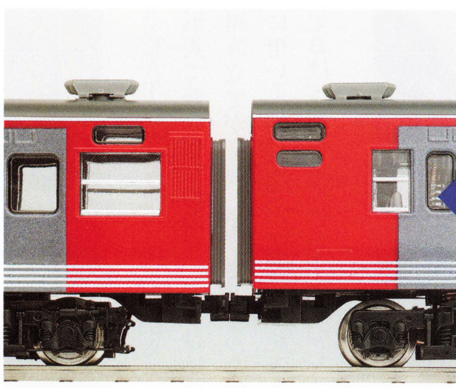
6 再び車体を裏返し、床板のマウント部分にTNカプラーをパチンとはめ込みます。



7 元のカプラーポケットを切り落とした台車にスプリングを戻して、元通り床板に付け直します。

これがTNカプラーの効果だ!

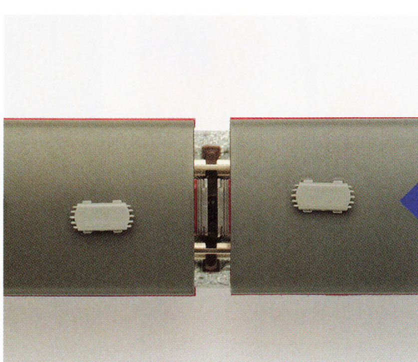
以上でカプラーの取り付けは完了です。それではTNカプラーの取り付けによって外観がどれだけ向上したかを、取り付け前後の比較写真で確認してみましょう。



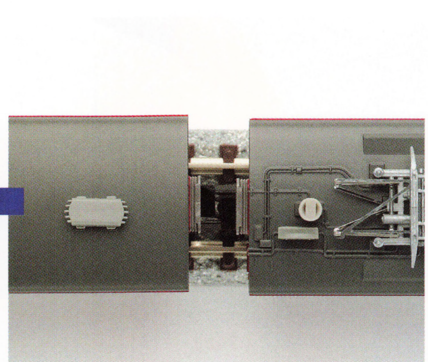
▲TNカプラー取り付け後では貫通幌同士は接触する寸前ぐらいにまで接近しています。



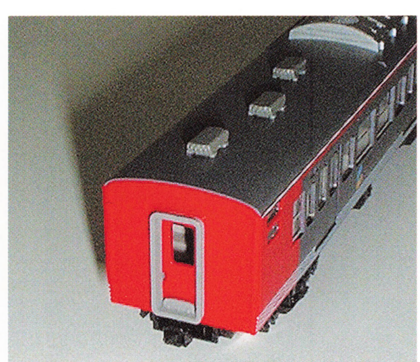
▲アーノルトカプラーでの連結面を真横から。こうして見ると貫通幌同士の間隔は案外広いことが判ります。



▲カプラー交換後は連結面間隔が狭まり、貫通幌に隠れて連結器はほとんど見えなくなりました。



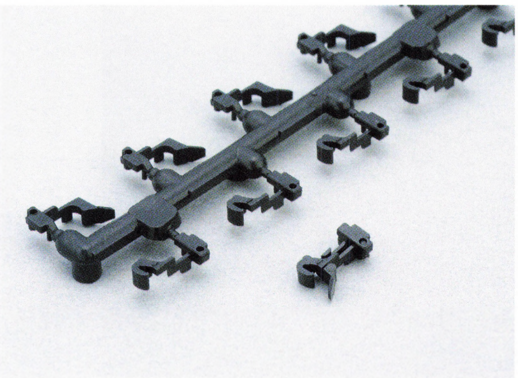
▲同じく真上から。製品のままでは線路もカプラーも丸見えです。



▲TNカプラーに交換後の連結面。カプラーの両脇にはジャンパ栓も表現され、かなり実物に近い外観となりました。

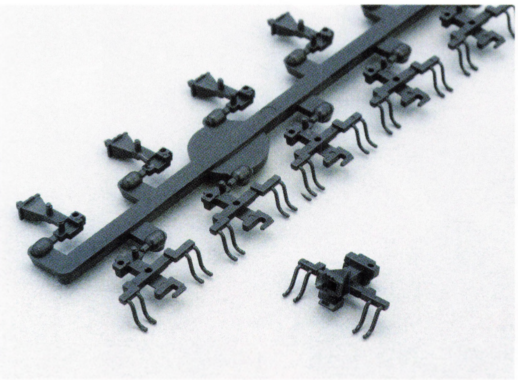
KATOカプラー各種

KATOカプラーは基本的に台車に取り付けるタイプ。こちらは車体・床板・台車への加工は全く無用で、手軽に取り付け可能な点が特徴です。種類は気動車・客車に好適な密自連型のKATOカプラーNと、電車向けでジャンパ線表現が人気のKATOカプラー密連型があり、それぞれにアーノルトカプラー交換用の「Aタイプ」とスナップ取り付け式の「Bタイプ」を用意。さらに取り付ける車両に合わせて黒・グレーの2色を選択することができます。ここではオハ35系客車を例にアーノルトカプラーからKATOカプラーN（Aタイプ・黒）への交換方法をご紹介いたします。





▲オプションカプラーとして早くから普及しているKATOカプラーN・Aタイプ（黒）。10両分20個入りで420円（税込）。密着自動連結器を模した形状で、線路上での自動連結も可能。

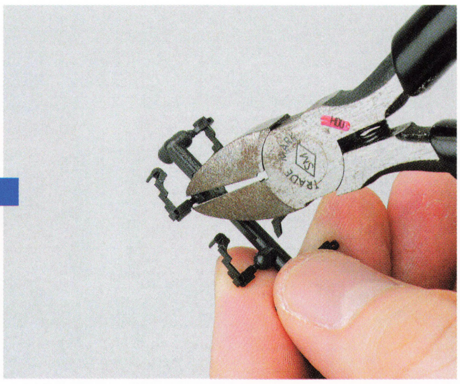




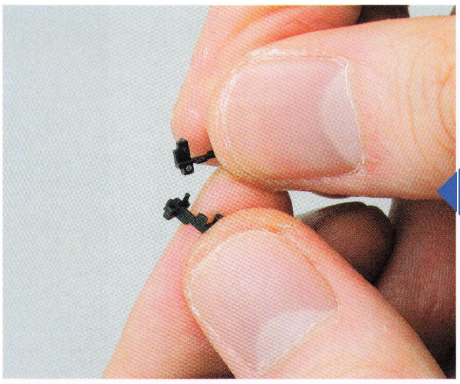
▲ジャンパ線表現が人気のKATOカプラー密連型・Aタイプ（黒）。10両分20個入りで420円（税込）。電連付き密着連結器に似た形状で、近年の電車への取り付けが良く似合います。

KATOカプラーの組み立て方

KATOカプラーは簡単ながらキット形式で販売されており、取り付け前に組み立てが必要です。まとまった両数に用いる場合は先に必要数を組み上げておけば効率よく作業できるでしょう。

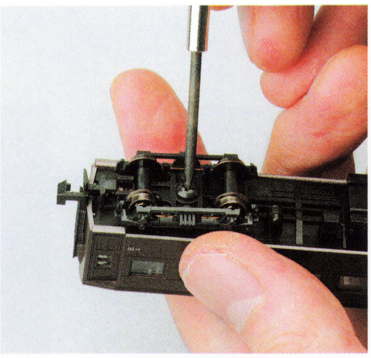


▲まずカプラーを構成する2つの部品をランナーから切り取ります。刃を部品ギリギリに当てて極力余分が残らないようにします。

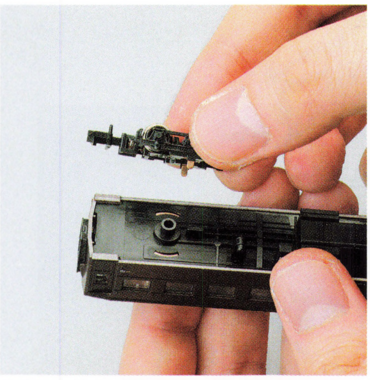


▲切り出した2つの部品を説明書に従って組み合わせれば完成。カプラーの組み立てには接着剤などは不要です。

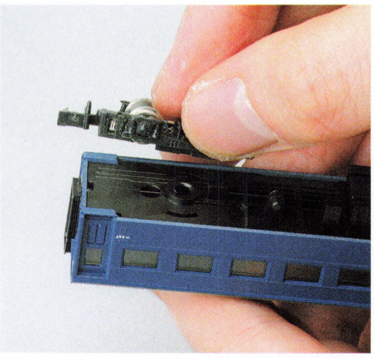
組み立てたカプラーを車両に取り付ける



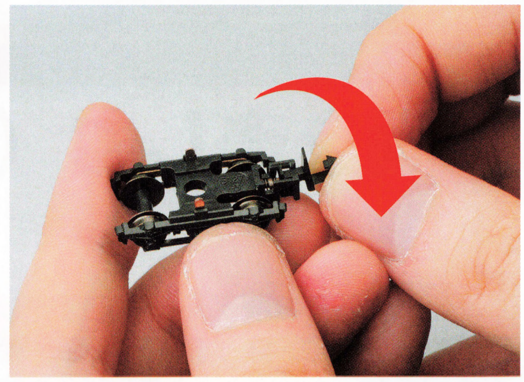
1 ネジ止め式のトレーラー台車の場合は、まず車両を裏返して台車を止めているネジを外します。



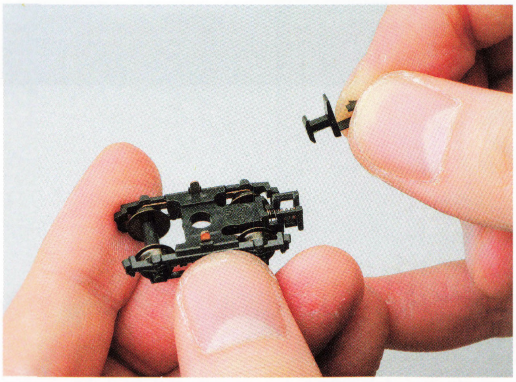
2 そしてまっすぐ持ち上げれば台車を外すことができます。



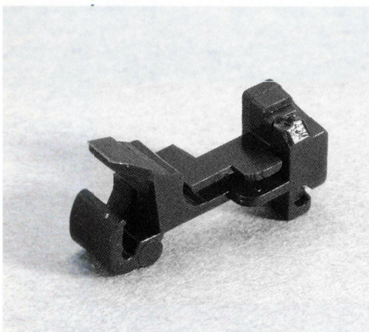
3 ピン止め式のトレーラー台車や動力台車の場合は、台車の両側面を持って横にひねるようにすれば外れます。



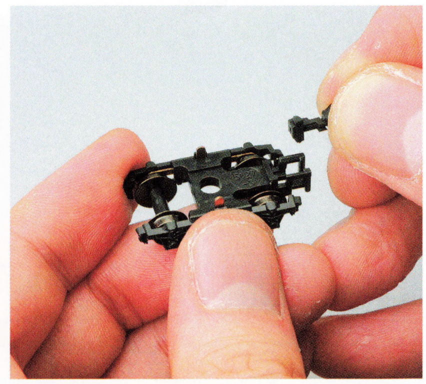
4 続いて台車からアーノルトカプラーを外します。最初に写真のようにカプラーを90度回転させてから…。



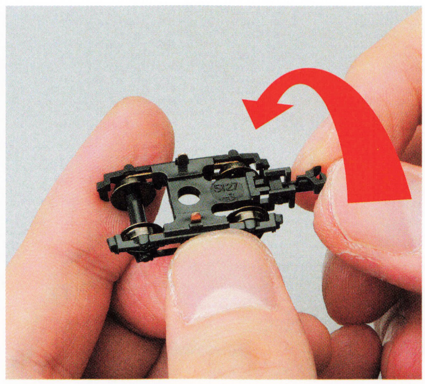
5 カプラーポケットの上のスキマから真っ直ぐ引き抜けば簡単に外れます。そして不要になるスプリングも外します。



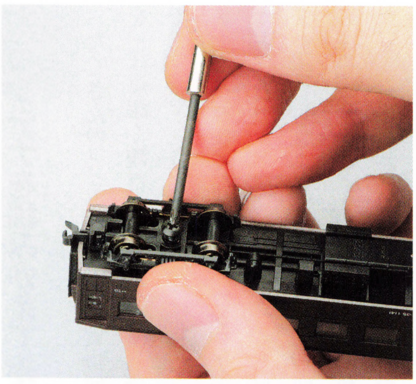
6 続いて組み立てたKATOカプラーを取り付けます。まずカプラーを写真と同じ向きに立てて…。



7 カプラーポケット上面のスキマから真っ直ぐ差し込みます。



8 そして矢印の向きに90度回転させれば取り付け完了です。



9 最後にカプラーを交換した台車を元通りつけ直します。

KATOカプラーを取り付けてみると…

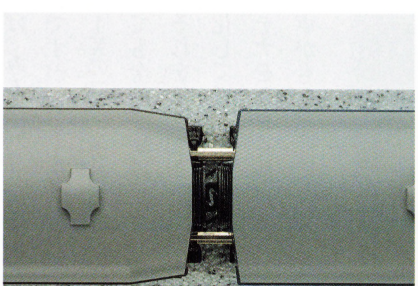
カプラーの取り付け手順は以上です。カプラーの首が細いので、にぎる際にカプラーの先端ではなく根元に力を掛けることが注意点として挙げられます。また、KATOカプラー密連型の場合も取り付け方は基本的に同様。それではKATOカプラーへの交換の結果をご覧ください。



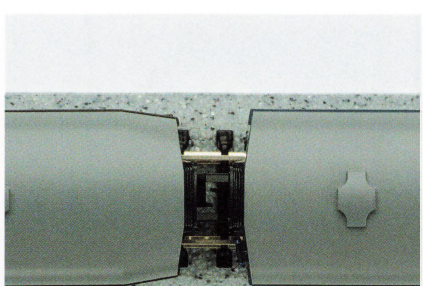
▲アーノルトカプラーの連結面を真横から。連結面間隔もさる事ながら、カプラーの大きさも意外に目立ちます。



▲KATOカプラーNに交換後の状態。ボディマウントでなくとも、カプラーそのものが小さくなっただけでも効果的です。



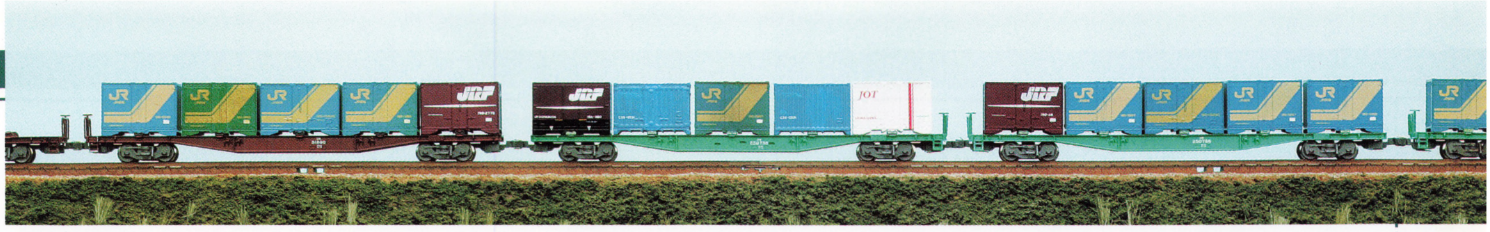
▲カプラー交換後。ボディマウントではないため若干隙間は残りますが、かなり両車の間隔は狭まりました。



▲同じく真上から。KATO製品でもアーノルトカプラーの連結面間隔はやはり広くなっています。



▲KATOカプラーNに交換後の連結面。カプラーの形態が実物に近づいたため実感的です。



車両を楽しむ（2）

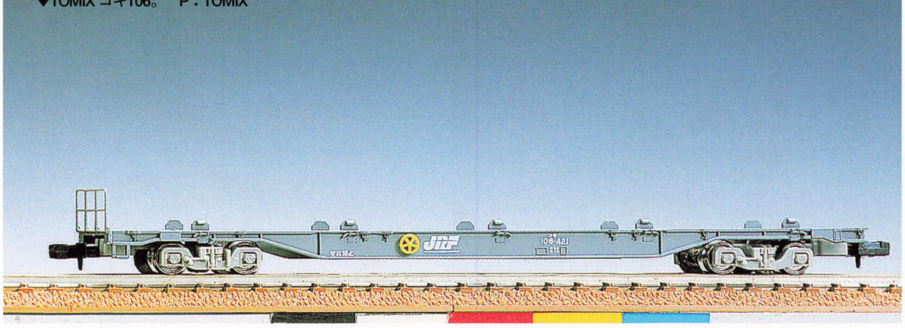
Nゲージ関連の製品を、開発販売しているメーカーはたくさんあります。その製品の中にはあまり手間をかけずに、持っている車両の雰囲気をちょっと変えることができるものがあります。自分の車両を相手に、すでにやったことがある工作をするだけ、または単純に付け替えたりするだけで済む製品をいくつか取り上げて紹介します。試しにやってみて下さい。

コンテナを積みかえてみよう

たくさんのコンテナを積んだ貨物列車を、注意深く観察してみて下さい。今まで、そうやって見たことがなければ、コンテナが1種類ではなくて、コンテナの色がとてもカラフルなのに気がつくと思います。コンテナ輸送は、現代の貨物列車の主役です。Nゲージの車両でも、色々なコンテナや、それを積む貨車が発売されています。実物がそうであるように、Nゲージのコンテナも簡単に積み換えができます。色とりどりのコンテナを、自分で組み合わせて楽しむことができるのです。このコンテナの積み方にも、ちゃんとルールがあります。今度、コンテナの貨物列車を見た時は、そういう点からも観察してみて下さい。そこで発見したことがNゲージにも反映できるのです。

コンテナの種類は多く、新旧で違うものもあれば、現在では使われていないコンテナもあります。関心がなければ、みんな同じに見えてしまうコンテナですが、バラエティがあるのです。TOMIXのコンテナは種類が豊富ですが、とても全部を網羅することはできません。それを補うように、コンテナだけを製品化しているメーカーがあります。そのコンテナをうまく使えば、コンテナの貨物列車がもっと個性的になるはずです。

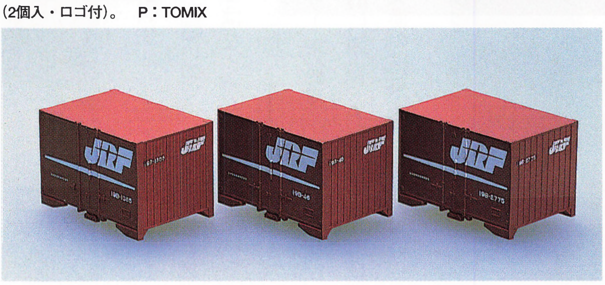
▼TOMIX コキ106。　P：TOMIX

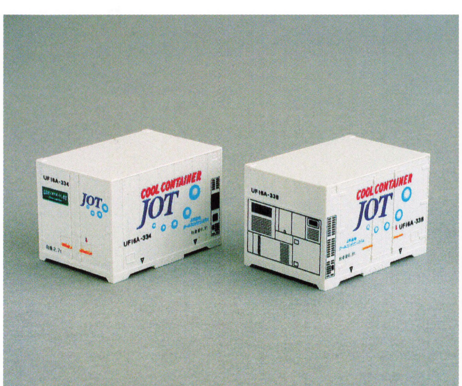


▶TOMIX 19B形5t積有がいコンテナ（3個入）。P：TOMIX

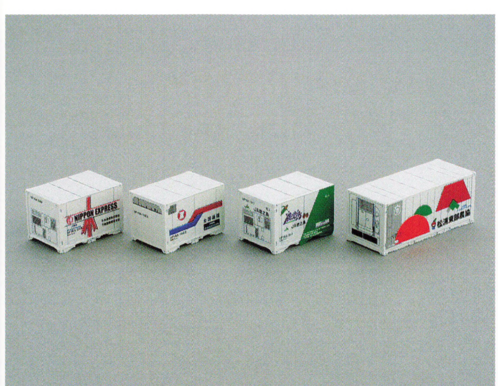


▼TOMIX 30A形9t積有がいコンテナ（2個入・ロゴ付）。　P：TOMIX





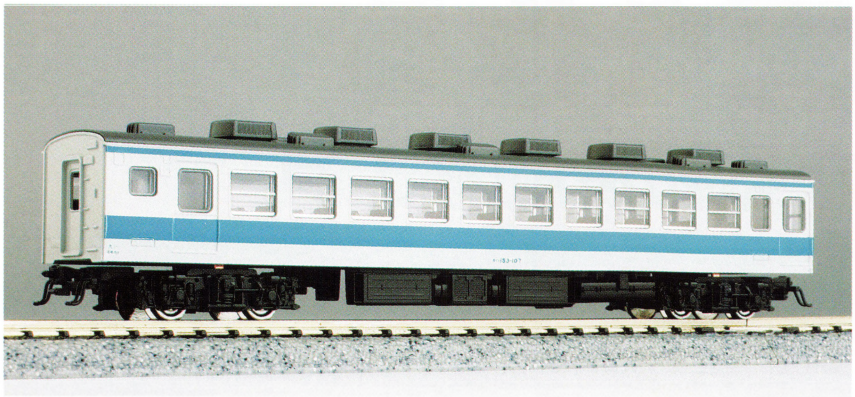
▲元気朗堂のコンテナ。



▲プラッツ製のコンテナ。

車輪を交換してみよう

車輪が金属のままの車両は、それがよく目立ちます。実物の車両を横から見ても、この金属の車輪のようには見えません。車体の陰になっていますし、汚れてもいますから、黒く見えます。こういう風に見せるために、黒い金属の車輪を使ったNゲージの車両があります。この真似をして、金属のままの車輪を、黒い車輪に交換してみましょう。TOMIXの貨車や客車であれば、手軽にできます。分売パーツとして販売されている黒い車輪と付け換えるだけです。車輪を両側から押さえている台車の枠を横に軽く開くだけで車輪は簡単にはずせます。黒い車輪を組み入れる時も、そうすればよいのです。イタズラするような気持ちでできる工作ですが、動力車が相手だとそうはいきません。細かい作業に自信がなかったら、やめた方がいいでしょう。



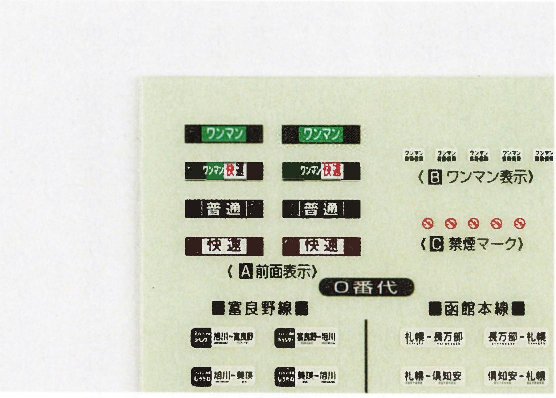
▲車輪の銀色が目立つノーマル状態。



▲車輪を変えてみました。床下がぐっと引き締まりました。

別売りされているパーツを利用する

Nゲージの車両を、もっと実車みたいに見せるために使う、車両の手スリなどの細かいパーツや、TOMIXやKATOの製品にはない行先方向幕などをまとめたステッカーが、他のメーカーから発売されています。細かいパーツは、ディテールアップパーツと呼ばれ、その取り付けには技術も必要ですが、実車をよく理解していないと使えないものです。ステッカーは、TOMIXやKATOのそれが貼れるなら、作業は問題なくできますが、それをどこに貼るかは購入者が知っていないといけない製品があります。どれも一筋縄ではいきませんが、使いこなせれば、車両のイメージアップができるのは間違いありません。



▲車両用ステッカーの部分アップ。写真はGM製キハ150用。

COLUMN

もしもパンタグラフや細かいパーツを壊したら



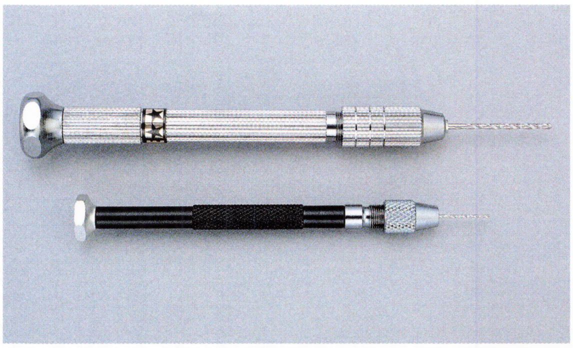
電車の一部や、電気機関車の屋根の上には、とても細いパーツで作られたパンタグラフが付いています。本物のように折りたたむことができますが、キャシャなので壊れることがあります。そうなっても、TOMIXやKATOの車両なら、パンタグラフが別売されているので、交換することができます。パンタグラフだけでなく、車両に使われている細かいパーツが、取れてなくなってしまっても、付け換える工作ができれば、両メーカーの車両は別売されているパーツで、修理ができるのです。TOMIXでは「分売パーツ」、KATOでは「Assyパーツ」というのがそのパーツのことです。大半の車両は大丈夫ですが、修理できない車両もあることは心得ておいて下さい。そして、どこの模型店でもいつでも欲しいパーツが入手できるわけではありません。欲しいパーツがないときは、模型店やメーカーに問い合せてみて下さい。

車両を作る

製作に必要になる初歩的な工具

ピンバイスとドリル

Nゲージの工作で、穴を開けるときに使う工具が、ピンバイスとドリルです。ピンバイスに、ドリルを取りつけて穴を開けるのです。ピンバイスとドリルは別々に売られています。ピンバイスの形は1種類だけではありませんが、1本だけ買うとしたら左写真の上のタイプがいいでしょう。0.3ミリから3ミリの太さまでのドリルを使うことができ、車両製作に必要な太さのドリルは、この1本があれば用が足ります。ピンバイスの左端についている皿状のものは回転しますが、これを手のひらにあてて、ピンバイス本体の方を指で回して作業するのです。ピンバイスとドリルのコンビは、Nゲージの車両キット製作には必需品です。

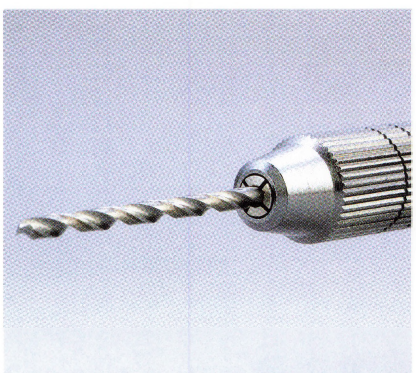


▲チャックというのが、ピンバイスの内側に収納されていて、それにドリルを差し込みます。上のタイプは、内側に2本のチャックを収納していて、0.3ミリから3ミリまでのドリルが使えるようになっています。使う回数の多い細いドリルは、専用のピンバイスを用意した方が、作業の効率が良くなります。

車両の製作に使うドリルの太さは、組み立て説明書に必ず指示があるので、それに従ってそろえて下さい。ドリルは1本ずつ、売られているのが普通です。太さの違うドリルを数本まとめてセットにしたものもあり、Nゲージの車両を意識したのか、車両の製作でよく使う太さのドリルを集めたらしいセットもあります。0.3ミリのような細いドリルほど、工作中に折ってしまうことが多いので、車両の工作に熱心な人は、予備を持っているものです。そういうドリルは、店頭で売り切れてしまうことがあり、品切れになるとしばらく待つハメになることがあるからです。

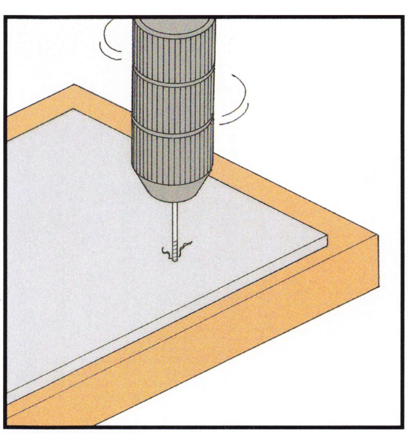


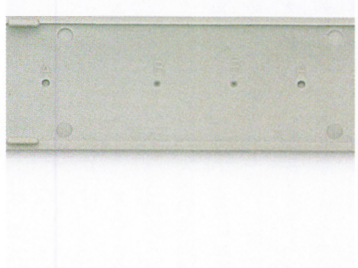
▲ドリルが1本入っているパックです。



▲ドリルの付け根の、十字型の切れ込みが入った金具がチャックです。

ドリルを使って穴を開ける位置は、車両キットの組み立て説明書を見れば分かりますが、位置を凹みで示したパーツもあり、それを皿穴と呼びます。皿穴があれば指定通りの太さのドリルで、すぐに作業ができます。自分で位置を決める場合には、先端の鋭いもので穴の中心を軽く彫ってから、取りかかります。ドリルを使う時は、パーツの下に穴が開いても構わない木などを敷いてから、作業をして下さい。

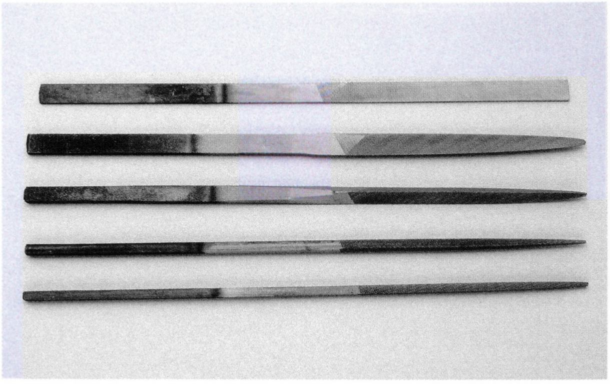




▲丸い凹みが皿穴です。

金属ヤスリ

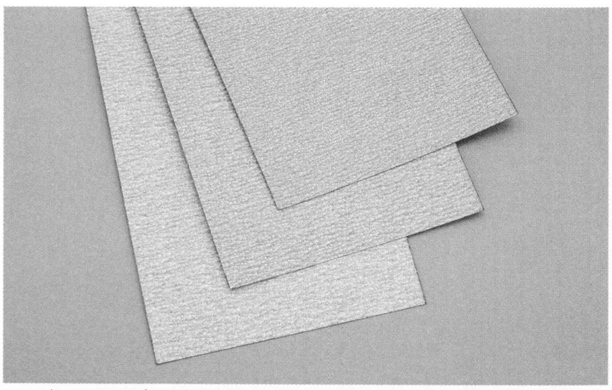
金属ヤスリの削る作業をする部分には筋が入っていますが、これを目といいます。この目には荒いものから細かいものまであるのですが、車両キットに使うのは中目です。模型店へ行くと、いろいろな金属ヤスリが単品、またはセットでも売られています。金属ヤスリは、削る部分の形状にも種類があり、代表的なのが板みたいな平、断面が丸や三角になったものです。よく使うには平で、1本だけを買うなら、この平がいいでしょう。金属ヤスリの目は、削る作業をしているうちにつまってきます。そうなると作業に支障が出るので、定期的に固い歯ブラシで目づまりを除いて下さい。



▲これは5本で1セットになっている金属ヤスリで、上から形の名前で言うと、平、半丸、三角、角、丸です。

紙ヤスリ

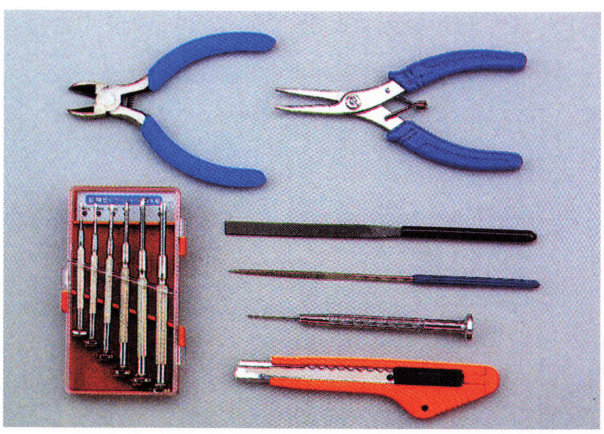
紙ヤスリにも種類があり、それを数字で示します。数字が小さいほど紙ヤスリの表面はキメが荒く、数字が大きいほどキメが細かくなります。研磨作業の初期に使う紙ヤスリは数字が小さく、仕上げに近づくにつれ、数字が大きい紙ヤスリを使います。紙ヤスリは、車両製作の修正作業に欠かせません。どの模型店でも入手できる紙ヤスリは、タミヤのフィニッシングペーパーです。そのまま使っても構いませんが、水をつけてやると、そうでない時よりも目づまりをしなくなります。このように、磨くときに水が使える紙ヤスリを耐水ペーパーと呼ぶことがあります。



▲400番、600番の数字がふられた紙ヤスリがよく使われます。使う分だけを切って使用した方が、無駄になりません。

車両工作が好きならもっと工具がいります

車両を作ることが面白くて、それに熱中するようになると、もっとうまく作りたくて、人の作った車両を参考にするようになると思います。すると、今の自分が持っている工具だけでは、できないことがあるのに気がつくはずです。工作が複雑になると、それに合わせた工具がいるのです。作り方によって、工具も変わるのです。車両の工作が好きなら、工具の研究も抜かりなくやって下さい。工作を支えるのは工具です。

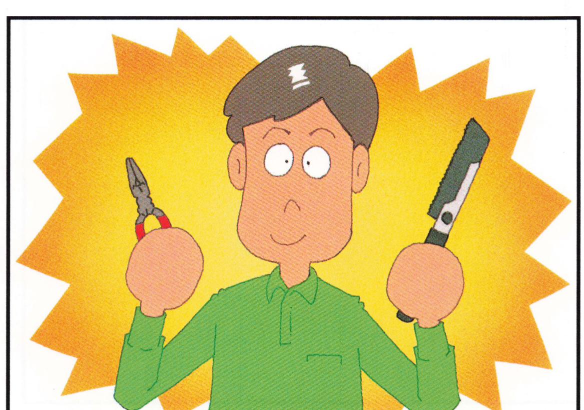


◀本格的に工作をしようとなると様々な工具が必要となります。

COLUMN

これは便利!? ルーペ付きスタンド

中高年と言われる年代がNゲージの車両工作で何がつらいかと言うと、その扱うパーツの細かさに尽きます。視力が衰えてきているから、パーツを見ているだけでもたまらない。そんな中高年を協力にバックアップするのが、ルーペ付きスタンドです。装備しているルーペで、パーツを拡大して見せてくれるだけではなく、手元を明るく照らしてくれます。細かいパーツがよく見えなくて、イライラがつのるようなことは、このスタンドがあれば回避できます。



接着剤の基礎知識

プラキットの組み立てに使うのは、プラ用接着剤（プラモデル用接着剤の略称）が主ですが、部分的に別の接着剤を用いることがあります。一種類の接着剤で済む工作もありますが、性質がちがう接着剤の、それぞれの特徴を知った上で使い分けることは、上手な工作のコツだといえます。Nゲージの工作は車両だけではないのですから、いろいろな接着剤の使い方がわかっていれば、必ず役に立ちます。

プラ用接着剤

プラスチック製Nゲージの車両キットの組み立てには、この接着剤を使います。プラスチックモデル用接着剤が正しい名前ですが、プラ用接着剤と略して呼ばれるのが普通です。やや粘性のある接着剤を、フタの内側についている刷毛でパーツに塗って、パーツを接着します。組み合わせたパーツの間から、接着剤がハミ出してしまうのを避けねばなりませんが、初めてこの刷毛で接着剤を塗る人は、その失敗をしてしまうはずです。刷毛をビンから出す前に、ビンの内側で軽くしごいて、接着剤を少し落としてからパーツに塗れば、幾分かは接着剤の塗りすぎによるハミ出しを防げると思います。刷毛をうまく扱えなくて、塗らなくていいところまで、接着剤を塗ってしまうミスも少なくないようです。率直に言うと、刷毛の使い方は失敗しながら馴れてもらうしかありません。失敗をしないで済む方法はいろいろありますが、絶対確実ではありません。接着剤を使った後は、フタをきっちりしめて下さい。成分が揮発して、粘性が強くなり使用不能になります。

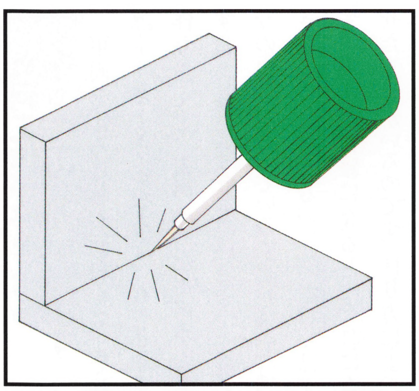


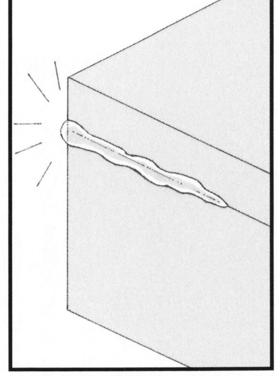
▲どの模型店でも買えるのが、このタミヤ製品です。他のメーカーの、プラ用接着剤もあります。接着剤を使う時は、部屋の換気に気をつけて下さい。

プラ用接着剤 流し込みタイプ

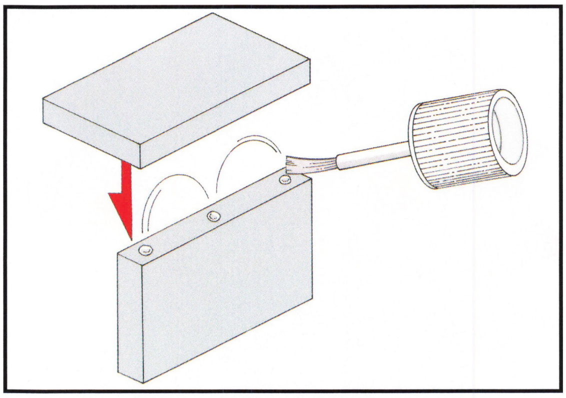
上の写真の接着剤と同じタミヤの接着剤ですが、こちらは粘性がなくサラサラとしていて、フタの内側には刷毛ではなく、極細の面相筆が付いています。使い方も違い、接着したいパーツ同士を組み合わせておいてから、その接合部に面相筆をちょっとあてて、接着剤を流し込むのです。接着剤は、毛細管現象によって接合部の隅まで行き渡り、接着できます。それで、流し込みタイプと言うのです。上のプラ用接着剤のように、パーツに塗ってから接着するのはうまくいきません。揮発するのが早くて、接着する前に大部分が乾いてしまいます。

　パーツの接合部から、大きくはみ出して固まりとなっている接着剤は、乾いた後でカッターナイフで切り取り、紙ヤスリで削って修正することができます。でも、いつも簡単にできるとは限りませんし、パーツを取り付けた状態によっては、修正できないことがあります。


▲流し込み接着剤は、パーツを合わせた状態から、面相筆で流し込むように使います。


▲刷毛をうまく使えないと…

　接着剤が、ハミ出す失敗を避ける方法のひとつです。まず、普通のプラ用接着剤を少しだけ、パーツの接着面の数カ所点状につけて、パーツを組み合わせてしまいます。それから、パーツどうしの接合部に流しこみタイプの接着剤をしみこませて、しっかりと接着します。パーツの組み合わせ方によってはできませんし、細かいパーツの接着には不向きです。

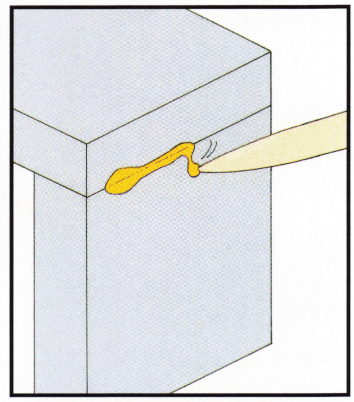

▲接着剤は、少量を接着面に落とします。

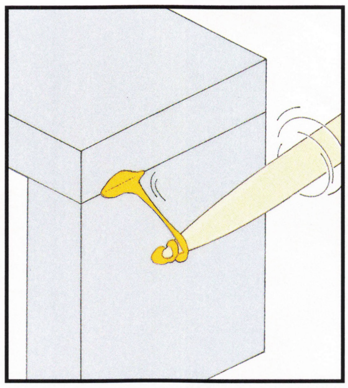
ゴム系接着剤

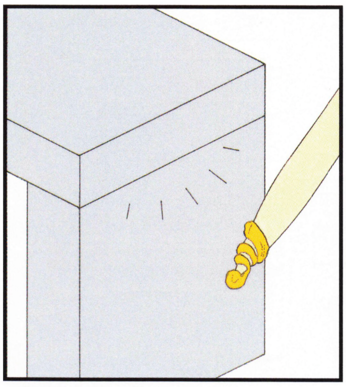
皮革やゴムばかりか、プラスチックや木まで使える汎用性の高い接着剤です。接着剤の色は黄色か無色透明で、乾いて固まって接着剤には、厚味と弾力性があります。パーツ同士をスキ間なく組み合わせたい時には、その厚みが障害になることがあるので、やめた方がよく、車両キットの製作ではそれでも構わないような部分に使われます。接着剤には粘性があり、納豆のように糸を引く特徴がありますが、その粘着力は強く圧迫さえしなければ、比較的容易に接着剤をはがせる性質なので、それを利用して下図の方法で、パーツの外にハミ出した接着剤の回収をします。ハミ出した接着剤が、車両の塗装を傷めないのも、鉄道模型全般でこの接着剤が愛用されている理由です。



▲ゴム接着剤です。


▲つまようじの先に、接着剤の端をひっかけます。


▲つまようじで接着剤をひっぱりながら、つまようじをくるくると回して、接着剤を巻き付けます。


▲接着剤の回収が、完了しました。

瞬間接着剤

Nゲージだけでなく、模型工作にはなくてはならない接着剤が、この瞬間接着剤です。パーツ同士を接着するだけでなく、接着部分の裏側に塗ることができるなら、そこへ多めに塗って補強剤として使うこともありますし、すごく細いスキ間に流し入れて、それを埋めて消してしまう修正用に利用することもあります。

瞬間接着剤は、液状やゼリー状という粘性の違いの他に、接着剤の乾き方の遅速など、多様な種類があります。Nゲージでは、ごく普通のタイプをひとつ用意しておけばまず困りませんが、容器の先端に細いノズルがつけられる製品が、工作には都合がいいものです。開封した瞬間接着剤は、冷蔵庫で保管します。



▲容器の１ヵ所を押して、接着剤を一滴ずつ使うワン・プッシュタイプも便利です。瞬間接着剤は、補強剤としても使えます。

木工用ボンド その他

Nゲージには、車両だけではなくレイアウトやジオラマの製作があり、いろいろな工作をします。そこで使われる材料は、プラスチックばかりでなく、材質も様々です。材質の違う材料の接着には、それに適した接着剤を使わねばなりません。そうでなければ、せっかく完成したものが壊れてしまいかねません。接着剤の使い分けも、必要なのです。風景を作るときによく利用されるのが、木工用ボンドです。水に溶かすことができる白い接着剤で、乾くと透明になります。木と木を接着するためのものですが、レイアウトやジオラマでは地面の上に敷いた草や、川原の砂利を固着するのに使います。木工用ボンドは使用目的がはっきりしていますが、他にも知っておけば製作途中で役に立つ接着剤があるかもしれません。例えば、エポキシ系接着剤がそれです。今は使わなくても、接着剤には関心を払っておくことです。

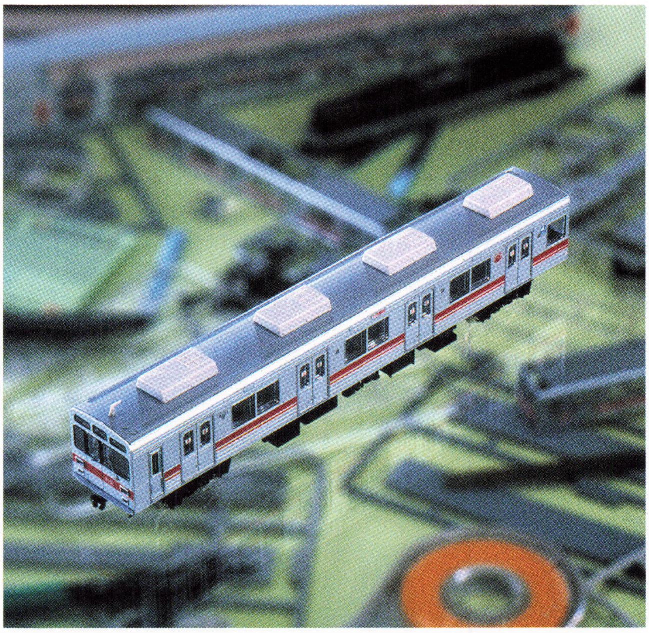


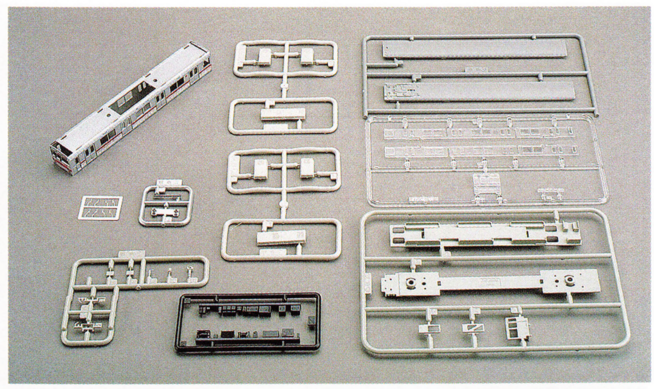
▲レイアウトを作る人には、木工用ボンドは必需品です。

塗装済みキットを作ろう
～グリーンマックス　東急9000系を作る～

こんな小さくて精密なものを、自分で作るなんて…そう思う人もいるかもしれません。しかし、塗装済みキットは「塗装」という高いハードルがクリアされている分、初心者でも手を出しやすいものです。たしかに細かいパーツはたくさんありますが、怖がることはありません。設計図のとおり部品をくっつけていけば、ちゃんと形になります。

構成・文＝児山 計　(RM MODELS 掲載記事転載、再編集)





▲台車をのぞいた先頭車1両分のパーツです。けっこう細かいパーツもあるので紛失しないよう注意してください。

ゲート処理は丁寧に

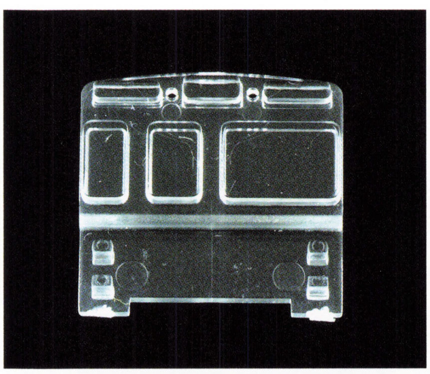
さあ、キットを組み立てよう…といってもばらばらのパーツを前に、どこから手をつけていいかわからない人もいるでしょう。キットによっては順番を間違えると、付くべきところにパーツが付かなかったりしますから、製作順序は説明書を見て、ちゃんと確認しておきます。

東急9000系の場合は、まず正面窓から。透明なランナーに付いている正面窓のパーツをニッパーで切り取り、切り取ったゲート(ランナーとパーツをつないでいた部分です)を、ナイフできれいに削り取ります。ゲートの跡が残ると、組んだ時に隙間ができたりうまくはまらなかったりしますので、ゲートは念入りに取り去ってください。

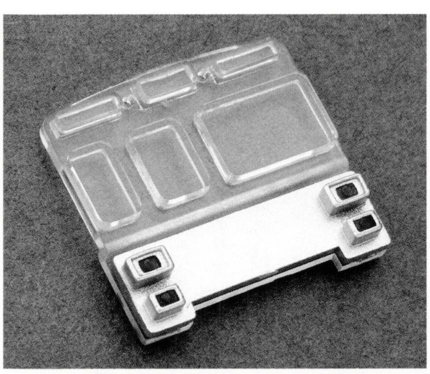
ゲート処理がうまくいったら、窓ガラスにライトケースをはめ込みます。たいていのキットはパチンと小気味よくはまるようになってますが、時々パーツの合いが悪いものがあります。その場合は無理にはめ込もうとせず、ヤスリを使って穴を調整します。

こうして組み合わさったパーツを、車体にはめ込みます。このように基本は小さなパーツを最初に組んで、最後に大きなパーツへ取り付けます。正面を組み終わったら今度は側面のガラスを同じようにはめ込みます。正面ガラス同様、ゲートの処理を完璧にしたら、車両の窓にはめ込みます。

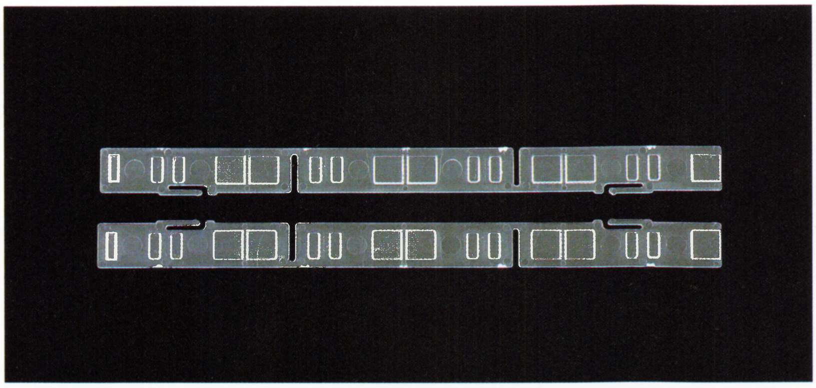
さて、子供の頃、プラモデルを組むと2～3の部品が余った、なんて経験をした人は少なくないと思いますが、鉄道模型のキットに関して言うと、間違いなく組んでもパーツが余ります。それは、パーツを複数用意することで、異なる形式の車両を作り分けられるようにしているためです。東急9000系のキットでは、貫通路のパーツが2000系用



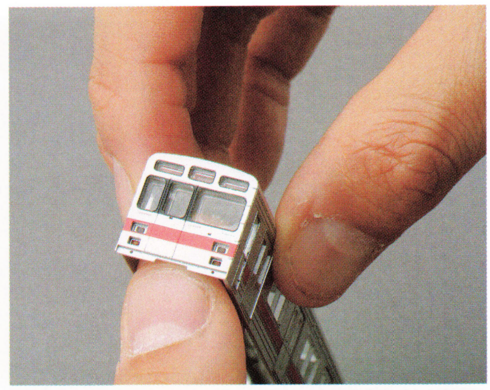
▲ランナーからニッパーで切り離した正面窓。下のほうに白くなっているのがゲートの跡です。これをきれいに取り去らないと、パーツがうまくかみ合いません。



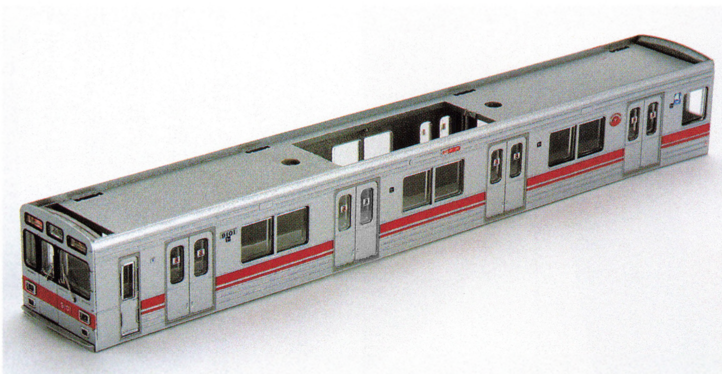
▲ゲート処理が終わった前面ガラスとライトケースを組み合わせます。合いが悪い場合は無理をせず、ヤスリで削るなどして調整します。



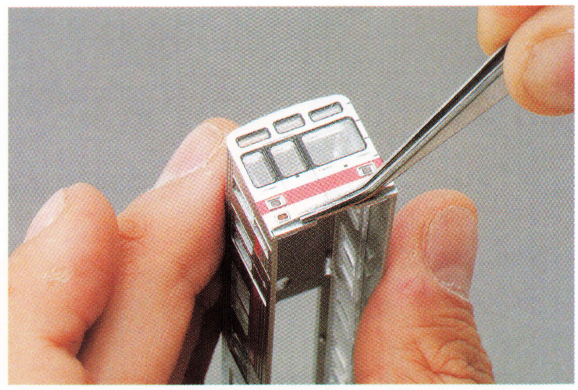
▲側面ガラス。中間車は左右対称ですが先頭車のガラスは向きに注意してください。



▲接着前に仮合わせをします。うまくはまらない場合はヤスリで微調整してはめ込みます。透明パーツは無理にはめ込むと割れることがありますので、無理は禁物です。



▲ガラスを組み込んだ先頭車です。



▲こういった細かいパーツを取り付ける時は、ピンセットで取り付けます。つまみ方が悪いとパーツがはじけ飛んで行方不明になることも。力任せに握るのではなく、パーツとピンセットが接する部分を多く取るようなつまみ方をします。

と9000系用に作り分けられています。パーツを間違えないように取り付けて下さい。扉の穴が長方形なのが9000系です。

他にも細かいパーツを指示通りに取り付けていくと、なんとなくそれっぽい車体になっていきます。この車体に取り付ける部品の中で、ワイパーはたいへん繊細でなくしやすい部品です。取り付けた後も何かの弾みでポロッと取れてしまうこともあります。取り扱いには十分注意して下さい。

シールは慎重に

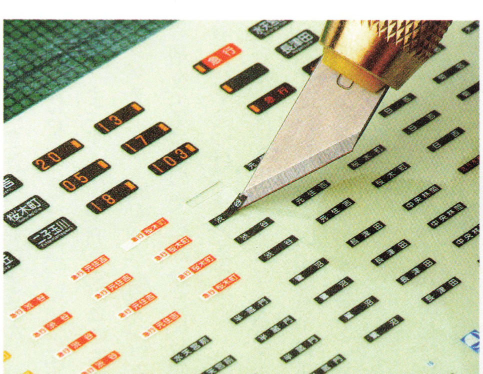
車体が組みあがったら、方向幕のシールを貼ります。現物を見ればわかりますが、シールはたいへん細かいものです。これを必要なものだけカッターナイフで切り出すわけですが、外周にそってぐるっと切ると、角の部分で引っかかって裂けてしまうことがあります。

シールの上手な切り方は、まず縦方向に切り込みを入れ、次に横方向をカットします。こうすることで刃が常に直線に動くため、シールをこじったり引っ掛けたりせず、きれいにはがすことができます。

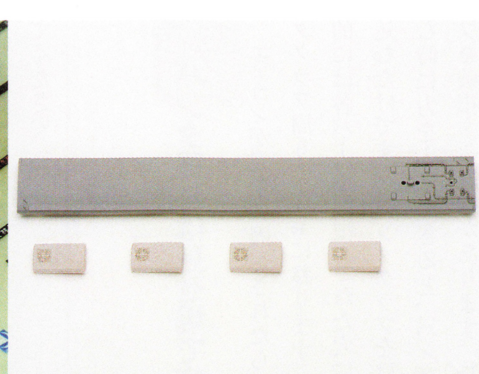
シールを貼る時は、カッターの先端にシールの端を貼り付け、車両の貼り付け位置に載せるように置きます。

見られるところはおしゃれに決める

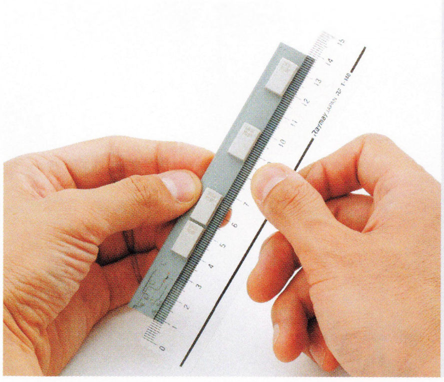
Nゲージは何かと上から見られることが多い模型です。ですから、屋根の出来は模型の見栄えを決めるといっても過言ではありません。この作業を雑にやってしまうと、目も当てられない状態になってしまいます。



▲ステッカー。細かいパーツですので、はり間違いや破損に注意しましょう。



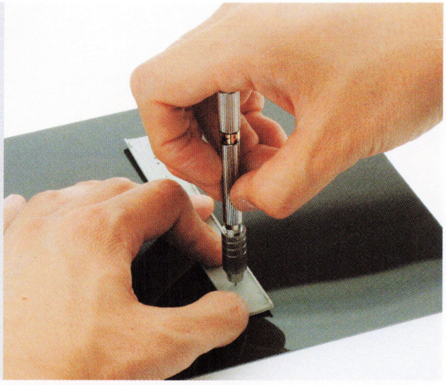
▲ゲート処理をした屋根とエアコン。ゲート処理を怠ると、エアコンが水平に並びません。



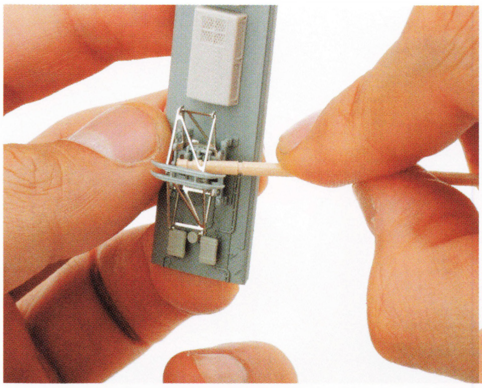
▲このように定規を当て、エアコンをまっすぐ並べてマスキングテープで軽く固定します。



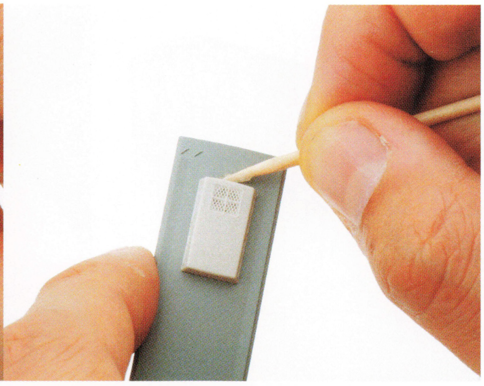
▲接着剤はエアコンの出っ張りと、反対側の面に薄く塗ります。



▲屋根の穴開けにはピンバイスを使います。ドリルは必ず垂直に降ろして下さい。



▲パンタグラフは繊細な部品です。押し込む際は力が均等にかかるよう、爪楊枝などで台座全体に力をかけるように押し込みます。



▲ゴム系接着剤がはみ出したら、爪楊枝で巻き取るように取ります。



▲中間車の完成です。ここまでできたらいよいよ床下です。

屋上の製作はまず、エアコンを取り付けます。エアコンを取り付けるためには屋根に穴を開けなくてはなりません。穴開けにはピンバイスという工具を使います。穴を開ける位置は屋根の裏に溝がありますので、説明書の指示に従って開けて下さい。

なお、穴開けに関しても9000系と2000系でエアコンの形状が異なるため、両方の穴開け指示が屋根になされています。うっかり2000系の穴を間違えて開けないようにして下さい。

穴開けが済んだらエアコンの突起を穴に合わせます。穴の大きさが適正ならば、接着剤なしでも固定しますが、扱うたびにエアコンがアッチ向いたりこっち向いたりするので、ゴム系接着剤で接着します。なぜゴム系接着剤を使用するかは後述します。

さて、ここでいい加減に取り付けると、エアコンがきれいに並びません。びしっと一列に接着するには、屋根に定規を当て、まっすぐに整列したところでマスキングテープで固定。一個ずつゴム系接着剤をエアコンの突起部分と反対側の接着面にくっつけ、止めます。

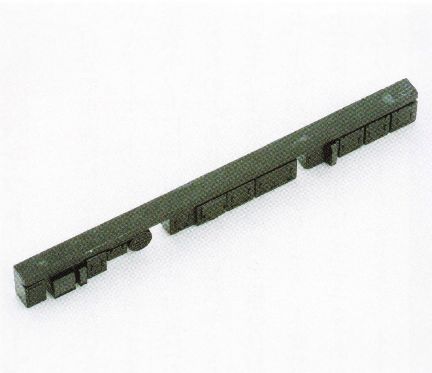
万が一はみ出してもゴム系接着剤なら大丈夫。はみ出した接着剤は爪楊枝につまんで、クルクルっと巻くことで簡単に取れるのです。

このように、多少のはみ出しはリカバーできますので、焦らず丁寧に作業してください。

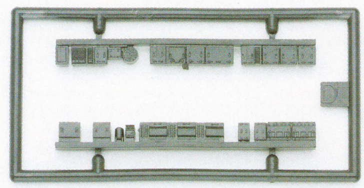
パンタ周りは見せ場です

エアコンが完全に固定されたら、パンタグラフ周りの作業に移ります。基本的には各パーツを指定された穴にはめ込むだけですが、パンタグラフをはめ込む時に力を入れすぎると、パンタグラフを破損する恐れがあります。特にパンタグラフの金属部分は、ちょっとの力で簡単に曲がったり、ヒンジが歪んだりします。

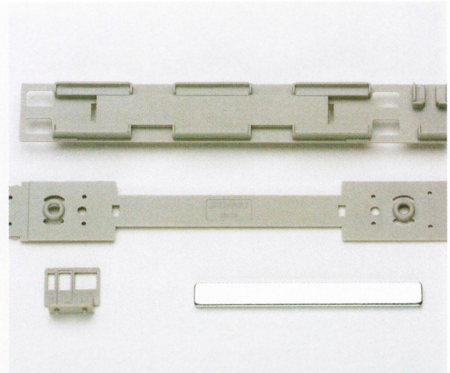
パンタグラフのパーツは実に壊れやすいので、押し込む際はパンタグラフを上げ、台座に爪楊枝などを当てて、もろい部品に力がかからないよう慎重に押し込みます。



▲床下機器の接着の際、接着面積を多く取るために接着面はやすりで平らにします。



▲床下機器を切り取った後ゲート処理をしないと、接着が安定しません。



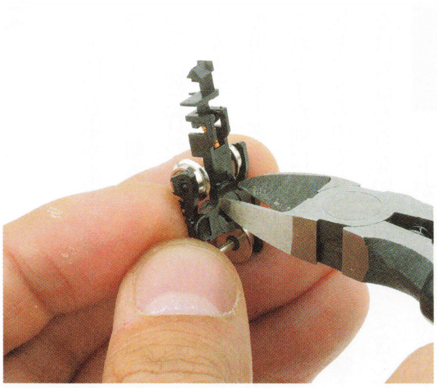
▲床板の部品です。これらははめ込むだけでちゃんと固定されます。

床下ははめ込みが基本

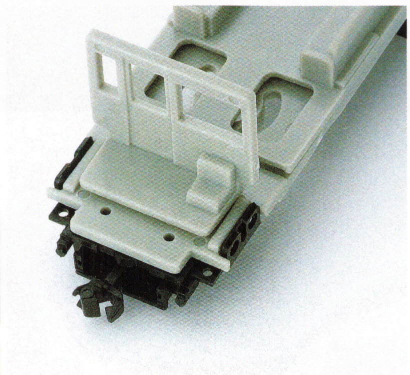
車体周りが完成したら、いよいよ床下です。説明書の指示に従い、床下機器を床板に接着します。それができたらインテリアの内側にウエイトを入れて、床板と組み合わせます。最後に台車を取り付け、車体と組み合わせれば完成です。ここまでの工程で面倒なのは、パーツを切り取った際のゲート処理、屋根の穴開けくらいなもので、後は説明書どおりにていねいに作ればそれほど難しいものではありません。

腕に余裕がある人はさらに、本物を観察してエアコンのフィルタを塗装したり、現在の仕様やデビュー当時の仕様に近づけるといった加工をします。キットはただ組み立てるだけでなく、自分の思い入れやこだわりを組み込むとよりいっそう輝きを増します。

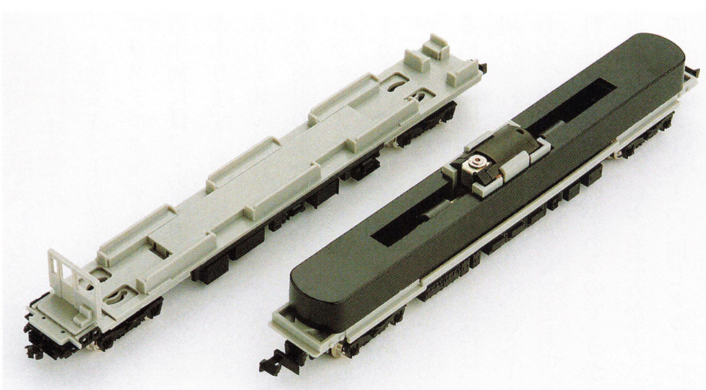
自分で作った車両というのは、たとえ出来が今ひとつでも思い入れが違います。ぜひ1編成、製作してみて下さい。



▲編成両端の台車はカプラーをニッパーでカットします。



▲先頭車は見栄えをよくするため、TOMIXのTNカプラーを取り付けてみました。



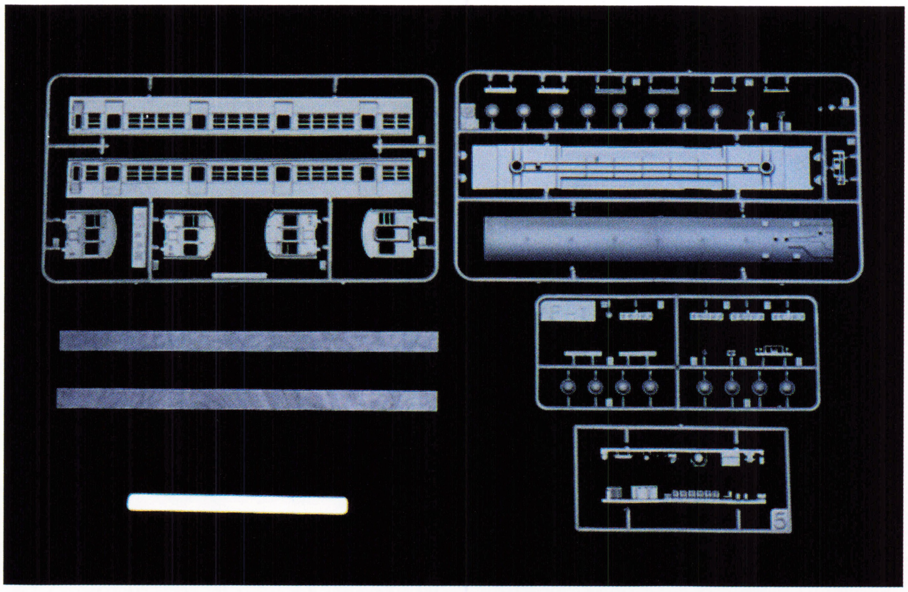
▲台車を取り付けて床下機器の完成です。車体をかぶせて連結すれば作業終了です。

▼自分で作った車両が本線を走る。その喜びは格別です。



未塗装キット グリーンマックス

自分で車両に色を塗らなければならないキットを、未塗装キットと言います。未塗装キットには、車体が4枚の板になっているものがあり、それを板状キットと言います。4枚の板と屋根を組み合わせると、車体ができあがります。未塗装キットには、車体が箱状になってできあがっている状態のキットもあります。未塗装キットは、台車や電車のパンタグラフのようなパーツを、組み立て説明書の指示に従って、別に買わないと完成しない車両がほとんどです。動かしたいのなら、その車両専用のモーターが組み込まれた下廻りを、これもまた別に買わねばなりません。板状キットの中でも、塗装済で別に購入しなければならないものをすべて含んだセットがあります。塗装済なので、車体の組み立てには細心の注意がいります。接着剤をつけ過ぎてハミ出してしまったら、大変だからです。グリーンマックスの未塗装の板状キットはNゲージのロングセラー商品になっています。



▲グリーンマックスの板キット73系。

塗料を購入しなくてはいけません

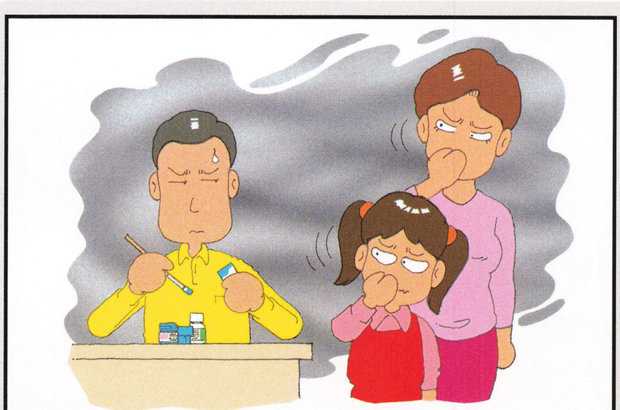
未塗装キットを塗るのに使う塗料は、プラスチックモデル用の塗料ですが、鉄道車両には、その車両だけの決まった色があります。適当に塗っていいわけではありません。グリーンマックスからは、鉄道車両用の塗料が、ビン入りとスプレーの2タイプで発売されています。他のメーカーの鉄道車両用の塗料もありますが、プラスチックには使えないものがあるので、注意がいります。塗装には、鉄道用の塗料だけでは不十分で、GSIクレオスやタミヤの塗料も欠かせません。塗料には性質の違いがあるので、うかつに混ぜたりするのはやめた方がよく、原則的に同じメーカーの、同じグループの塗料を使えば間違いありません。



▲模型用塗料はさまざまな種類があります。

COLUMN

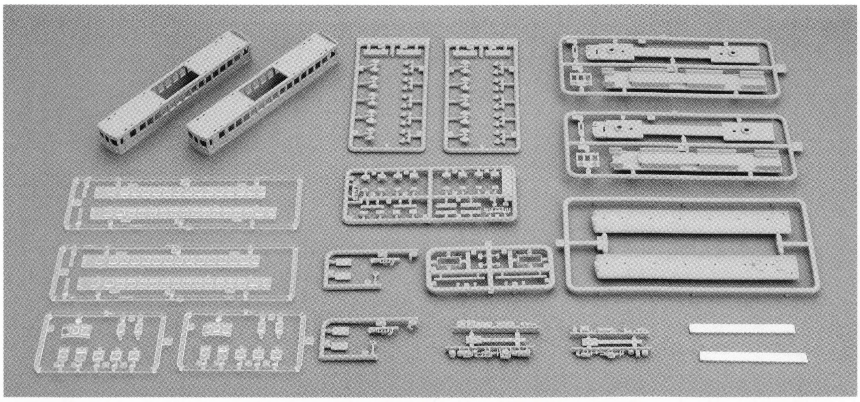
部屋の中での塗装には気をつけて



車両キットを塗るのに使う塗料には、アクリルラッカー系、エナメル系、水性の性質が違う3タイプあります。グリーンマックスとGSークレオスの塗料の一部が、アクリルラッカー系です。3つのタイプには、それぞれに特有のニオイがあって、この3つの中ではアクリルラッカー系がいちばん強く、家族といる方は猛烈な抗議を受けるはずです。塗装するときは、このニオイのことを考えて場所を選ばなくてはいけません。エネメル系と水性は、アクリルラッカー系よりニオイは強くありませんが、まったくないわけではないので、注意するのは同じです。家族を敵に回すと、塗装だけでなく、Nゲージそのものまで目の敵にされる恐れがあります。

ジーエムストアー・クロスポイント

グリーンマックス・ザ・ストアー（ジーエムストアー）は首都圏と名古屋、大阪に店舗がある鉄道模型店です。クロスポイントは、この鉄道模型店のオリジナル商品のブランド名で、車両キットとそれに使う専用のパーツなどが発売されています。車両キットは車体が箱型になっている製品が主で、他に塗装済の板状キットがあります。これまでに発売された製品は多く、品切れもあるので欲しい車両を見つけたら、入手できるうちに購入していくのが賢明でしょう。オリジナル商品なので、原則としてグリーンマックス・ザ・ストアーでしか買うことはできません。店によっては通信販売もしているほか、インターネットによる購入も可能です。



▲写真は東武5700系キットの内容です。箱型に成型された車体がこの車両キットの特徴です。

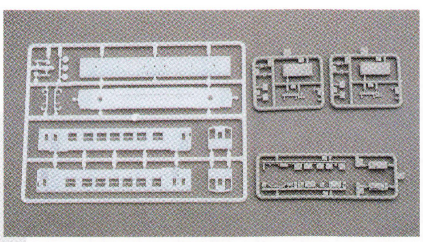


▲完成品では手に入らない車両が自分のものになります。

kitcheN（キッチン）

同社製品のほとんどは真鍮製ボディキットですが、一部にグリーンマックスの板状キットと同様のプラスティック製車両キットもあります。自分で塗装をする必要がありますし、製品は車体だけなので、必要な台車や動力などは別に購入しなくてはなりません。ただ同社のプラ製品はまだ開発が始まったばかりなので、今後の企画が楽しみです。鉄道模型の取扱店の中でも、車両工作をしている人が多く利用する模型店で販売されています。

▶キハ125タイプNDCの車体キット内容です。



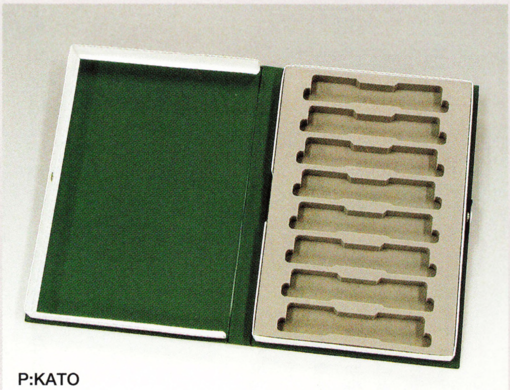


◀キハ125タイプNDCの完成見本です。左は島原鉄道タイプ、右は津軽鉄道タイプとして組み立てたもの。

COLUMN

忘れちゃいけない車両ケース

組み立てて完成させたキットを、飾っておけるショーケースがあればいいのですが、そうでなければ、置き場所に困ると思います。放置しておけば、車両はホコリだらけになります。せっかく作った車両をそうしたくなかったら、車両ケースを買って、収納して下さい。車両キットの完成品だけでなく、個別に買った貨車などを整理してまとめておくにも、車両ケースは役立ちます。TOMIXやKATOだけでなく、他のメーカーからも車両ケースが発売されています。いろいろ調べてみて、車両を収納するのに便利なものを買って下さい。Nゲージの車両ケースの主流は、ブックケース型と言い、本棚に並べて置けるのが最大の利点です。そこは、車両を収めたブックケースが、部屋の中で邪魔にならない場所でもあります。



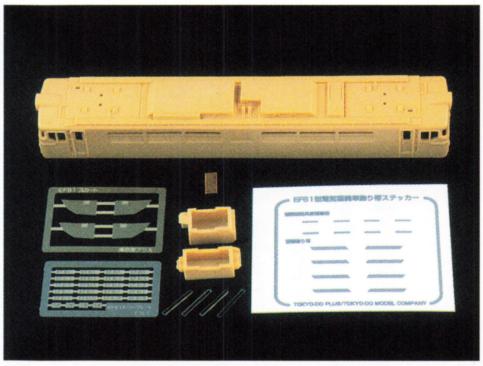
P:KATO

その他キットについて

レジンキット

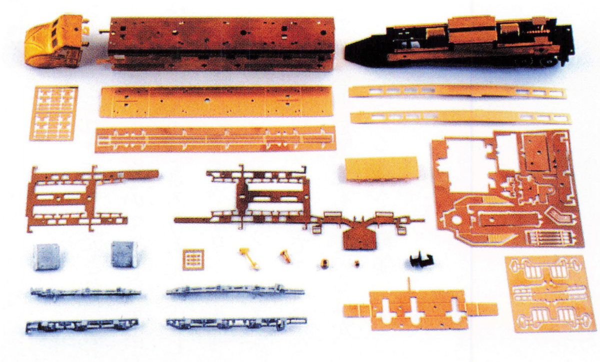
プラスチック製に見えるかも知れませんが、そうではありません。材質が違います。ですから、工作方法もこの材質用があります。無塗装と塗装済の製品があり、車体自体はほぼできあがった状態になっています。色を塗っていない材質のままのクリーム色の車体を見ると、固型石けんで作ったような感じがしないでもありません。

　Nゲージの車両キットは、今まで紹介してきたキットだけではありませんし、プラスチック製だけでもありません。車両キットを発売しているNゲージメーカーは多数あって、その製品には知らない人が見ると、とても模型には見えないものもあります。そういう車両を完成させるのは、生半可なことではありません。つまり、工作技術がハイレベルでないと手にすることができない車両があるのです。


▲レジンキットは少量生産品によくあります。

エッチングキット

金属製の車両キットです。グリーンマックスの板状キットのように、金属製のパーツを組み合わせて車両を作るキットもありますが、1枚の金属板の中のパーツを切り出して車両を作るキットが、エッチングキットのシンボルです。それは、知っていなければ穴だらけの金属板にしか見えません。エッチングキットの材質は真鍮が主で、はんだごてという工具の先端で溶かした、はんだという材料を接着用に使い、パーツを組み合わせます。工具も技術も、プラスチック製の板状キットを作るのとはまったく違い、Nゲージの車両キットでは、本当の上級者向きです。Nゲージの完成品の車体に部分的に取り付ける製品もありますが、エッチングキットというと、はんだごてを使うものという認識があります。金属板の中から切り出したパーツは、そのままでは使えないものがあり、曲げたり折ったりしてパーツの形を整えてから、組み立てに使います。金属の板なので、曲げるだけでも専用の工具が入りますし、パーツをはんだで組み立てるのも簡単ではなく、熟練した人ほど上手です。エッチングキットは、車両として完成させるには、必要に応じて、下廻りやパーツ類を自分で調達しなければなりません。


▲エッチングキットの代表的メーカー、ワールド工芸製のEF55型電気機関車キットの内容。


▲エッチングキットの組み立てには、ハンダごてが欠かせません。

COLUMN

車両製作をきわめるならこれだ!!



◀Nゲージの車両工作テクニックを詳細に解説する「Nテク完全マニュアル」。(弊社刊・定価1500円)

TOMIXやKATOの車両は、細かいところまでよくできていて実感的ですが、もっと実車みたいな精密感が出せるパーツが他のメーカーから発売されています。ディテールアップパーツと言われる細かいパーツ類ですが、グリーンマックスの板状キットなどの車両キット用もあります。使う車両が決まっているパーツばかりですが、使い方次第で別の車両にも利用できます。こんな具合ですから、Nゲージの車両製作の技術は、簡単に言い切れるものではありません。自分が欲しい車両を作るために、TOMIXやKATOの完成品でさえ、切り刻み利用することもあるのですから、作りたい車両を実現するためには、大胆なアイディアと技術が必要です。車両製作のベテランがそのノウハウを解説したのが、この本です。

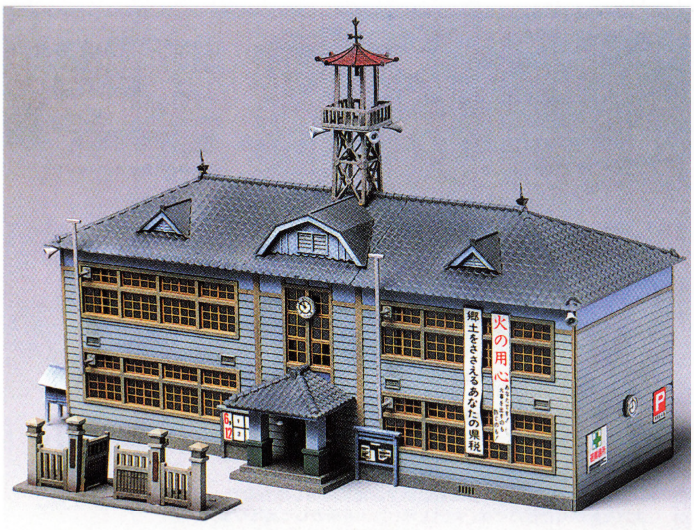
キットは車両だけではない

　自分で組み立てるキットは車両ばかりではありません。Nゲージの建物にもキットがあります。既に紹介したKATOのイージーキットは、接着剤を使わずに組み立てることができます。完成すれば完成品として売られている製品のように見える素晴らしいものです。このイージーキットはKATOの独壇場ですが、本格的な建物のキットならグリーンマックスです。鉄道関係の施設だけではなく、一般の建物の2通りがあるのはKATOの建物と変わりありませんが、木造校舎の学校や木造建築の地方の役場など、グリーンマックスならではの製品が数多くあります。車両キットでいう未塗装キットなので自分で色を塗らねばなりませんが、組み立て説明書の指示通りでなくてもかまわないのが車両キットを塗る時と違います。自分が見た建物や集めた資料を参考に、自分のイメージで塗装しても構わないのです。そして、建物のキットではそれが大切なことです。レイアウトやモジュールを作る際に、皆さんKATOやTOMIXの建物を使いますが、同じ製品ばかりになってしまい、レイアウトやモジュールの印象が似たような感じになってしまうのです。グリーンマックスの建物のキットを自分で考えて塗って使うことは、レイアウトやモジュールに個性を与えることに他なりません。KATOやTOMIXの建物とうまく混ぜて使ってください。建物全部をグリーンマックス製にするのもいいですが、製作にたっぷりと時間がかかるのは覚悟してください。

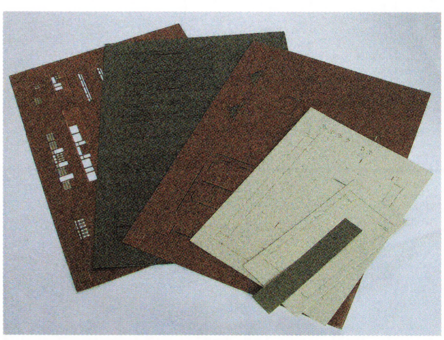
　Nゲージの建物には、ペーパーキットといって紙で作る建物もあります。下の写真が、そのペーパーキットの駅です。完成した駅を見れば、その出来映えがTOMIXやKATOの製品にも劣らないのがよくわかると思います。この駅のペーパーキットはシリーズ化されていて、関西地方のメーカーということもあっていずれの駅も関西地方の駅がモデルになっています。



▲KATOのイージーキット詰所。P:KATO



▲グリーンマックスは、このようなキットを多数出しています。P:GREEN MAX


▲叡山鉄道鞍馬駅の紙のパーツです。彩色済みなので色を塗る必要がありません。

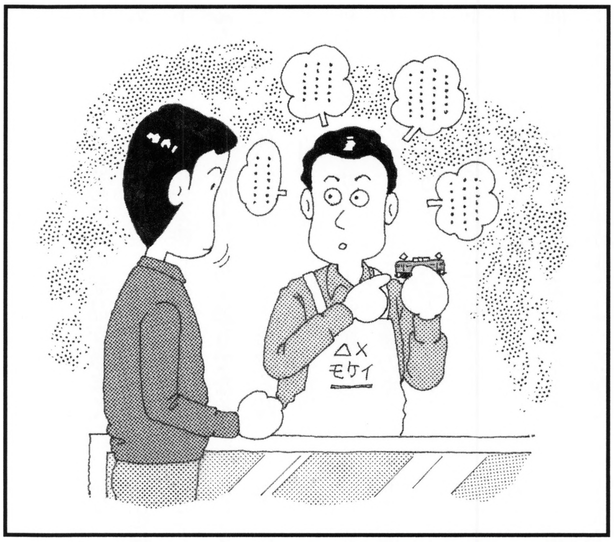

▶京都模型から発売されている叡山鉄道鞍馬駅のペーパーキットの完成見本です。

模型店との付き合い方

Nゲージを販売している模型店のスタイルはみんな同じではありません。何軒もの模型店を回って、パートナーになってくれる店を探してください。良好な関係を築ける模型店に出会ってほしいので、少しばかり苦い話もしてみようと思います。Nゲージを買うだけでなく、時には技術的なアドバイスをしてくれる模型店が見つかることを願ってやみません。Nゲージを末永く続けるためにも、それはすごく重要なことです。

量販店と専門店

Nゲージを販売している模型店には、2つに分けると量販店と専門店があります。量販店はスーパーのように広いフロアに大量の商品を並べ、その販売価格は値引率が大きいので一度にたくさんの買い物をする時は便利です。専門店は一般の商店のように1人の主人が店を構えている場合が大半を占めます。量販店と変わらない値引きをしている店もありますが、値引きをしてもその率は低めとなります。定価販売をしている店も少なくありません。定価販売の代わりに商品を買うごとにポイントが付き、それが貯まれば買い物に還元できるポイントカードをサービスにしている店もあります。



しかし価格のことは二の次。それ以上の魅力があるのが専門店です。その店だけでしか買えないオリジナルの製品や、店の主人の経験です。客の工作技術などの質問にきちんと答えられる経験です。

Nゲージの買い物は通いやすい店に片寄りがちになりますが、時々でいいですから知っている模型店を少しでも増やすために、今まで行ったことがない店を調べて訪ねてみて下さい。Nゲージの製品はディティールアップパーツまで含めると、それは膨大な種類と数になります。いくら広いフロアを持つ量販店でも、常に全ての製品を確保できるものではありません。製作中の車両に必要なパーツがいつもの店になくても、他の店で入手できる可能性があります。知っている店が多いほどその確率は高くなります。あちこちの店を回る時は、できれば小さな買い物をしてみることです。品揃えの様子をうかがい知るきっかけになるはずです。そして、鉄道模型の専門店にはNゲージを扱っていない店もありますので気を付けて下さい。

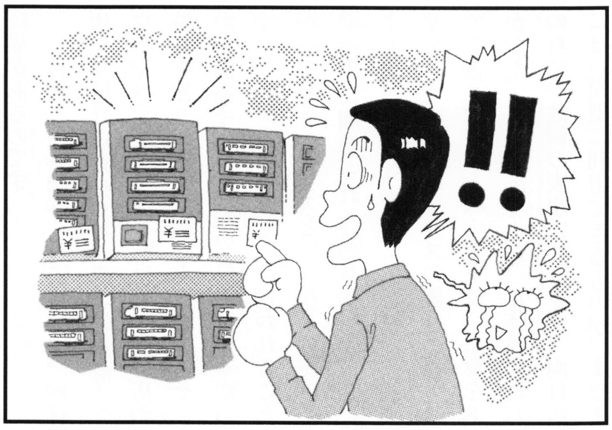
量販店にも専門店にも、それぞれにメリットがあります。常連客になった時の強みは専門店の方があるかもしれません。例えば、車両に室内灯を組み込む工作がうまくできない時にはアドバイスを期待できます。一度だけでも目の前でその工作を実演してもらえば、やり方がよく分かりますし、どうしてもできない場合には別料金でやってくれるかもしれません。店にとって大切な常連客だったら、車両と室内灯の料金だけで、取付費用はサービスしてくれる可能性だって無いとは言えません。



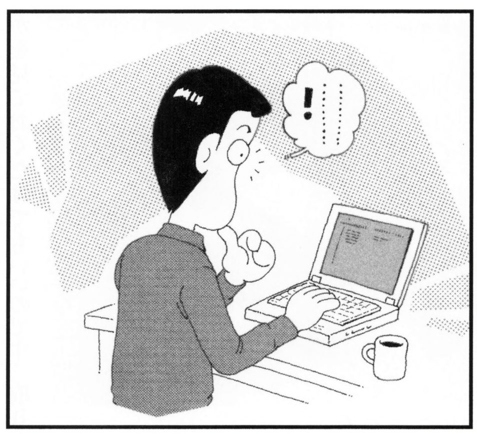


中古品専門店

Nゲージの世界では、一度発売した製品が、なかなか再生産されないことがままあります。そんなときに役に立つのが中古品専門店です。どうしてもほしい車種が絶版の場合、中古専門店は強い味方となります。また、特別な場合を除いて中古品は新品より安いものです。ですからお金をあまりかけずにほしい車両を賢く入手することも可能です。しかし、中古品はメーカーが保障する新品と異なり、動力車の状態は必ずしもよいとは限りません。ベテランモデラーはそういったリスクを秤にかけた上で、望みの製品を安く購入したり絶版品を入手しています。初心者にはリスクが大きな買い物ですが、たとえば基本セットは新品を購入し、動力車のはいっていない増結セットは中古品で買う、というのは、初心者にもできる賢い買い方です。中古品は新品と異なり、店によって在庫や商品のラインナップが異なります。ですから、必ずしもほしい品が入手できるとは限りませんし、目当ての品を入手するために、何軒ものお店をはしごすることもあるでしょう。しかし、それはそれでたいへん楽しいものです。たまに足を運ぶと、思わぬ掘り出し物に出会うこともあります。宝探し感覚で中古店に出かけるのもいいものです。



インターネットで購入する



自分の店の情報を、ホームページで提供する模型店はたくさんあります。Nゲージの購入も、そこで得た情報を参考にして、インターネットで済ませてしまうことができるのですから、模型店まで行く時間のない人にとっては、利用価値があるに違いありません。インターネットでは新製品から中古品まで、手に入れることができます。以前は、地方ではNゲージは買うことはおろか、見ることさえ不自由していたものですが、インターネット内で知り合った者どうしで、工作技術の情報交換も行なわれている現在では、車両を製作するにも困りません。Nゲージは、模型店が点在する都会のほうが便利がいいとは言えなくなりました。

COLUMN
レンタルレイアウト

車両を運転するのは好きだけど、レールを敷くのは億劫だし、片付けるのは面倒だという人や、自宅にレイアウトを作りたいけど無理で、でもレイアウトで運転はしてみたい人には、レンタルレイアウトがあります。レンタルレイアウトの運転は時間制で、料金を払い持参した車両を走らせます。レイアウトだけの店と模型店で店内にこれを設置している場合があり、模型店には車両を購入した人に一定の時間、無料で運転させてくれるサービスをしているところもあります。はじめてやるときは、そのレイアウトに馴れていないこともあって、運転は操作するのに手一杯で楽しむ余裕はないと思います。それを計算に入れて、1回目は予約するといいかもしれません。



他のお店ものぞいてみよう

大きな模型店へ行けば、模型に使うものなら、なんでも手にはいるというわけではありません。たとえば、塗料ひとつとってもそうです。Nゲージを続けていればきっと鉄道模型の専門誌を見ると思いますが、その中の記事に時折、ハンブロールという塗料が登場します。イギリス製の模型用塗料で、その評価は高いのですが、取扱店が極めて少ない塗料です。使ってみることをオススメしたい塗料ですが、そんな状況では気軽に言えません。この塗料を置いている店に出会うためには、鉄道模型の店だけではなく、プラモデルの店も見てみるしかありません。探してみたら、案外、近くの店で発見できるかもしれません。Nゲージを扱っている店だけでは、必要なものを揃えるには限界があるのです。

工具のことを紹介したページで、画材店や文房具店が出てきましたが、レイアウトやジオラマを作る時には、画材店の場所を知っていることが重要です。そこから調達するしかない材料があるからです。地面の色を塗るのに使われることがあるリキテックスという絵具は屋外の壁画用に開発された絵具なので日光による退色に強く、簡単に色あせたりしません。そのリキテックスの画材のひとつであるモデリングペーストは、石膏を溶かしたようなものですが、正体は大理石の粉で、地面の表現に使えます。画材店には、模型に利用できるものが、まだまだあります。

建築模型用の材料や、それに使う建物のパーツもNゲージに利用することができます。パーツの方は、高価な気がしてなかなか手が出ないかもしれません。画材店で買えますが、置いていない店もあります。模型店にも扱っている店がありますが、どちらの店でも品揃えが一部のメーカーに偏っている場合が多く、一軒だけを見てどのような材料やパーツがあるのかを、わかった気になってはいけません。Nゲージの車両製作をする人に重宝がられているエバーグリーン製品のプラスチックの極細の板や棒は、扱っている模型があまりありません。ところが、画材店の中にはこれを建築模型のコーナーに置いているところがあったりします。模型店で手に入りにくいものが、別のところで買えることもあるのです。

模型に使えそうな工具をあれこれ探すなら、DIYショップでしょう。工具の売り場へ行って、どういう製品があるのかを見ておくだけでもいいのです。取り扱い説明書が読めるものなら、下調べだと思って目を通しておいて下さい。工作を進めるうちに、それが必要な工具だと気がつくかもしれないのです。100円ショップと言われる店も、模型用の工具を買うにはありがたい存在です。値段が値段なので、工具の質をとやかく言うことはできません。軽くたたけばおしまいというような簡単な工作のときには、その値段に救われるはずです。スーパーの家庭用品の売り場も、買い物のときにでも見る機会があったら、チェックしておくことです。瞬間接着剤やゴム系接着剤は、そこで間に合うものです。

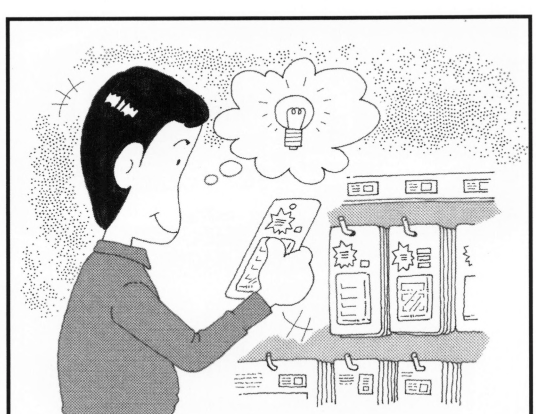


▲ハンブロールの塗料です。小さい方が塗料で、大きいほうは溶剤です。



▲チューブが、リキテックスの絵具です。容器のほうはモデリングペーストですが、これは小さいタイプ。うんと大きなサイズもあります。


▲建築模型の手スリとフェンスです。



鉄道模型のイベントを見学しよう

鉄道模型の世界には、多数の模型メーカーによる大規模な模型ショーから、同好の志が集まり車両の運転を公開する運転会まで、いろいろなイベントがあります。Ｎゲージ以外の鉄道模型を見聞できることが多く、参考になることがあるはずです。近年は、親子で楽しめるイベントも増えてきました。少しばかり異質なテーマパークと言えるかもしれません。家族を誘って出かけてみて下さい。

ＪＡＭ

日本鉄道模型の会（ＪＡＭ）が主催する国際鉄道模型コンベンションというのが正しい名称ですが、短くＪＡＭと言っても通用します。毎年、夏は鉄道模型のイベントが集中する時期なのですが、その中でもっとも足を運んでもらいたいイベントです。鉄道模型を趣味にする人（モデラーと呼ばれます）が集まり、メーカーと合同で催す発表会と思ってもらえばよく、Ｎゲージはもちろん、各スケールの鉄道模型が広い会場を埋め尽くします。子供を乗せて走る蒸気機関車の模型もあるので、家族連れでも楽しめるイベントです。ＪＡＭと同じように、メーカーとモデラーが一緒に催すイベントに、ＪＮＭＡフェスティバルがありますが、こちらは、模型の展示即売会です。





▲▶子供連れでも楽しめるイベントも用意されています。

模型ショー

鉄道模型メーカーが主催する大きなイベントが２つあります。Ｎゲージメーカーが催す鉄道模型ショウと、それ以外の鉄道模型メーカーが一堂に集まる日本鉄道模型ショウです。名前がよく似ているので、間違えないで下さいね。Ｎゲージの祭典とも言っていい鉄道模型ショウは、毎年夏に銀座の松屋デパートで行なわれます。Ｎゲージの新製品のサンプルを、いち早く見ることができるチャンスです。日本鉄道模型ショウは少し遅く、秋に開催されます。他にも鉄道模型メーカーと、ジャンルの違う模型メーカーが協同で催すイベントもありますが、大きいイベントはどうしても東京が中心になります。模型店が主導したり、メーカー数社が行なう規模の小さいものは、各地で催されています。



▲模型ショーでは絶版品や限定品にめぐり合えることがあります。

▼合同運転会では、同好の志を見つけ、交流を深めるのもよいでしょう。

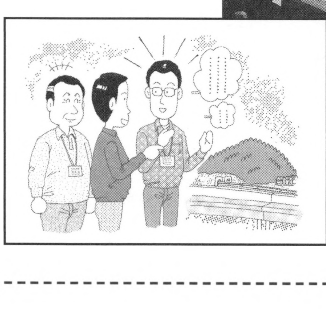


模型店やクラブの運転会

模型店が中心になったり、あるいは同じ趣味で気が合う人が集まって、車両の運転を楽しむのが運転会です。大抵は、大型モジュールを組み合わせて、即席の大型レイアウトに仕立てて車両を運転します。誰でも見学自由というのが普通で、子供向けに運転が体験できるコーナーや、鉄道模型の工作教室を用意している運転会もあります。高校や大学には鉄道模型のサークルがあり、秋の文化祭には運転会を恒例行事化しているところがあります。どの運転会もＮゲージというわけではありませんが、近くでやっているのが分かったら、のぞいてみて下さい。会話ができれば、役に立つ話が聞けるかもしれませんし、Ｎゲージのクラブなら、仲間が見つかることだってあるのですから。



▲学園祭によっては、このように運転会を催すところもあります。

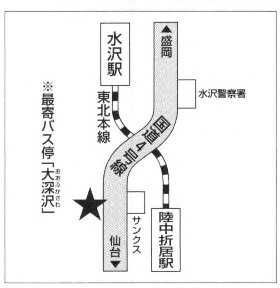


『鉄道模型Nゲージ超入門』
ショップガイド

**ここまで読んで、Nゲージを手にしたくて
仕方なくなったアナタに贈るオススメ・ショップガイドです。
ぜひ一度足を運んでみて下さい。
さらにNゲージにハマること
請け合いです！**

宝島模型

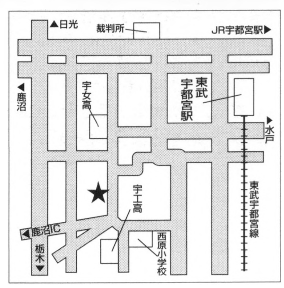
【住所】〒023-0841 岩手県奥州市水沢区
真城字中林63-1
【営業時間】10:00～19:00
【FAX】0197-25-4129
【定休日】火曜日
☎0197-25-4129



鉄道模型が初めての方でも気軽にお立寄り頂けるお店になっております。よく分からない点はとりあえず何でもお聞き下さいませ。初めての方にはわたくし基本的にその時一番お安くなるセットをお勧めしておりますので、その点もご安心下さい。●車輌や情景素材（建物・土・川等）も常時数百種の品揃えです。模型塗料（国内外）も充実しておりまして、常時1000種類以上ございます。ぜひお立寄り下さいませ。

美美模型

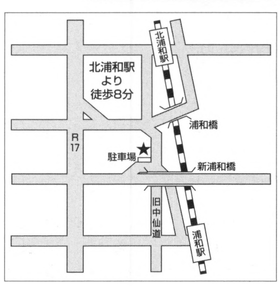
【住所】〒320-0862 栃木県宇都宮市西原1-6-9
【営業時間】平日10:00～20:00、
日祭13:00～18:00
【FAX】028-634-9565
【定休日】第2・4日曜日、月曜日連休
【HP】http://www.vivimodel.com/
【E-mail】rail@vivimodel.com
☎028-634-9549



鉄道模型をこれから始める方、ベテランの方、どなたにも親切に対応しています。毎月発行の情報誌「JOINT」も通巻300号を越えました。実物の鉄道車輌は勿論、鉄道の歴史から施設・運転など、鉄道趣味一般まで対応しています。特に団塊の世代の皆さん、店主も還暦を迎え、これからの鉄道趣味を一緒に楽しみませんか？

トレインショップ

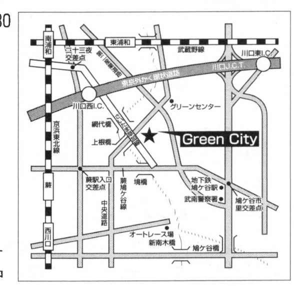
【住所】〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区
常盤3-2-22
【営業時間】火～金12:30～21:00、土12:00～20:00、
日祭11:00～18:00
【FAX】048-834-2320
【定休日】月曜日（祭日の場合は営業）
【HP】http://www.trainshop.com
【E-mail】sales@trainshop.com
☎048-834-2305



マイクロトレイン社製のカプラー・台車など全部取り揃えています。またアメリカ型の機関車・貨車も良く揃います。ウオルサー、インターマウンテイン、マイクロトレイン、ウィールオブタイム等とは直接契約を結んでいますので、新型車輌の御予約も承ります。もちろん日本型車輌も豊富に在庫しています。とにかく店は狭いですが、一度来店することをお勧め致します。

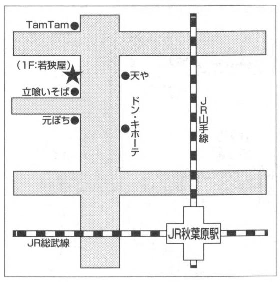
ポポンデッタ 川口グリーンシティ店

【住所】〒333-0834 埼玉県川口市安行領根岸3180
川口グリーンシティ別棟1F
【営業時間】10:00～21:00
【FAX】048-285-7898
【定休日】年中無休
【HP】http://www.popondetta.com
【E-mail】kawaguti@popondetta.com
☎048-285-7888



鉄道模型（Nゲージ）は車両をはじめ、レール類、ストラクチャーも各メーカーの新品、中古ともに充実の品揃えです。また、外国製品のストラクチャーも多数取り揃えております。大迫力の巨大レンタルレイアウトも完備して、模型好きの方からご家族連れまで楽しんでいただけるお店です。遠方からお越しの方も無料の駐車場がありますので、広い店内でごゆっくり商品をお選びいただけます。

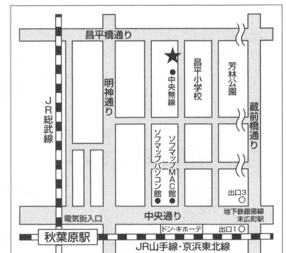
チヨダレールセンター



【住所】〒101-0021 東京都千代田区外神田3-15-7
麻野ビル2F
【営業時間】火～金12:30～20:00
土日祭11:30～19:30
【FAX】03-3253-6862
【定休日】月曜日(祭日の場合は翌日)
☎03-3253-6860

★目標！ 安値日本一！ メーカー在庫品はセット物なら35％から更に5％～0.5％OFF。ストラクチャー、レール、カプラーなども一部を除き35％OFF。コレクションも1箱で30％OFF。
★目標！ 買取価格日本一！ 新品・完品なら、どこの査定より5～20％高値で買取。レールやジャンク品も高価買取。3％予約など中古買取サービスあり。手数料10％委託も大好評！ HO機関車8％委託あり。

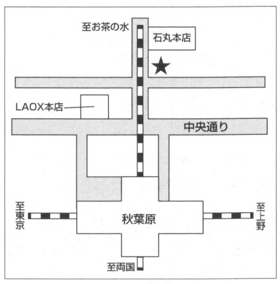
ポポンデッタ 秋葉原店



【住所】〒101-0021 東京都千代田区外神田3-3-3
【営業時間】平日12:30～20:30、
土日祭11:00～20:00
【FAX】03-5297-5538
【定休日】第3水曜日
【HP】http://www.popondetta.com
【E-mail】tu-han@popondetta.com
☎03-5297-5530

秋葉原駅から徒歩7分。ビルが丸ごと鉄道模型のお店です。新品・中古鉄道模型、レンタルレイアウト、鉄道古書、外国型模型、工具までポポンデッタにご来店頂ければ可能性は無限大!! 特にこれから鉄道模型を始めたいというお客様は、まずポポンデッタにお立ち寄りください。導入から、ちょっとしたテクニックまで、丁寧にお教えします。店内に巨大ジオラマがあるので、それをご覧いただくだけでもきっとイメージが膨らみますよ!

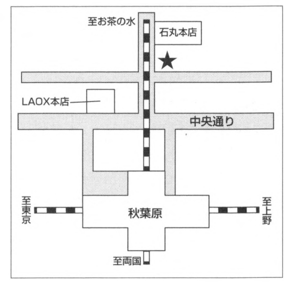
MODELS IMON 秋葉原店



【住所】〒101-0021 東京都千代田区外神田1-9-9
内田ビル3F
【営業時間】平日10:00～21:00、
土日祭10:00～20:00
【FAX】03-5296-1901
【定休日】年中無休
【HP】http://www.imon.co.jp
【E-mail】akihabara@imon.co.jp
☎03-5296-1900

モデルス井門秋葉原店は、2004年4月にオープンしました。JR総武線沿いの内田ビル3階にあります。フロアーの片側は中古・委託専門店MONTAになっております。
当店は、どこよりも早くNゲージの新製品を入荷し、販売することをモットーとしております。また、Nゲージだけでなく、16番・HO1067・HO762の完成品、キットのお取り扱いもしています。ぜひ一度ご来店下さい。

MONTA 秋葉原店



【住所】〒101-0021 東京都千代田区外神田1-9-9
内田ビル3F
【営業時間】平日10:00～21:00、
土日祭10:00～20:00
【FAX】03-5296-1901
【定休日】年中無休
【HP】http://www.imon.co.jp
【E-mail】monta@imon.co.jp
☎03-5296-5861

MONTA秋葉原店は、駅から近い便利な場所に位置する、中古・委託品の専門店です。中古品とお客様からお預かりした委託品が常備豊富に在庫しております。「欲しかったけど買えなかった」あの商品に出会えるかも知れません。ぜひ、ご来店いただいて、ごゆっくりご覧下さい。また、大特価にてご提供しています。アウトレットコーナーも大変ご好評頂いております。委託品のご出品、買取も大歓迎です。

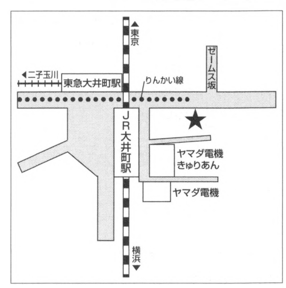
麻布ホビー



【住所】〒106-0045 東京都港区麻布十番2-18-4
テンポイントビル1F
【営業時間】平日12:00～20:00、
日祭11:00～20:00
【定休日】水曜日(祭日の場合は営業)
☎03-3455-2889

当店は天賞堂SL-1サウンドシステムを実演販売しております。特にNゲージでのドラフト音やホイッスルは痺れます。ぜひ御来店の上、御視聴下さい。

MODELS IMON 大井店



【住所】〒140-0011 東京都品川区東大井5-15-3
【営業時間】平日10:00～20:30、
日祭10:00～20:00
【FAX】03-3450-1212
【定休日】年中無休
【HP】http://www.imon.co.jp
【E-mail】ooi@imon.co.jp
☎03-3450-1211

N・O・OJゲージのレンタルレイアウトがあります。なお、レイアウトは予約制。走行車輌はレンタル可能な車輌もございますが、お客様の車輌持ち込みによる運転が可能です。
また、シーナリー用品などの素材も多く取り揃えています。

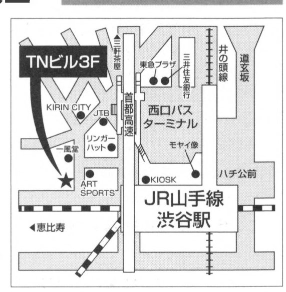
MODELS IMON 原宿店



【住所】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-3-9
井門原宿ビル4F
【営業時間】平日12:00～21:00、土12:00～20:00
日祭10:00～19:30
【FAX】03-3797-1101
【定休日】年中無休
【HP】http://www.imon.co.jp
【E-mail】models@imon.co.jp
☎03-3797-0077

モデルスイモンのアンテナショップとして、自社製品を通じて鉄道模型の魅力を皆様にお伝えしていきます。16.5mmと12mmのレンタルレイアウトも完備しております。Nゲージは車輌セットやレールセットを取り揃え、専門知識を持ったスタッフが入門者にも分かりやすくご説明いたします。Nゲージを極めるもよし。他のスケールにステップアップしていくのにも、適切にアドバイスできるお店です。

渋谷模型

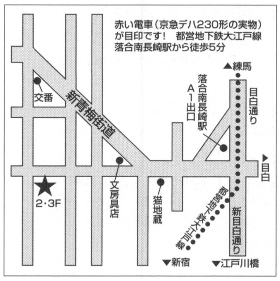


【住所】〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町3-1
TNビル3F
【営業時間】11:00～20:00
【FAX】03-3462-4085
【定休日】年中無休
【HP】http://rakuten.co.jp/a-toys/index.html
【E-mail】rakuten@new-wave1.co.jp
☎03-3463-9600

JR渋谷駅から徒歩1分30秒の好アクセス！ 6月中旬に開通予定の副都心線開通で、更に便利となる渋谷の模型店です。平日・休日問わず、午前11時～午後8時まで営業。お気軽にお立寄り下さい。Nゲージは最大25％オフ～の格安品から不定期入荷の掘り出し物まで幅広くご用意。車輌・レール・ストラクチャー等、常時約1000種類の豊富な在庫でお待ちしております。web・お電話・もちろん店頭でもお問い合せ下さい。

ホビーセンターカトー東京

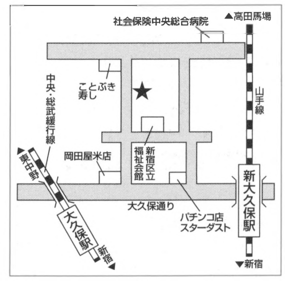
【住所】〒161-0031 東京都新宿区西落合1-24-10
【営業時間】10:00～19:00
【FAX】03-3954-3644
【定休日】年中無休(年末・年始を除く)
【HP】http://www.katomodels.com/hobby/
【オンラインショップ】http://www.e-katomodels.com
☎03-3954-2171



「はじめませんか鉄道模型」をキーワードに、その楽しさをご理解いただけるよう、KATO製品をはじめとする鉄道模型の展示・販売、イベント、情報発信、ご相談などを行っております。Assyパーツ、DCC製品多数取り揃え。ぜひご来店ください。駐車場あり。

タヴァサホビーハウス

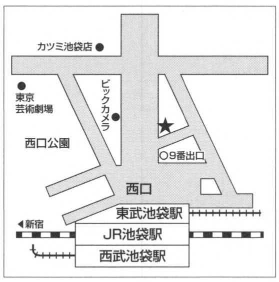
【住所】〒169-0073 東京都新宿区百人町2-18-8
MKハイツ1F
【営業時間】13:00～20:00
【FAX】03-3371-2482
【定休日】第2土曜日・日曜日
【HP】http://www.tavasa.jp
【E-mail】tavasa@max.odn.ne.jp
☎03-3371-2482



ギンザモデル・ボナファイデ・キッチン・トレジャータウン等、各種キット・パーツ取り扱い。又弊社オリジナルキット・パーツも企画・設計製造販売を行っております。製造技法等もお気軽におたずね下さい。

MODELS IMON 池袋店

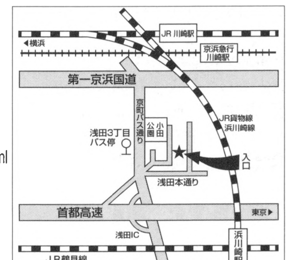
【住所】〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-18-1
五光ビル6F
【営業時間】平日10:00～21:00、
土日祭10:00～20:00
【FAX】03-3983-1435
【定休日】年中無休
【HP】http://www.imon.co.jp
【E-mail】ikebukuro@imon.co.jp
☎03-5950-1067



モデルス井門5番目のショップとしてオープンしました池袋店です。車輌はZゲージからOJゲージまで豊富な品揃えでレール、ストラクチャー、シーナリー関係、パーツ、塗料、素材、工具類などもご用意しております。又、委託販売も承っておりますので、お気軽にお持ち込み下さい。皆様のお役に立てるお店を目指して、社員一同ご来店を心からお待ち申し上げております。

MACモデル アサダ コーナー

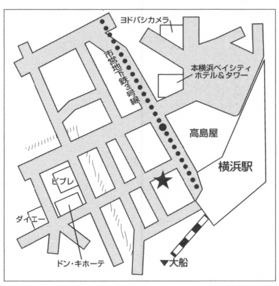
【住所】〒210-0847 神奈川県川崎市川崎区
浅田3-4-4
【営業時間】平日14:00～19:30、
土日祭12:00～19:30
【FAX】044-344-6369
【定休日】毎月8・9日、18・19日、28・29日
【HP】http://www.geocities.jp/mac_kawasakijp/index.html
☎044-344-6369



新しいNゲージライフの扉を開けてみませんか? 集まる仲間や店主との語らいから、あなたの『好き』をどんどん形にして行きましょう♪ 開店以来36年間たくさんのお客様の第一歩をお手伝いして来ましたので、メンテナンス等も安心してお任せ下さい!
総延長160m以上のジオラマレイアウトがあなたをお待ちしています。ぜひお気軽にご来店を!!

MODELS IMON 横浜店

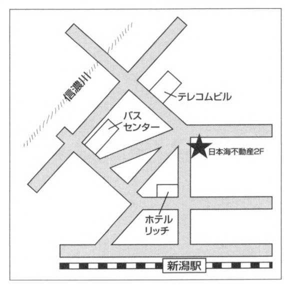
【住所】〒220-0005 神奈川県横浜市西区南幸1-11-2
浜西ビル5F
【営業時間】平日10:00～21:00、
土日祭10:00～20:00
【FAX】045-290-1590
【定休日】年中無休
【HP】http://www.imon.co.jp
【E-mail】yokohama@imon.co.jp
☎045-2901527



専門店の場合は、とかく敷居が高くなりがちですが、IMONの場合には専門知識を持ったスタッフがビギナーのお客様に対しましても懇切丁寧に対応させて頂きます。また、商品アイテムを的確に管理して、お客様に必要な商品の在庫をリアルタイムで提供できる今までにない新しいスタイルの鉄道模型専門店です。横浜駅から徒歩1分という好条件で、皆様の御来店をお待ちしております。

タイムエクスプレス

【住所】〒950-0087 新潟県新潟市中央区
東大通り2-4-15
【営業時間】平日11:00～20:00、
土日祭10:00～19:00
【FAX】025-248-3922
【定休日】月曜日(祭日の場合は翌日)
【HP】http://www.time-express.jp/
【E-mail】timeexpress@marble.ocn.ne.jp
☎025-248-3922



・各メーカーのNゲージを多数取り揃えて、皆様のご来店をお待ちしております。
・初心者の方も大歓迎!!
・貸しレイアウトも大好評です! 30分300円～ レンタル車輌もご用意できます。
・当店オリジナルキーホルダーなど各種グッズも取扱中! お気軽に御来店下さい。

ホビーショップ ムラタ

【住所】〒440-0076 愛知県豊橋市大橋通3-152
【営業時間】10:00～20:00
【FAX】0532-53-3327
【定休日】水曜日・第3木曜日
【HP】http://www.hsmurata.com
【E-mail】hsmurata@ag.wakwak.com
☎0532-53-3334



新製品が沢山でていますが店頭には並ばないみたいですね。当店は品揃えに自信あり、一度ご来店下さい。在庫が満載です。通販歓迎・通販迅速。

ポポンデッタ 木曽川キリオ店

【住所】〒493-0001 愛知県一宮市木曽川町
黒田字南八ツケ池25-1
イオンモール木曽川キリオ1階
【営業時間】10:00～22:00
【FAX】0586-84-3633
【定休日】年中無休
【HP】http://www.popondetta.com/kirio/index.html
【E-mail】kisogawa@popondetta.com
☎0586-84-3622



ポポンデッタ独自の2階式レンタルレイアウトはもちろん、小さいお子様も楽しんでいただけるプラレールとプラレール遊び場も常備してあります。さらに、新品書籍・中古車輌・中古書籍等、鉄道模型関連を数多く取り扱っております。イオンモール木曽川キリオ内に入っていますので車でお越しの方にも便利です。また、JR木曽川駅から徒歩約10分、名鉄黒田駅からは徒歩約3分の立地です。是非ご来店ください。

鉄道模型専門店 亜鉄社

【住所】〒601-8437 京都府京都市南区
西九条比永城町102-8
【営業時間】12:00～19:00
【FAX】075-662-5682
【定休日】日曜日、月曜日、祭日
【E-mail】atetu-ya@ymail.plala.or.jp
☎**075-662-5682**



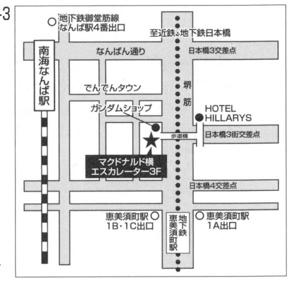
鉄道模型（Nゲージ）専門の小さなお店です。中古品の販売と買取も行っております。東寺の五重塔の南200mに店があります。

yahoo!オークションに出品しております。商品検索で、亜鉄社と入力して頂くと当方の商品が一覧出来ます。

ご来店頂くと他店にはない何かを見つけて頂けると思います。ぜひ一度、京都の観光を兼ねてご来店下さい。

ポポンデッタ 大阪日本橋

【住所】〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4丁目10-3
雅光産ビル3F
【営業時間】平日12:00～20:00、
土日祭11:00～19:00
【FAX】06-4396-5110
【定休日】第3水曜日
【HP】http://www.popondetta.com
【E-mail】osaka@popondetta.com
☎**06-4396-5010**



大阪日本橋のでんでんタウンにあるお店です。4FはHOと新刊書籍売り場になっており、NHK「趣味悠々」で使用したレイアウトも展示しています。レンタルレイアウトは上下二段式になっており、手ぶらでご来店いただいても走行できるようレンタル車両もご用意しています。特に中古HO車両の在庫量には自信があります。初めての方もマニアの方もぜひ一度ご来店ください。

ホビーセンターカトー大阪

【住所】〒564-0051 大阪府吹田市豊津町12-15
【営業時間】10:00～19:00
【FAX】06-6339-7411
【定休日】年中無休（年末・年始を除く）
【HP】http://www.katomodels.com/hobby/
【オンラインショップ】http://www.e-katomodels.com
☎**06-6339-6171**



KATOの関西地区ショールームとして、製品の展示・販売・ご相談から、新製品のご案内、イベント、常設レイアウトなど、充実したショップ構成となっています。08年春にオールリニューアル、ぜひご来店ください。

MEMO

全国Nゲージ ショップリスト

ここでは弊社が発行する月刊鉄道模型誌『RM MODELS』No.153付録『SPECIAL SHOP GUIDE 2008』の中から、Nゲージの取扱店をピックアップしました。ぜひお近くのショップを覗いてみてください。

※リストの中には、中古品専門店・通信販売専門店も含まれていますので、お出掛け前にご確認ください。

店名	電話番号	郵便番号	住所	定休日	営業時間
北海道					
カラマツトレイン 苗穂駅前店	011-219-8033	〒060-0032	北海道札幌市中央区北2条東13丁目26 JNFビル3F	水曜日、第3日曜日	11:00～19:00
ホビーショップ トイメイツ	011-782-6014	〒065-0042	北海道札幌市東区本町2条6-6-50	火曜日	10:00～20:45
東北					
宝島模型	0197-25-4129	〒023-0841	岩手県奥州市水沢区真城字中林63-1	火曜日	10:00～19:00
アベ模型	022-222-6622	〒980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町4-10-17 大林ビル2F（141ビル向かい）	月曜日	10:00～19:30
HOBBY SHOP タムタム 仙台店	022-771-9322	〒981-3111	宮城県仙台市泉区松森字後田45-1	年中無休	10:00～22:00
北関東					
エイ・ティー・シー ハヤシ	029-221-4208	〒310-0801	茨城県水戸市桜川1-9-18 斉藤ビル2F	年中無休	13:00～21:00
ユタカ模型	029-251-5899	〒311-4141	茨城県水戸市赤塚1-1997-59	月曜日	12:00～19:00
電車くん	0294-53-5999	〒319-1231	茨城県日立市留町3番地	月曜日、火曜日	平日15:00～21:00、土日祭12:00～21:00
美美模型	028-634-9549	〒320-0862	栃木県宇都宮市西原1-6-9	第2・4日曜日、月曜日	平日10:00～20:00、日祭13:00～18:00
KOGUMA Hobby 宇都宮FKD店	028-627-3130	〒321-0962	栃木県宇都宮市今泉町237 FKD内2F		10:00～21:00
エル・ホビー	0270-24-3785	〒372-0812	群馬県伊勢崎市連取町3082-6	祭日以外の火曜日	平日11:00～20:00、土日祭10:00～20:00
ホビーショップベアーハンズ	0276-46-1462	〒373-0806	群馬県太田市龍舞町5219-5	水曜日、第3火曜日	平日12:00～20:00、土10:00～20:00、日祭10:00～19:00
トレインショップ	048-834-2305	〒330-0061	埼玉県さいたま市浦和区常盤3-2-22	火曜日	平日12:30～21:00、土日祭11:00～20:00
近代模型	048-833-7323	〒330-0071	埼玉県さいたま市浦和区上木崎1-7-1	水曜日	平日12:00～19:30、日祭10:00～18:00
あすかモデル	048-652-6211	〒331-0815	埼玉県さいたま市北区大成町4-35-4	火曜日	平日12:30～19:00、日祭11:00～18:00
T.M.ステーション川口	048-222-1289	〒332-0012	埼玉県川口市本町4-1-5 高橋ビル5F	年中無休（年末年始除く）	平日11:00～20:00、土日祭10:30～19:00
ポポンデッタ 川口グリーンシティ店	048-285-7888	〒333-0834	埼玉県川口市安行領根岸3180 川口グリーンシティ別棟1F	年中無休	10:00～21:00
HOBBY SHOP タムタム 大宮店	048-688-9666	〒337-0002	埼玉県さいたま市見沼区春野2-8 Patria東大宮3F	不定期	10:00～21:30
有限会社 ワールド工芸サービスセンター	048-687-7193	〒337-0051	埼玉県さいたま市見沼区東大宮7-46-6	火曜日	平日14:00～18:00、土日祭10:00～18:00
中島工房	048-746-8813	〒344-0113	埼玉県春日部市新宿新田332-2 サンハイツ102	水曜日	平日12:00～19:00、土日祭10:00～19:00
キングスホビー	0480-23-3832	〒346-0016	埼玉県久喜市東1-14-14	木曜日、第1・3水曜日	平日11:00～19:00、土日祭10:00～19:00
フレイトライナー	048-451-6620	〒351-0101	埼玉県和光市白子3-36-40	月曜日～金曜日	13:00～19:00
鉄道模型 KIDA	0493-22-2047	〒355-0076	埼玉県東松山市下唐子1916-9	月曜日～金曜日（通販は毎日対応）	14:00～18:00
縮め屋工房「道楽ぼーず」	042-977-2917	〒357-0124	埼玉県飯能市原市場82-5	木曜日（祭日は営業）	平日12:00～21:00、日祭10:00～20:00
モデル・ドリーム	04-2992-9112	〒359-0038	埼玉県所沢市くすのき台2-18-9	火曜日、第1月曜日	平日11:00～20:00、土日祭10:00～19:00
ポストホビー 新所沢店	04-2998-8184	〒359-1111	埼玉県所沢市緑町1-2-1 新所沢パルコ パルコ館4F	新所沢パルコ休館日に準ずる	10:00～20:00

店名	電話番号	郵便番号	住所	定休日	営業時間
ジーエムストアーオンラインドットコム	お問い合わせはEメールにて	〒363-0011	埼玉県桶川市北	年中無休	インターネットで24時間受付 Eメール webmaster@gmstore-online.com
南関東					
HOBBY SHOP タムタム 千葉店	043-204-2626	〒260-0025	千葉県千葉市中央区問屋1―50 千葉ポートスクエア3F	年中無休	10:00～21:00
KSモデル(旧コドモヤ模型店)	043-206-0941	〒260-0045	千葉県千葉市中央区弁天1-10-3 白樺フラッツ1F	水曜日	平日12:30～19:00(金曜日は21:00まで)、日祭11:00～18:00
モデル・ワークス	047-344-5666	〒270-0034	千葉県松戸市新松戸1-245 山喜第六ビル202号	月曜日、火曜日、水曜日(電話受付可)	9:00～19:00
ホビーハウス富塚商会	04-7182-6575	〒270-1152	千葉県我孫子市寿2-8-34	木曜日 (祭日は営業)	10:00～19:00
レボリューション ファクトリー	047-445-0481	〒273-0103	千葉県鎌ヶ谷市丸山1-9-72 1F	水曜日、木曜日、第2・3日曜日、祝祭日、振替休日	平日14:00～18:00(入店時間17:30)、日曜日13:00～16:00
HOBY&ヴィヴァルディー鐵研 エキスプレスクラブ(オリエントエキスプレス)	047-462-7007	〒274-0077	千葉県船橋市薬円台4-19-19	月曜日	10:00～17:30
イエロートレイン	047-471-8798	〒275-0026	千葉県習志野市谷津1-17-7 三愛谷津ビル201	月曜日～金曜日	土日10:00～19:00
モデルセンターサトウ	047-484-3357	〒276-0032	千葉県八千代市八千代台東1-28-10	木曜日	平日11:00～20:00、土日祭10:00～20:00
(株)北総レール倶楽部	04-7145-4006	〒277-0841	千葉県柏市あけぼの1-7-8 MICビル2F	年中無休 (年末年始も営業)	平日11:30～22:00、土日祭10:00～22:00
天賞堂HBf	047-305-5701	〒279-8529	千葉県浦安市舞浜1-4 イクスピアリ内228	年中無休	11:00～21:00 (土・休日および繁忙期10:00～)
岩崎模型店	0475-52-4419	〒283-0066	千葉県東金市南上宿2-3	木曜日	10:00～19:30
緑川模型店	0475-33-2031	〒299-4216	千葉県長生郡白子町幸治2874	年中無休 (臨時休業あり)	9:00～18:00(夏期～19:00)
カツミ有楽町店	03-5220-3158	〒100-0006	東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビルヂングB1F	年中無休 (年末・年始除く)	平日11:00～20:00、日祭11:00～19:00
グリーンマックス・ザ・ストアー Parts Pro Shop 秋葉原店	03-3526-7180	〒101-0021	東京都千代田区外神田1-9-9 内田ビル5階	年中無休	平日12:00～20:00、土日祭10:00～20:00
チヨダレールセンター	03-3253-6860	〒101-0021	東京都千代田区外神田3―15―7 麻野ビル2F	月曜日	火～金、第1・4・5土12:30～20:30 第2・3土、日祭11:00～19:40
T.M.ステーション秋葉原	03-3253-5352	〒101-0021	東京都千代田区外神田3-5-14 関根ビル2F	年中無休	10:30～20:00
HOBBY SHOP タムタム 秋葉原店	03-5816-5667	〒101-0021	東京都千代田区外神田6-14-2 サカイ末広ビル3F	年中無休	10:00～21:00
ホビーランドぽち 秋葉原店	03-5256-5390	〒101-0021	東京都千代田区外神田3-11-2 ロックビルB1F	年中無休	平日11:00～20:00、土曜日10:00～20:00、日祭10:00～19:30(買取受付は閉店1時間前に終了)
ポポンデッタ 秋葉原店	03-5297-5530	〒101-0021	東京都千代田区外神田3-3-3	第3水曜日	平日12:30～20:30、土日祭11:00～20:00
MODELS IMON 秋葉原店	03-5296-1900	〒101-0021	東京都千代田区外神田1-9-9 内田ビル3F	年中無休	平日10:00～21:00、日祭10:00～20:00
MONTA	03-5296-5861	〒101-0021	東京都千代田区外神田1-9-9 内田ビル3F	年中無休	平日10:00～21:00、日祭10:00～20:00
ホビー工房 K-ONE 秋葉原店	03-3257-3733	〒101-0023	東京都千代田区神田松永町18 ビオレ秋葉原2F	年中無休	平日11:00～21:00、土日祭11:00～20:00
トラムウェイ	03-5211-1554	〒101-0051	東京都千代田区神田神保町2-4 松好ビル4F	月曜日・火曜日・木曜日・日曜日	水17:30～20:00、金12:30～20:00、土12:30～19:00
レイルラウンジ	03-3288-3970	〒101-0051	東京都千代田区神田神保町2-38 多幸ビル2F	年中無休	平日14:00～22:00、土14:00～19:00、日12:00～19:00
科学教材社	03-3291-7271	〒101-0054	東京都千代田区神田錦町2-5	日曜日、祭日 (年末・年始除く)	11:00～18:00
天賞堂	03-3562-0024 (2F)	〒104-0061	東京都中央区銀座4-3-9	木曜日	平日11:00～19:30(4Fエバーグリーンは19:00まで) 日祭11:00～18:30(4Fエバーグリーンは18:30まで)
バー銀座パノラマ、パノラマ小部屋	03-3289-8700	〒104-0061	東京都中央区銀座8-4-5 GINZA HACHIKANビル7F-8F	年末年始、GW、夏季(お盆の頃)	18:00～3:00(土日祭23:00まで)
レモン社 鉄道模型店	03-3567-5061	〒104-0061	東京都中央区銀座4-4-13 琉映ビルB1F	祭日	平日11:00～20:00、日曜日11:00～17:00
U-TRAINS(旧MODEL CSC)	03-5766-3580	〒106-0031	東京都港区西麻布4-19-16	水曜日、木曜日 (祭日は営業)	平日13:00～19:00、土日11:00～20:00
麻布ホビー	03-3455-2889	〒106-0045	東京都港区麻布十番2-18-4 テンポイントビル1F	水曜日 (祭日は営業)	平日12:00～20:00、日祭11:00～20:00
アサクサモケイ	03-3844-2294	〒111-0034	東京都台東区雷門1-13-10 携帯電話店2階	月曜日	平日12:00～19:30、金12:00～21:00、土日祭11:00～18:30
ホビーサーチ	03-5833-3533	〒111-0055	東京都台東区三筋1-1-19 玉田ビル6F・7F	第2・3土曜日、日曜日、祭日	10:00～18:00
Nゲージ専門店 ホビーショップ トキワ	03-3900-7867	〒114-0034	東京都北区上十条2-20-11	第2・3水曜日	10:30～19:30
ヤマナカ模型	03-3901-4848	〒115-0045	東京都北区赤羽1-25-1	年中無休	10:00～21:00(水曜は18:00、日曜は20:00)
MODEL Train Bleu (モデル トラン・ブルー)	03-3819-6696	〒116-0012	東京都荒川区東尾久8-12-16	木曜日	12:00～20:00
マイルストーン	03-3802-7750	〒116-0013	東京都荒川区西日暮里5-18-9	年中無休	平日12:00～20:00、土日祭11:00～19:00
モデルワム	03-5692-7444	〒116-0013	東京都荒川区西日暮里6-66-1 平山ビル1F	水曜日	平日13:00～19:30、土日祭13:00～18:30

店名	電話番号	郵便番号	住所	定休日	営業時間
たきざわ模型店	03-3888-4439	〒120-0026	東京都足立区千住旭町20-10	火曜日、第1・2日曜日	14:00～20:00
フジモデル	03-3879-1450	〒120-0026	東京都足立区千住旭町7-24 リフレックスナカネ1F	水曜日	平日12:30～19:00、日祭11:00～18:00
ミニパーク	03-3601-3289	〒124-0003	東京都葛飾区お花茶屋1-21-11	火曜日（祭日は営業）	平日12:00～20:00、土日祭10:00～20:00
富士屋模型店	03-5671-0281	〒124-0013	東京都葛飾区東立石4-45-8	水曜日	10:00～19:00
工作室キムラ	03-5660-0877	〒125-0042	東京都葛飾区金町3-2-6 クレール金町102	火曜日	13:00～20:00
スエヒロ模型	03-3609-7553	〒125-0042	東京都葛飾区金町5-16-6	第3木曜日	10:00～20:30
たぶれっと	0120-459-460（買受専用）	〒130-0026	東京都墨田区両国2-21-5 両国ダイカンプラザ406	月曜日	火～木・日11:00～18:00、金土11:00～19:00
MODELS IMON 大井店	03-3450-1211	〒140-0011	東京都品川区東大井5-15-3	年中無休	平日10:00～20:30、土日祭10:00～20:30
東京堂モデルカンパニー	03-3788-9830	〒142-0053	東京都品川区中延2-15-8 野村ビル4F	年中無休（年末年始を除く）	平日10:30～21:00、土日祭10:30～19:00
ジオラマショップだいおらま 東京店	03-3731-6579	〒144-0052	東京都大田区蒲田4-45-9 三宅ビル1F	日曜日、祭日	平日12:00～19:00、土10:00～18:00
MODELS IMON 原宿店	03-3797-0077	〒150-0001	東京都渋谷区神宮前6-3-9 井門原宿ビル4F	年中無休	平日12:00～21:00、日祭10:00～19:30
渋谷模型	03-3463-9600	〒150-0031	東京都渋谷区桜丘町3-1 TNビル3F	年中無休	11:00～20:00
三ツ尾（東急ハンズ渋谷店7B）	03-3464-4598	〒150-0042	東京都渋谷区宇田川町12-18 東急ハンズ渋谷店7FBフロア	不定休（年間3日くらい）	10:00～20:30
リトルジャパン 祐天寺店	03-3792-2836	〒153-0052	東京都目黒区祐天寺1-22-2 アイエムビル2F	火曜日（祭日は営業）	平日12:00～20:00、土日祭10:00～19:00
カツミ 目黒店	03-3715-8433	〒153-0063	東京都目黒区目黒3-9-3 須田ビル202	年中無休（年末・年始を除く）	平日11:00～20:00、日祭11:00～19:00
グリーンマックス・ザ・ストアー 下北沢店	03-3465-8687	〒155-0031	東京都世田谷区北沢2-26-23 エルニウービル2F	火曜日	平日12:00～20:00、日祭12:00～19:00
Nゲージ鉄道模型 HEISANDO	03-3416-0940	〒157-0067	東京都世田谷区喜多見8-18-15	木曜日、金曜日（臨時休業有）	13:00～19:00
ホビーランドぽち 新宿店	03-5321-5815	〒160-0023	東京都新宿区西新宿1-4-6 井田ビル7F（小田急ハルク裏手）	年中無休	平日11:30～20:30、土曜日10:00～20:00、日祭10:00～19:30
新宿京王百貨店7F 鉄道模型売場	03-3342-2111（代）	〒160-8321	東京都新宿区西新宿1-1-4	年数回、休業日（木曜日）あり	10:00～20:00
ホビーセンターカトー東京	03-3954-2171	〒161-0031	東京都新宿区西落合1-24-10	年中無休（年末・年始を除く）	10:00～19:00
天賞堂モデラーズルーム 新宿店	03-3344-6561	〒163-6002	東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワーLB階	水曜日、木曜日	平日（月火金）12:00～20:00、土日祭12:00～18:30
ナカマ模型センター	03-3395-9100	〒167-0042	東京都杉並区西荻北2-5-1	年中無休	日～木曜日10:30～22:00、金・土曜日10:30～23:00
ポポンデッタクラスタ	03-5936-2048	〒168-0064	東京都杉並区永福3-23-12	水曜日・木曜日	13:00～18:00
タヴァサホビーハウス	03-3371-2482	〒169-0073	東京都新宿区百人町2-18-8 MKハイツ1F	第2土曜日・日曜日	13:00～20:00
大塚模型	03-3980-2488	〒170-0005	東京都豊島区南大塚3-42-13	水曜日、第3木曜日（祭日は営業）	平日12:00～19:30、日祭10:00～18:00
ストリームライン	03-5391-3321	〒170-0013	東京都豊島区東池袋2-13-12 ハイツ空蝉101	水曜日	平日12:00～20:00、土11:00～20:00、日祭11:00～19:00
カツミ 池袋店	03-5949-4698	〒171-0021	東京都豊島区西池袋3-28-1 藤久ビル西2号館B1F	水曜日	平日11:00～20:00、日祭11:00～19:00
西武百貨店 池袋本店 7Fトイランド内鉄道模型売場	03-3986-1460	〒171-0022	東京都豊島区南池袋1-28-1		月～土10:00～21:00、日祭10:00～20:00
東武百貨店池袋店プラザ館7階8番地模型売場	03-5951-8906	〒171-8512	東京都豊島区西池袋1-1-25		月～土10:00～21:00、日10:00～20:00
高島平模型	03-3979-2922	〒175-0082	東京都板橋区高島平7-1-40	木曜日	10:00～20:30
MODELS IMON 池袋店	03-5950-1067	〒171-0021	東京都豊島区西池袋1-18-1 五光ビル6F	年中無休	平日10:00～21:00、土日祭10:00～20:00
ヒルマモデルクラフト	042-369-4503	〒183-0026	東京都府中市南町5-38-33	日曜日、祭日	13:00～19:00
朝倉模型	042-361-4808	〒183-0051	東京都府中市栄町2-1-17	火曜日	平日11:00～20:00、日祭10:00～18:00
ムラタ模型	042-366-8325	〒183-0057	東京都府中市晴見町1-15-27	火曜日	平日10:00～18:30、日祭10:00～18:00
マイホビー キョーサン	042-524-5141	〒190-8506	東京都立川市曙町2-4-9 小町ビル2F	第2・3水曜日	10:00～19:30
町田模型舎	042-789-1750	〒194-0032	東京都町田市本町田2507-7 ハ-13-104	水曜日、木曜日	11:00～20:00
MACモデル アサダ コーナー	044-344-6369	〒210-0847	神奈川県川崎市川崎区浅田3-4-4	毎月8・9日、18・19日、28・29日	平日14:00～19:30、日祭12:00～19:30
らびっとモデル	044-722-1116	〒211-0053	神奈川県川崎市中原区上小田中6-42-8	毎月7・8・17・18・27・28日	平日11:00～20:00、土日祭11:00～19:00
ホビーショップ カシオペア	044-986-6221	〒215-0021	神奈川県川崎市麻生区上麻生5-6-17 岩井ビル202	月曜日・火曜日	平日12:00～20:00　日祭12:00～20:00

店名	電話番号	郵便番号	住所	定休日	営業時間
ホビーランドぽち 横浜店	045-313-1727	〒220-0005	神奈川県横浜市西区南幸2-12-5 ニッセイ第5ビル4F	年中無休	平日11:00～20:00、土曜日10:00～20:00、 日祭10:00～19:30
MODELS IMON 横浜店	045-290-1527	〒220-0005	神奈川県横浜市西区南幸1-11-2 浜西ビル5F	年中無休	平日10:00～21:00、日祭10:00～20:00
カツミ 横浜店	045-222-5510	〒220-8105	神奈川県横浜市西区みなとみらい ランドマークプラザ5階	年中無休 （元日のみ休業）	11:00～20:00
モデルショップダルマヤ	045-432-3086	〒221-0802	神奈川県横浜市神奈川区六角橋1-11-1	水曜日 （祭日は営業）	12:00～19:00
ホビーステーション	045-321-7160	〒221-0834	神奈川県横浜市神奈川区台町17-6 森ビル3F	月曜日（祭日は営業、 その翌日は臨時休業）	平日12:30～20:00、土日祭11:30～20:00
モデルランド田中	045-543-4486	〒222-0037	神奈川県横浜市港北区大倉山3-5 大倉山飯田ビル205	水曜日、木曜日 （祭日を除く）	平日12:00～22:00、土日祭11:00～21:00
滝口模型	045-473-0957	〒224-0042	神奈川県横浜市都筑区大熊町138	火曜日 （祭日は営業）	平日10:00～20:00、日祭9:00～19:00
アンドロメダ屋模型店 鴨居店	045-934-3881	〒226-0003	神奈川県横浜市緑区鴨居1-11-2	木曜日、第2水曜日	12:00～21:00
HOBBY SHOP タムタム 相模原店	042-752-2727	〒229-0012	神奈川県相模原相模原市西大沼1-5-5	年中無休	10:00～21:00
ログテン・ショップ	042-755-0128	〒229-0031	神奈川県相模原市相模原3-3-10-202	月曜日～金曜日	土13:00～20:00、日祭11:00～18:00
はやぶさ	045-521-5038	〒230-0025	神奈川県横浜市鶴見区市場大和町5-4	木曜日 （祭日は営業）	平日11:00～20:00、月日祭10:00～20:00
ラッキーベイフォート	045-252-2557	〒231-0033	神奈川県横浜市中区長者町9-175 第10吉田興産ビル4F	年中無休 （年末年始を除く）	平日12:00～21:00、土日祭10:00～20:00
南洋物産株式会社 模型部	045-713-7342	〒232-0071	神奈川県横浜市南区永田北3-18-14	お電話、メールで お問い合せ下さい。	12:00～17:30（お電話は10:00～22:00）
京急百貨店 電車グッズショップ 「レッド・トレイン」	045-848-7566	〒233-8556	神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1 京急百貨店5F玩具売場	不定休	10:00～20:00
いそご模型	045-752-2336	〒235-0023	神奈川県横浜市磯子区森1-12-7-103	月曜日、火曜日 （祭日は営業）	平日13:00～19:30、日祭11:30～18:30
ホビーショップ アトム	045-832-3573	〒235-0045	神奈川県横浜市磯子区洋光台3-1-1	年中無休	平日13:00～19:00、土日祭11:00～19:00
フォムラスモデルショップ	046-828-6870	〒238-0012	神奈川県横須賀市安浦町2-11-15 ニックハイム横須賀中央1F	火曜日	平日13:00～19:00、日祭13:00～18:00
ぴっと模型店	070-5369-1413	〒239-0808	神奈川県横須賀市大津町2-9-17	火曜日	13:30～19:00
アライヴ	046-268-5552	〒242-0024	神奈川県大和市福田2-4-7	水曜日、 第3火曜日	平日11:00～20:00、日祭10:00～19:00
ファースト・モデル	046-224-7833	〒243-0003	神奈川県厚木市寿町3-4-7	水曜日	11:00～19:00
ポストホビー 厚木店	046-297-7440	〒243-0018	神奈川県厚木市中町1-5-10 厚木ガーデンシティビル（厚木サティ）8F	年中無休	10:00～20:30
グリーンマックス・ザ・ストアー ViNAWALK	046-236-0606	〒243-0432	神奈川県海老名市中央1-4-1 ビナウォーク5番館3階	年中無休	10:00～21:00
赤羽模型玩具店	0466-22-1066	〒251-0052	神奈川県藤沢市藤沢966	火曜日	10:30～20:00
シーサイドホビー	0466-22-8461	〒251-0055	神奈川県藤沢市南藤沢22-3 藤沢オーパ7F	不定期年4回	10:00～21:00
モデルショップさがみ	0463-77-7765	〒257-0003	神奈川県秦野市南矢名1-14-16 産興東海ビル3F	月曜日、火曜日	平日13:00～20:00、土11:00～20:00、 日11:00～19:00
プロショップますだ	0463-81-0550	〒257-0035	神奈川県秦野市本町1-1-9	年中無休	平日11:00～20:00、日祭11:00～19:30

甲信越

店名	電話番号	郵便番号	住所	定休日	営業時間
レールパル351	0556-27-0222	〒400-0601	山梨県南巨摩郡鰍沢町5535-1	火曜日、水曜日、 木曜日（祭日は営業）	10:00～19:00
ピヨピヨランド	026-243-3411	〒381-0014	長野県長野市北尾張部390-1	水曜日	10:00～19:00（日、祭日は18:00まで）
ネット通販専門店gakuroku.net・岳麓堂	090-4158-6963	〒391-0115	長野県諏訪郡原村17217-3473	HPより24時間 ご注文可能	ホームページにてご案内しております。 URL　http://gakuroku.net
タイムエクスプレス	025-248-3922	〒950-0087	新潟県新潟市中央区東大通り2-4-15 本間ビル2F	月曜日 （祭日の場合は翌日）	平日11:00～20:00、土日祭10:00～19:00
新潟モデル	025-264-4409	〒950-2042	新潟県新潟市西区坂井867 リバディープラザ新大駅前103	不定休	～23:00

東海

店名	電話番号	郵便番号	住所	定休日	営業時間
アールクラフト	053-453-5666	〒430-0933	静岡県浜松市中区鍛冶町1―47	火曜日・第3水曜日 （臨時休業有り）	平日13:00～19:00、日祭12:00～19:00
尾崎模型店	053-471-8858	〒433-8124	静岡県浜松市中区泉2-2-41	第3水曜日	平日10:30～21:00、日祭10:00～20:00
ホビーショップ ムラタ	0532-53-3334	〒440-0076	愛知県豊橋市大橋通3-152	水曜日・第3木曜日	10:00～20:00
Nine Gauge天国 豊橋店	0532-55-4400	〒440-0806	愛知県豊橋市八町通5-55	水曜日	平日・日祭12:00～20:00、土12:00～21:00
ホビーランドぽち 名古屋店	052-454-3568	〒453-0015	愛知県名古屋市中村区椿町9-21 真弓ビル1F	年中無休	平日11:00～19:00、土日祭10:00～19:00
富士模型	052-411-5831	〒453-0847	愛知県名古屋市中村区岩上町102-1	金曜日	11:00～20:00

店名	電話番号	郵便番号	住所	定休日	営業時間
安井模型	052-211-2369	〒460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内1-8-18	水曜日、第2水曜日と翌木曜日は連休	10:30～19:00
ポストホビー 名古屋店	052-264-8542	〒460-0008	愛知県名古屋市中区栄3-29-1 名古屋パルコ東館4F	名古屋パルコ休館日に準ずる	10:00～21:00
グリーンマックス・ザ・ストアー Parts Pro Shop ナゴヤ大須店	052-269-4900	〒460-0011	愛知県名古屋市中区大須3-5-6 矢場町サンコービル2階	年中無休	平日・土12:00～20:00、日祭12:00～19:00
モリヤマホビー	052-793-5023	〒463-0086	愛知県名古屋市守山区永森町88	水曜日	10:00～21:00
振甫模型	052-711-5861	〒464-0096	愛知県名古屋市千種区下方町6-66	木曜日	平日15:00～20:00、土日14:00～20:00
ラディッシュ	052-802-0400	〒468-0011	愛知県名古屋市天白区平針3-606-1F	水曜日	12:00～19:30
HOBBY SHOP タムタム 名古屋店	0568-27-2777	〒481-0045	愛知県北名古屋市中之郷神明7	年中無休	10:00～22:00
センキ模型	0586-24-2929	〒491-0851	愛知県一宮市大江1-6-5	月曜日	10:00～21:00
ポポンデッタ 木曽川キリオ店	0586-84-3622	〒493-0001	愛知県一宮市木曽川町黒田字南ハツケ池25-1 イオンモール木曽川キリオ1F	年中無休	10:00～22:00
ホビーハウス ビッグマン	058-245-7563	〒500-8227	岐阜県岐阜市北一色8-4-5	火曜日	10:00～21:00
東海模型店	058-251-4616	〒500-8851	岐阜県岐阜市大宝町2-6	第2・第4木曜日	10:00～19:00
HOBBY SHOP タムタム 岐阜店	058-240-1212	〒501-6002	岐阜県羽島郡岐南町三宅8-7-1	年中無休	10:00～22:00
アラジン	0577-33-0864	〒506-0011	岐阜県高山市本町3-36	火曜日	9:30～20:00
ジュニア模型店	059-345-2701	〒510-0885	三重県四日市市日永2-11-3	月曜日	10:00～18:00
北陸					
みなと模型 小松店	0761-22-8935	〒923-0832	石川県小松市若杉町2-50	火曜日	平日11:00～21:00、日祭10:00～20:00
近畿					
ユニバース模型	077-537-1808	〒520-0835	滋賀県大津市別保1-11-13	月曜日、木曜日	14:00～20:00
(有)三光堂	075-313-1333	〒600-8852	京都府京都市下京区梅小路東中町42	水曜日、第3火・水・木曜日	10:00～20:00
(株)八条口模型	075-681-8532	〒601-8413	京都府京都市南区西九条春日町 春日ビル1F	木曜日(祭日の場合は翌日)	10:30～20:00
鉄道模型専門店 亜鉄社	075-662-5682	〒601-8437	京都府京都市南区西九条比永城町102-8	日曜日、月曜日、祭日	12:00～19:00
(株)京都模型 三条店	075-841-7098	〒604-8331	京都府京都市中京区三条通堀川西入ル	水曜日、第2・3火曜日(変更有)	10:30～20:00
京鉄 大阪店	06-6359-4655	〒530-0012	大阪府大阪市北区芝田2-1-3 梅仙堂ビル5F	火曜日	平日12:00～19:00、土日祭11:00～19:00
ホビーランドぽち 梅田店	06-6374-3522	〒530-0012	大阪府大阪市北区芝田1-7-9-2F	年中無休	11:00～20:00
マッハ模型	06-6312-3086	〒530-0027	大阪府大阪市北区堂山町1-2 R&Eビル3F	水曜日(祭日は除く)、正月1・2・3日	11:00～20:00
阪急百貨店 大阪・うめだ本店 8F 鉄道模型売場	06-6312-0859	〒530-8350	大阪府大阪市北区角田町8-7	お問い合せ下さい。	10:00～20:00(毎週水・木・金・土曜日は21:00まで)
コスミックRM(有限会社コスミック)	06-6396-8011	〒532-0005	大阪府大阪市淀川区三国本町2-5-14	水曜日(祭日の場合は翌日)	平日13:00～20:00、土日祭10:00～20:00
新大阪模型	06-6320-0320	〒553-0033	大阪府大阪市東淀川区東中島1-19-11 大城ビル502号	火曜日・日曜日・祭日	12:00～20:00
株式会社モリヤスタジオ模型部	06-6933-6901	〒536-0001	大阪府大阪市城東区古市2-3-16	日曜日、祭日	平日15:00～19:00、土10:00～13:00
レールハウス	06-6761-9180	〒540-0004	大阪府大阪市中央区玉造2-25-11	月曜日、第3日曜日	平日12:00～19:00、日祭10:00～16:00
近鉄百貨店 阿倍野店7F 鉄道模型	06-6623-1988(直通)	〒545-8545	大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43	お問い合わせ下さい。	10:00～20:00
レールクラフト阿波座	06-6535-5539	〒550-0005	大阪府大阪市西区西本町3-1-14 松屋レジデンス1F	日曜日、月曜日	13:00～19:00
ホビーランドぽち 塚本店	06-4808-2030	〒555-0022	大阪府大阪市西淀川区柏里3-12-29	年中無休	12:00～21:00
ワイズ模型店	06-6472-3624	〒555-0032	大阪府大阪市西淀川区大和田5-9-22	年中無休(HP)	24時間(HP)
グリーンマックス・ザ・ストアー Parts Pro Shop 大阪日本橋店	06-6641-5771	〒556-0005	大阪府大阪市浪速区日本橋4-5-11 椿本ビル2F	火曜日(祭日は営業)	平日12:00～20:00、土10:00～20:00、日祭10:00～19:00
上新電機株式会社 スーパーキッズランド本店	06-6634-0041	〒556-0005	大阪府大阪市浪速区日本橋4-12-4	不定休	10:00～20:00
T.M.ステーション日本橋	06-6633-2232	〒556-0005	大阪府大阪市浪速区日本橋4-9-9 水上ビル3階	年中無休	10:30～20:00
ポポンデッタ 大阪日本橋	06-4396-5010	〒556-0005	大阪府大阪市浪速区日本橋4-10-3 雅光産ビル3F	第3水曜日	平日12:00～20:00、土日祭11:00～19:00
ホビーランドぽち 日本橋1号店	06-6634-9712	〒556-0006	大阪府大阪市浪速区日本橋4-8-14	年中無休	月～土曜日11:00～20:00、日祭10:00～19:00

店名	電話番号	郵便番号	住所	定休日	営業時間
イチフジモデルショップ	06-6852-8083	〒560-0024	大阪府豊中市末広町2-2-6	水曜日・木曜日	平日10:00〜20:00、日祭10:00〜19:00
ホビーセンターカトー大阪	06-6339-6171	〒564-0051	大阪府吹田市豊津町12-15	年中無休 （年末年始を除く）	10:00〜19:00
トップ模型	072-823-1781	〒572-0824	大阪府寝屋川市萱島東2-13-28	木曜日	10:00〜20:00
レールショップ サンライフ	072-889-2826	〒574-0028	大阪府大東市幸町6番7号	水曜日	9:30〜18:30
Nine Gauge天国 南茨木店	072-652-3011	〒567-0864	大阪府茨木市沢良宜浜1-16-34	年中無休	10:00〜21:00
大谷模型店	072-922-6626	〒581-0802	大阪府八尾市北本町1-3-4	火曜日	10:00〜20:00
壱番館	072-246-4747	〒591-8036	大阪府堺市北区百舌鳥本町3-538-1	年末年始・ 盆休み	メール／FAXによる問合せ（24時間受付）
ホビーランドぽち 神戸店	078-393-1315	〒650-0021	兵庫県神戸市中央区三宮町2-11-1 センタープラザ西館2F224号室	1月1日	月〜土曜日11:00〜20:00、 日祭10:00〜19:00
ライト	078-611-2510	〒653-0038	兵庫県神戸市長田区若松町4-2-15-111	水曜日	10:00〜19:00
ホビーハウス垂水	078-708-6366	〒655-0029	兵庫県神戸市垂水区天ノ下町5-1	木曜日	平日13:00〜20:30、日祭12:00〜19:30
れーるぎゃらりーろっこう	078-841-7199	〒657-0025	兵庫県神戸市灘区高徳町4-1-21	火曜日、第2・3月曜日 （祝日も含む）	平日11:00〜20:30、日祭11:00〜19:00
コンドル模型 尼崎店	06-6411-5736	〒660-0883	兵庫県尼崎市神田北通り7-196	火曜日	10:00〜19:00
ジオラマショップ だいおらま 大阪店	06-6491-3468	〒661-0976	兵庫県尼崎市潮江1-16-1 アミング潮江ウエスト2番館3F	年中無休	10:00〜21:00
T.M.ステーションホビスタ 尼崎店	06-6498-2827	〒661-0976	兵庫県尼崎市潮江1-16-1 アミング潮江ウエスト2番館3F	元日のみ	10:00〜21:00
HOBBY SHOP タムタム 尼崎店	06-6496-6170	〒661-0976	兵庫県尼崎市潮江1-16-1 アミング潮江ウエスト2番館3F	年中無休	10:00〜21:00
TOY吉	072-779-6300	〒664-0846	兵庫県伊丹市伊丹1-10-15-116 アリオ1階	第3火曜日	10:00〜20:00
（株）タケモト模型	072-775-1067	〒664-0852	兵庫県伊丹市南本町5-1-9	年中無休	10:00〜20:00
ウサギ屋鉄道模型店	0792-72-1109	〒671-1225	兵庫県姫路市網干区福井171-1	月曜日、火曜日	平日・祭日12:00〜19:00
コネクション	0794-87-2516	〒673-0551	兵庫県三木市志染町西自由が丘 1丁目618番地	月曜日、火曜日	12:00〜18:00
中国					
岡山模型店DAN	086-273-5262 (086-237-8850)	〒703-8236	岡山県岡山市国富973	火曜日、水曜日	12:00〜20:00
エラヤ真備店	0866-98-7190	〒710-1313	岡山県倉敷市真備町川辺2126-2	火曜日 （祭日は営業）	10:00〜19:00
（株）朗堂	084-943-3711	〒721-0942	広島県福山市引野町5738-2	水曜日、木曜日	15:00〜21:00
藤原模型店	082-567-8860	〒732-0052	広島県広島市東区光町2-9-24 広島ロードビル1F	水曜日、 第1・2火曜日	平日12:00〜20:00、土日祭11:00〜19:00
イーハトーヴォ	082-295-2017	〒733-0011	広島県広島市西区横川町2-5-5 エ・ポイ スペースビル203	水曜日、第1火曜日 日祭11:00〜19:00	平日12:00〜20:00、土11:00〜21:00、
錦林オンラインショップ （株式会社 岩橋商会）	082-270-0070	〒733-0834	広島県広島市西区草津新町1-3-1	土曜日、日曜日、 祭日	9:00〜17:00
モデルプラザ山口	083-921-0505	〒753-0081	山口県山口市香山町6-10	水曜日、第2・3木曜日 （祭日の場合は翌日）	平日11:00〜19:00、日祭11:00〜18:00
四国					
しおかぜ堂本舗	089-982-6009	〒799-3102	愛媛県伊予市宮下1995-1	木曜日、 第2日曜日	平日15:00〜21:00、土10:00〜21:00、 日祭10:00〜18:00
九州					
HOBBY SHOP アトム 小倉店	093-531-4844	〒802-0006	福岡県北九州市小倉北区魚町2-3-7	水曜日（祭日は営業、 前日火曜日へ振替）	平日10:00〜20:00、日祭10:00〜19:00
鉄見模型店	093-922-7114	〒802-0085	福岡県北九州市小倉北区吉野町11-21	不定休	11:30〜20:00
（株）新王様もけい	092-474-4637	〒812-0011	福岡県福岡市博多区博多駅前4-13-27 グランドハイツハカタ1F	年中無休（元旦と 3月に1日だけ休みあり）	平日10:00〜19:30、日月祭10:00〜19:00
ホビーランドぽち 博多店	092-451-0128	〒812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅前2-2-1 福岡センタービル地下1F	年中無休	11:00〜20:00
九州レイルウェイショップ 汽車倶楽部	0949-26-9600	〒822-0002	福岡県直方市大字頓野550-1	月曜日、火曜日、 お盆、年末年始	13:00〜19:00
Maxモデル	0942-32-8660	〒830-0033	福岡県久留米市天神町76-2-101	火曜日 （祭日は営業）	12:00〜20:00
HOBBY MATE	0944-57-4319	〒836-0873	福岡県大牟田市駛馬町20	不定休	10:00〜19:00
明治屋	099-252-5877	〒890-0056	鹿児島県鹿児島市下荒田2-27-3	1月1日、8月15日	11:00〜19:30

今日からはじめるNゲージ

Nゲージ用語辞典

これで Nゲージ 鉄道模型のことが 10倍わかる!!

ここでは本書内を始め、Nゲージや鉄道模型の世界で一般的な用語を集めて五十音順、アルファベット順に解説しています。一部、実物関連の用語も含まれています。

構成・文:佐々木大悟

ア行

【アーノルトカプラー】〔arnord coupler〕 国内外を問わず多くのNゲージ車両で使われているカギ型の連結器。ドイツのアーノルト社が開発したもの。

【アンテナ】〔antenna〕 電波を受信したり発信したりするための装置。列車無線など安全上の理由や電話・衛星放送など乗客へのサービスを目的に設置されており、車両の個性を表現する要素の一つとなっている。

【一体成型】 主に樹脂製の製品で分割されることなく一つの部品として製造されている状態を表す。例えば、「KATOの113系の屋上機器は屋根板と一体成型だ」というように用いられる。

【色差し】 製造上の理由などで本来と異なる色となっている部分を塗装することで、細部のディテールなどを実物と同じ色にすること。また、最近ではマイクロエース製品の室内など製品状態であっても細部が着色されている状態を指す場合に用いられることも多い。

【インジェクション成型】〔injection〕 プラスティック製品の製造法の一つ。金型と呼ばれる型の中へ溶解した樹脂を高圧力で流し込んでパーツを形成する。プラ製のNゲージ製品で最も多く用いられている。

【インレタ】〔instant lettering〕 インスタントレタリングの略。文字や模様が印刷された透明フィルムで、上からこすりつけることで模型に転写して用いる。Nゲージでは車体の番号やロゴマークを表現するのに用いられる。

【ウェザリング】〔weathering〕 模型の塗装技法の一つ。実物に見られる退色、汚れ、サビなどを表現することでよりリアルに見せるために用いられる。

【ウエイト】〔weight〕 重り。動力車の線路への密着を高めたり重心を低くして脱線しにくくするために各車両へ取り付けられる。

【エアブラシ】〔air brush〕 塗装やイラストの着色で使用される道具。圧縮空気で塗料などを吹き付ける。

【エッチング】〔etching〕 金属加工技術の一つで、酸で腐食することにより表面に凹凸をつけたり任意の形に抜いたりする方法。Nゲージでは細密化パーツや車両キットによく使用されている。

【エンドレス】〔endless〕 鉄道模型では線路配置を指す言葉で、起点・終点を繋げて終わりなく列車が走り続けられるようにした最もポピュラーな配置。小判型が代表的。

【屋上機器】 車両の屋上に設置されている機器の総称。クーラー、ベンチレーター、パンタグラフなど。

【お座敷運転】 家庭などで道床付き線路を直接床に敷いて鉄道模型の運転を楽しみ、終わるたびに分解して片付けること。固定式レイアウトは収納スペースなどの問題があり、お座敷運転が日本では最も一般的な鉄道模型の楽しみ方といえるだろう。「フロアーレイアウト」とも呼ぶ。

【お立ち台】 鉄道模型をディスプレイする目的で作られたジオラマ(情景模型)。走行を前提としていないものを指すことが多い。

【オプションパーツ】〔option parts〕 好みによって取り付けの取捨選択ができる部品。鉄道模型では車両製品と別個に販売されているものを特に指すことが多い。

カ行

【貨車】 人間以外のもの、つまり貨物を運搬する目的で製造された鉄道車両。その大部分は機関車に牽引されて用いられる。コンテナ車、有蓋車、タンク車など積荷によって様々な種類が存在する。

【カッターナイフ】〔cutter knife〕 模型工作だけでなく事務用などにも広く用いられている折刃式のナイフ。Nゲージでもステッカーの切り出しなどで活躍する必需品の一つ。

【カプラー】〔coupler〕 車両の連結器。Nゲージではアーノルトカプラーが主に使用されている他、各メーカーが形態・機能の両立を目指したオリジナルのものを開発している。

【紙ヤスリ】→サンドペーパー

【カラーバリエーション】〔color variation〕 同一系列の車両で塗装が異なる様を指して用いられる言葉。また、Nゲージでは従来製品の塗装を変更して発売された新製品を意味する場合も多い。

【緩急車】 主に編成端に連結される車掌室の設備を持つ客車。Nゲージではテールライトを装備していることが多い。

【貫通型】 前面に貫通路が設けられた電車・気動車の先頭車。複数の編成が連結された際の通路や、地下鉄乗り入れ車などでは非常時の避難路として用いられる。

【貫通扉】 右記の貫通型車両の前面に設けられる扉を指す。

【軌間】 敷設されている左右2本のレール内側の間隔。Nゲージの場合は軌間9mmということになる。

【機関車】 客車や貨車を牽引する目的で製造された、大出力の動力を搭載した車両。日本では主に蒸気、ディーゼル機関、電気を動力源とするものが用いられている。

【キット】〔kit〕 未組立のパーツ状態で販売されている商品。ユーザーが購入後に組み立てる必要があり、その過程で自分の個性を盛り込むことができる点が魅力の一つである。

【気動車】 内燃機関を動力として自走する客室(荷物室)を備えた鉄道車両。日本ではディーゼル機関によるものが主流。

【基本セット】 実物では長い編成となっている列車を製品化する際に購入しやすくするため、その列車の雰囲気を味わうのに最低限必要な車両・両数をセレクトした車両セット。概ね3~8両程度がセットされており、増結セットや単品を追加することで実物と同様の編成を再現できるようになっている。

【客車】 乗客を乗せて運搬するための鉄道車両。特に機関車による牽引を前提に製造された車両を区別して用いられることが多い。

【ギャップ】〔gap〕 隙間、溝。Nゲージではレールに流れる電流を遮断するために設けた隙間や絶縁部分を指すことが多い。

【クーラー】〔cooler〕 冷房装置。Nゲージでは屋上に設置されている室外機を特に指して呼ぶことが多く、様々な形態が存在することから車両の個性を表現するポイントとして注目されることが多い。

【クイックヘッドマーク】 KATOが近年の機関車・電車製品に採用している交換式ヘッドマークのこと。ヘッドマーク裏面に鉄板を装着し、機関車前面内部のマグネットの力で装着する構造。接着することなく気軽に様々な列車のヘッドマークを再現することが可能。

【クリアー】〔clear〕 模型では透明の塗料を意味して用いられることが多い。光沢を調整したりデカール・インレタを保護する目的で使用される。

【クリアケース】〔clear case〕 透明のプラスティックで作られた容器。Nゲージでは単品販売の車両や小パーツの包装に用いられる。

【黒色車輪】 黒染車輪とも呼ばれるメッキ表面が黒っぽい色で着色された車輪。従来の銀色車輪が持つギラギラした金属光沢が模型の実感を損ねるという声に応え、現在では各メーカーが採用。TOMIX・KATOではオプションパーツとしても販売している。

【クロッシングレール】〔crossing rail〕 文字通り交差した線路で、特にポイントとは異なり列車を方向転換するための可動部分を持たないものを指す。

【ゲージ】〔gauge〕→軌間

【ケーディカプラー】〔Kadee coupler〕 米国ケーディ社が開発した連結器。自動連結器を模したコンパクトな外観とアンカプラー線路を用いた自動解放機能が特徴。Nゲージ用は「マグネマティックカプラー」と呼び、米国マイクロトレインズ社より供給される。

【交流】 電流・電圧の正・負が時間と共に変化する電気。鉄道では東北、九州、北陸などJRの地方幹線で電源として多く用いられている。

【固定式レイアウト】 レールを台座に固定し、周囲にシーナリーを再現したレイアウト。設置場所に固定され、収納・運搬が考慮されていないものを区別して呼ぶ場合もある。

【ゴム系接着剤】 合成ゴムを用いた接着剤。Nゲージ製品の塗装やプラスティック表面を侵さないため、機関車のナンバープレートなどの固定に適している。

【コンバージョンキット】〔conversion kit〕 既存のキット・完成品を用いて改造することを前提に販売されているパーツ・キット。

【コンプレッサー】〔compressor〕 圧縮空気を作る装置。実物の鉄道車両ではブレーキやドア、空気バネを動作するために設置されている。模型の世界では塗装用エアブラシのエアー供給に使われるものを指す。

サ行

【サンドペーパー】〔sandpaper〕 紙ヤスリ。模型では単にペーパーと呼ぶことが多い。紙に粒子状の研磨剤を付着させたもので、様々な目の粗さ・細かさのものが発売されている。

【シーナリー】〔scenery〕 鉄道模型の世界では鉄道沿線の風景を意味する言葉で、特に山や川、草原など自然物を指すことが多い。

【ジオラマ】〔diorama〕 ベース台の上に地形、道路、建物、フィギュアなどを配置して風景の一部を切り取って再現した情景模型。鉄道模型では特に走行を前提としていないものを指して呼ぶことが多い。

【室内灯】 Nゲージでは客室内の照明を再現するために組み込む照明ユニットを意味する。ほとんどの車両はオプションパーツとして販売されているものをユーザーが取り付ける形となっているが、一部に取り付け済みの状態で販売されている製品もある。

【下廻り】 床板、床下機器、台車、スカートなどをまとめて呼ぶのに使う言葉。走行装置だけを指して使われる場合もある。

【下枠交差型パンタグラフ】 菱形の一般的な形状のものと異なり、下側半分を交差させた形状のパンタグラフ。設置スペースを小さくするメリットがある。

【地面】 鉄道模型では車両模型に対し、ジオラマ、レイアウトなどシーナリーが表現された情景模型を指して呼ぶ場合に用いられる。

【車両セット】 複数の車両を一まとめにした状態で販売している商品。新幹線など編成単位で運転されている車両を購入するのに便利な販売形態である。

【車輪】 車両がレールと接する円盤状の部品。レール上を転がることで摩擦を小さくし、大重量の鉄道車両を動かすことを可能としている。鉄道模型ではライトや動力のエネルギー源である電気が車輪を通して流れており、快適な運転のためには常にキレイにしておく必要がある。

【集電板】 鉄道模型で電気をライトやモーターへ伝えるための金属部品。主に板状のものを指すが、製品によっては線状・スプリング状のものも存在する。

【瞬間接着剤】 シアノアクリレート系接着剤。硬化時間が非常に速く、強い接着力を持つ。ただし、接着部分の周囲を白化させる場合があるので完成品へ部品を取り付ける用途などには向いていない。

【蒸気機関車】 石炭や重油などを燃焼させて水を加熱し、発生する水蒸気の圧力を動力源として稼動する機関車。鉄道誕生以来長く用いられてきたが、日本では一部の保存車両を除き営業運転からは退いている。

【常点灯】 Nゲージ車両のライトを停車中でも点灯させ、スピードにより明るさがほとんど変化させないようにすること。一昔前では難しい技術であったが、現在は各メーカーが工夫を凝らして実現している。

【シングルアーム式パンタグラフ】 昇降部分が一本の太いアーム状になっているパンタグラフ。コスト面や降雪時対策として近年の車両で多用されている。

【信号炎管】 列車の運転室の屋上に設置された発炎筒で、運転士が非常事態を発見した時に対向・後続の列車に停止信号を送るために用いられる。Nゲージではユーザー取り付けパーツとして車両に付属することが多い。

【伸縮式カプラー】 Nゲージ編成の外観を実車に近づけるため、直線上では連結面間隔を狭め、曲線上のみ車体同士の干渉を避けるため広がる機能を持つ連結器。

【真鍮】 模型工作でよく用いられる銅と亜鉛の合金。鈍い金色でほどよい硬さのため工作しやすい金属素材である。

【真鍮キット】 上記の真鍮を素材として用いたキット。エッチングによってディテール表現された状態で販売されることが多い。生産数や表現上の理由からプラスティックでの製造がそぐわない車種などの製品化でよく用いられる。

【スカート】〔skirt〕 鉄道では先頭車の前面下部、連結器廻りに設けられたカバーのことを指す。

【スケール】〔scale〕 実物に対する模型の大きさの縮尺。日本のNゲージでは在来線などで採用されている1／150が主流。新幹線や外国型では1／160が用いられている。

【スタートセット】〔start set〕 スターキットとも呼ぶ。車両、レール、パワーパックなど鉄道模型を始めるのに最低限必要なアイテムをセレクトしてセットにしたもの。TOMIXのベーシックセットやKATOのスターターセットなどが代表例。

【スチロール樹脂】〔styrol〕 プラモデルやGMキットなどで用いられているプラスティック、つまりポリスチレンを意味することが多い。

【ステッカー】 紙やフィルムに文字・模様を印刷し、予め裏面に貼り付け用の粘着剤を塗布したもの。Nゲージではヘッドマークや行先表示を表現するためのものが車両に付属している場合が多い。

【ステンレス】 耐食性の高いクロム鋼。鉄道車両においては塗装を省略できるため、現在は軽量化・コスト削減を目的に新型車両の多くが車体にステンレスを使用している。Nゲージでも車体キットやグレードアップパーツの材料として使われている場合がある。

【ストラクチャー】〔structure〕 鉄道模型の世界では駅や住宅、商店など構造物全般を指す。

【スノープラウ】〔snow plow〕 雪国を走る車両などに設けられている車両前面下部の排雪装置。スノープロウと表記される場合も多い。

【前面】 電車・気動車・機関車で編成の先頭となる部分。多くの場合運転台やヘッド・テールライトを備える。車両のイメージを左右する部分でもある。

【先頭車】 電車、気動車で運転台を備える編成の先頭となる車両。

【増結セット】 別項の基本セットに追加して実物通りの編成を再現するための車両を一まとめにしたもの。

【側面】 車体の左右両側。プラキットの部品単位から側板(がわいた)と呼ばれることも多い。

タ行

【ダイオラマ】〔diorama〕→ジオラマ

【第3セクター】 国や地方自治体、民間などの共同出資によって設置された事業体。鉄道業界では国鉄・JRから分離された路線の運営を目的に設立された第3セクターが多い。

【台車】 鉄道車両では車輪、軸受け、ブレーキ、緩衝装置、モーター、駆動装置など機械的な各部品を一まとめにした走行用のユニット。

【台車枠】 Nゲージでは前記の台車から車輪を除いた部分を指すことが多く、プラスティック製完成品の場合ほとんどが軟質樹脂による一体成型で作られている。

【ダイヤフラムカプラー】 KATOが新幹線製品に採用している連結器で、貫通幌を模した形状の伸縮式カプラー。実感的な連結面間隔とカーブ走行時の確かな動作を両立している。

【ダブルデッカー】〔double decker〕 車両の内部を2層構造としてそれぞれに客室を設けたいわゆる2階建て車両。リゾート列車では車両に魅力を加えるため、通勤列車ではラッシュ時の乗車定員増強を図るために導入されている。

【ダミー】〔dummy〕 元々は実物に似せて作った擬装品の意味。模型では点灯機能のないライトや自走しない機関車など、外観重視で機能面が省略された状態を指すことが多い。

【ダミーカプラー】〔dummy coupler〕 模型の先頭車の前面などに用いられる、実車の形態を再現するための連結機能を持たないカプラーのこと。

【単品】 1両ずつ販売されている車両製品。ほとんどの機関車や1両単位で増減される電車、気動車、客車、貨車がこの販売形態をとる。

【中間車】 編成の中間に連結されることを前提に製造された車両で、通常は運転台や車掌室を持たない。

【直流】 電流・電圧の正負が一定方向の電気。鉄道では大都市圏の通勤路線や私鉄各線、東海道・山陽本線など主要幹線などで用いられている。Nゲージを動かすのに用いる電気も直流である。

【妻面】 列車の連結面の内側に向けられる部分。編成の表に出ない部分で、電気配管や職員が昇降するためのステップなどが設置されていることが多い。プラキットの部品単位から妻板(つまいた)と呼ばれることもある。

【テールライト】〔taillight〕 列車の最後部を示すために設けられている赤色の標識灯。

【ディーゼル機関車】 ディーゼル機関を動力として稼動する機関車。電気のない非電化路線で蒸気機関車に代わって活躍している。

【ディオラマ】〔diorama〕→ジオラマ

【ディテール】〔detail〕　模型に施されている細部表現。

【ディテールアップ】〔detail up〕　加工によってさらに細かなディテールを表現することなどを指す言葉。

【ディレクションスイッチ】〔direction switch〕　パワーユニットで操作する列車の進行方向（ディレクション）を切り替えるスイッチ。

【デカール】〔decal〕　薄いフィルムに文字や模様を印刷したシールで、水に濡らすことで台紙から剥離して模型に貼る。

【デフォルメ】〔deformer〕　本来は形を変えることを意味する言葉。鉄道模型では走行性能やカプラーなどの機能を優先させるためにあえて実物と異なる形状とすることや、Bトレインショーティーに代表されるように可愛らしさを与えるために全長を短くすることを指して使われることが多い。

【電気機関車】　電気を動力源として稼動する機関車。

【電球】　電気によって金属線を熱することで光を得る照明装置。Nゲージでは蛍光灯登場前の旧型車両の室内灯や今なお多数派である白熱灯ヘッドライトの光を再現するのに有効である。

【電車】　電気を動力源として自走する客室・荷物室を備えた車両。

【テンダードライブ】〔tender drive〕　テンダーとは蒸気機関車を動かすのに必要な水・石炭を搭載する車両のこと。Nゲージの蒸気機関車では収納スペースなどの関係からこのテンダーにモーター・駆動装置を搭載する場合があり、それを指してテンダードライブ方式と呼ぶ。機関車本体（エンジン）のディテール・サイズを実感的にできるというメリットがある。

【道床付レール】　レール・枕木・バラストが一体となったNゲージで最も普及している形態の線路。組立・解体が容易な点が大きなメリット。道床とはレール・枕木の土台を指す言葉である。

【動力車】　鉄道模型ではモーターを搭載した車両を指して呼ぶことが多い。

【動力台車】　右記の動力車が装備している台車。動力をレールに伝える駆動装置を内蔵するため、通常の台車とはまったく構造が異なる。

【動力ユニット】　モーター、駆動装置、台車など動力車の下廻りを一まとめにしたもの。補修・キット組み立て用に単独販売されているものもある。

【特別企画品】　KATOが個性的なバリエーションの車両を製品化する際にとる販売形態。他社の限定品に相当するラインナップであるが、販売後の状況次第で再生産を行なう場合もあり、中古市場における過度のプレミアがつかないように配慮している。

【塗装済キット】　各部品に着色した状態で販売されている組立式のキット。塗装行程を省くことができるので完成させることが容易となっている。

【ドライブラシ】〔dry brush〕　塗装技法の一つ。筆に含ませた塗料を拭い取り、乾きかけの状態にして叩いたりこするようにして筆目の出ないように塗る方法。ウェザリングなどでよく用いられる。

【トレーラー車】　動力を持たない車両を指す。Nゲージの電車・気動車では1編成に動力車は1〜2両あれば十分であり、大部分がトレーラー車となる。

【トレインマーク】　国鉄・JRの電車・気動車特急が前面に掲示する列車名を表示する装置、あるいはその絵柄のこと。当初は文字のみの表示だったが、1970年代後半にイラスト化されてからブームとなった。現在ではLEDなどにより表示されている列車も多い。

【トレインマーク変換装置】　KATOが独自に開発したもの。右記トレインマークを自在に変えられるようにすることで、一つの編成で様々な列車を再現して楽しむことができる。先頭車・緩急車の内部に設けられた円筒状のパーツに4種類のトレインマークが印刷されたフィルム（交換可能）を設置し、車両に付属するドライバーで回転させる構造。

【ドローバー】〔drawber〕　車両ごとに分割しない構造となっている棒状の連結器。Nゲージでも一部の製品で採用されている。

ナ行

【軟質樹脂】　台車枠や連結器など強度・柔軟性・弾力が必要な機能部品に多く用いられる材質。塗料や接着剤が乗りにくい性質を持つ。

【ナンバープレート】　鉄道車両では車体番号を表示する板状の部品を指し、主に機関車などで使用される。Nゲージではそれと同様の部品を複数用意し、機関車のナンバーを選択可能としていることが多い。

【ニッパー】〔nipper〕　パーツの切断などに用いるハサミ状の工具。プラスティック製のキットを製作するのには欠かせない工具の一つ。

ハ行

【パーツ】〔parts〕　部品。Nゲージではアンテナや信号炎管など車両製品に付属しているユーザー取り付け部品を特に指して使うことも多い。

【ハイデッカー】〔high decker〕　客室の床が高くなっている車両のこと。視線を高くすることで沿線風景をよりワイドに楽しめるようリゾート車両などで多用されている。

【白色LED】　近年になって実用化・普及が進んでいる白い光で点灯するLED。Nゲージでもトレインマークや客室灯に用いられている蛍光灯色の再現に適しているため、ヘッドライトや室内灯の光源として使用が拡大している。

【パテ】〔putty〕　ペースト状・粘土状で販売されている合成樹脂製工作材料。溶剤の乾燥や化学反応で硬化し、キットの継ぎ目に生じた隙間を埋めるなどの用途で用いられる。

【バラスト】〔ballast〕　鉄道では線路（道床）に敷き詰められる砂利を指す。

【パワーパック】〔power pack〕　メーカーによってはパワーユニットとも呼ぶ。鉄道模型を運転する際に用いるコントローラーを兼ねた電源装置で、電圧または電流の大小で列車の速度を変化させる方式が一般的。

【ハンダ】〔半田〕　スズと鉛からなる低融点の合金。ハンダゴテと呼ばれる工具で加熱して溶かし、金属部品の接合に用いられる。

【パンタグラフ】　語源は製図用の写図器。電車や機関車が架線から電気を集電するための装置。これまで菱形のものが一般的であったが、近年になって下枠交差式やシングルアームなど様々な形態のものが登場している。

【パンタグラフカバー】　新幹線などで架線とパンタグラフとの摩擦で生じる騒音を軽減するため、パンタグラフの両側面を囲うようにして設置されるカバー。

【ヒューズ箱】　電気回路に過電流が発生した際、機器の破損を避けるため回路を遮断するヒューズという装置を収納する箱。電車の複雑なパンタグラフ廻りを構成する部品の一つ。

【フィーダー】〔feeder〕　鉄道模型では車両を動かすための電気をパワーパックからレールに供給する電線を意味する。

【ブック型ケース】　複数の車両をまとめて収納する容器。その形状からブック型ケースと呼ばれることが多く、車両の整理・保管に便利。車両セット各種もこのケースに収納された状態で販売されることが多い。

【フライホイール】　はずみ車。モーターに接続される高精度な金属製の円筒形部品で、適度な惰性を与えることで多少の集電不良の状態でも車両を滑らかに走行させることができる。主に機関車製品に取り付けられていることが多い。

【プラキット】〔plastic kit〕　プラスティック製の、特にインジェクション成型によって製造された組立式模型製品を指す。Nゲージではグリーンマックス製品が有名。

【プラスティック】〔plastic〕　元来は可塑性樹脂。合成樹脂類の総称。Nゲージでは特にスチロール樹脂、ABS樹脂など車両製品の車体に用いられる材質を意味していることが多い。

【プラモデル】〔plastic model〕　プラスティックモデルの略。上記のプラスティックを材料とする組立式の模型。走行を前提としないディスプレイモデルや電池で走行するNゲージの規格と無関係なものを特に区別して呼ぶときに使われることが多い。

【振り子機構】　KATOが独自に開発したNゲージの走行機構で、振子式（下記）車両の製品に搭載。実車同様カーブで車体を内側に傾けて走行する姿を再現している。

【振子式】　曲線を通過する際の遠心力を弱めるために車体をカーブ内側に傾ける方式で、曲線通過速度を向上させるために国鉄381系から採用された。

【フル編成】　実車の編成両数を省略することなく、そのまま模型で再現したもの。

【ブレーカー】〔breaker〕　パワーパックの破損につながる過電流やショートなどの際、自動的に電流を遮断するための装置。

【プロポーション】〔proportion〕　外観のつりあい、均整を指して用いられる言葉。Nゲージでは細部のディテールに対する全体的なバランスの意味で使われることもある。

【分割式レイアウト】　収納・運搬の便を考慮して分割可能な構造とした固定式レイアウトのこと。

【ペーパー】〔paper〕→サンドペーパー

【ヘッドマーク】〔head mark〕　機関車などの前面に掲げられる愛称表示板。電車・気動車のトレインマークとは区別されることが多い。

【ヘッドライト】〔head light〕　前照灯。夜間に運転士・機関士の視界を確保するために用いられる他、近年では踏切などで列車の接近を知らせるため昼間でも点灯している場合が多い。

【別パーツ化】 細密化や色分けを目的として別々の部品にすること。

【ベンチレータ】〔ventilator〕 通風器。車内に車外の空気を取り入れて換気するため主に屋上に設置される装置。

【ホイッスル】〔whistle〕 鉄道車両では警笛のことを指す。

【ポイント】〔point〕 線路の分岐地点に設置され、列車の方向転換を行なう装置。NゲージではTOMIX・KATOともパワーパックの側にいながらにして電動で動かすことができる。

【ポケットライン】〔pocket line〕 KATOが展開している小型のデフォルメ車両シリーズ。その動力装置などはBトレインショーティーなどにも対応している。

【ボディキット】〔body kit〕 下廻りは既存のキット・完成品から流用して、車体部分のみを製作するためのキット。Nゲージでは真鍮製とレジン製がそのほとんどを占めている。

【ボディマウント】〔body mount〕 実物の鉄道では着雪対策や空気抵抗の軽減を目的に床下機器を床下まで伸ばした車体の内側に納める方式を指す。模型では主にカプラー台座を車体(床板)に固定した状態で用いる方式を指して言うことが多い。

【ホワイトメタル】〔white metal〕 スズと鉛の合金。融点が低いため部品の複製材料に適しており、真鍮キットに付属する車両の前面や屋上機器などでよく用いられる。

マ行

【マグネマティックカプラー】〔Magne-Matic Coupler〕 米国マイクロトレインズ社が販売している連結器。別項のケーディカプラーと同様、自動連結器を模したコンパクトな外観と自動連結・解放による自由度の高い運転が特徴。

【窓ガラス】 客室の窓などにはめ込まれているガラス。Nゲージではこれを再現した透明プラスティック製の部品を指して呼ぶことも多い。

【メーカーズプレート】 実物車両において製造したメーカーを表示する銘板。Nゲージの機関車製品ではユーザー取り付け部品となっていることが多く、ナンバープレートの番号に合わせてメーカーを選択する。

【メッキ】〔鍍金〕 表面を金属の薄膜で覆う技法。模型では金属の質感を表現するために用いられる。

【モールド】〔mold〕 本来は金型や、型に流し込まれて作られた成型品の意だが、模型では部品表面に施されている彫刻を指して呼ぶことが多い。

【モデリング】〔modeling〕 模型製作。造形。

ヤ行

【ヤスリ】〔鑢〕 金属棒に突起状の細かい目をつけた削り作業のための工具。

【屋根板】 Nゲージ車両の屋根を構成する部品で、車体から取り外せる部分を指して呼ぶことが多い。

【床板】 Nゲージのいわばシャーシ。プラスティック製完成品の場合は床下機器と一体成型されていることが多く、これとまとめて床板と呼ぶことも多い。

【床下機器】 鉄道車両の下面に設置されている装置の総称。走行に必要な制御装置やブレーキ用のエアタンクなど電車・気動車などでは最もディテールの集中している部分である。

【洋白】 銅・ニッケル・亜鉛の合金。真鍮同様加工性が良く、真鍮キットでは銀白色を活かして側面窓のサッシなどとして使われることもある。

ラ行

【ライケン】〔lichen〕 樹木を表現するのに用いられる、海草を干して着色したジオラマ・レイアウトの材料。

【ライト基板】 Nゲージのヘッド・テールライト光源の多くは基板に固定されてユニット化されており、光源・基板両方をまとめてこのように呼ぶ。

【リバース】〔reverse〕 「P」字型の線路配置など途中で列車の進行方向が逆になる場合を指す。模型ではギャップを設けるなど特殊な電気配線が必要となる。

【リレーラー】〔rerailer〕 Nゲージの車両をレールに乗せるために用いるスロープ状の道具。蒸気機関車など車輪が多い車両では特に重宝する。

【レール】〔rail〕 鉄道車両の車輪を支え、進む方向を定めるための鋼鉄製の細長い鉄の棒。鉄道模型では2本のレール、枕木、バラストが一体になった道床付きレールを意味することも多い。

【レイアウト】〔layout〕 元々は配置、設計を意味する言葉。鉄道模型では線路を固定して建物や風景をスケールダウンして配置したものを意味する。特に走行を前提としたものを指して呼ぶことが多い。

【レジン】〔resin〕 模型では無発泡ポリウレタン樹脂を意味する言葉として使われることが多い。主剤と硬化剤を混合してシリコン製の型に注入・硬化させることで部品を成型する。一体成型の車体として主に使用される。

【ロストワックス】〔lost wax〕 金属部品の製造に用いられる成型法。ワックス製の原型を耐火石膏などに埋め込み、ワックスを熱で溶かしだして作った空洞に溶融した真鍮などを注入して製作する。真鍮キットの前面やディテールアップ用パーツなどに用いられる。

ABC〜

【ABS樹脂】〔Acrylonitrile Butadiene Styrene〕 アクリロニトリル・ブタジエン・スチレンの略。プラモデルなどに用いられているスチロール樹脂に比べて耐衝撃性・柔軟性に強く、TOMIXやKATOなど多くのメーカーの完成品で用いられている合成樹脂。

【ASSYパーツ】 KATOが製品に使われる部品を関連したパーツごとに組み立てた状態で販売しているもの。修理・改造用としての人気が高い。

【Bトレインショーティー】 バンダイが展開しているNゲージサイズのデフォルメ車両シリーズ。車体断面はNゲージと同じ1/150で、全長のみ60mmクラスに短縮。主に組立キット形式で販売されており、KATOからこれに対応する動力ユニット・台車が発売されていて、これを使ってNゲージ車両として走行させることも可能である。

【DCC】〔Digital Command control〕 デジタル信号をレールに流して車両やポイントなどに直接命令を送って制御する鉄道模型の制御方式。デコーダという部品の小型化により最近はNゲージにも導入可能となった。従来の方式では難しかった高度な運転を楽しむことができる。現在KATOがDigitrax社製品の輸入販売を行なっている。

【FRP】〔Fiber Reinforced Plastics〕 ガラス繊維を入れて強度を高めたプラスティック素材。複雑な曲面の表現や軽量性に優れており、実物の鉄道車両でも前面廻りなどに使用されている。

【GM】〔GreenMax〕 Nゲージメーカーであるグリーンマックスを略してこう呼ぶことが多い。同社の販売する組立式キットには根強いファンが多い。

【Hゴム】 実車の窓ガラスと車体の固定などに使用されるゴムのこと。語源は断面形状がH型になっていることに由来する。

【KATOカプラー】 KATOが独自に開発したカプラーのシリーズ。大きく分けて自動連結器を模した形状のKATOカプラーNと密着連結器に似た形状のKATOカプラー密連型の2種類があり、従来のアーノルトカプラーに比べて連結面間隔が小さくなる点と連結器自体が小型・リアル化されて外観が向上する点が特徴。最近の製品では標準装備している車両も多い。

【LED】〔Light Emitting Diode〕 発光ダイオードの略語。片方向にのみ電流が流れる半導体素子で、その際に発光するのが特徴。電球などに比べて電力消費量が格段に小さい。実物の鉄道では行先表示など各種表示に、鉄道模型ではヘッド・テールライトや室内灯の光源としての使用が広がっている。

【M車】→動力車

【M′Mユニット】 走行に必要な機器類を2輌の電動車に分散することでコストダウンと性能向上を図る方式で、新性能電車によく見られる。例えばモハ484+モハ485など。

【T車】→トレーラー車

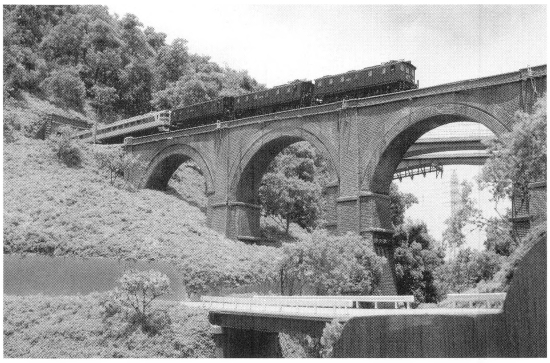
【TNカプラー】 TOMIXが独自に開発した連結器シリーズ。密連型、密着自動連結器型など実車に合わせて様々な形態のものが選択でき、特に伸縮機能付きで外観もリアルなボディマウント式は絶大な人気を誇る。一部の自社製品の他、MODEMOやGMなど他社製品でも標準装備されている。

【VVVF】〔Variable Voltage Variable Frequency〕 1980年代末期から鉄道車両で採用されているモーターの制御方式の一つ。電圧・周波数を変化させることでモーターの回転数をコントロールする。

改訂新版 今日からはじめる Nゲージ

NEKO MOOK 1185
改訂新版 今日からはじめる Nゲージ
NEKO PUBLISHING CO.,LTD
ネコ・パブリッシング ホームページアドレス
http://www.neko.co.jp
日本最大級の鉄道専門サイト 鉄道ホビダス
http://rail.hobidas.com/
本誌に記載されている写真、記事などの無断掲載、転載を禁じます。

Publisher	Kenji SASAMOTO	笹本健次
Editor in chief	Shinichi MAKIKUBO	牧窪真一
Main Writer	Gou EGASHIRA	江頭　剛
Writer	Daigo SASAKI	佐々木大悟
	Kei KOYAMA	児山　計
Illustrator	Gou EGASHIRA	江頭　剛
Photographer	Akira AOYAGI	青柳　明(*RM MODELS*)
	Hiroshi HANEDA	羽田　洋
	Takeshi SAITO	斉藤豪志
Art director	Yasuko YAMASAKI	山崎康子(*JAPS*)
Design staff	Torio ENDO	遠藤鳥旺
	Yasushi SASAKI	佐々木也寸志(*スタジオ・インターウェーブ*)
Advertising staff	Motohiro SASAKI	佐々木基博
Sales staff	Takuji MURAKAWA	村川卓司
	Kouta TAKEUCHI	竹内耕太
Publicity and sales promotion division	Shunsuke OHBUCHI	大渕俊輔
	Ayumi ONO	小野愛弓
	Hirotomo ITAYA	板谷洋智(*JAPS*)
	Chika TANOJIRI	田野尻千佳(*JAPS*)
Cover photo	Akira AOYAGI	青柳　明(*RM MODELS*)



発行所　株式会社ネコ・パブリッシング
〒152-8545 東京都目黒区碑文谷4-21-13
phone/03-5723-6013(営業部)
03-5723-6012(広告部)
03-5723-6066(編集部)
印刷　大日本印刷株式会社
© 2008 NEKO PUBLISHING

ネコ・パブリッシングの鉄道雑誌



■鉄道趣味の月刊誌【レイル・マガジン】

Rail Magazine

毎月21日発売
定価1500円



■模型鉄道の専門月刊誌【アールエムモデルズ】

RM MODELS

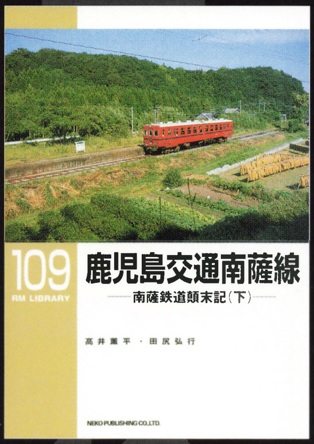
毎月21日発売
定価1200円



■国鉄時代の郷愁の鉄道風景

国鉄時代

3.6.9.12月 21日発売
定価2100円



■語り継ぎたい鉄道の記憶

RM LIBRARY

毎月21日発売
定価1050円

株式会社ネコ・パブリッシング 〒152-8545 東京都目黒区碑文谷4-21-13 Tel: 03-5723-6013(営業部) **http://www.neko.co.jp/**

NEKO MOOK
改訂新版 今日からはじめる Nゲージ

KATO
PRECISION RAILROAD MODELS

Nゲージの世界をあなたに…



心に残る鉄道シーンをNゲージ鉄道模型という形で再現して、そのイメージを大きくふくらませてみませんか。

KATOは、車両、線路、レイアウト用品など、すべての鉄道模型関連システムを幅広くラインナップし、みなさまに鉄道模型の世界を「よりリアルに」「より楽しく」「より身近に」お楽しみいただこうと考えています。■下の写真はKATO製品のごく一部をご紹介いたしました。

車両



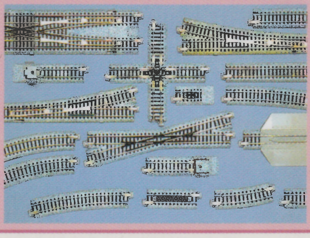
▲E4系新幹線〈Max〉4両基本セット ¥13,125税込



▲E233系中央線6両基本セット ¥16,800税込

KATOの車両は、リアルかつ的確な形状とディテール、群を抜く走行安定性と耐久性に加え、数々のアイデア装備・仕様も盛り込まれています。また、過去の名車から最新の車両、カラフルな外国形まで豊富なラインナップを次次とモデル化しています。

線路／制御機器

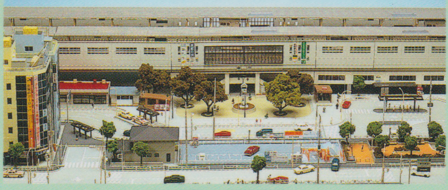

◀お座敷運転から固定式レイアウトまで幅広く対応できる豊富な種類のユニトラック線路

制御機器▼



・パワーパック スタンダード S ¥4,725税込

ストラクチャー／レイアウト用品


▲ジオタウンシリーズの情景　駅前道路セット¥5,250税込など

KATOのストラクチャー（建物）は、線路システムと合致した規格にもとづき開発され、あらゆるレイアウトに手軽にお使いいただけます。
また、レイアウト用品は、海外メーカーとの提携も含め、長い経験と確かな技術とから生み出された高品質ぞろいで、使いやすく便利なのが特長です。

スターターセット

買ってきたその日からすぐに運転できます!



JR東海承認済

運転に必要なアイテムをワンセットにまとめたNゲージのスタートに最適なセットです。

◀Nゲージスターターセット・スペシャル N700系新幹線〈のぞみ〉 ¥18,900税込

●この他にも、新幹線各種やSL列車、ブルートレインなどのセットもあります。


欲しいものを探すなら
KATO 鉄道模型 総合カタログ2008 ¥1,260税込


KATO Nゲージ車両のラインナップなら
KATO Nゲージアーカイブス ¥1,890税込


運転を思う存分楽しむなら
運転を楽しもう! Nゲージ鉄道模型 ユニトラックガイドブック ¥1,260税込

KATO 株式会社 関水金属
〒161-0031 東京都新宿区西落合1-30-15
KATO鉄道模型ホームページ http://www.katomodels.com/
レールファンKATOページ http://www.railfan.ne.jp/kato/

＊各掲載製品の仕様・価格などは予告なく変更することもあります。＊各掲載製品の表示価格は消費税（5%）込の標準価格です。＊KATO製品の詳細については、KATO鉄道模型カタログやKATO鉄道模型ホームページなどをご覧ください。

ISBN978-4-7770-0685-4
C9476 ¥952E

改訂新版 今日からはじめる Nゲージ

発行人:笹本健次　編集人:牧窪真一
発行所:株式会社ネコ・パブリッシング
〒152-8545 東京都目黒区碑文谷4-21-13
電　話:(03)5723-6066(編集部)　(03)5723-6013(営業部)　(03)5723-6012(広告部)
発行日:2008年9月3日　©ネコ・パブリッシング
定価1,000円　本体952円　Printed in Japan
雑誌67312-85

9784777006854
1929476009524

NEKO PUBLISHING CO.,LTD.